



Document Solutions

> PRINT > COPY > SCAN > FAX

TASKalfa 2510i

TASKalfa 2520i

使用説明書



使用説明書 メニュー

本説明書は、次の章で構成されています。下記のボタンを選択すると該当する章のトップページにジャンプします。
章のトップページには目次がありますので、目的の項目を選択して参照してください。

▶ 目次**▶ 索引****▶ 1 安全にお使いいただくための注意事項****▶ 7 ジョブ / 消耗品 / デバイスの管理****▶ 2 設置と機械のセットアップ****▶ 8 本機の初期設定 [システムメニュー]****▶ 3 本機を使用する準備****▶ 9 ユーザー認証、集計管理 (ユーザー管理、部門管理)****▶ 4 パソコン側の操作****▶ 10 メンテナンス****▶ 5 本体側の操作****▶ 11 トラブルシューティング****▶ 6 各機能の詳細設定****▶ 12 付録**

良好な状態でお使いいただくために

本製品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法、日常の手入れ、およびかんたんなトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。

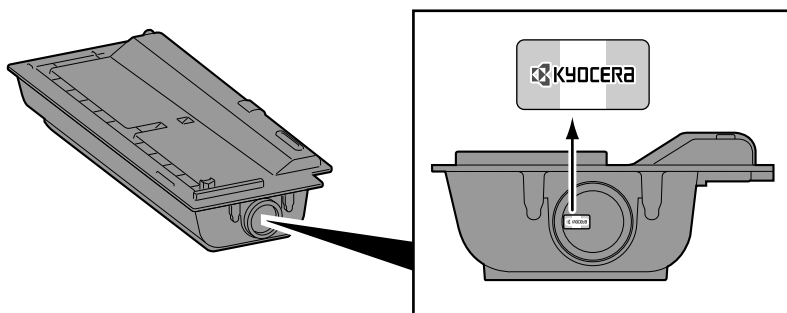
印刷品質維持のため、トナーコンテナは弊社純正品の使用をお勧めします。

弊社製品には、数々の品質検査に合格した弊社純正品のトナーコンテナをご使用ください。

純正品以外のトナーコンテナをお使いになると、故障の原因になることがあります。

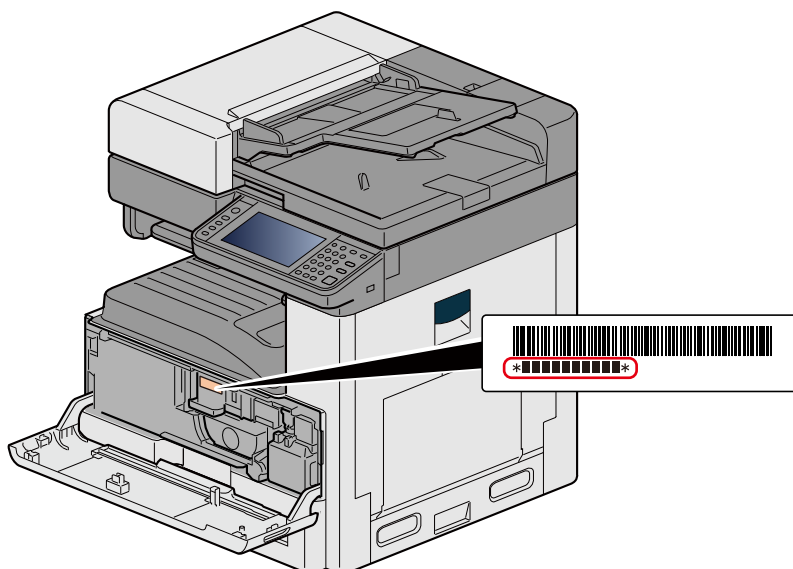
純正品以外のトナーコンテナの使用が原因で、機械に不具合が生じた場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。

弊社純正消耗品には、以下のホログラムシールが貼り付いています。



シリアル番号の記載位置について

本体のシリアル番号は、図の位置に記載しています。



本機のシリアル番号はお問い合わせの際に必要となる場合があります。お問い合わせの際は、シリアル番号の確認を行ってからご連絡をお願いいたします。

目次

良好な状態でお使いいただくために	i
目次	ii
メニューマップ	xi
[コピー]	xi
[送信]	xii
[ユーザーボックス] (文書保存、印刷、送信)	xiv
[ジョブボックス]	xvii
[外部メモリー] (文書保存、印刷)	xvii
[ファクス]	xix
[Fコードボックス]	xx
[ポーリングボックス]	xx
[ファクスメモリー受信ボックス]	xxi
[状況確認/ジョブ中止]	xxi
[システムメニュー]	xxii
こんなことができます	xxxviii
本機の特長	xxxix
カラーや画質の機能について	xlili
基本的なカラーモード	xlili
画質やカラーを調整する	xliv
付属マニュアルの紹介	xlvi
使用説明書(本書)について	xlvi
本書の構成について	xlvi
本書の読みかた	xlvi
オプションの表記について	l

1 安全にお使いいただくための注意事項 1-1

本書中の注意表示について	1-2
設置環境について	1-3
取り扱い上のご注意	1-4
コピー/スキャン禁止事項	1-5
法律上のご注意	1-6
本製品の省エネ制御機能について	1-12
自動両面機能について	1-12
印刷用紙について	1-12
電力管理について	1-12
国際エネルギースター(ENERGY STAR®)プログラム	1-13
無線LAN使用時のご注意	1-14
電波の種類と干渉距離	1-14
無線LAN使用時のセキュリティに関するご注意	1-14
本製品の使用限定	1-15

2 設置と機械のセットアップ 2-1

各部の名称(本体外観)	2-2
各部の名称(コネクター・内部)	2-4
各部の名称(オプション装着時)	2-5
本機とその他デバイスを接続する	2-6
ケーブルの接続	2-8
ネットワークケーブルを接続する	2-8
USBケーブルを接続する	2-9
電源コードを接続する	2-9

電源の入/切	2-10
電源を入れる	2-10
電源を切る	2-10
機械の初期設定をする	2-11
日付と時刻を設定する	2-12
ネットワークの設定	2-13
有線でネットワークを設定する	2-13
ワイヤレスネットワークを設定する	2-15
Wi-Fi Directを設定する	2-19
NFCを設定する	2-20
省エネ機能を使う	2-22
低電力モードとは	2-22
節電復帰レベルとは	2-22
スリープとは	2-23
オートスリープとは	2-23
スリープレベルとは(節電優先と復帰優先)	2-23
簡単セットアップウィザードを使って設定する	2-24
ソフトウェアのインストール	2-26
収録ソフトウェア(Windows)	2-26
Windowsにソフトウェアをインストールする	2-27
ソフトウェアをアンインストールする	2-33
Macintoshにソフトウェアをインストールする	2-34
TWAINドライバーを設定する	2-36
WIAドライバーを設定する	2-38
WSDドライバーをインストールする	2-39
管理者が行うセキュリティー強化	2-40
Command Center RXとは	2-41
Command Center RX へアクセスする	2-42
セキュリティー設定を変更する	2-43
デバイス情報を変更する	2-44
SMTPおよびメール送信の設定をする	2-45
アドレス帳の移行	2-49
アドレス帳をパソコンにバックアップする	2-49
アドレス帳を本体に書き込む	2-51
アプリケーションとは	2-54
アプリケーションをインストールする	2-54
アプリケーションをアンインストールする	2-55

3 本機を使用する準備 3-1

操作パネルの使いかた	3-3
機能キーに機能を割り当てる	3-4
タッチパネルの使いかた	3-6
ホーム画面を表示する	3-6
機器情報を表示する	3-11
機能キーを表示する	3-12
設定できないキーの表示のしかた	3-13
[エンター]キーの使いかた	3-14
[短縮]キーの使いかた	3-14
ヘルプ画面の使いかた	3-15
本機へのログイン・ログアウト	3-16
ログインする	3-16
簡単ログイン画面からログインする	3-17
ログアウトする	3-17

カウンターを確認する	3-18
用紙をセットする	3-19
用紙の取り扱い上の注意	3-19
給紙段を選択する	3-20
カセット1(～3)に用紙をセットする	3-20
排紙ストッパーの使いかた	3-24
排紙ガイドの使いかた	3-25
パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備	3-26
コンピューター名とフルコンピューター名をメモする	3-26
ユーザー名とドメイン名をメモする	3-27
共有フォルダーのアクセス許可を設定する	3-27
共有フォルダーを作成する、共有名をメモする	3-28
ファイルとプリンターの共有を許可する	3-31
Windowsファイアウォールを設定する	3-32
宛先の登録	3-36
アドレス帳に新しい宛先を登録する	3-36
アドレス帳の宛先を変更する	3-40
アドレス帳の宛先を削除する	3-41
ワンタッチキーに宛先を登録する	3-42
ワンタッチキーの宛先を変更する	3-43
ワンタッチキーの宛先を削除する	3-43
Command Center RXで宛先を登録する	3-45
よく使う機能呼び出すには(お気に入り)	3-46
お気に入りをウィザード形式で登録する	3-47
お気に入りをプログラム形式で登録する	3-48
お気に入りをウィザード形式で実行する	3-49
お気に入りをプログラム形式で実行する	3-49
お気に入りを編集する	3-50
お気に入りを削除する	3-50
よく使う機能を登録するには[ショートカット登録]	3-51
ショートカットを登録する	3-51
ショートカットを編集する	3-51
ショートカットを削除する	3-52
文書ボックスを使用するには	3-53
ユーザーボックスとは	3-53
ジョブボックスとは	3-53
外部メモリーボックスとは	3-54
Fコードボックス/ポーリングボックス/ファクスメモリー受信ボックスとは	3-54
本機でユーザーボックスを作成する	3-54
Command Center RXでユーザーボックスを作成する	3-55
ボックスを編集する	3-56
ボックスを削除する	3-57

4 パソコン側の操作 4-1

プリンタードライバの印刷設定画面の見かた	4-2
プリンタードライバのヘルプを表示する	4-4
プリンタードライバの初期設定値を変更する	4-4
パソコンからの印刷	4-5
定形サイズ of 用紙に印刷する	4-5
不定形サイズ of 用紙に印刷する	4-7
パソコンで印刷を中止する	4-9
本体へのデータの保存と保存したデータの印刷	4-10
パソコンから文書ボックスを指定してジョブを保存する	4-10

Command Center RXでユーザーボックスに保存されている文書を印刷する	4-12
本機の状態をパソコンから確認するには(ステータスマニター)	4-14
ステータスマニターを起動する	4-14
ステータスマニターを終了する	4-14
ステータスマニターの見かた	4-14
印刷情報アイコンタブの見かた	4-15
用紙情報アイコンタブの見かた	4-15
トナー情報アイコンタブの見かた	4-15
アラート情報アイコンタブの見かた	4-16
ステータスマニターコンテキストメニューの見かた	4-16
ステータスマニターの通知機能を設定する	4-17

5 本体側の操作 5-1

原稿をセットする	5-3
原稿ガラスにセットする	5-3
原稿送り装置にセットする	5-5
手差しトレイに用紙をセットする	5-7
アプリケーションを利用する	5-10
アプリケーションを起動する	5-10
アプリケーションを停止する	5-11
コピーのしかた	5-12
コピーする	5-12
割り込みコピーをする	5-13
印刷ジョブをキャンセルする	5-13
基本的なスキャン(送信)のしかた	5-14
スキャンした文書をメールで送信する	5-15
パソコンの共有フォルダーに送信する[SMB]	5-16
FTPサーバーのフォルダーに送信する[FTP]	5-19
TWAIN/WIA対応のアプリケーションで読み込む	5-21
便利なスキャン(送信)のしかた	5-22
WSDスキャンを実行する	5-23
File Management Utility を使用して原稿を読み込む	5-24
種類の異なる相手に送信する(複合送信)	5-25
ログインユーザーのメールアドレスに送信する	5-26
ファクスサーバーを使って送信する(ファクスサーバー送信)	5-26
スキャンをキャンセルする	5-28
宛先の操作	5-29
アドレス帳から宛先を選ぶ	5-29
拡張アドレス帳から宛先を選ぶ	5-31
ワンタッチキーから宛先を選ぶ	5-31
短縮番号から宛先を選ぶ	5-32
宛先を確認または変更する	5-32
送信前に宛先を確認する	5-32
再宛先を呼び出す	5-33
ファクスのしかた	5-34
文書ボックスの基本操作	5-35
ボックス一覧を操作する	5-35
文書一覧を操作する	5-35
ユーザーボックスの操作のしかた	5-36
スキャンした文書をユーザーボックスに保存する	5-36
ユーザーボックス内の文書を移動する	5-36
ユーザーボックス内の文書を別のユーザーボックスにコピーする	5-37
ユーザーボックス内の文書を外部メモリーにコピーする	5-37

ユーザーボックス内の文書を結合する	5-38
ユーザーボックス内の文書を削除する	5-39
ユーザーボックス内の文書を送信する	5-40
ログインユーザーのメールアドレスにボックスの文書を送信する	5-41
ユーザーボックスに保存された文書を読み込む	5-42
本体に保存したデータの印刷	5-43
プライベートプリントボックスからジョブを印刷する	5-43
プライベートプリントボックスに保存した文書を削除する	5-43
ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する	5-44
ジョブ保留ボックスに保存した文書を削除する	5-44
クイックコピーボックスからジョブを印刷する	5-45
クイックコピーボックスに保存した文書を削除する	5-45
試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する	5-46
試し刷り後保留ボックスに保存した文書を削除する	5-46
ユーザーボックス内の文書を印刷する	5-47
携帯端末からの印刷	5-48
AirPrintで印刷する	5-48
Google Cloud Printで印刷する	5-48
Mopriaで印刷する	5-48
Wi-Fi Directで印刷する	5-48
NFCで印刷する	5-49
USBメモリーの操作	5-50
USBメモリーに文書を保存する (Scan to USB)	5-50
USBメモリー情報を確認する	5-51
USBメモリーを取り外す	5-52
USBメモリーから印刷する	5-52

6	各機能の詳細設定	6-1
	本章のアイコンの見かた	6-2
	[IDカードコピー(身分証)]	6-3
	[原稿サイズ]	6-4
	[用紙選択]	6-5
	[原稿サイズ混載]	6-6
	[原稿セット向き]	6-9
	[ソート/仕分け]	6-10
	[排紙先]	6-11
	[濃度]	6-12
	[原稿の画質]	6-13
	[エコプリント]	6-14
	[カラー選択]	6-15
	[シャープネス]	6-16
	[コントラスト]	6-16
	[地色調整]	6-17
	[うら写り防止]	6-18
	[縮小/拡大]	6-18
	[ページ集約]	6-20
	[とじしろ]	6-22
	[両面/分割]	6-23
	[連続読み込み]	6-25
	[自動画像回転]	6-26
	[ジョブ終了通知]	6-26
	[文書名入力]	6-28
	[優先印刷]	6-28
	[白紙ページスキップ]	6-28
	[両面/見開き原稿]	6-30
	[送信サイズ]	6-31
	[ファイル形式]	6-32
	[ファイル分割]	6-37
	[読み込み解像度]	6-37
	[メール件名/本文]	6-38
	[FTP暗号送信]	6-38
	[印刷後削除]	6-38
	[送信後削除]	6-39
	[保存サイズ]	6-40
	[長尺原稿]	6-41
	[暗号化PDFパスワード]	6-41
	[JPEG/TIFF印刷方法]	6-42
	[XPS印刷サイズ調整]	6-42
	[原稿領域外の消去]	6-42
7	ジョブ/消耗品/デバイスの管理	7-1
	ジョブの状況確認	7-2
	確認できる状況の種類	7-2
	状況確認画面を表示する	7-2
	状況確認画面	7-3
	印刷ジョブ状況画面の見かた	7-3
	送信ジョブ状況画面の見かた	7-4
	保存ジョブ状況画面の見かた	7-5
	予約ジョブ画面の見かた	7-5
	ジョブの詳細情報を確認する	7-6

ジョブの履歴確認	7-7
確認できるジョブ履歴の種類	7-7
ジョブ履歴画面を表示する	7-8
ジョブ履歴の詳細情報を確認する	7-8
ジョブ履歴を送信する	7-8
ジョブの操作	7-9
ジョブを一時停止/再開する	7-9
ジョブをキャンセルする	7-9
デバイスの状態(デバイス/通信)を確認する	7-10
トナーや用紙の残量(用紙/消耗品)を確認する	7-12

8 本機の初期設定[システムメニュー] 8-1

システムメニューの操作方法	8-2
[簡単セットアップウィザード]	8-3
[言語選択]	8-4
[レポート]	8-5
[カウンター]	8-8
[カセット/手差しトレイ設定]	8-9
[共通設定]	8-11
[ホーム]	8-22
[コピー]	8-23
[送信]	8-24
[文書ボックス]	8-25
[ファクス]	8-26
[アプリケーション]	8-26
[インターネット]	8-26
[アドレス帳/ワンタッチ]	8-27
[ユーザー/部門管理]	8-27
[プリンター]	8-29
[システム/ネットワーク]	8-32
[日付/タイマー/節電]	8-57
[調整/メンテナンス]	8-59

9 ユーザー認証、集計管理(ユーザー管理、部門管理) 9-1

ユーザー管理とは	9-2
パソコンからユーザーを管理する	9-2
ユーザー管理を有効にする	9-3
ユーザー管理の設定	9-4
認証セキュリティを設定する	9-4
新しいユーザーを登録する[ローカルユーザーリスト]	9-5
ユーザー情報を変更する	9-9
印刷するユーザーを管理する	9-12
TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理する	9-13
WIAを使ってスキャンするユーザーを管理する	9-14
パソコンからファクスを送信するユーザーを管理する	9-15
ローカルユーザー認可を設定する	9-16
グループ認可を設定する	9-17
ゲスト認可を設定する	9-19
ネットワークユーザー情報を取得する	9-22
簡単ログイン設定とは	9-24
ICカード認証方法を設定する	9-27
PINコード認証を設定する	9-28

ユーザー管理を使う	9-29
ログイン/ログアウトをする	9-29
部門管理とは	9-30
部門管理を有効にする	9-31
部門管理方式を設定する	9-31
管理する部門を設定する[ローカル]	9-32
部門を新規に登録する[部門リスト]	9-32
使用制限を設定する	9-33
制限枚数超過時の処理を設定する	9-34
部門情報を編集する	9-35
部門を削除する	9-36
部門の印刷状況を管理する	9-36
TWAINを使ったスキャンジョブを管理する	9-38
WIAを使ったスキャンジョブを管理する	9-39
パソコンから送信したファクスジョブを管理する	9-40
部門管理を利用する	9-41
部門管理の初期設定をする	9-41
用紙サイズ別に集計する	9-42
使用枚数を集計する	9-43
部門レポートを印刷する	9-45
コピー/プリンターのカウント方法を設定する	9-46
ログイン/ログアウトする(部門管理)	9-47
不明ユーザー処理方法を設定する	9-48
ID不明ジョブ処理を設定する	9-48
ID不明ユーザーのユーザー情報を登録する	9-48

10 メンテナンス 10-1

日常のお手入れ	10-2
原稿ガラスを清掃する	10-2
スリットガラスを清掃する	10-2
消耗品の交換と補充	10-4
トナーコンテナを交換する	10-4
廃棄トナーボックスを交換する	10-7
用紙を補給する	10-9

11 トラブルシューティング 11-1

一般的なトラブル	11-2
トラブルが発生したら	11-2
機械動作のトラブル	11-3
画像のトラブル	11-6
こんな表示がでたら	11-9
メッセージが表示されたら	11-9
エラーメッセージ一覧	11-9
送信エラーコード一覧	11-20
調整/メンテナンスメニュー	11-23
調整/メンテナンスメニューについて	11-23
階調調整を実行する	11-23
ドラムリフレッシュ1を実行する	11-24
ドラムリフレッシュ2を実行する	11-24
紙づまりの解除	11-26
紙づまり表示の見かたと位置の確認	11-26
手差しトレイの紙づまりを除去する	11-27
右カバー1の紙づまりを除去する	11-28

カセット1、2、3の紙づまりを除去する	11-29
右カバー2、3の紙づまりを除去する	11-30
原稿送り装置の紙づまりを除去する	11-33

12 付録 12-1

オプションについて	12-2
オプション構成	12-2
オプションのアプリケーションについて	12-9
アプリケーションの使用を開始する	12-10
アプリケーションの詳細を確認する	12-10
文字の入力	12-12
入力方式を選択する	12-12
入力文字を選択する	12-13
入力画面の見かた	12-14
かな入力とローマ字入力での文字変換	12-18
区点コードでの文字変換	12-21
用紙について	12-23
用紙の基本仕様	12-23
適正な用紙の選択	12-24
特殊な用紙	12-27
仕様	12-32
本体	12-33
コピー機能	12-34
プリンター機能	12-35
スキャナー機能	12-35
原稿送り装置	12-36
ペーパーフィーダー(550枚)	12-36
ペーパーフィーダー(550枚×2)	12-36
区点コード表	12-37
製品の保守サービスについて	12-43
補修用性能部品について	12-44
廃棄について	12-45
使用済み製品の廃棄	12-45
初期化について	12-45
トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄	12-45
用語集	12-46
索引	索引-1

メニューマップ

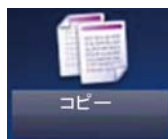
タッチパネルに表示される機能の一覧です。お客様の設定状況によっては、表示されない場合があります。また、参照先のタイトルは機能の名称と異なる場合があります。

[コピー]

F1 コピー



または



機能キー	説明	参照ページ
用紙選択	使用したいサイズ of 用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。	6-5
縮小/拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	6-18
濃度	濃度を調整します。	6-12
両面/分割	用紙の両面に印刷できます。また、分割は、両面原稿を1ページずつ片面印刷します。	6-23
ページ集約	2枚または4枚 of 原稿を、1枚に集約して印刷します。	6-20
ソート/仕分け	用紙を部数ごと、またはページごとに仕分けします。	6-10

機能一覧	説明	参照ページ
IDカードコピー(身分証)	免許証や保険証などのIDカードをコピーしたいときに使用します。カードの表と裏を順番に読み込むと、1枚 of 用紙に両面を集約してコピーされます。	6-3
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	6-4
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。	6-9
原稿サイズ混載	原稿送り装置を使用し、サイズの異なる原稿を一度に読み込みます。	6-6
排紙先	排紙先のトレイを指定します。	6-11
原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	6-13
エコプリント	エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。	6-14
シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	6-16
コントラスト	画像の濃淡のコントラストを調整します。	6-16
地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色を取り除きます。	6-17
うら写り防止	うすい紙 of 原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まないように画質を調整します。	6-18
白紙ページスキップ	読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。	6-28
とじしろ	とじしろ(余白)を作ります。とじしろの幅を設定したり、うら面のとじしろを設定したりすることもできます。	6-22

機能一覧	説明	参照ページ
原稿領域外の消去	原稿送り装置を開けたまま原稿を読み込んだときに原稿外の部分にできる影を消去します。	6-42
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	6-25
自動画像回転	セットした原稿と給紙元の用紙が同じサイズで向きが異なる場合、画像を90度回転してコピーします。	6-26
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-26
文書名入力	文書に名前を付けます。	6-28
優先印刷	印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。	6-28

[送信]

F2 送信



または

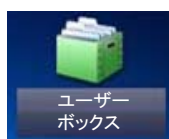


機能キー	説明	参照ページ
ワンタッチキー	ワンタッチキーに宛先(個人またはグループ)を登録することができます。	3-42
アドレス帳	アドレス帳に登録されている宛先を選択します。	5-29
拡張アドレス帳	拡張アドレス帳に登録されている宛先を選択します。	Command Center RX操作手順書
メール	スキャンした文書をメールで送信します。	5-15
フォルダー	読み取った原稿のイメージを任意のパソコンの共有フォルダーに保存したり(SMB送信)、またはFTPサーバーのフォルダーに保存します(FTP送信)。	5-16 5-19
ファクス	スキャンした文書をファクスで送信します。	ファクス使用説明書
ファクスサーバー	スキャンした文書をファクスサーバーを経由して送信します。	ファクス使用説明書
WSDスキャン	読み取った原稿のイメージを、WSD対応のパソコンにファイルとして保存します(WSDスキャン)。	5-23

機能一覧	説明	参照ページ
カラー選択	カラーのモードを選択します。	6-15
ファイル形式	画像ファイルのフォーマットを設定します。画質のレベルを調整することもできます。	6-32
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	6-4
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。	6-9
原稿サイズ混載	原稿送り装置を使用し、サイズの異なる原稿を一度に読み込みます。	6-6

機能一覧	説明	参照ページ
両面/見開き原稿	原稿に合わせて、原稿の種類と同じ方向を選択します。	6-30
送信サイズ	送信する画像のサイズを選択します。	6-31
ファイル分割	読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファイルを作成します。	6-37
読み込み解像度	画像の細かさを設定します。	6-37
濃度	濃度を9段階から調整します。	6-12
原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	6-13
シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	6-16
コントラスト	画像の濃淡のコントラストを調整します。	6-16
地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。	6-17
うら写り防止	うすい紙の原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まないように画質を調整します。	6-18
白紙ページスキップ	読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。	6-28
ファクス送信解像度	ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。	ファクス使用 説明書
縮小/拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	6-18
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	6-25
文書名入力	文書に名前を付けます。	6-28
メール件名/本文	メールで文書を送信する際、件名と本文を付けます。	6-38
長尺原稿	原稿送り装置を使用し、長尺サイズの原稿を読み込みます。	6-41
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-26
FTP暗号送信	FTPで送信する際に画像を暗号化します。	6-38
ファクスタイマー送信	送信する時刻を指定します。	ファクス使用 説明書
ファクスダイレクト送信	原稿をメモリーに読み込まずに直接送信します。	ファクス使用 説明書
ファクスポーリング受信	相手先にダイヤルし、あらかじめ保存されたポーリング送信用の文書を受け取ります。	ファクス使用 説明書

[ユーザーボックス] (文書保存、印刷、送信)



[文書保存]

機能キー	説明	参照ページ
両面/見開き原稿	原稿に合わせて、原稿の種類と同じ方向を選択します。	6-30
読み込み解像度	画像の細かさを設定します。	6-37
濃度	濃度を9段階から調整します。	6-12
文書名入力	文書に名前を付けます。	6-28
カラー選択	カラーのモードを選択します。	6-15

機能一覧	説明	参照ページ
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	6-4
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込みため、原稿の上部の向きを指示します。	6-9
原稿サイズ混載	原稿送り装置を使用し、サイズの異なる原稿を一度に読み込みます。	6-6
保存サイズ	保存する画像のサイズを選択します。	6-40
原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	6-13
シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	6-16
コントラスト	画像の濃淡のコントラストを調整します。	6-16
地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。	6-17
うら写り防止	うすい紙の原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まないように画質を調整します。	6-18
白紙ページスキップ	読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。	6-28
縮小/拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	6-18
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	6-25
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-26

[印刷]

機能キー	説明	参照ページ
用紙選択	使用したいサイズ of 用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。	6-5
ソート/仕分け	用紙を部数ごと、またはページごとに仕分けします。	6-10
両面	文書を片面に印刷したり両面に印刷したりします。	6-30
印刷後削除	印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。	3-55

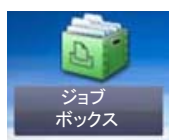
機能一覧	説明	参照ページ
排紙先	排出先のトレイを指定します。	6-11
とじしろ	とじしろ(余白)を作ります。とじしろの幅を設定したり、うら面のとじしろを設定したりすることもできます。	6-22
優先印刷	印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。	6-28
文書名入力	文書に名前を付けます。	6-28
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-26
エコプリント	エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。	6-14

[送信]

機能キー	説明	参照ページ
ワンタッチキー	ワンタッチキーに宛先(個人またはグループ)を登録することができます。	3-42
アドレス帳	アドレス帳に登録されている宛先を選択します。	5-29
拡張アドレス帳	拡張アドレス帳に登録されている宛先を選択します。	Command Center RX操作手順書
メール	スキャンした文書をメールで送信します。	5-15
フォルダー	読み取った原稿のイメージを任意のパソコンの共有フォルダーに保存したり(SMB送信)、またはFTPサーバーのフォルダーに保存します(FTP送信)。	5-16 5-19
ファクス	スキャンした文書をファクスで送信します。	ファクス使用説明書
ファクスサーバー	スキャンした文書をファクスサーバーを経由して送信します。	ファクス使用説明書

機能一覧	説明	参照ページ
ファイル形式	画像ファイルのフォーマットを設定します。画質のレベルを調整することもできます。	6-32
ファイル分割	読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファイルを作成して印刷します。	6-37
解像度	画像の細かさを設定します。	6-37
ファクス送信解像度	ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。	ファクス使用説明書
文書名入力	文書に名前を付けます。	6-28
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-26
メール件名/本文	メールで文書を送信する際、件名と本文を付けます。	6-38
FTP暗号送信	FTPで送信する際に画像を暗号化します。	6-38
ファクスタイマー送信	送信する時刻を指定します。	ファクス使用説明書
送信後削除	送信が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。	6-39

[ジョブボックス]



機能キー	説明	参照ページ
プライベートプリント/ジョブ保留	本機を操作するまでジョブを印刷されないように指定することができます(プライベートプリント)。 アプリケーションから送られてきた印刷データを本機に保存します(ジョブ保留)。	5-43 、 5-44
クイックコピー/試し刷り後保留	一度印刷した文書を追加印刷できます(クイックコピー)。 複数部数印刷する際に、1部だけ印刷して残りの印刷を保留にできます(試し刷り後保留)。	5-45 、 5-46

[外部メモリー](文書保存、印刷)



[文書保存]

機能キー	説明	参照ページ
ファイル形式	画像ファイルのフォーマットを設定します。画質のレベルを調整することもできます。	6-32
両面/見開き原稿	原稿に合わせて、原稿の種類と同じ方向を選択します。	6-30
読み込み解像度	画像の細かさを設定します。	6-37
濃度	濃度を9段階から調整します。	6-12
文書名入力	文書に名前を付けます。	6-28
カラー選択	カラーのモードを選択します。	6-15

機能一覧	説明	参照ページ
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	6-4
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。	6-9
原稿サイズ混載	原稿送り装置を使用し、サイズの異なる原稿を一度に読み込みます。	6-6
保存サイズ	保存する画像のサイズを選択します。	6-40

機能一覧	説明	参照ページ
原稿の画質	原稿の画質に合わせて、画像を処理します。	6-13
シャープネス	画像の輪郭の強弱を調整します。	6-16
コントラスト	画像の濃淡のコントラストを調整します。	6-16
地色調整	新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。	6-17
うら写り防止	うすい紙の原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まないように画質を調整します。	6-18
白紙ページスキップ	読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。	6-28
縮小/拡大	倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。	6-18
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	6-25
長尺原稿	原稿送り装置を使用し、長尺サイズ of 原稿を読み込みます。	6-41
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-26
ファイル分割	読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファイルを作成します。	6-37

[印刷]

機能キー	説明	参照ページ
用紙選択	使用したいサイズの用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。	6-5
ソート/仕分け	用紙を部数ごと、またはページごとに仕分けします。	6-10
両面	文書を片面に印刷したり両面に印刷したりします。	6-25

機能一覧	説明	参照ページ
排紙先	排紙先のトレイを指定します。	6-11
とじしろ	とじしろ(余白)を作ります。とじしろの幅を設定したり、うら面のとじしろを設定したりすることもできます。	6-22
エコプリント	エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。	6-14
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	6-26
文書名入力	文書に名前を付けます。	6-28
優先印刷	印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。	6-28
暗号化PDFパスワード	あらかじめ指定したパスワードを入力し、PDFを印刷します。	6-41
JPEG/TIFF印刷方法	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像サイズを設定します。	6-42
XPS印刷サイズ調整	XPSファイルを用紙サイズに合わせて印刷します。	6-42

[ファクス]

F3 ファクス

または



機能キー	説明	参照ページ
オンフック	ハンドセットを使用せずに、本体のスピーカーから音声を出す場合に選択します。	ファクス使用 説明書
ダイレクト	原稿をメモリーに読み込まずに直接送信します。	
再宛先	直前にダイヤルした相手先を宛先リストに呼び出すことができます。	
新規宛先	テンキーで相手先のファクス番号を入力します。	
アドレス帳	アドレス帳に登録されている宛先を選択します。	
ワンタッチキー	ワンタッチキーで宛先を選択できます。	
拡張アドレス帳	拡張アドレス帳に登録されている宛先を選択します。	Command Center RX操 作手順書

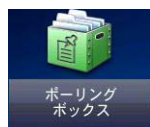
機能一覧	説明	参照ページ
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	ファクス使用 説明書
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込みため、原稿の上部の向きを指示します。	
両面/見開き原稿	原稿に合わせて、原稿の種類と同じ方向を選択します。	
ファクス送信解像度	ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。	
濃度	濃度を9段階から調整します。	
原稿の画質	原稿の種類に合わせて、画質を選択します。	
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	
文書名入力	文書に名前を付けます。	
長尺原稿	原稿送り装置を使用し、長尺サイズの原稿を読み込みます。	
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	
ファクスタイマー送信	送信する時刻を指定します。	
ファクスダイレクト送信	原稿をメモリーに読み込まずに直接送信します。	
ファクスポーリング受信	相手先にダイヤルし、あらかじめ保存されたポーリング送信用の文書を受け取ります。	

[Fコードボックス]



機能キー	説明	参照ページ
Fコードボックス	Fコードボックスを操作します。	ファクス使用 説明書

[ポーリングボックス]



機能キー	説明	参照ページ
ポーリングボ ックス	ポーリングボックスを操作します。	ファクス使用 説明書

[ファクスメモリー受信ボックス]



機能キー	説明	参照ページ
ファクスメモリー受信ボックス	ファクスメモリー受信ボックスを操作します。	ファクス使用説明書

[状況確認/ジョブ中止]

状況確認/
ジョブ中止



または



機能キー	説明	参照ページ
印刷ジョブ状況	印刷ジョブ状況画面を表示します。	7-3
送信ジョブ状況	送信ジョブ状況画面を表示します。	7-4
保存ジョブ状況	保存ジョブ状況画面を表示します。	7-5
予約ジョブ	タイマー送信で待機中のファクス送信ジョブを確認できます。	7-5
印刷ジョブ履歴	印刷ジョブ履歴画面を表示します。	7-7
送信ジョブ履歴	送信ジョブ履歴画面を表示します。	7-7
保存ジョブ履歴	保存ジョブ履歴画面を表示します。	7-7
ファクスジョブ履歴	ファクスの送/受信履歴画面を表示します。	ファクス使用説明書
スキャナー	原稿読み込み状態やエラー情報を表示します。	7-10
プリンター	エラー情報や、待機中、印刷中などの状態を表示します。	7-10
ファクスメモリー受信ボックス	ファクスメモリー受信ボックスに関する設定を行います。	ファクス使用説明書
ファクス	送/受信中やダイヤル中などの情報を表示します。また、送/受信中のファクスを中止することができます。	ファクス使用説明書
トナー状況	トナー残量を段階的に表示します。また、廃棄トナーボックスの状態も確認できます。	7-12
用紙状況	給紙元の用紙のサイズと向き、種類、残量を確認できます。	7-12
外部メモリー	本機に接続したUSBメモリーの使用量/全容量を表示します。	7-10

機能キー	説明	参照ページ
USBキーボード	USBキーボードの状態を表示します。	7-11
Bluetoothキーボード	Bluetoothキーボードの状態を表示します。	—
ネットワーク接続状態	ネットワークの接続状態を表示します。	7-11
オプションネットワーク接続状態	オプションのネットワークインターフェイスキットの接続状態を表示します。	7-11
Wi-Fi Direct	Wi-Fi Directの接続状態を表示します。	7-11
ワイヤレスネットワーク	オプションのワイヤレスネットワークインターフェイスキットの接続状態を表示します。	7-11
Wi-Fi	Wi-Fiの接続状態を表示します。	7-11
SSD	オプションのSSDの状態を表示します。	7-11
NFC	NFCの接続状態を表示します。	7-11

[システムメニュー]

システムメニュー/
カウンター



または



簡単セットアップウィザード

システムメニューの項目	説明	参照ページ
ファクスのセットアップ	ウィザード形式でファクスの設定を行います。	ファクス使用 説明書
省エネのセットアップ	ウィザード形式で省エネの設定を行います。	2-24
ネットワークのセットアップ	ウィザード形式でネットワークの設定を行います。	2-24

言語選択

システムメニューの項目	説明	参照ページ
言語選択	タッチパネルに表示される言語を選択します。	8-4

レポート

システムメニューの項目			説明	参照ページ
レポート 本機の設定 や状態、履 歴を確認す るための各 種レポート を印刷した り、印刷の しかたを設 定すること ができます。	レポート印 刷	ステータス ページ	現在の設定内容、使用可能メモリー、装着されているオプション機器などの情報が確認できます。	8-5
		フォントリ スト	本機に搭載されているフォントをサンプルで確認できます。	8-5
		ネットワー クステータ ス	ネットワークインターフェイスのファームウェアバージョンやネットワークアドレス、ネットワークプロトコルなどの情報が確認できます。	8-5
		サービスス テータス ページ	ステータスページよりも詳細な情報が確認できます。サービス担当者がメンテナンスの際に印刷するのが主な用途です。	8-5
		部門管理レ ポート	部門管理レポートを印刷します。	8-5
		Fコード ボックスリ スト	Fコードボックスのリストを印刷します。	ファクス使用 説明書
		ファクスリ スト(見出し)	アドレス帳に登録している宛先のリストを見出し順に印刷できます。	ファクス使用 説明書
		ファクスリ スト(番号)	アドレス帳に登録している宛先のリストをアドレス番号順に印刷できます。	ファクス使用 説明書
		ファクス発 信レポート	最新の発信の情報をレポートにして印刷します。	ファクス使用 説明書
		ファクス受 信レポート	最新の受信の情報をレポートにして印刷します。	ファクス使用 説明書
		オプション ネットワー クステータ ス	オプションネットワークステータスページを印刷します。	8-6
	管理レポート 設定	ファクス発 信レポート	自動的に発信管理レポートを印刷します。	ファクス使用 説明書
		ファクス着 信レポート	自動的に着信管理レポートを印刷します。	ファクス使用 説明書
	結果通知設 定	送信結果レ ポート	送信が終了したときに、送信結果レポートを自動的に印刷します。	8-6
		ファクス受 信結果通知	ファクスを発信したときに、発信結果レポートを印刷できます。	ファクス使用 説明書
		終了通知設 定	ジョブ終了通知に画像を添付することができます。	ファクス使用 説明書
	履歴送信	履歴送信	設定されている宛先にジョブ履歴を手動で送信します。	8-7
		自動送信	ジョブ履歴が設定した件数になると、設定されている宛先にジョブ履歴を自動的に送信します。	8-7
		宛先	ジョブ履歴を送信する送信先を設定します。設定できるアドレスはメールアドレスのみです。	8-7
		ジョブ履歴 件名	ジョブ履歴をメールで送信するときに、自動的に入力される件名を設定します。	8-7
		個人情報	履歴に個人情報を含めるかどうかを設定します。	8-7

カウンター

システムメニューの項目		説明	参照ページ
カウンター	印刷ページ数	印刷枚数、印刷カパレッジを参照します。	3-18
	読み込みページ数	読み込み枚数を参照します。	3-18

ユーザー情報

システムメニューの項目		説明	参照ページ
ユーザー情報		ユーザー情報を変更できます。変更できる内容は、ログインしているユーザーの権限によって異なります。	9-9

カセット/手差しトレイ設定

システムメニューの項目		説明	参照ページ
カセット1(～3)		カセット1(～3)で使用する用紙の設定を行います。	8-9
手差しトレイ		手差しトレイで使用する用紙の設定を行います。	8-10

共通設定

システムメニューの項目		説明	参照ページ
初期画面		電源を入れて最初に表示される画面(初期画面)を選択します。	8-11
音設定	ブザー	本機の操作中に鳴る報知音について設定します。	8-11
	ファクススピーカー音量	本機のスピーカー音のボリュームを調整できます。	ファクス使用 説明書
	ファクスモニター音量	本機のモニター音のボリュームを調整できます。	
原稿設定	カスタム原稿サイズ登録	よく使用する不定形の原稿サイズを、カスタムサイズとして登録します。	8-12
	原稿自動検知	自動で検知する原稿サイズを設定をします。	8-12
用紙設定	カスタム用紙サイズ登録	よく使用する不定形の用紙サイズを、カスタムサイズとして登録します。	8-13
	用紙種類の設定	用紙種類に対して、重さ(用紙の厚さ)を設定します。	8-14
	優先給紙元	優先して使用する給紙元を設定します。	8-13
	用紙選択	原稿をセットしたときの用紙の選択方法を設定します。	8-13
	自動用紙の用紙種類(白黒)	用紙選択で自動が選択されているときに、自動で選択される用紙を用紙の種類で限定することができます。	8-13
	特定用紙種類の動作設定	パンチ済み紙、プレプリント、レターヘッドなどの特定用紙に印刷するときに仕上がり向きを揃えるかどうかを設定します。	8-14
	用紙セット時の確認	用紙をセットしたときに、用紙設定の確認画面を表示するかどうかを設定します。	8-14

システムメニューの項目		説明	参照ページ
機能初期値	ファイル形式	ファイル形式の初期値を設定します。	8-16
	原稿セット向き(コピー)	原稿セット向きの初期値を設定します。	8-16
	原稿セット向き(送信/保存)		8-16
	ソート/仕分け	ソート/仕分けの初期値を設定します。	8-16
	ファイル分割	ファイル分割の初期値を設定します。	8-16
	読み込み解像度	原稿を読み込むときの解像度の初期値を設定します。	8-16
	カラー選択	カラーモードの初期値を設定します。	8-16
	原稿の画質(コピー)	原稿の画質(コピー時)の初期値を設定します。	8-16
	原稿の画質(送信/保存)	原稿の画質(送信/保存時)の初期値を設定します。	8-16
	地色調整(コピー)	地色調整の初期値を設定します。	8-16
	地色調整(送信/保存)		8-16
	エコプリント	エコプリントの初期値を設定します。	8-16
	うら写り防止(コピー)	うら写り防止の初期値を設定します。	8-16
	うら写り防止(送信/保存)		8-16
	白紙ページスキップ(コピー)	白紙ページスキップの初期状態を設定します。	8-16
	白紙ページスキップ(送信/保存)		8-16
	ファクス送信解像度	原稿を読み込むときの解像度の初期値を設定します。	ファクス使用 説明書
	縮小/拡大	縮小/拡大の初期値を設定します。	6-18
	とじしろ	とじしろ幅の初期値を設定します。	6-22
	原稿領域外の消去	原稿領域外の消去の初期値を設定します。	8-17
	連続読み込み(コピー)	連続読み込みの初期値を設定します。	6-25
	連続読み込み(ファクス)	連続読み込みの初期値を設定します。	ファクス使用 説明書
	連続読み込み(送信/保存)	連続読み込みの初期値を設定します。	6-25
	自動画像回転	自動回転コピーの初期値を設定します。	8-23
	文書名入力	ジョブに名前をつけるときに、自動的に入力される名前(名前の初期値)を設定します。	6-28
	メール件名/本文	読み込んだ原稿をメールで送信するときに、自動的に入力される件名と本文(件名と本文の初期値)を設定します。	6-38
	FTP暗号送信	送信時の文書の暗号化の初期値を設定します。	6-38
	JPEG/TIFF印刷方法	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像のサイズ(解像度)の初期値を設定します。	6-42
	XPS印刷サイズ調整	XPS印刷サイズ調整の初期値を設定します。	6-42

システムメニューの項目			説明	参照ページ
機能初期値	詳細設定	画質	PDFファイル、TIFFファイル、JPEGファイル、XPSファイルの画質の初期値を設定します。	8-18
		PDF/A	PDF/Aの初期状態を設定します。	8-18
		高圧縮PDF画質	ファイル形式が高圧縮PDFのときの、画質の初期値を設定します。	8-18
		OCR文字認識	OCR文字認識の初期状態を設定します。	8-18
		OCRの言語	抽出する文字の言語の初期状態を設定します。	8-18
		OCR出力形式	OCR出力形式の初期状態を設定します。	8-18
		白紙検知対象(コピー)	白紙検知対象(コピー)の初期値を設定します。	8-18
		白紙検知対象(送信/保存)	白紙検知対象(送信/保存)の初期値を設定します。	8-18
排紙先			コピー、文書ボックスからの印刷、パソコンからの印刷、およびファクス受信データの印刷について、それぞれ別の排紙先を指定することができます。	8-18
部数制限			1回でコピーできる部数を制限することができます。	8-18
エラー処理設定	両面エラー		選択した用紙サイズまたは用紙種類で、両面印刷できない場合の処理方法を設定します。	8-19
	後処理エラー		選択した用紙サイズまたは用紙種類で後処理できない場合の処理方法を設定します。	8-19
	用紙ミスマッチエラー		カセットまたは手差しトレイを指定してパソコンから印刷するとき、選択した用紙サイズまたは用紙種類と選択した給紙元にセットされている用紙サイズまたは用紙種類が一致しない場合の処理方法を設定します。	8-19
	給紙時のサイズエラー		カセットに設定している用紙サイズと実際に給紙した用紙サイズが異なっていることを検知した場合の処理方法を設定します。	8-19
入力長さ単位			用紙サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから選択できます。	8-19
トナー残量少の通知			トナーが残り少なくなったことを通知するトナー残量を設定します。	8-19
キーボード入力方式			名前などを入力するときに表示されるキーボードの文字入力方式の初期値を設定します。	8-20
USBキーボードタイプ			使用したいUSBキーボードタイプを設定します。	8-20
ジョブごとの文書仕分け			文書をジョブごとに仕分けするかどうかを設定します。	8-20
状況/履歴の表示			状況／履歴の表示を設定します。	8-20
機能キー登録			操作パネルの機能キーに関する設定を行います。	8-20
電源オフ時の確認			電源オフ時に確認メッセージを表示するかどうか設定します。	8-21
IDカードコピー(身分証)レイアウト			IDカード(身分証)コピー時に読み込んだ画像の印刷位置を設定します。	8-21

ホーム

システムメニューの項目	説明	参照ページ
デスクトップの設定	デスクトップに表示する機能アイコンを設定します。	3-8
タスクバーの設定 ^{*1} またはタスク画面の設定 ^{*2}	タスクバーまたはタスク画面に表示するタスクアイコンを設定します。	3-8
壁紙	ホーム画面の背景を設定します。	3-8

*1 TASKalfa 2520i

*2 TASKalfa 2510i

コピー

システムメニューの項目	説明	参照ページ
自動用紙動作設定	用紙選択が[自動]に設定されている場合に、縮小/拡大の倍率を変更したときの、用紙サイズの選択方法を設定します。	8-23
自動倍率優先	原稿と違うサイズの給紙元を意図的に選択した場合に、自動的に倍率を変更(縮小/拡大)するかどうかを設定します。	8-23
小サイズ原稿の用紙サイズ	自動用紙設定で、検出できない小サイズの原稿を印刷する場合に、使用する用紙サイズを設定します。	—
原稿未検知時の原稿サイズ	原稿未検知時の原稿のサイズを設定します。	—
次の予約優先	印刷中に次のコピーを予約する際、基本の画面を表示させるかどうかを設定します。	8-23
自動画像回転の動作	自動画像回転の動作を設定します。	8-23

送信

システムメニューの項目	説明	参照ページ
送信前の宛先確認	送信するとき、[スタート]キーを押した後に宛先確認画面を表示するかどうかを設定します。	8-24
新規宛先の入力確認	新規で宛先を入力するとき、確認のために、宛先を再入力させるかどうかを設定します。	8-24
送信控え転送	転送	原稿を転送するかどうかを設定します。 8-24
	宛先	原稿を転送する宛先を設定します 8-24
カラーTIFF圧縮方式	本機で扱うTIFF画像の圧縮方式を設定します。	8-24
初期画面	[送信]キーを押すと、最初に表示される画面を設定します。	8-24
新規宛先の入力	宛先の直接入力を許可するかどうかを設定します。	8-24
再宛先	送信画面の[再宛先]の使用を許可するかどうかを設定します。	8-24
同報送信	同報送信の使用を許可するかどうかを設定します。	8-24
OCR文字認識動作	OCR文字認識動作を設定します。	8-24

文書ボックス

システムメニューの項目	説明	参照ページ
ユーザーボックス	ユーザーボックスに関する設定を行います。	8-25
Fコードボックス	Fコードボックスに関する設定を行います。	ファクス使用 説明書
ジョブボックス	クイックコピー ジョブ保持数	ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。 8-25
	一時保存文書の自動消去	ジョブボックスのプライベートプリント、クイックコピー、試し刷り後保留の一時保存文書を、保存した一定時間後に自動的に消去するように設定します。 8-25
	保存先	データを保存するメディアを選択することができます。 8-25

システムメニューの項目	説明	参照ページ
ポーリングボックス	ポーリングボックスに関する設定を行います。	ファクス使用 説明書
ファクスメモリー受信ボックス	ファクスメモリー受信ボックスに関する設定を行います。	ファクス使用 説明書

ファクス

システムメニューの項目	説明	参照ページ
ファクス	ファクス機能に関する設定を行います。	ファクス使用 説明書

アプリケーション

システムメニューの項目	説明	参照ページ
アプリケーション	アプリケーションに関する設定を行います。	8-26

インターネット

システムメニューの項目	説明	参照ページ
インターネット	アプリケーションからインターネットへ接続する時のプロキシーを設定します。	8-26

アドレス帳/ワンタッチ

システムメニューの項目			説明	参照ページ
アドレス帳/ ワンタッチ	アドレス帳		アドレス帳に関する設定を行います。	3-36
	ワンタッチキー		ワンタッチキーに関する設定を行います。	3-42
	アドレス帳 初期設定	表示順	アドレス帳を表示したときに、宛先を表示する順番の初期値を設定します。	8-27
		アドレス帳 の種類	アドレス帳を表示したときに、どの拡張アドレス帳を表示するかを設定します。	8-27
	編集制限	アドレス帳	アドレス帳の編集を制限します。	8-27
		ワンタッチ キー	ワンタッチキーの編集を制限します。	8-27
	リスト印刷		アドレス帳を登録している宛先のリストを出力できます。	ファクス使用 説明書

ユーザー/部門管理

システムメニューの項目				説明	参照ページ
ユーザー/部門管理	ユーザー管理設定	ユーザー管理		ユーザー管理を有効にします。	9-3
		ローカルユーザーリスト		新しいユーザーを登録します。	9-5
		ICカード設定	キーボードログイン	ICカード認証が有効の場合、キーボードによるログインを許可するかどうかを設定します。	9-27
			追加認証	ICカードで認証後、パスワードを入力させるかどうかを設定します。	9-27
		PINコード認証		PINコード認証を使用するかどうかを設定します。	9-28
		簡単ログイン設定	簡単ログイン	簡単ログイン設定を有効にするかどうかを設定します。	9-24
			簡単ログイン情報	簡単ログインを使用するユーザーを登録します。	9-24
		ローカルユーザー認可		ローカルユーザー認可を使用するかどうかを設定します。	9-16
		ユーザーアカウントロックアウト設定	ロックアウト	アカウントロックアウトポリシーを有効にするかどうかを設定します。	9-4
			ロックアウトポリシー	アカウントロックが適用される条件と適用する範囲を設定します。	9-4
			ロックされているユーザーのリスト	ロックされているユーザーがリストに表示されます。	9-4
		グループ認可設定	グループ認可	認証サーバーに登録されたグループごとに本機の使用制限を設定します。	9-17
			グループリスト	本機の使用を制限するグループを登録します。	9-17
		ゲスト認可設定	ゲスト認可	ユーザー管理が有効のとき、本機にログインできないゲストユーザーが使用できる機能を設定します。	9-19
			ゲストプロパティ	ゲストユーザーの情報と制限する機能を設定します。	9-20
		ネットワークユーザー情報の取得		LDAPサーバーからユーザー情報を取得するために必要な項目を設定します。	9-22

システムメニューの項目			説明	参照ページ	
ユーザー/部門管理	部門管理設定	部門管理	部門管理を有効にします。	9-31	
		部門管理方式	部門管理方式を設定します。	9-31	
		部門管理レポート印刷	全部門で集計された枚数を、部門レポートとして印刷できます。	9-45	
		全部門集計	全部門の使用枚数を集計します。	9-44	
		部門別集計	部門別の使用枚数を集計します。	9-44	
		部門リスト	部門の登録や編集、削除をしたりできます。	9-35	
		初期設定	制限超過時設定	制限枚数に達したときの処理を変更できます。	9-41
			コピー/プリンターカウント方式	コピーとプリンターの使用枚数を合計して管理するか、個別に管理するか選択することができます。	9-41
			カウンター制限初期値	新規部門登録を行う場合の、制限枚数の初期値を変更できます。	9-41
			用紙サイズ別集計	特定の用紙サイズの使用枚数を集計することができます。	9-41
	不明ユーザー設定		ログインユーザー名(ユーザーID)が不明なジョブ、またはログインユーザー名(ユーザーID)のないジョブがパソコンから届いた場合の処理方法を選択することができます。	9-48	

プリンター

システムメニューの項目		説明	参照ページ
プリンター	エミュレーション	本機を他のプリンター用のコマンドで動作させるためのエミュレーションを設定します。	8-29
	エコプリント	トナーの消費量を抑えることができます。	8-29
	A4/Letterの共通使用	サイズの近いA4サイズとLetterサイズを共通サイズとみなすかどうかを設定します。	8-29
	両面印刷	両面印刷時の、仕上りのとじ方向を設定します。	8-29
	部数	印刷部数を1～999部まで設定します。	8-18
	印刷向き	印刷方向を[たて]または[よこ]に設定します。	8-29
	ワイドA4	A4ページ1行に印刷できる文字数が80文字に増加します。	8-29
	改ページ待ち時間	設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページ（印刷）を行います。この待ち時間を設定します。	8-29
	改行(LF)動作	本機が改行コード（文字コード0AH）を受信したときの動作を設定します。	8-29
	復帰(CR)動作	本機が復帰コード（文字コード0DH）を受信したときの動作を設定します。	8-29
	ジョブ名	プリンタードライバで設定したジョブ名を使用するかどうかを設定します。	8-30
	ユーザー名	プリンタードライバで設定したユーザー名を使用するかどうかを設定します。	8-30
	印刷範囲補正	プリンターの印刷範囲を補正します。	8-30
	手差しトレイ優先	手差しトレイに用紙がセットされている場合に、手差しトレイから優先して給紙させることができます。	8-30
	給紙指定動作	パソコンからの印刷時、給紙元と用紙種類を選択している場合の給紙方法を設定します。	8-30
	自動カセット切り替え	印刷中に給紙カセットに用紙がなくなった場合の動作を選択します。	8-30
	解像度	印刷時の解像度を設定します。	8-31
	KIR	KIR（スムージング）の初期状態を設定します。	8-31
	印刷ジョブの終端	使用環境や他の理由で印刷ジョブが最後まで処理されなかった場合に、ジョブ終端とみなす条件を設定します。	8-31

システム/ネットワーク

システムメニューの項目			説明	参照ページ	
システム/ ネットワーク	ネットワー ク	ホスト名		本機のホスト名を確認します。	8-32
		Wi-FiDiredct設定		Wi-Fi Directを使用するかどうかを設定します。	8-32
		Wi-Fi設定		Wi-Fiを使用するかどうかを設定します。	8-33
		有線設定	TCP/IP設定	TCP/IPプロトコルを使用するかどうかを設定します。	8-38
			LANインターフェイス	使用するLANインターフェイスを設定します。	8-40
		Bonjour	プロトコル設定	Bonjourを使用するかどうかを設定します。	8-40
			利用可能なネットワーク(Wi-FiDirect)	Wi-FiDirectネットワークを有効にするかどうかを設定します。	8-40
			利用可能なネットワーク(Wi-Fi)	Wi-Fiネットワークを有効にするかどうかを設定します。	8-40
			利用可能なネットワーク(有線)	有線ネットワークで有効にするかどうかを設定します。	8-40
		IPSec		IPSecを使用するかどうかを設定します。	8-40
		プロトコル 設定	NetBEUI	NetBEUIを使用して文書を受信するかどうかを設定します。*1	8-41
				LPD	LPDを使用して文書を受信するかどうかを設定します。*1
			SMTP(メール送信)	SMTPを使用してメールを送信するかどうかを設定します。	8-41
			POP3(メール受信)	POP3を使用してメールを受信するかどうかを設定します。	8-41
			FTPクライアント(送信)	FTPを使用して文書を送信するかどうかを設定します。	8-41
			FTPサーバー(受信)	FTPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。*1	8-41
			SMBクライアント(送信)	SMBを使用して文書を送信するかどうかを設定します。	8-41
			WSDスキャン	WSDスキャンを使用するかどうかを設定します。*1	8-42
			WSD印刷	弊社が独自に提供するWebサービスを使用するかどうかを設定します。*1	8-42
			DSMスキャン	DSMスキャンを使用するかどうかを設定します。	8-42
			LDAP	LDAPを使用するかどうかを設定します。	8-42

システムメニューの項目				説明	参照ページ
システム/ ネットワーク	ネットワー ク	プロトコル 設定	SNMP	SNMPを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1}	8-42
			SNMPv3	SNMPv3を使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1}	8-42
			HTTP	HTTPを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1}	8-43
			HTTPS	HTTPSを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1*2}	8-43
			IPP	IPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1}	8-43
			IPP over SSL	SSLで保護されたIPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1*2}	8-44
			RAWPort	RawPortを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1}	8-44
			ThinPrint	ThinPrintを使用するかどうかを設定します。	8-45
			Enhanced WSD	弊社が独自に提供するWebサービスを使用するかどうかを設定します。 ^{*1}	8-46
			Enhanced WSD over SSL	弊社が独自に提供するWebサービスをSSL上で使用するかどうかを設定します。 ^{*1*2}	8-46
			eSCL	eSCLを使用してスキャンした文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1}	8-46
			eSCL over SSL	SSLで保護されたeSCLを使用してスキャンした文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1*2}	8-47
		セキュリ ティー設定	SSL	通信にSSLを使用するかどうかを設定します。 ^{*3}	8-47
			IPPセキュリ ティー	IPPセキュリティーレベルを設定します。 [SSL]の設定が[使用する]の場合、表示されます。 ^{*3}	8-47
			HTTPセキュ リティー	HTTPセキュリティーレベルを設定します。 [SSL]の設定が[使用する]の場合、表示されます。 ^{*3}	8-47
			SMTPセ キュリ ティー	SMTPサーバーがサポートしているセキュリティーに合わせて、通信プロトコルを選択してください。	8-47
			POP3セ キュリ ティー(ユー ザー1~3)	POP3サーバーがサポートしているセキュリティーに合わせて、通信プロトコルを選択してください。	8-47
		Ping	送信先のホスト名またはIPアドレスを入力することで、送信先と通信ができるかどうかを確認します。		8-48
		ネットワークの再起動	ネットワークを再起動します。		8-48
		プロキシ	アプリケーションからインターネットへ接続するときのプロキシを設定します。		8-48

システムメニューの項目			説明	参照ページ
システム/ ネットワーク	オプションネットワーク		オプションネットワークの設定を行います	8-48
	ワイヤレスネットワーク		ワイヤレスネットワークの設定を行います	8-50
	優先ネットワーク(クライアント)		本機がクライアント側として動作する送信機能や拡張アドレス帳の接続時に使用するネットワークインターフェイスを選択します。	8-51
	インターフェイスブロック設定	USBホスト	USBポートおよびUSBポート (USBホスト) をブロックして保護します。	8-51
		USBデバイス	USBインターフェイスコネクタ (USBデバイス) をブロックして保護します。	8-51
		USBストレージ	USBメモリースロットをブロックして保護します。	8-51
		オプションインターフェイス(スロット1,2)	オプションインターフェイスをブロックして保護します。	8-51
	Bluetooth設定		Bluetoothキーボードの設定を行います	8-52
	セキュリティレベル		セキュリティのレベルを設定します。	8-52
	再起動		電源スイッチを切ることなく、CPUを再起動することができます。	8-52
	データセキュリティ	SSDの初期化	オプションのSSDに保存されているデータを初期化します。	8-54
		セキュリティデータの完全消去	本機に登録されている次の情報を、工場出荷時に戻します。	8-54
	OCR辞書のインストール		OCR辞書をインストールします。	8-55
	オプション機能		本機にインストールされているアプリケーションの起動を行います。	8-55
	リモートサービス設定		リモートサービス設定を使用するかどうかを設定します。	8-56
	ファクスサーバー設定	ファクスサーバー	ファクスサーバーを使用するかどうかを設定します。	8-56
		アドレス設定	宛先に付けるプレフィックス、サフィックス及びドメインを設定します	8-56
ファイル形式		ファイルの初期値を設定します。	8-56	
アドレス帳初期設定		使用する拡張アドレス帳を設定します。	8-56	
NFC		NFCの設定を行います	8-56	

*1 デバイスまたはネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

*2 「セキュリティ設定」で「ネットワークの再起動」を[使用する]にしてください。

*3 設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

➡ [デバイス情報を変更する \(2-44\)](#)

➡ [\[TCP/IP設定\] \(8-38\)](#)

日付/タイマー/節電

システムメニューの項目		説明	参照ページ
日付/タイマー/節電	日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。	8-57
	日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。	8-57
	時差	GMT(世界標準時)からの時差を設定します。	8-57
	オートパネルリセット	一定時間操作がないと、設定内容を自動的にリセットして初期値に戻す機能を使用するかどうかを設定します。	8-57
	パネルリセット時間	オートパネルリセットを設定した場合、操作終了後リセットされるまでの時間を設定します。	8-57
	低電力モード時間	低電力モードに入る時間を設定します。	8-57
	スリープレベル	スリープレベルを設定します。	8-57
	スリープ時間	スリープに入る時間を設定します。	8-58
	節電復帰レベル	節電状態からの復帰方法を設定します。	8-58
	エラー後自動継続	エラー発生後一定時間が経過すると、自動で処理を再開する機能を使用するかどうかを設定します。	8-58
	エラー後自動継続時間	エラー後の自動継続を設定した場合、印刷を再開するまでの時間を設定します。	8-58
	割り込み解除時間	割り込みコピーモードにして何も操作しないときの、通常モードに戻るまでの時間を設定します。	8-58
	使用禁止時間	受信したファクスの制御を禁止する時間帯を設定します。	ファクス使用 説明書
	Pingタイムアウト時間	「システム/ネットワーク」の[Ping]を実行した場合、タイムアウトになるまでの時間を設定します。	8-58

調整/メンテナンス

システムメニューの項目			説明	参照ページ
調整/メンテナンス	濃度調整	コピー	コピーの濃度を全体的にこく、またはうすくします。	8-59
		送信/文書ボックス	送信および文書ボックスに保存するときの読み込み濃度を、全体的にこく、またはうすくします。	8-59
		ファクス	ファクス送信するときの読み込み濃度を全体的にこく、またはうすくします。	ファクス使用説明書
	シャープネス調整	コピー	コピー時の画像の輪郭や文字/細線を全体的に強く、または弱くします。	8-59
		送信/ボックス	送信および文書ボックスに保存するときの画像や文字/細線の輪郭を全体的に強く、または弱くします。	8-59
	コントラスト	コピー	コピーのコントラストを全体的に高く、または低くします。	8-59
		送信ボックス	送信および文書ボックスに保存するときのコントラストを全体的に高く、または低くします。	8-59
	地色調整	コピー(自動)	コピー時の地色調整を全体的にこく、またはうすくします。	8-59
		送信/ボックス(自動)	送信および文書ボックスに保存するときの地色調整を、全体的にこく、またはうすくします。	8-59
	トナー節約レベル(エコプリント)	コピー	コピー時のトナー節約レベル(エコプリント)の初期値を選択します。	8-59
		プリンター	プリンター時のトナー節約レベル(エコプリント)の初期値を選択します。	8-59
	印刷濃度		印刷の濃度を全体的にこく、またはうすくします。	8-59
	自動カラー判別基準		自動カラーモード時のカラー原稿と白黒原稿の判別レベルを調整できます。	8-59
	黒筋軽減処理		原稿送り装置を使用して読み込んだ画像にすじ(原稿にない線状の汚れ)が発生した場合、このすじを目立たないようにします。	8-60
	画面の明るさ		タッチパネルの明るさを調整します。	8-60
	階調調整		原稿と印刷された画像の色合いが異なる場合は、この機能を使って補正することができます。	8-60
	ドラムリフレッシュ1		印刷された画像の流れたようにじみや白点を改善します。	8-60
	ドラムリフレッシュ2		印刷された画像の白点を改善します。	8-60
	自動ドラムリフレッシュ		自動ドラムリフレッシュの実行時間を設定できます。	8-60

こんなことができます

本機は、コピー機能や印刷機能を標準で搭載し、スキャンした画像データをメールに添付して送信したり、ネットワーク上のパソコンに送信することができます。また、ファクス機能を使用することもできます。

インプット

原稿



電子データ



USBメモリー



ファクス
データ



セキュリティ

お客様のニーズに応じた
セキュリティレベルで本
機をご使用になれます。



アプリケーション

お客様のニーズに応じた機
能を拡張して使用できます。



パソコンからの設定機能



Command Center RX
パソコンの Web ブラウザー上
で本機の状態確認や各種設
定の変更などが可能です。



文書ボックス機能



データを本機内に保存したり、USB メモリーに保
存したり、さまざまに活用できる機能です。

アウトプット

コピー機能



プリンター機能



送信機能



USBメモリー



ファクス機能



参考

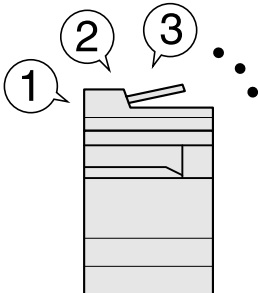
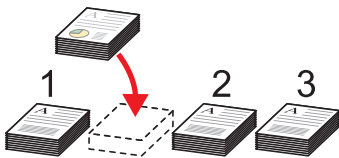
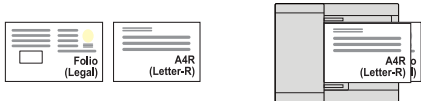
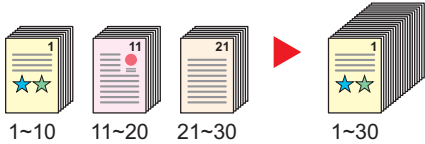
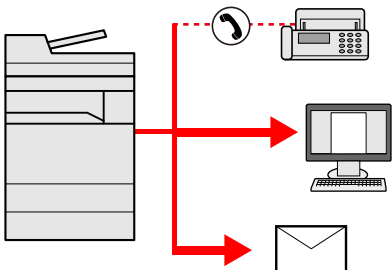
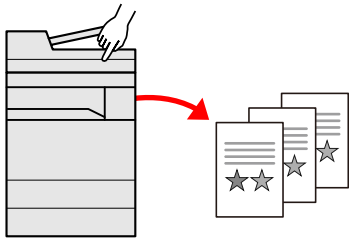
- 各機能については、次を参照してください。
 - セキュリティ: ➡ [セキュリティを強化したい \(xli\)](#)
 - アプリケーション: ➡ [アプリケーションとは \(2-54\)](#)
 - Command Center RX: ➡ [Command Center RXとは \(2-41\)](#)、Command Center RX操作手順書
 - 文書ボックス機能: ➡ [文書ボックスを使用するには \(3-53\)](#)
 - コピー機能: ➡ [コピーのしかた \(5-12\)](#)
 - プリンター機能: ➡ [パソコンからの印刷 \(4-5\)](#)
 - 送信機能: ➡ [基本的なスキャン\(送信\)のしかた \(5-14\)](#)
 - USBメモリー: ➡ [USBメモリーに文書を保存する \(Scan to USB\) \(5-50\)](#)
 - ファクス機能: ファクス使用説明書
- ご使用になる前に必ずお読みください。
 - ➡ [安全にお使いいただくための注意事項 \(1-1\)](#)
- ケーブルの接続やソフトウェアのインストールなど本機を使用するための準備については、次を参照してください。
 - ➡ [設置と機械のセットアップ \(2-1\)](#)
- 用紙のセット、共有フォルダーやアドレス帳の登録については、次を参照してください。
 - ➡ [本機を使用する準備 \(3-1\)](#)

本機の特長

本機はさまざまなべんりな機能を搭載しています。

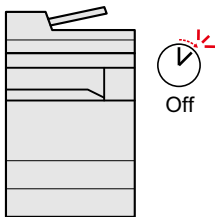
➡各機能の詳細設定 (6-1)

ここでは一例を紹介します。

効率よく作業したい		
よく使う機能をワンタッチで呼び出す (お気に入り)  よく使う機能をかんたんに設定したいときに便利です。 よく使う設定をお気に入りに登録すると、お気に入り番号を押すだけでその設定を呼び出すことができます。ワンタッチで呼び出せるので、別の人が代わりに作業することもできます。 ➡よく使う機能を呼び出すには(お気に入り) (3-46)	急ぎのコピーを優先する (割り込みコピー)  急ぎのコピーをしたいときに便利です。 他の人が大量にコピーしているときに急ぎでコピーしたい原稿があるとき、割り込んで、先にコピーすることができます。 ➡割り込みコピーをする (5-13)	サイズが違う原稿を一度に読み込む (原稿サイズ混載)  会議の資料を作るときなどに便利です。 サイズの異なる原稿を一緒にセットすることができるので、原稿サイズが変わるたびに、原稿をセットし直す必要がなくなります。 ➡[原稿サイズ混載] (6-6)
数回に分けて読み込んだ原稿をまとめて 処理する(連続読み込み)  枚数の多い資料を作るときなどに便利です。 原稿の量が多くて原稿送り装置に一度にセットできないようなとき、数回に分けて読み込み、一度にまとめて印刷や送信することができます。 ➡[連続読み込み] (6-25)	複数の送信方法で同時に送信する (複合送信)  送信方法が違う宛先に、かんたんに送りたいときに便利です。 メール送信やSMB送信、ファクス送信など、種類の違う宛先を指定して送信できます。 1回の操作で送信できるので、作業の効率がアップします。 ➡種類の異なる相手に送信する(複合送信) (5-25)	よく使う文書を本機に保存する (ユーザーボックス)  よく使う文書を本機に保存し、必要なときに操作パネルから印刷します。 ➡文書ボックスを使用するには (3-53)

経費を節約したい

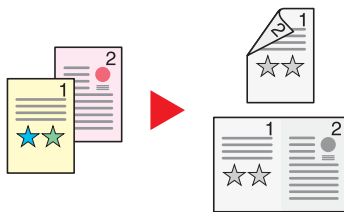
使いかたに合わせて節電する
(省エネ機能)



本機はスリープ状態になる省エネ機能を備えています。

➡ [省エネ機能を使う \(2-22\)](#)

用紙を節約して印刷する
(用紙節約印刷)



用紙の両面に印刷したり、2枚以上の複数枚の原稿を1枚の用紙にまとめて印刷したりすることができます。

➡ [\[ページ集約\] \(6-20\)](#)

➡ [\[両面/分割\] \(6-23\)](#)

白紙ページをスキップして印刷する
(白紙ページスキップ)



読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページをスキップし、白紙以外のページだけを印刷します。

➡ [\[白紙ページスキップ\] \(6-28\)](#)

資料をきれいに作りたい

印刷のうら写りを防止したい
(うら写り防止)

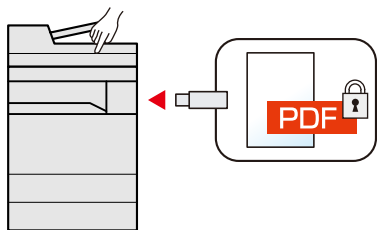


うすい紙の原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まないように画質を調整します。

➡ [\[うら写り防止\] \(6-18\)](#)

セキュリティを強化したい

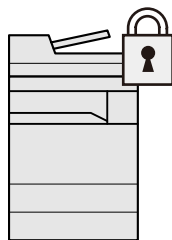
PDFにパスワードを設定する (PDF暗号化機能)



ファイル形式がPDFの時に、パスワードによるセキュリティを使って、文書の表示、印刷、編集に制限を追加することができます。

➡ [PDF暗号化機能 \(6-34\)](#)

SSD内のデータを守る(暗号化/上書き消去)



SSD内に残った不要なデータを自動的に上書き消去します。

データを暗号化してSSDに書き込み、外部への流出を防ぎます。

➡ [\[データセキュリティ\] \(8-54\)](#)

印刷した原稿の持ち去りを防ぐ (プライベートプリント)

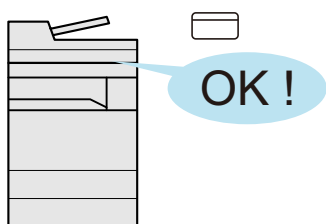


プリンターから印刷するデータを一時的に本体のボックスに保存し、本体側で印刷を実行することで、印刷した用紙の持ち去りを防ぐことができます。

➡ [プライベートプリントボックスからジョブを印刷する \(5-43\)](#)

セキュリティを強化したい

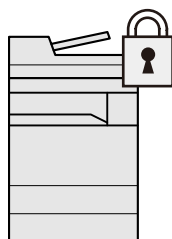
ICカードでログインする (ICカード認証)



ログインユーザー名やパスワードを入力することなく、IC カードをタッチするだけでログインできます。

➡ [ICカード認証キット\(B\)<ICカード認証キット> \(12-3\)](#)

セキュリティを強化する (管理者向け各種設定)

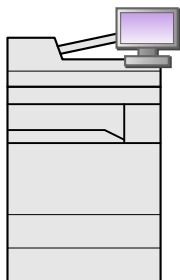


本機では、セキュリティを強化するために、管理者が設定できる機能をいろいろ用意しています。

➡ [管理者が行うセキュリティ強化 \(2-40\)](#)

もっと使いこなしたい

業務に合わせて機能を拡張する (アプリケーション)

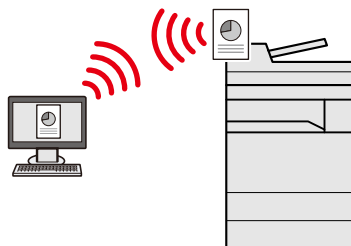


アプリケーションをインストールして機能を拡張することができます。

お客様の業務内容に合わせたスキャン機能や認証機能などのアプリケーションを提供することで、日常の業務をより効率的に行えるようサポートします。

➡ [アプリケーションをインストールする \(2-54\)](#)

ネットワーク配線を気にせずに設置したい(ワイヤレスネットワーク)



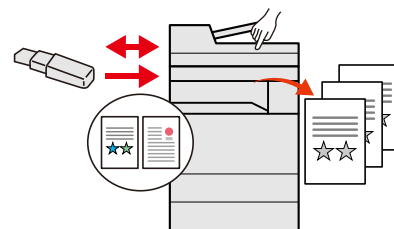
無線LAN環境があれば、ネットワーク配線を気にせずに本機を設置することができます。

➡ [ワイヤレスネットワークを設定する \(2-15\)](#)

➡ [Wi-Fi Directを設定する \(2-19\)](#)

➡ [NFCを設定する \(2-20\)](#)

USBメモリーを使う (USBメモリー)



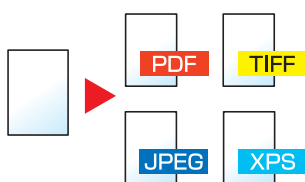
外出先で文書を印刷したり、パソコンが使えないときなどに便利です。

USBメモリーを本機に接続し、メモリー内に保存されている文書を印刷します。また、本機で読み込んだ文書をメモリーに保存することもできます。

➡ [USBメモリーから印刷する \(5-52\)](#)

もっと使いこなしたい

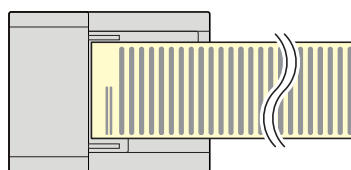
画像のファイル形式を設定する (ファイル形式)



画像を送信/保存する際、さまざまなファイル形式に対応しています。

➡ [\[ファイル形式\] \(6-32\)](#)

長尺原稿をスキャンする (長尺原稿)



契約書やデータログ等の長尺原稿をスキャンすることができます。

➡ [\[長尺原稿\] \(6-41\)](#)

リモートで本機を操作する (Command Center RX)



パソコンからリモートで、本機にアクセスし、データの印刷、送信、ダウンロードなどの操作ができます。

管理者は、本機の動作設定や管理設定を効率的に行うことができます。

➡ [Command Center RXとは \(2-41\)](#)

カラーや画質の機能について

本機はさまざまなカラーや画質の調整機能を搭載しています。読み込んだ原稿をお好みの色合いや画質に調整できます。

基本的なカラーモード

カラーモード	説明	参考画像		参照ページ
		設定前	設定後	
自動カラー	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別して読み込みます。			6-15
フルカラー	フルカラーで読み込みます。			6-15
グレースケール	グレースケールで読み込みます。			6-15
白黒	白黒で読み込みます。			6-15

送信/保存時で選択可能なモードの詳細については、次を参照してください。

➡ [\[カラー選択\] \(6-15\)](#)

画質やカラーを調整する

画質を変更したりカラー原稿の色合いを変更したりしたいときは、次の機能を設定します。

やりたいこと	参考画像		設定する機能	参照ページ
	設定前	設定後		
より細かく色を調整する				
濃度をこくしたい、またはうすくしたい。			濃度	6-12
より細かく画質を調整する				
画像の輪郭を強めたい、または弱めたい。 例: 輪郭を強める			シャープネス	6-16
画像の暗い部分と明るい部分の差を調整したい。			コントラスト	6-16
原稿の地色(文字や画像のない部分)をこくしたい、またはうすくしたい。 例: 地色をうすくする			地色調整	6-17
両面原稿のうら面が写ることを防ぎたい。			うら写り防止	6-18
スキャンする画像を調整する				
ファイルのサイズを小さく、かつ文字をくっきりみせたい。			ファイル形式 [高圧縮PDF]	6-32

付属マニュアルの紹介

本製品には、次のマニュアルが付属しています。必要に応じて参照してください。

マニュアルに記載されている内容は、機械性能改善のために予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

印刷物のマニュアル

本機をセットアップするには



セットアップガイド

本機で印刷できるまでのセットアップ手順について説明しています。

早く使ってみたい



クイックガイド

本機のかんたんな操作のしかたや、便利な使いかた、お手入れのしかた、トラブルでこまったときの対処方法などについて説明しています。

安全に使うためには



セーフティーガイド

本機の設置環境や使用上の注意事項について説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

セーフティーガイド (TASKalfa 2510i/TASKalfa 2520i)

本機の設置スペース、注意ラベルなどについて説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

DVD (Product Library) 収録のマニュアル(PDF)

本機を 使いこなすには	 使用説明書(本書)*1 用紙のセットやコピー、プリント、スキャンの操作方法、各種初期設定などについて説明しています。
ファクス機能 を使いこなすには	 ファクス使用説明書*1 ファクスの機能について説明しています。
ICカードを 使うには	 ICカード認証キット(B)使用説明書 ICカードで認証を行うための操作手順について説明しています。
セキュリティを 強化したい	 Data Security Kit (E)使用説明書 Data Security kit (E)の導入・運用手順とデータの上書き消去、暗号化について説明しています。
登録・設定を かんたんにしたい	 Command Center RX操作手順書 パソコンからWeb ブラウザーで本機にアクセスし、設定の変更や確認を行う方法について説明しています。
パソコンから 印刷したい	 プリンタードライバー操作手順書 プリンタードライバーをインストールする方法や、プリンター機能について説明しています。
PDFを 直接印刷したい	 KYOCERA Net Direct Print操作手順書 Adobe Acrobat/Reader を起動せずにPDF ファイルを印刷できる機能について説明しています。
ネットワーク上の本機 やプリンターの整理 をしたい	 KYOCERA Net Viewer操作手順書 KYOCERA Net Viewerで、ネットワーク上のプリントシステム(本機)を監視する方法について説明しています。
画像データを読み込 み、情報とともに保 存したい	 File Management Utility操作手順書 File Management Utilityを使って各種条件を設定し、スキャンした文書を送信して保存する方法について説明しています。
プリンタードライバ を介さずに印刷したい	 プリスクライブコマンドリファレンスマニュアル ネイティブプリンター言語(プリスクライブコマンド)について説明しています。 プリスクライブコマンドテクニカルリファレンス プリスクライブコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに説明しています。

*1 弊社のホームページからダウンロードすることができます。
(<http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/manual/>)

DVDのマニュアルをご覧になるためにはAdobe Readerの以下のバージョンをインストールする必要があります。

バージョン8.0以上

使用説明書(本書)について

本書の構成について

本説明書は、次の章で構成されています。

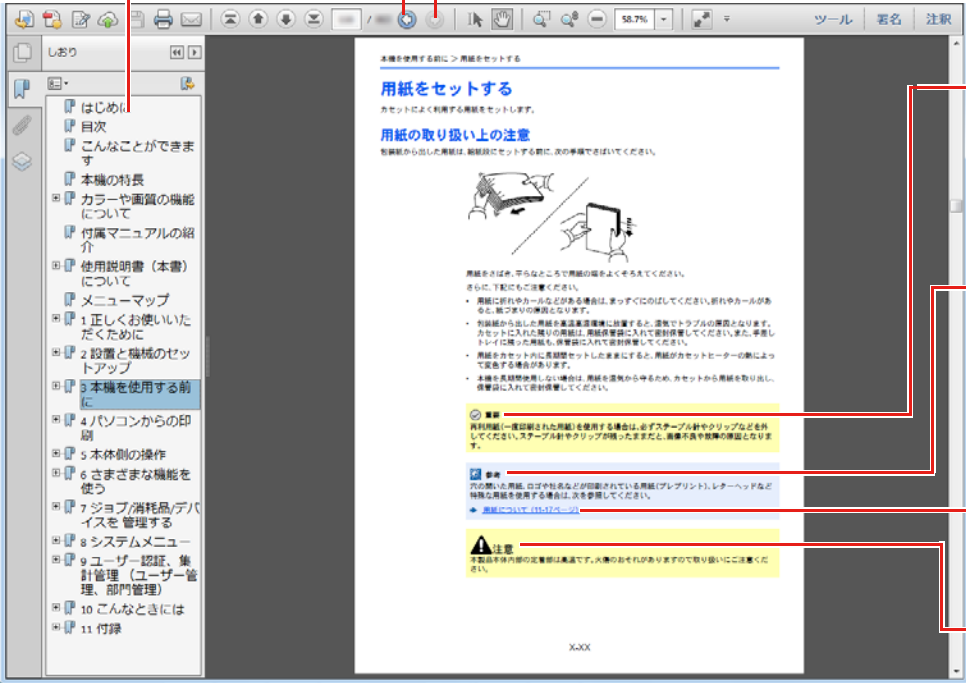
章		内容
1	安全にお使いいただくための注意事項	本機の使用に関する注意事項や商標について説明しています。
2	設置と機械のセットアップ	各部の名称、ケーブルの接続、ソフトウェアのインストールなど、本機の管理者用の情報について説明しています。
3	本機を使用する準備	操作パネルの使い方、ログイン・ログアウトの方法、用紙のセット、アドレス帳の登録など、ご使用前に必要な準備について説明しています。
4	パソコン側の操作	本機をプリンターとして使用する際に利用できる機能を説明しています。
5	本体側の操作	原稿のセット方法や、コピー、送信、文書ボックスの基本的な使いかたを説明しています。
6	各機能の詳細設定	本機に用意されている便利な機能を説明しています。
7	ジョブ/消耗品/デバイスの管理	ジョブの状況確認や履歴の確認、実行中/待機中のジョブをキャンセルする方法について説明しています。また、トナー/用紙の残量やデバイスの状態などの確認や、ファクスの通信を中止する方法についても説明しています。
8	本機の初期設定[システムメニュー]	本機の動作全般に関わるシステムメニューについて説明しています。
9	ユーザー認証、集計管理(ユーザー管理、部門管理)	ユーザー管理、部門管理について説明しています。
10	メンテナンス	日常のお手入れ方法や消耗品の交換/補充の方法を説明しています。
11	トラブルシューティング	エラーが表示されたとき、紙づまりなど、トラブルが発生した場合の対処方法を説明しています。
12	付録	本製品で利用できる便利なオプション機器の紹介や、用紙についての説明や用語集を収録しています。また、文字の入力方法や本機の仕様などについても説明しています。

本書の読みかた

ここでは、Adobe Reader XIを例に説明しています。

しおり(目次)をクリックすると
該当ページにジャンプします。

クリックすると、現在の表示内容から、直前に表示してい
た内容に戻ります。ジャンプ先から元のページに戻る
ときに便利です。



誤った操作によるトラブルを
防ぐために、操作上、必ず守
っていただきたい重要事項
や制限事項を示しています。

補足説明や操作の参考とな
る情報です。

参照
下線のついた文字をクリック
すると、参照ページへジャン
プします。

注意
この表示を無視して誤った取
り扱いをすると、人が傷害を
負う可能性が想定される内
容および物的損害のみの発
生が想定される内容を示し
ています。



参考

Adobe Readerの表示は、お使いの状況によって異なります。しおり(目次)やツールが表示されていない場合は、Adobe Readerのヘルプを参照してください。

本書中では、説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明
[文字]	キーおよびボタンを示します。
「標準」	メッセージおよび設定項目名を示します。

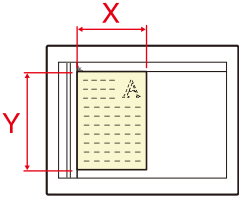
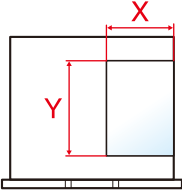
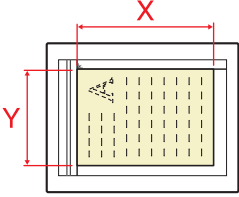
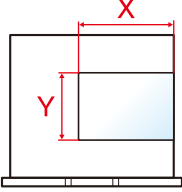
操作手順の表記について

本書中では、タッチパネルのキーを連続して操作する手順を、次のように>でつないで表記しています。

実際の手順	本書の表記
[システム/カウンターメニュー]キーを押す ▼ [✓]を押す ▼ [共通設定]を押す ▼ [音設定]を押す	[システムメニュー/カウンター]キー> [共通設定]> [音設定]

原稿および用紙サイズについて

本書中で使用する原稿および用紙サイズは、A4やB5、Letterのように、縦向きと横向きのどちらも使用できるサイズの場合、原稿/用紙の向きを区別するために、横向きのサイズには「R」をつけて表記しています。また、タッチパネルでは、原稿および用紙のセット方向を次のアイコンで表示します。

セット向き		セットの仕方 (X=長さ、Y=幅)	パネルに表示される アイコン	本書での表記サイズ*1
縦向き	原稿			A4、B5、Letterなど
	用紙			
横向き	原稿			A4-R、B5-R、Letter-Rなど
	用紙			

*1 使用できる原稿/用紙のサイズは機能や給紙段によって異なります。詳しくは次を参照してください。

➡ [本体 \(12-33\)](#)

オプションの表記について

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明しています。

オプション品の正式な商品名称は以下のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
PF-470	ペーパーフィーダー(550枚×1)
PF-471	ペーパーフィーダー(550枚×2)
FAX System 13	ファクスキット
Data Security Kit(E)	セキュリティーキット
IC カード 認証キット(B)	IC カード 認証キット
HD-6	SSD
HD-7	SSD
IB-50	ネットワークインターフェイスキット
IB-51	ワイヤレスインターフェイスキット
UG-33	ThinPrint Option
Scan extension Kit(A)	OCR拡張キット

1 安全にお使いいただくための の注意事項

この章では、次の項目について説明します。

本書中の注意表示について	1-2
設置環境について	1-3
取り扱い上のご注意	1-4
コピー/スキャン禁止事項	1-5
法律上のご注意	1-6
本製品の省エネ制御機能について	1-12
自動両面機能について	1-12
印刷用紙について	1-12
電力管理について	1-12
国際エネルギースター(ENERGY STAR®)プログラム	1-13
無線LAN使用時のご注意	1-14
電波の種類と干渉距離	1-14
無線LAN使用時のセキュリティに関するご注意	1-14
本製品の使用限定	1-15

本書中の注意表示について

この使用説明書および本製品への表示では、本製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



「注意一般」



「高温注意」

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



「禁止一般」



「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



「強制一般」



「電源プラグをコンセントから抜け」



「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取扱店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。(有償)

おことわり

本機は偽造防止機能を搭載しているため、紙幣に酷似している原稿はまれに正常なコピーがとれない場合があります。

設置環境について

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。

温度	10～32.5℃
湿度	10～80%

また、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、傷つきやすい床の場合、床材を傷つけるおそれがあります。

本製品の使用中はオゾンの発生や化学物質の放散がありますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にコピーをとる場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには、部屋の換気をお勧めします。

取り扱い上のご注意

消耗品の取り扱いについて



トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

トナーの入った容器およびユニットは、子供の手に触れることのないように保管してください。

トナーの入った容器およびユニットよりトナーが漏れた場合は、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れないようにしてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある場所へ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃の中を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーの入った容器およびユニットは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

その他の注意事項

使用後、不要となったトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

直射日光を避けて保管してください。

急激な温度・湿度変化を避け、40℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、カセットまたは手差しから用紙を取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

コピー/スキャン禁止事項

複合機を使って何をコピー/スキャンしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有したり、スキャンするだけでも罰せられることがありますので、次の点に十分ご注意ください。

法律で禁止されているものには

- ① 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピー/スキャンすることを禁止されています。見本の印が押してあっても、コピー/スキャンすることはできません。
- ② 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー/スキャンも禁止されています。
- ③ 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、はがき(料額印面付き)の類は、コピー/スキャンすることを禁止されています。
- ④ 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピー/スキャンもできません。

(関係法律)

- ・ 通貨及び証券模造取締法
- ・ 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- ・ 郵便切手類模造等取締法
- ・ 印紙等模造取締法
- ・ 紙幣類似証券取締法

注意を要するものには

- ① 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピー/スキャンしないほうがよいと考えられます。

著作権にもご注意を

著作権の対象となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真などの著作物は、個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピー/スキャンする以外は、禁じられています。

法律上のご注意

本資料の全部または一部を無断で複製複製(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBEは、京セラ株式会社の登録商標です。
- TASKalfaは、京セラドキュメントソリューションズ株式会社の商標または登録商標です。
- KPDLは、京セラ株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer、ExcelおよびPowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PCLは、米国ヒューレット・パカード社の商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScriptは、Adobe Systems, Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- Ethernetは、ゼロックス社の登録商標です。
- IBMおよびIBM PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの商標です。
- AppleTalk、Bonjour、Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本製品に搭載されている欧文フォントは、すべてMonotype Imaging Inc.からのライセンスを受けています。
- Helvetica、Palatino、Timesは、Linotype GmbH.の登録商標です。
- ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC ZapfChancery、ITC Zapf Dingbatsは、International Typeface Corporationの登録商標です。
- ThinPrintはCortado AGのドイツ及びその他の国における商標です。
- 本製品は、Monotype Imaging Inc.からのUFSTTM MicroType®のフォントを搭載しています。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- MTHSGOTHIC-W5とMTHSMINCHO-W3は平成書体です。これらの書体は(財)日本規格協会と京セラドキュメントソリューションズ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製する事はできません。
- 本製品には、Independent JPEG Groupのソフトウェアが含まれています。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnnを使用しています。
- "Multilingual Advanced Wnn" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2005-2012 All Rights Reserved
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
- © 2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- iPad、iPhone、iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- AirPrint、AirPrintロゴはApple Inc.の商標です。
- iOSはCiscoの米国およびその他の国の商標または登録商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
- iPhoneはアイホン株式会社の商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
- GoogleおよびGoogle Cloud Print™はGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- Mopria™は、Mopria™Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi Directは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

ACCESS™
NetFront™ Browser

- Powered by ABBYY FineReader. ABBYYおよびFineReaderはABBYY Software Ltdの商標です。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中にはTMおよび®は明記していません。

GPL/LGPL

本製品のファームウェアは、一部にGPL (<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>) もしくは

LGPL (<http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html>) が適用されたソフトウェアを使用しています。お客様には、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLの条件に従い、複製、再配布及び改変する権利があります。これらのソースコードの入手方法については、<http://www.kyoceradocumentsolutions.com/gpl/>にアクセスしてください。

OpenSSLライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オリジナルSSLeyライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Monotype Imagingライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケラブル・アウトライン・データならびにUFSTソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号(「タイプフェイス」)のウェイト、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imagingの財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェイスを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行がMonotype Imagingからの通知後30日以内に是正されなかったときは、Monotype Imagingは本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェイスの複製物ならびに文書をすべてMonotype Imagingに返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imagingは、引渡し後90日間について、本件ソフトウェアがMonotype Imagingの発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。
当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。

8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するお客様の排他的救済手段およびMonotype Imagingの唯一の責任は、欠陥のある部品をMonotype Imagingに返却した時点で修理または交換することです。
いかなる場合もMonotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
9. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
10. お客様は、Monotype Imagingの事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび/またはタイプフェイスの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピューターソフトウェアに関する権利」の(b)(3)(ii)項または(c)(1)(ii)項に定められた制限を受けます。
さらに、使用、複製または開示は、FAR52.227-19(c)(2)項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

Knopflerfish ライセンス

以下は英語の原文です。

This product includes software developed by the Knopflerfish Project.

<http://www.knopflerfish.org>

Copyright 2003-2010 The Knopflerfish Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the KNOPFLERFISH project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Apacheライセンス (Version 2.0)

以下は英語の原文です。

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

“License” shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

“Licensor” shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

“Legal Entity” shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, “control” means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

“You” (or “Your”) shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

“Source” form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

“Object” form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

“Work” shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

“Derivative Works” shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

“Contribution” shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, “submitted” means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as “Not a Contribution.”

“Contributor” shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

- (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
- (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
- (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
- (d) If the Work includes a “NOTICE” text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets “[]” replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same “printed page” as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the “License”); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないと自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行する省エネ制御機能を備えています。

➡ [低電力モードとは \(2-22\)](#)

➡ [スリープとは \(2-23\)](#)

自動両面機能について

本製品は用紙の両面に印刷できる機能を標準で装備しております。例えば、片面原稿2ページを1枚の用紙の両面に印刷することで、紙の使用量を軽減することができます。

➡ [\[両面/分割\] \(6-23\)](#)

両面印刷することにより用紙の使用量を削減でき、森林資源の節約に貢献できます。さらに、用紙の購入量が減少することで、経費の節約にも繋がります。したがって、両面印刷が可能な製品においては、印刷モードの初期値を両面印刷に設定して使用されることをお勧めします。

印刷用紙について

森林資源の保護と持続可能な活用のために、EN 12281:2002* や同等の品質基準を満たしている、環境管理イニシアティブ認定紙やエコラベルの認定を受けたバージン紙および再生紙の使用を推奨します。

また、本製品は64 g/m² 用紙への印刷が可能であり、このようなうすい用紙を使用することで、より一層の森林資源の節約に繋がります。

* : 印刷及びビジネス用紙 — 乾式トナー画像形成プロセス用コピー用紙の要件

推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

電力管理について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に使用してから一定時間経過すると自動的に省電力モードに移行する電力管理を行っています。省電力モードに移行した状態では、すぐに使用可能な状態になるまでに若干の時間が必要ですが、余分な電力を大きく削減することができます。省電力モードへの移行時間は、出荷時の設定値のままで使用されることをお勧めします。

国際エネルギースター(ENERGY STAR®)プログラム



弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

エネルギー・プログラムは、地球温暖化防止対策の一環としてエネルギー効率の高い製品の開発と普及を目的とした自主的な省エネルギーラベル制度です。エネルギー認証製品を購入することで、製品使用時における地球温暖化ガスの排出削減に繋がるとともに、お客様の電力関連コストの削減にも貢献します。

無線LAN使用時のご注意

(ワイヤレスインターフェイスを装備した場合)

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発信を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- 2 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先: 弊社お客様相談窓口

電波の種類と干渉距離

(ワイヤレスインターフェイスを装備した場合)

2.4 DS4/OF4

「2.4」: 2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。

「DS」: 変調方式がDS-SS方式であることを表す。(IEEE802.11bのとき)

「OF」: 変調方式がOFDM方式であることを表す。(IEEE802.11g/nのとき)

「4」: 想定される干渉距離が40 m以下であることを表す。

「---」: 全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線LAN使用時のセキュリティに関するご注意

(ワイヤレスインターフェイスを装備した場合)

無線LANでは、ネットワークケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、以下のような通信内容を盗み見られる可能性があります。

- IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような不正な行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

本製品の使用限定

(ワイヤレスインターフェイスを装備した場合)

- 本製品から発信する電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品から発信する電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェイルセーフ設計や冗長性設計の対応をとるなど、システム全体の安全設計を考慮いただいた上で本製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図していませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様ご自身で十分ご確認の上、ご判断ください。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」

に適合しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されている。

名称:LBWA1ZZ1CA

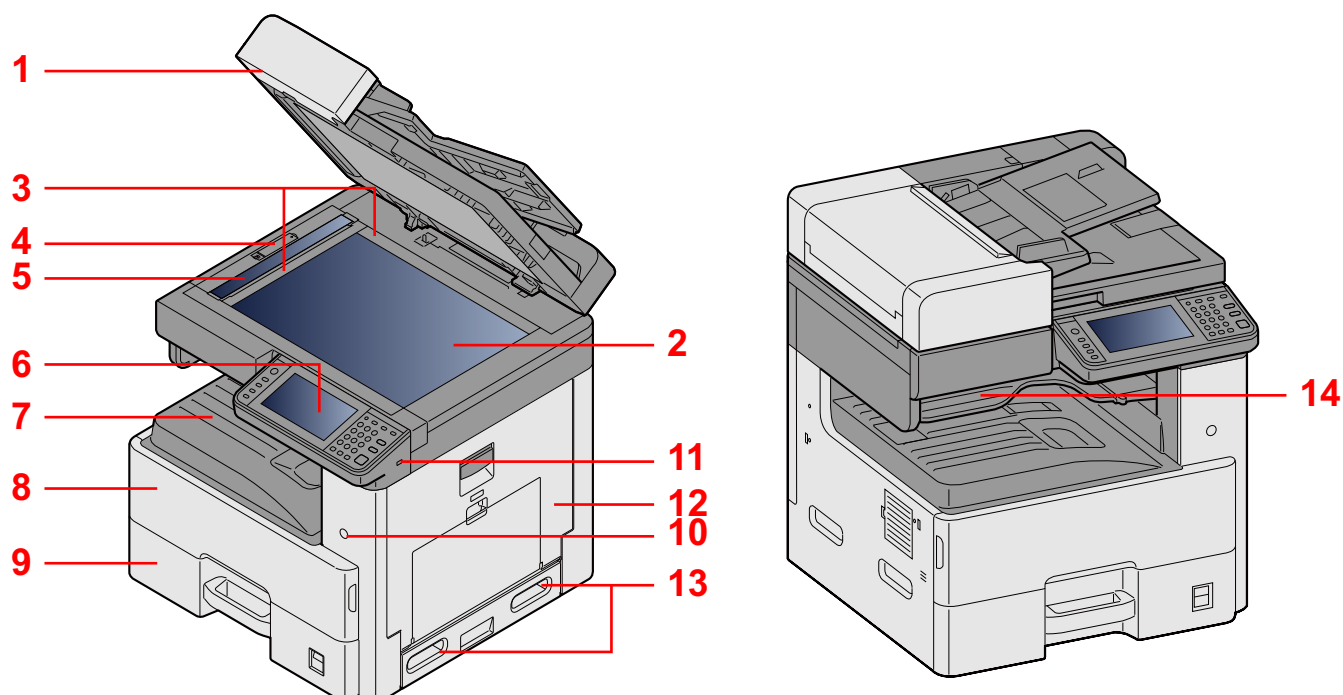
認証番号:007-AC0272

2 設置と機械のセットアップ

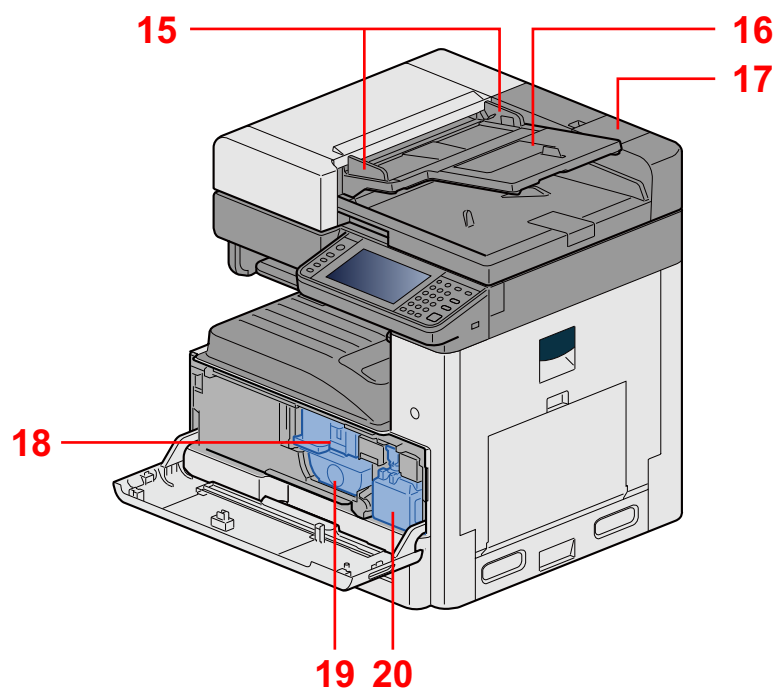
この章では、次の項目について説明しています。

各部の名称(本体外観)	2-2
各部の名称(コネクタ・内部)	2-4
各部の名称(オプション装着時)	2-5
本機とその他デバイスを接続する	2-6
ケーブルの接続	2-8
ネットワークケーブルを接続する	2-8
USBケーブルを接続する	2-9
電源コードを接続する	2-9
電源の入/切	2-10
電源を入れる	2-10
電源を切る	2-10
機械の初期設定をする	2-11
日付と時刻を設定する	2-12
ネットワークの設定	2-13
有線でネットワークを設定する	2-13
ワイヤレスネットワークを設定する	2-15
Wi-Fi Directを設定する	2-19
NFCを設定する	2-20
省エネ機能を使う	2-22
低電力モードとは	2-22
節電復帰レベルとは	2-22
スリープとは	2-23
オートスリープとは	2-23
スリープレベルとは(節電優先と復帰優先)	2-23
簡単セットアップウィザードを使って設定する	2-24
ソフトウェアのインストール	2-26
収録ソフトウェア(Windows)	2-26
Windowsにソフトウェアをインストールする	2-27
ソフトウェアをアンインストールする	2-33
Macintoshにソフトウェアをインストールする	2-34
TWAINドライバーを設定する	2-36
WIAドライバーを設定する	2-38
WSDドライバーをインストールする	2-39
管理者が行うセキュリティ強化	2-40
Command Center RXとは	2-41
Command Center RX へアクセスする	2-42
セキュリティ設定を変更する	2-43
デバイス情報を変更する	2-44
SMTPおよびメール送信の設定をする	2-45
アドレス帳の移行	2-49
アドレス帳をパソコンにバックアップする	2-49
アドレス帳を本体に書き込む	2-51
アプリケーションとは	2-54
アプリケーションをインストールする	2-54
アプリケーションをアンインストールする	2-55

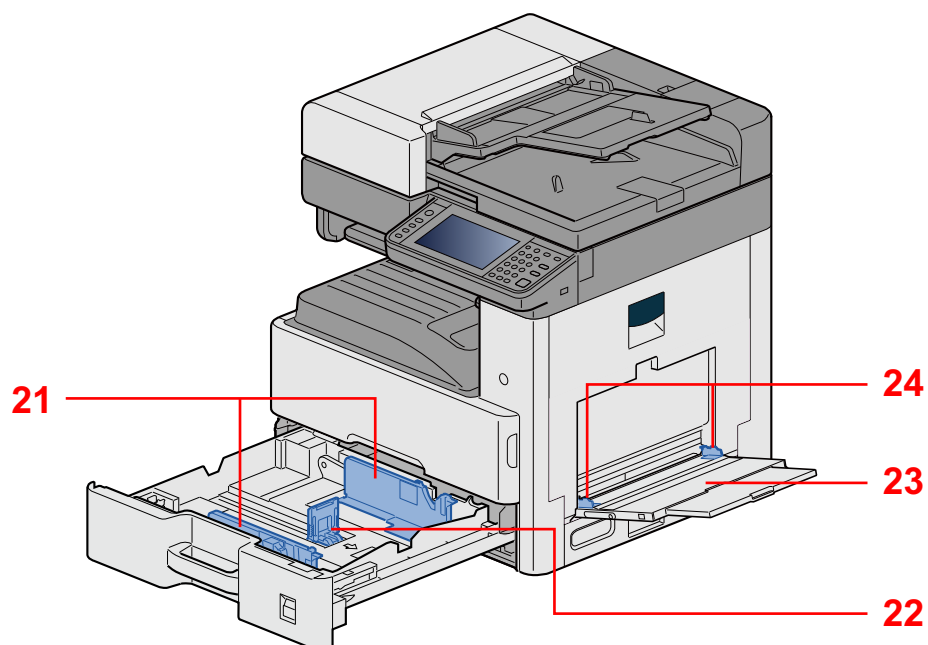
各部の名称(本体外観)



- 1 原稿送り装置
- 2 原稿ガラス
- 3 原稿サイズ指示板
- 4 光学固定カバー
- 5 スリットガラス
- 6 操作パネル
- 7 内部トレイ
- 8 前カバー
- 9 カセット 1
- 10 電源スイッチ
- 11 USB メモリースロット(A1)
- 12 右カバー 1
- 13 搬送用取っ手
- 14 ジョブセパレータートレイ

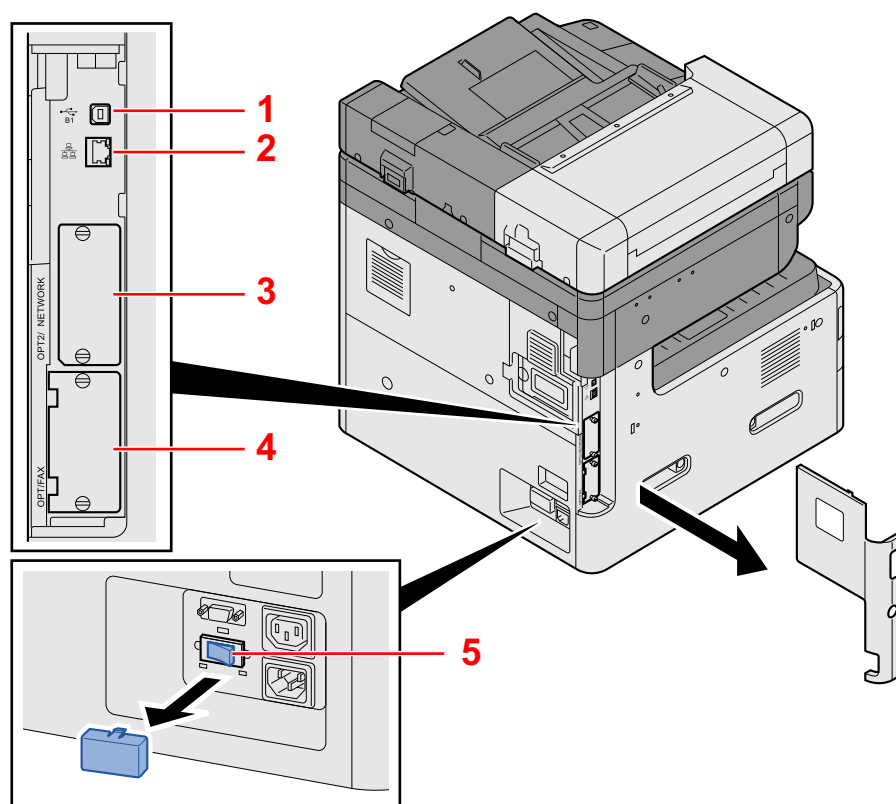


- 15 原稿幅ガイド
- 16 原稿トレイ
- 17 清掃用布ケース
- 18 トナーコンテナストッパー
- 19 トナーコンテナ
- 20 廃棄トナーボックス



- 21 用紙幅ガイド
- 22 用紙長さガイド
- 23 手差しトレイ
- 24 用紙ガイド

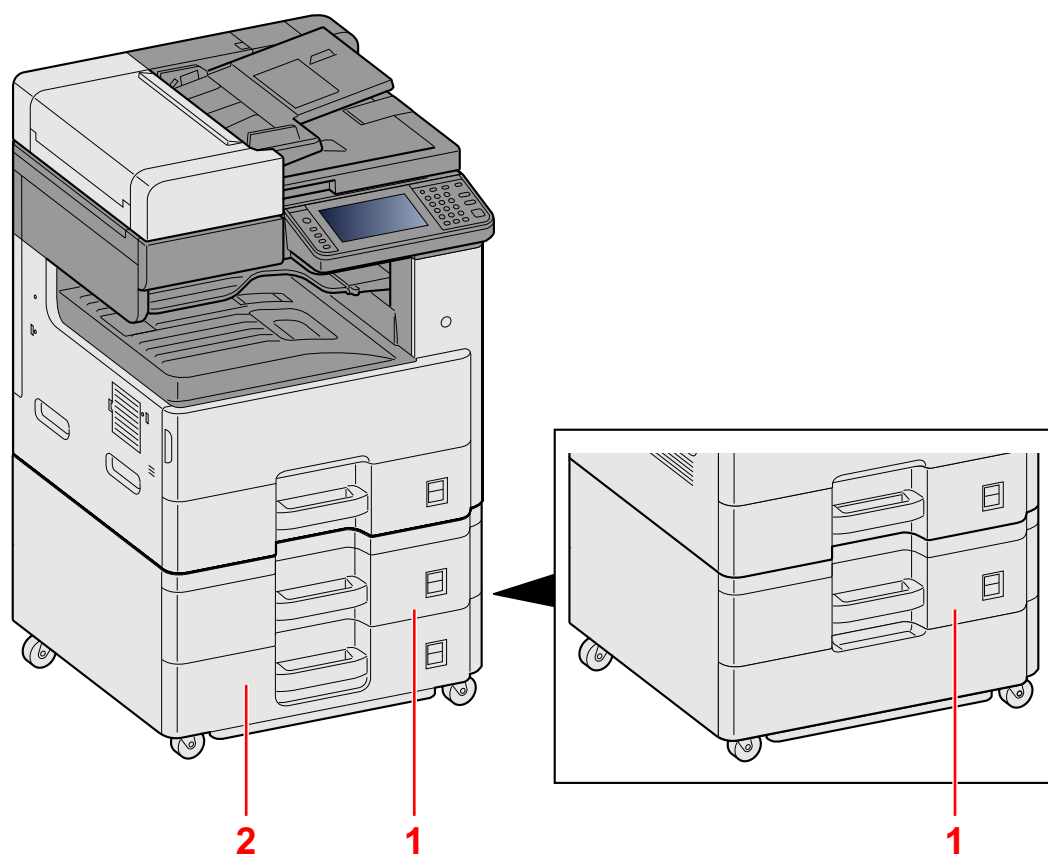
各部の名称(コネクター・内部)



- 1 USBインターフェイスコネクター(B1)
- 2 ネットワークインターフェイスコネクター
- 3 オプションインターフェイススロット2
- 4 オプションインターフェイススロット1
- 5 カセットヒータースイッチ^{*1}

^{*1} カセットヒーターは装着機と非装着機があります。非装着機はカセットヒータースイッチに「非装着」の表記があります。

各部の名称(オプション装着時)

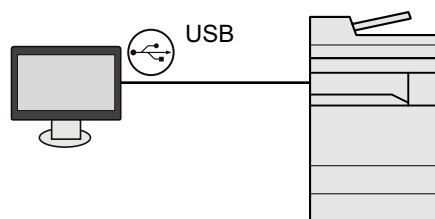


- 1 カセット2
- 2 カセット3

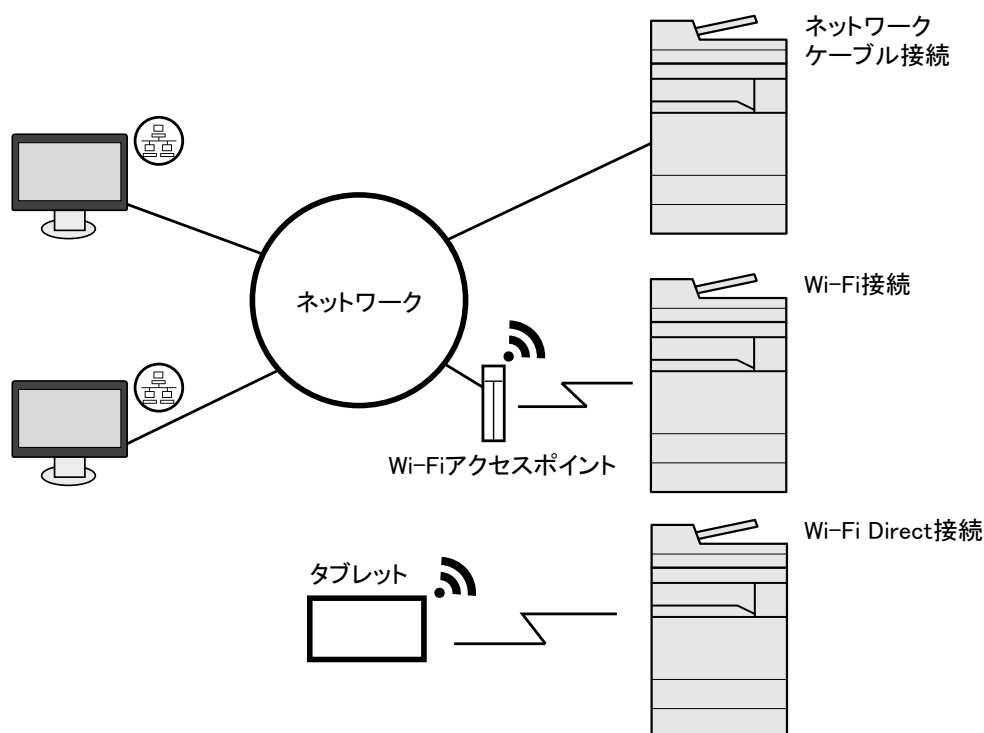
本機とその他デバイスを接続する

本機を使用する目的や環境に合わせて必要なケーブルを用意してください。

本機とパソコンをUSBで接続する場合



本機とパソコンやタブレットをネットワークケーブル、Wi-Fi、Wi-Fi Directでネットワーク接続する場合



参考

無線LANをご使用になる場合は、次を参照してください。

➡ [ワイヤレスネットワークを設定する \(2-15\)](#)

使用できるケーブル

接続環境	使用できる機能	必要なケーブル
本機をネットワークケーブルで接続する	プリンター/スキャナー/Network FAX ^{*1}	LANケーブル(10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T)
本機をUSBケーブルで接続する	プリンター	USB2.0 適合ケーブル(Hi-Speed USB 準拠5.0 m 以下、シールド付)

*1 オプションのファックスキット装着時に利用できます。Network FAXについては、ファクス使用説明書を参照してください。

重要

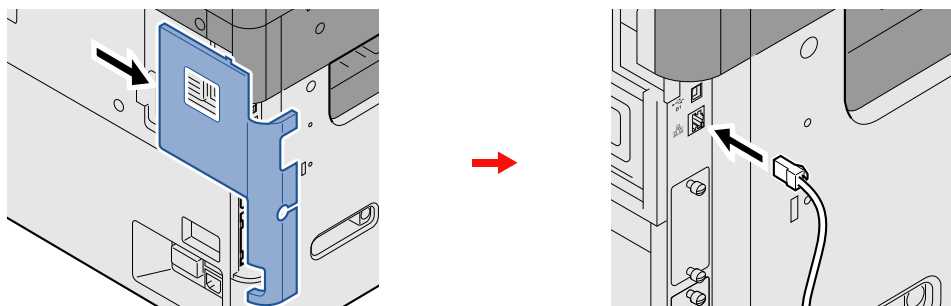
USB2.0適合ケーブルを使用しない場合、故障の原因となります。

ケーブルの接続

ネットワークケーブルを接続する

1 接続する

- 1 ネットワークインターフェイスコネクタに、ネットワークケーブルを接続します。



- 2 ケーブルのもう一方を、HUB(集線装置)に接続します。

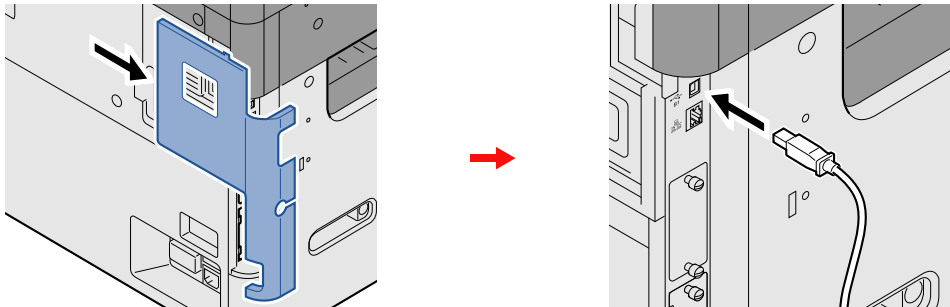
2 ネットワークを設定する

➡ [ネットワークの設定 \(2-13\)](#)

USBケーブルを接続する

1 接続する

- 1 本体左側のUSBインターフェイスコネクタに、USBケーブルを接続します。



- 2 ケーブルのもう一方を、パソコンに接続します。

電源コードを接続する

1 コードを接続する

付属の電源コードを本機に接続し、もう一方をコンセントに接続してください。

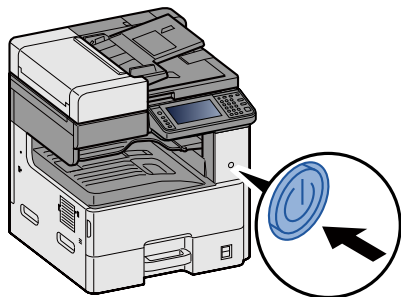


電源コードは、必ず本機に付属のものをご使用ください。

電源の入/切

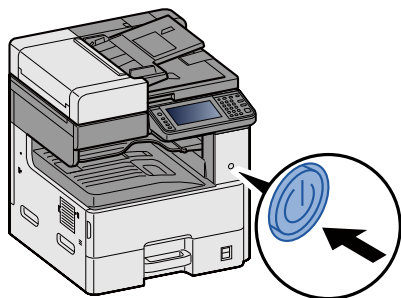
電源を入れる

1 電源スイッチを入れる



電源を切る

1 電源スイッチを切る



2 確認画面で[はい]を選択する

電源が切れるまでに、約3分かかる場合があります。



注意

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源スイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



重要

- 電源スイッチが切れているときは、ファクスの送信/受信を行いません。
- 用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出して保管袋に入れて密封保管してください。

機械の初期設定をする

本機を使用する前に、日付・時刻、ネットワークの設定、省エネ機能など、必要な設定を行ってください。本機は設置して最初に電源を入れたときに、機械のセットアップウィザードを開始し、必要な設定を行うことができます。さらに必要な場合は以下の設定を行ってください



参考

本機の初期設定値は、システムメニューで変更することができます。
システムメニューで設定できる項目については、次を参照してください。

▶ [本機の初期設定\[システムメニュー\] \(8-1\)](#)

日付と時刻を設定する

本機に、設置場所の日付と時刻を設定します。

本機の送信機能からメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。ご使用の地域での日付、時刻、GMT(世界標準時)からの時差を設定してください。

参考

設定後に変更する場合は、次を参照してください。

➡ [\[日付/タイマー/節電\] \(8-57\)](#)

ネットワーク上の時刻サーバーを利用して時刻を取得し、定期的に正確な時刻が設定できます。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

3 画面を表示する

[システムメニュー／カウンター]キー > [日付/タイマー/節電]

4 設定する

[時差] > [日付/時刻] > [日付形式]の順に選択して設定します。

項目	説明
時差	GMT(世界標準時)からの時差を設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した場合は、サマータイムの設定を行ってください。
日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。本機の送信機能でメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。 設定値: 年(2000～2037)、月(1～12)、日(1～31)、時(00～23)、分(00～59)、秒(00～59)
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 設定値: 月/日/年、日/月/年、年/月/日

ネットワークの設定

有線でネットワークを設定する

本機はネットワークインターフェイスを標準装備しており、TCP/IP (IPv4)、TCP/IP (IPv6)、NetBEUIおよびIPSecをサポートしています。このためWindows、Macintosh、UNIXなどさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。ここでは、TCP/IP (IPv4)でネットワークに接続するときの設定を行います。

次の設定方法があります。

設定方法	説明	参照ページ
本機の操作パネルからの設定	システムメニューから個別に設定せずに、画面の指示に従ってネットワークを設定する場合は、簡単セットアップウィザードを使用します。	簡単セットアップウィザードを使って設定する (2-24)
ウェブページからの設定	標準のネットワークインターフェイスの場合はCommand Center RXから設定できます。IB-50の場合は専用のウェブページから設定できます。	Command Center RX操作手順書 IB-50使用説明書
IB-50セットアップユーティリティの使用	IB-50に同梱のCDに収録されているセットアップツールです。Windowsで使用できます。	IB-50使用説明書

ネットワークのその他の設定については、次を参照してください。

➡ [\[ネットワーク\] \(8-32\)](#)



参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。

ユーザー管理が無効の場合、ユーザー認証画面が表示されます。ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500



参考

設定するIPアドレスは、ネットワーク管理者に依頼してあらかじめ準備しておいてください。

以下の場合、Command Center RXでDNSサーバーのIPアドレスを設定してください。

- ・「DHCP」設定を[使用しない]でホスト名を使用する場合
- ・DHCPから自動的に付与されるDNSサーバーのIPアドレス以外のDNSサーバーを使用する場合

DNSサーバーのIPアドレスの設定については、次を参照してください。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > ログインユーザー名とログインパスワードを入力 > [ログイン] > [ネットワーク] > [有線設定] > [TCP/IP設定] > [IPv4設定]

2 設定する

DHCPサーバーを使用する場合

[DHCP]: [使用する]

固定IPを使用する場合

[DHCP]: [使用しない]

[IPアドレス]: アドレスを入力します。

[サブネットマスク]: 4つのドットで区切った10進数表記(0~255)で、サブネットマスクを入力します。

[デフォルトゲートウェイ]: アドレスを入力します。

[Auto-IP]: [使用しない]



参考

Auto-IPを使用する場合、IPアドレス に0.0.0.0を設定してください。



重要

設定変更後にシステムメニューからネットワークの再起動を行うか、電源のOFF/ONを行います。

➡ [\[ネットワークの再起動\] \(8-48\)](#)

ワイヤレスネットワークを設定する

本機に標準で装着されているワイヤレスネットワークインターフェイス、またはオプションのワイヤレスインターフェイスキット (IB-51) を本機に装着して接続設定をすると、ワイヤレスネットワーク (無線LAN) 環境で印刷および送信ができるようになります。

次の設定方法があります。

設定方法	説明	参照ページ
本機の操作パネルからの設定	システムメニューから個別に設定せずに、画面の指示に従ってネットワークを設定する場合は、簡単セットアップウィザードを使用します。	簡単セットアップウィザードを使って設定する (2-24)
	システムメニューから接続設定をする場合は、Wi-Fi設定またはワイヤレスネットワークを使用します。	[Wi-Fi設定] (8-33) [ワイヤレスネットワーク] (8-50)
Wi-Fiセットアップツールの使用	Product Libraryに収録されているツールです。ウィザードに従って設定できます。	Wi-Fi セットアップ ツールで接続の設定をする (2-15)
ウェブページからの設定	標準ワイヤレスネットワークインターフェイスの場合はCommand Center RXから設定できます。IB-51の場合は専用のウェブページから設定できます。	Command Center RX操作手順書 IB-51使用説明書
IB-51セットアップユーティリティの使用	IB-51に同梱のCDに収録されているセットアップツールです。WindowsとMac OS Xのどちらでも使用できます。	IB-51使用説明書

参考

標準ワイヤレスネットワークインターフェイス、オプションのネットワークインターフェイスキット (IB-50)、またはオプションのワイヤレスネットワークインターフェイスキット (IB-51) を使用して、標準の有線以外のネットワークインターフェイスに切り替えたい場合は、「優先ネットワーク (クライアント)」で適切な設定値に変更してください。

[\[優先ネットワーク \(クライアント\)\] \(8-51\)](#)

Wi-Fi セットアップ ツールで接続の設定をする

Wi-Fi セットアップツールからのWi-Fi設定情報を本機に送るために、本機とローカル接続をする必要があります。ローカル接続の方法として、有線接続と無線接続 (Wi-Fi Direct) の2つがあります。

参考

- Wi-Fi Directを使用するには、Wi-Fi Directで本機とコンピューターを接続する前に 操作パネルからWi-Fi Directを有効([使用する]を選択)にし、ネットワークを再起動していることを確認してください。
- LANケーブルを使って直接本機に接続すると、Auto-IPアドレス (リンクローカルアドレス) が本機とコンピューターに割り当てられます。本機は、初期値としてAuto-IPアドレスを適用します。
- 接続するパソコンがWPSに対応しているか確認してください。対応している場合、本機の操作パネルから設定を行ってください。

[\[Wi-Fi設定\] \(8-33\)](#)

[\[ワイヤレスネットワーク\] \(8-50\)](#)

LANケーブルを使用して有線で接続する

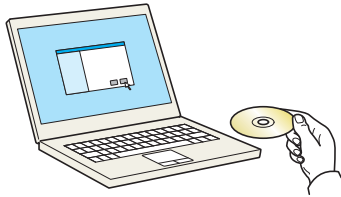
1 本機とパソコンを接続する

- 1 本機が起動している状態で、コンピューターと本機を直接LANケーブルで接続します。

2 コンピューターの電源をオンにします。

本機とコンピューターのIPアドレス(リンクローカルアドレス)がそれぞれ自動的に生成されます。

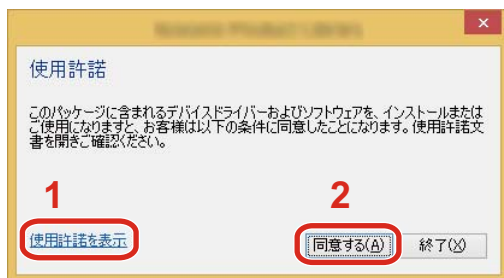
2 DVDを挿入する



 参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

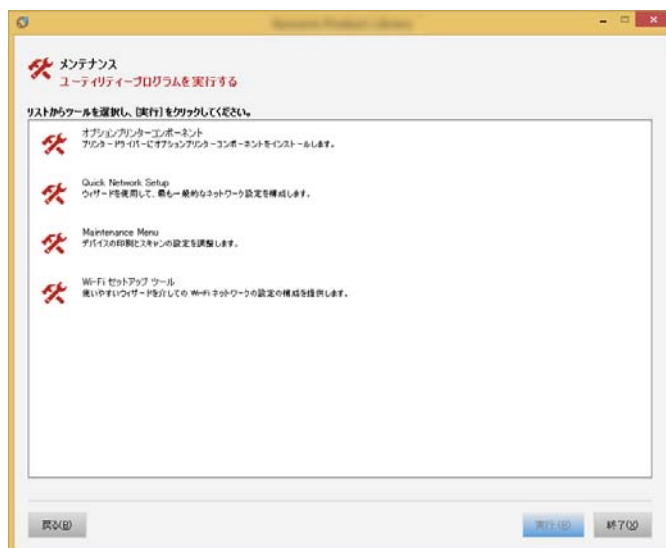
3 画面を表示する



- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

4 [メンテナンス]を選択する

5 [Wi-Fi セットアップ ツール] > [実行]



6 設定する

- 1 [WPSを使用しません] > [次へ] > [次へ]
- 2 [LANケーブル] > [次へ] > [次へ]

3 [簡単設定] > [次へ]

本機が検出されます



参考

- Wi-Fi Setup Toolで本機を1台だけ検索できます。検索に時間がかかる場合があります。
- 本機が検出されない場合は、[詳細設定] > [次へ]の順に選択します。本機の検出方法から[エクスプレス]または[カスタム]を選択し、検出方法としてIPアドレスやホスト名を指定することができます。

4 本機を選択 > [次へ]

5 [認証モード]から[デバイス設定を使用します]を選択し、[ログインユーザー名]および[ログインパスワード]（ともにAdmin）を入力 > [次へ]

6 通信設定を行い、[次へ]をクリックします。

7 必要に応じてアクセスポイントの設定を変更 > [次へ]

ネットワークが設定されます。

Wi-Fi Directを使用して無線で接続する

1 画面を表示する

[システムメニュー／カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > ログインユーザー名とログインパスワードを入力 > [ログイン] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct設定] > [Wi-Fi Direct]

2 設定する

[使用する] > [OK]

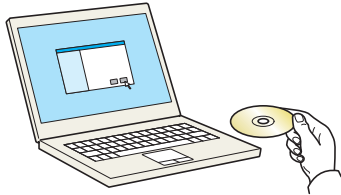
3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー／カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [ネットワークの再起動]

4 本機をパソコンまたは携帯端末に接続する

[Wi-Fi Directを設定する \(2-19\)](#)

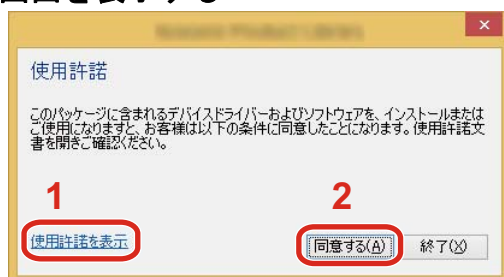
5 DVDを挿入する



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

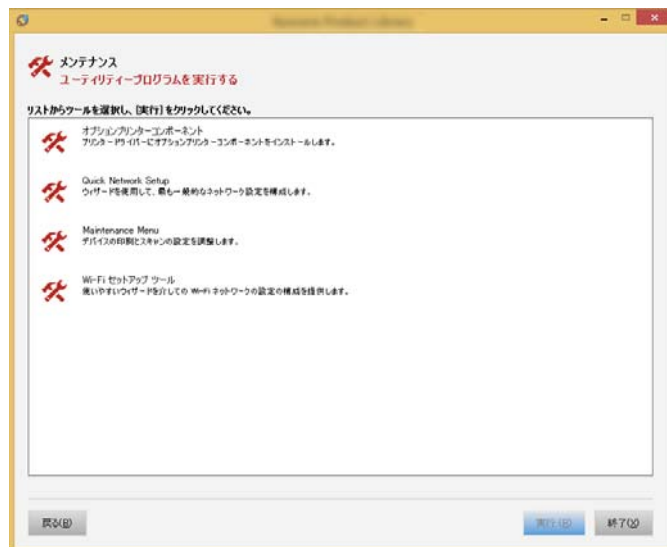
6 画面を表示する



- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

7 [メンテナンス]を選択する

8 [Wi-Fi セットアップ ツール] > [実行]



9 設定する

- 1 [WPSを使用しません] > [次へ] > [次へ]
- 2 [Wi-Fi Direct設定] > [次へ] > [次へ]
- 3 [詳細設定] > [次へ]
本機の検出方法から[エクスプレス]または[カスタム]を選択します。検出方法としてIPアドレスやホスト名を指定することができます。
- 4 本機を選択 > [次へ]

- 5 [認証モード]から[デバイス設定を使用します]を選択し、[ログインユーザー名]および[ログインパスワード]（ともにAdmin）を入力 > [次へ]
- 6 通信設定を行い、[次へ]をクリックします。
- 7 必要に応じてアクセスポイントの設定を変更 > [次へ]
ネットワークが設定されます。

Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Direct環境で印刷をするには次の設定をおこないます。

本機の操作パネルから接続の設定をする

Wi-Fi Direct対応のパソコンまたは携帯端末に接続する

1 画面を表示する

[システムメニュー／カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > ログインユーザー名とログインパスワードを入力 > [ログイン] > 「ネットワーク」 > [Wi-Fi Direct設定] > 「Wi-Fi Direct」

2 設定する

[使用する] > [OK]

3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー／カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「ネットワーク」 > [ネットワークの再起動]

4 コンピューターまたは携帯端末から本機を選択する

操作パネルで確認メッセージが表示された場合は、[はい]を選択してください。

本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

Wi-Fi Direc未対応のパソコンまたは携帯端末に接続する

iOSの携帯端末に接続する例で説明します。

1 画面を表示する

[システムメニュー／カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > ログインユーザー名とログインパスワードを入力 > [ログイン] > 「ネットワーク」 > 「Wi-Fi Direct設定」 > 「Wi-Fi Direct」

2 設定する

[使用する] > [OK]

3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー／カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「ネットワーク」 > [ネットワークの再起動]

4 [ホーム]キー > [Wi-Fi Direct] (TASKalfa 2520i)

[ホーム]キー > [タスク画面] > [Wi-Fi Direct] (TASKalfa 2510i)

5 ネットワーク名 (SSID)、IPアドレス、およびパスワードをメモする

6 携帯端末を設定する

- ・[設定] > [Wi-Fi]
- ・リストから、手順5で表示されたネットワーク名 (SSID) を選択します。
- ・手順5でメモしたパスワードを入力 > [接続]
本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。

プッシュボタンで設定する

パソコンや携帯端末がWi-Fi Direct未対応でWPSに対応している場合、プッシュボタンを操作してネットワークを設定できます。

1 画面を表示する

[システムメニュー／カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > ログインユーザー名とログインパスワードを入力 > [ログイン] > 「ネットワーク」 > 「Wi-Fi Direct設定」 > 「Wi-Fi Direct」

2 設定する

[使用する] > [OK]

3 ネットワークを再起動する

[システムメニュー／カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > 「ネットワーク」 > [ネットワークの再起動]

4 [ホーム] > [Wi-Fi Direct]

5 パソコンまたは携帯端末のプッシュボタンと、操作パネルに表示されている[プッシュボタン接続]を同時に押す

本機とパソコンまたは携帯端末のネットワークが設定されます。



重要

Wi-Fi Directで一度に接続できる端末は3台までです。Wi-Fi Direct対応のパソコンまたは携帯端末がすでに接続されているときにほかの端末を接続したい場合は、先に接続された端末のネットワークを切断する必要があります。切断する方法は次のとおりです。

- パソコンまたは携帯端末からネットワークを切断する
- 操作パネルですべて切断する
[ホーム] > [Wi-Fi Direct] > [接続デバイスリスト] > [すべて切断]の順に選択します。
- システムメニューから自動切断時間を設定する
➡ [\[Wi-Fi Direct設定\] \(8-32\)](#)
- Command Center RXから自動切断時間を設定する
➡ [Command Center RX操作手順書](#)

NFCを設定する

NFC (Near Field Communication: 近距離通信) とは、データの通信距離が10 cm程度に限定された近距離無線通信の国際標準です。NFC対応の携帯端末を本機にかざすだけでデータ通信ができるようになります。

次の設定方法があります。

ウェブページで接続の設定をする

Command Center RXから設定できます。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

本機の操作パネルから接続の設定をする

システムメニューからNFCを設定します。

➡ [\[NFC\] \(8-56\)](#)

ここでは、システムメニューからNFCを設定する例を説明します。

1 画面を表示する

[システムメニュー／カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > ログインユーザー名とログインパスワードを入力 > [ログイン] > ネットワーク > [NFC]

2 設定する

[使用する] > [OK]

省エネ機能を使う

本機は、最後に使用してから一定時間経過すると、自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行します。さらに一定時間操作がないと、自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行します。

低電力モードとは

一定時間操作がないと自動でタッチパネルを暗くして消費電力を低減します。この状態を低電力モードと呼びます。

低電力モード中は、タッチパネルには「低電力中です。」が表示されます。

低電力モードへの移行時間: 1分(工場出荷時)

低電力モード中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して印刷を開始します。オプションのファクス機能を使用している場合は、ファクスの受信時にも自動的に復帰して印刷を開始します。

本機を使用するときは次の操作を行ってください。

- 操作パネルのいずれかのキーを選択する。
- タッチパネルにタッチする。
- 原稿送り装置を開ける。
- 原稿送り装置に原稿をセットする。

低電力モードからの復帰時間は次のとおりです。

- TASKalfa 2510i: 8秒以内
- TASKalfa 2520i: 8秒以内

外気など周囲の環境条件によっては時間が長くなる場合があります。



参考

低電力モード時間とスリープ時間が同じ場合は、スリープが優先されます。

節電復帰レベルとは

本機は省エネモードから消費電力をおさえた状態で復帰できます。節電復帰レベルには「全体復帰」、「通常復帰」、「省電力復帰」があり、工場出荷時は「通常復帰」に設定されています。

復帰レベルの設定に関しては、次を参照してください。

➡ [節電復帰レベル \(8-58\)](#)

スリープとは

[節電]キーを選択すると節電ランプだけが点灯し、タッチパネルや他のランプは消灯して消費電力を最小に抑えます。この状態をスリープと呼びます。



スリープ中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して印刷を開始します。オプションのファクス機能を使用している場合は、ファクスの受信時にも自動的に復帰して印刷を開始します。

本機を使用するときは、次の操作を行ってください。

- ・ 操作パネルのいずれかのキーを選択する。
- ・ タッチパネルにタッチする。
- ・ 原稿送り装置に原稿をセットする。

スリープからの復帰時間は次のとおりです。

- ・ TASKalfa 2510i: 13.9秒以内
- ・ TASKalfa 2520i: 13.9秒以内

外気など周囲の環境条件によっては時間が長くなる場合があります。

オートスリープとは

オートスリープは、一定時間操作がないと自動でスリープ状態に切り替わる機能です。

スリープ状態への移行時間: 1分(工場出荷時)

移行時間を変更する場合は、次を参照してください。

➔ [簡単セットアップウィザードを使って設定する \(2-24\)](#)

スリープレベルとは(節電優先と復帰優先)

スリープは、節電優先と復帰優先の2つのモードに切り替えることができます。初期設定は、節電優先モードです。

節電優先とは、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えた状態で、機能ごとにスリープモードを働かせるかを設定できます。ICカードも認識しません。切り替わる時間を変更する場合は、次を参照してください。



参考

オプションのネットワークインターフェイスキットを装着しているときは、節電優先にはできません。

操作パネルの[節電]キーを選択するとすぐに復帰します。また、スリープ中に印刷データが送られてくると、自動的に復帰して印刷を開始します。

スリープレベルの設定に関しては、次を参照してください。

➔ [簡単セットアップウィザードを使って設定する \(2-24\)](#)

簡単セットアップウィザードを使って設定する

本機は、設置して最初に電源を入れたときに、機械のセットアップウィザードを開始し、必要な設定を行うことができます。本機を使用する前に、ネットワークの設定、省エネ機能など、必要な設定を行ってください。



参考

本機の初期設定値は、システムメニューで変更することができます。
システムメニューで設定できる項目については、次を参照してください。

➡ [本機の初期設定「システムメニュー」\(8-1\)](#)

次の機能をウィザード形式の画面で設定できます。

機能	項目	説明
ファクスのセットアップ	ファクスの基本設定を行います。オプションのファクスキットが装着されている場合のみ表示されます。 ➡ ファクス使用説明書	
省エネのセットアップ	省エネ機能を設定します。	
	1.スリープモード	スリープ時間 スリープレベル
	2.低電力モード	低電力モード時間
ネットワークのセットアップ	1.ネットワーク	ネットワーク選択 Wi-Fi ^{*1} DHCP ^{*2} IPアドレス ^{*3} サブネットマスク ^{*3} デフォルトゲートウェイ ^{*3}

*1 ネットワーク選択で[Wi-Fi]を選択した場合に表示されます。

*2 ネットワーク選択で[有線]を選択した場合に表示されます。

*3 DHCPの設定で[使用する]を選択した場合は表示されません。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

1 画面を表示する

[システムメニュー／カウンター]キー > [簡単セットアップウィザード]

2 機能を選択する

3 設定する

ウィザードを開始します。画面の指示に従って設定します。

参考

設定で困ったときは、次を参照してください。

➡ [ヘルプ画面の使いかた \(3-15\)](#)

項目	説明
終了	ウィザードを終了します。それまでに設定した内容は適用されます。
<<前の項目	前の項目に戻ります。
スキップ>>	現在の項目を設定せずに次の項目に進みます。
次へ>	次の画面に進みます。
<戻る	前の画面に戻ります。
完了	設定を登録してウィザードを終了します。

ソフトウェアのインストール

本機でプリンター機能、TWAIN/WIA接続、ネットワークファクス機能を使用する場合、DVD (Product Library) から必要なソフトウェアをインストールします。

収録ソフトウェア (Windows)

インストール方法は、[エクスプレスインストール]と[カスタムインストール]の2通りから選ぶことができます。[エクスプレスインストール]が標準のインストール方法になります。[エクスプレスインストール]でインストールされないものは、[カスタムインストール]でインストールしてください。

[カスタムインストール]でのインストールについては、次を参照してください。

➔ [\[カスタムインストール\]でインストールする \(2-29\)](#)

ソフトウェア	説明	エクスプレスインストール
KXドライバー (KX DRIVER)	パソコン上のデータを本機で印刷するためのドライバーです。1つのドライバーで、複数のページ記述言語 (PCL XL、KPD Lなど) をサポートします。本機の持つ機能を最大限に活かしてご利用いただけるプリンタードライバーです。 PDFデータを作成する場合はこのドライバーを使用してください。	○
KX XPSプリンタードライバー (KX XPS DRIVER)	マイクロソフト社が開発したXPS (XML Paper Specification) フォーマットに対応したプリンタードライバーです。	—
Mini プリンタードライバー (PCL/KPD L) (KPD L mini-driver/PCL mini-driver)	PCL、KPD LのそれぞれをサポートしたMicrosoft Mini Driver形式のドライバーです。本機の持つ機能やオプション類の機能のうち、本ドライバーでは使用できる機能に制限があります。	—
Kyocera Network FAXドライバー (FAX Driver)	パソコン上のアプリケーションソフトで作成した文書を、本機を経由してファクス送信することができます。	—
Kyocera TWAIN ドライバー (Kyocera TWAIN Driver)	TWAIN 対応アプリケーションソフトを使用して本機でスキャンするためのドライバーです。	○
Kyocera WIA ドライバー (Kyocera WIA Driver)	WIA (Windows Imaging Acquisition) は、スキャナーなどのイメージングデバイスと画像処理アプリケーションソフトの相互通信を可能にするWindowsの機能です。WIA 対応アプリケーションソフトを使って画像を取り込むことができ、TWAIN 対応アプリケーションソフトがパソコンにインストールされていない場合などに便利です。	—
KYOCERA Net Viewer	ネットワーク上の本機をモニターすることのできるユーティリティです。	—
Status Monitor	本機の状態を監視し、報告するユーティリティです。	○
File Management Utility	スキャンした文書を、指定されたネットワークフォルダーに送信し、保存することができます。	—
KYOCERA Net Direct Print	Adobe Acrobat/Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷することができます。	—
フォント (FONTS)	本機の内蔵フォントをアプリケーションソフトで使用するための表示フォントです。	○



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- ファクス機能は、オプションのファクスキットが必要です。

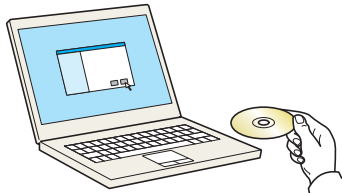
Windowsにソフトウェアをインストールする

[エクスプレスインストール]でインストールする

ここでは、Windows 8.1を例に説明します。[カスタムインストール]でのインストールについては、次を参照してください。

➔ [\[カスタムインストール\]でインストールする \(2-29\)](#)

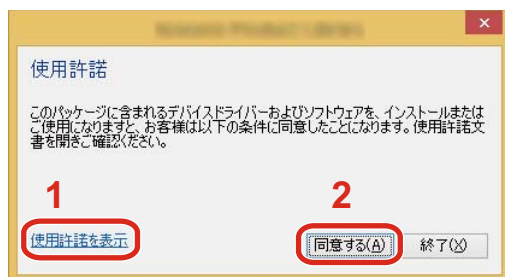
1 DVDを挿入する



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

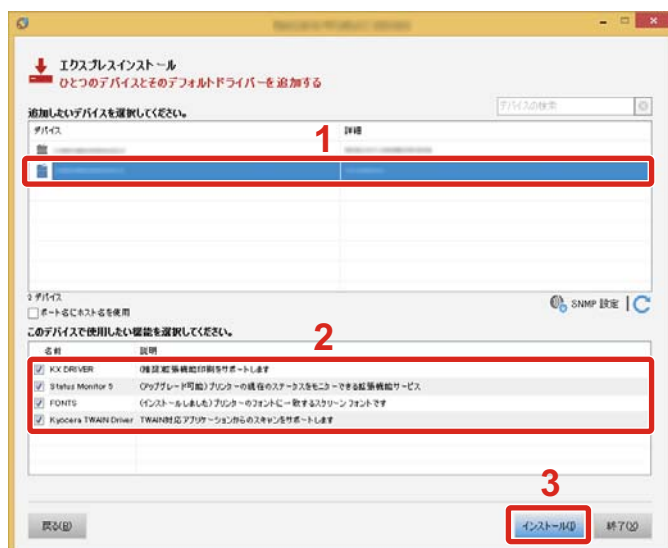
2 画面を表示する



- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

3 [エクスプレスインストール]を選択する

4 インストールする



本機のモデル名を選択します。[ポート名にホスト名を使用]を選択して、標準TCP/IPポートのホスト名を使用するように設定することもできます。(USB接続は利用できません。)

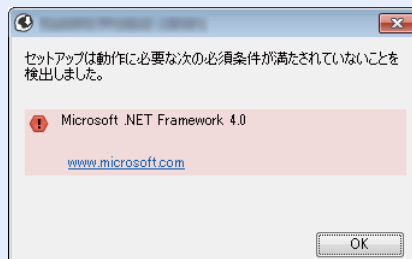
[インストール]をクリックすると、データ収集の協力をお願いする画面が表示されます。いずれかの回答を選択して、[OK]をクリックしてください。

📌 重要

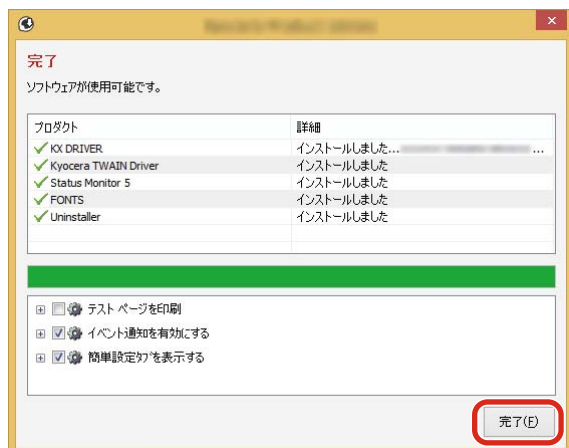
Wi-FiまたはWi-Fi Directが使用できる状態に設定されている場合は、ポート名に必ずIPアドレスを指定ください。ホスト名を指定するとインストールが失敗することがあります。

💡 参考

- 本機の電源が切れている場合、本機は検出されません。本機が検出されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、**C** (更新)をクリックしてください。
- Windowsセキュリティ画面が表示された場合、[このドライバーソフトウェアをインストールします]をクリックしてください。
- Windows 8より前のバージョンのWindowsにステータスモニターをインストールする場合、あらかじめMicrosoft .NET Framework 4.0のインストールが必要です。



5 インストールを終了する



「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、「テストページの印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

[完了]をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。

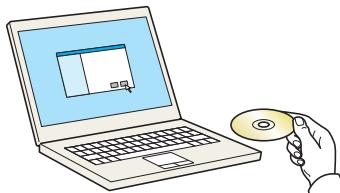
TWAINドライバーをインストールした場合は、続けて「TWAINドライバーの設定」を行ってください。

➡ [TWAINドライバーを設定する \(2-36\)](#)

[カスタムインストール]でインストールする

ここでは、Windows 8.1を例に説明します。

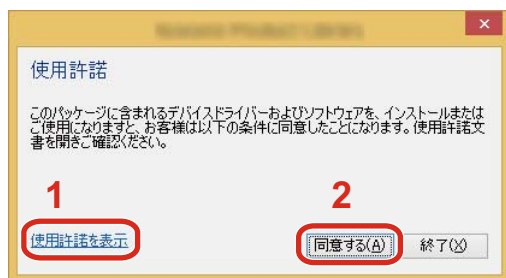
1 DVDを挿入する



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- 自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

2 画面を表示する

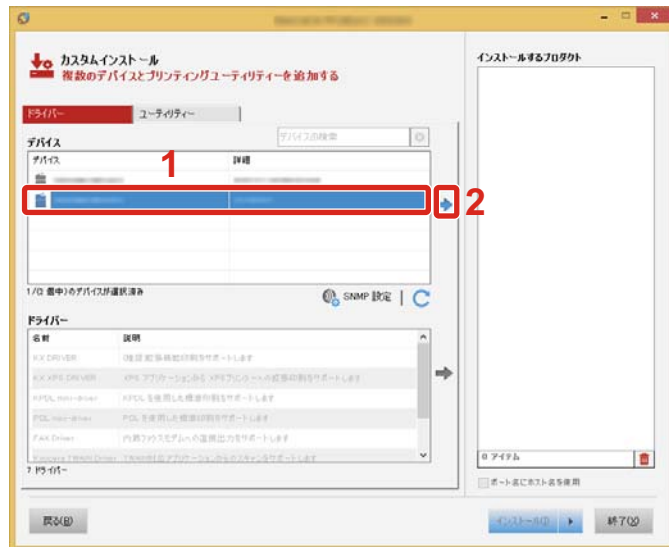


- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

3 [カスタムインストール]を選択する

4 インストールする

1 インストールするデバイスを選択します。



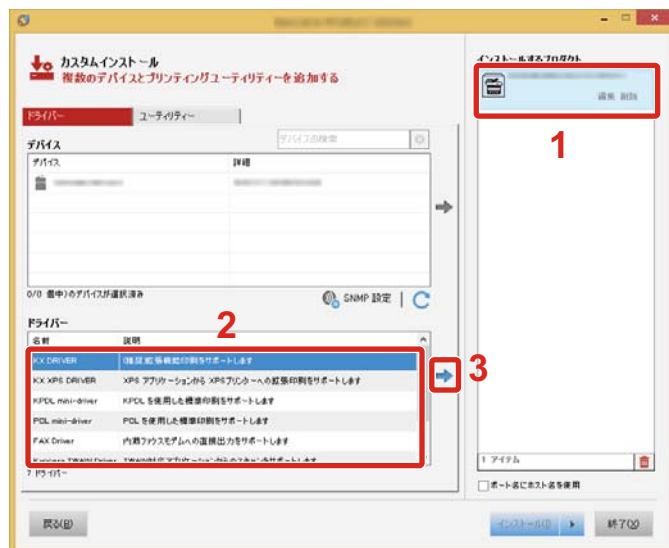
重要

Wi-FiまたはWi-Fi Directが使用できる状態に設定されている場合は、ポート名に必ずIPアドレスを指定ください。ホスト名を指定するとインストールが失敗することがあります。

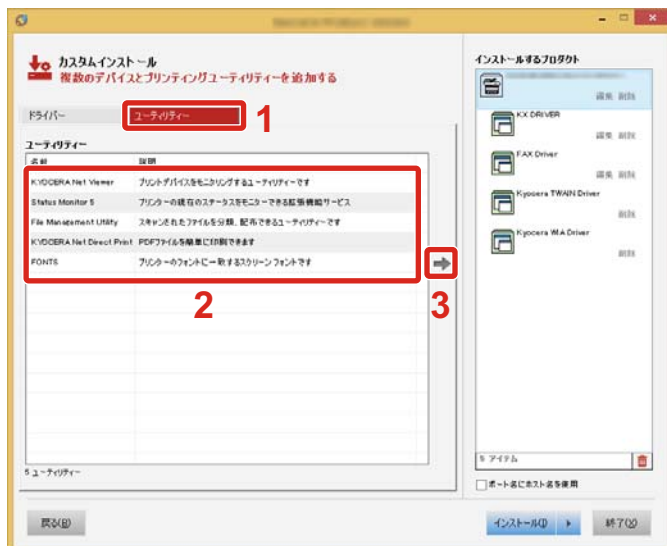
参考

- 本機の電源が切れている場合、本機は検出されません。本機が検出されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、C（更新）をクリックしてください。
- 目的のデバイスが表示されないときは、[カスタムデバイスの追加]を選択して使用したいデバイスを直接選びます。

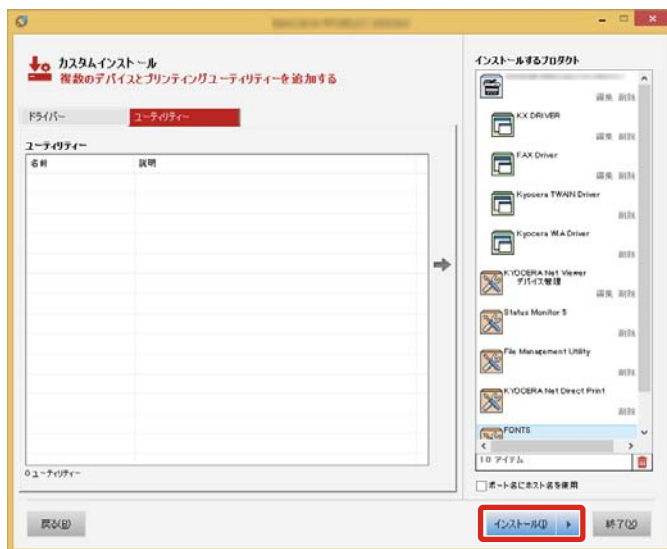
2 インストールするドライバーを選択します。



- 3 [ユーティリティ]タブをクリックして、インストールするユーティリティを選択します。



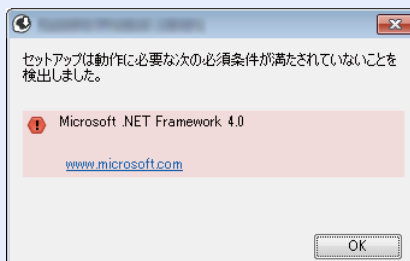
- 4 [インストール]をクリックします。



[インストール]をクリックすると、データ収集の協力をお願いする画面が表示されます。いずれかの回答を選択して、[OK]をクリックしてください。

参考

Windows 8より前のバージョンのWindowsにステータスモニターをインストールする場合、あらかじめMicrosoft .NET Framework 4.0のインストールが必要です。



5 インストールを終了する



「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、「テストページを印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

[完了]をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。

TWAINドライバーをインストールした場合は、続けて「TWAINドライバーの設定」を行ってください。

➡ [TWAINドライバーを設定する \(2-36\)](#)

ソフトウェアをアンインストールする

Product Libraryでインストールしたソフトウェアを削除するときは、以下の手順で行ってください。

参考

ソフトウェアをアンインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

1 画面を表示する

パソコンで以下を順に選択してください。

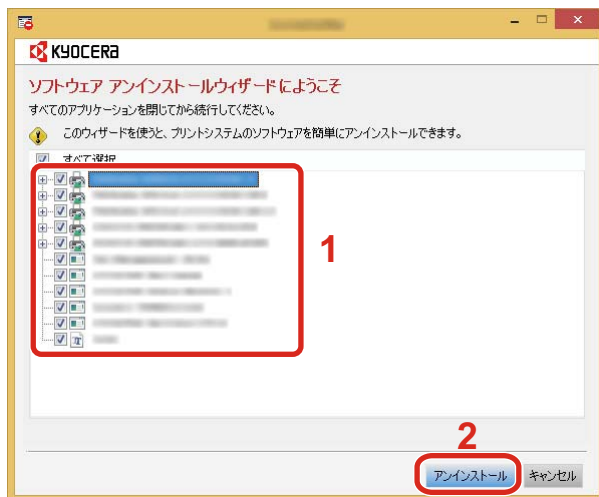
デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「プロダクトライブラリーのアンインストール」と入力します。検索された一覧の中から[プロダクトライブラリーのアンインストール]を選択します。ソフトウェアアンインストールウィザードが表示されます。

参考

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [すべてのプログラム] > [Kyocera] > [プロダクトライブラリーのアンインストール]を選択してください。

2 アンインストールする

削除するソフトウェアのチェックボックスにチェックを入れます。



3 アンインストールを終了する

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これでソフトウェアのアンインストール作業は終了です。

参考

- ソフトウェアのアンインストールはProduct Libraryを使って行うことも可能です。
- Product Libraryの画面で[アンインストール]を選択し、画面の表示に従ってソフトウェアをアンインストールします。

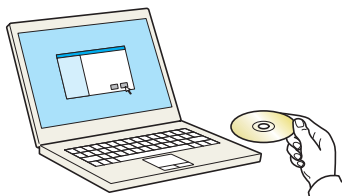
Macintoshにソフトウェアをインストールする

Macintoshでは、本機のプリンター機能が使用できます。

参考

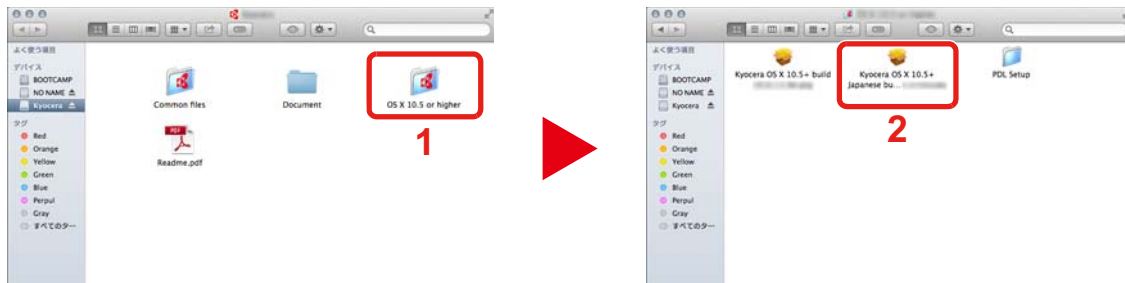
- ソフトウェアをインストールするときは、管理者の権限でログインする必要があります。
- Macintoshでインストールする場合は、本機のエミュレーションを[KPDL]または[KPDL(自動)]に設定してください。
- ➔ [\[プリンター\] \(8-29\)](#)
- Bonjourで接続する場合は、本機のネットワーク設定でBonjourを有効にしてください。
- ➔ [\[Bonjour\] \(8-40\)](#)
- 名前とパスワードの入力画面が表示された場合は、OSにログインするときに入力した名前とパスワードを入力してください。
- AirPrintを使用して印刷等を行う場合は、ソフトウェアのインストールは不要です。

1 DVDを挿入する



[Kyocera]アイコンをダブルクリックしてください。

2 画面を表示する



使用しているOSのバージョンのフォルダーを開き、[Kyocera OS X x.x Japanese]をダブルクリックします。

3 インストールする



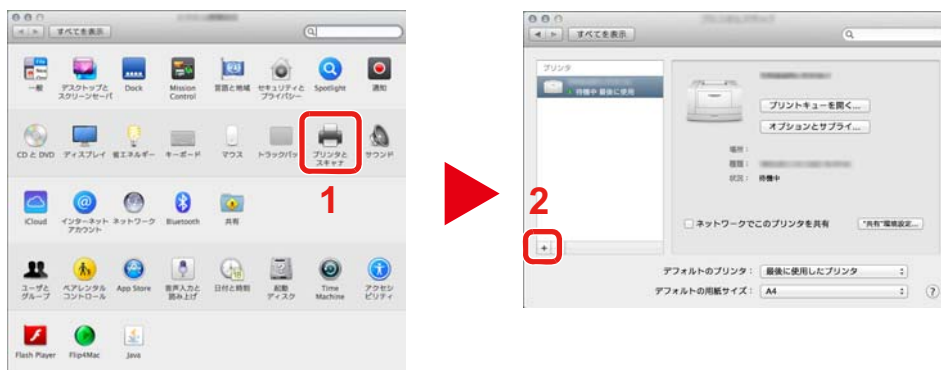
インストールプログラムの表示に従ってプリンタードライバをインストールします。

以上でプリンタードライバのインストールは完了です。

USB接続の場合は、自動的に本機の認識と接続が行われます。ネットワーク接続の場合は、続けてプリンターの設定を行ってください。

4 設定する

1 システム環境設定画面を開き、プリンターを追加します。



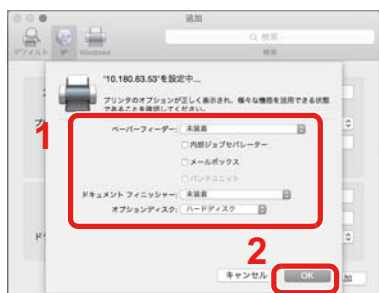
2 [デフォルト]を選択し、「名前」に表示された項目をクリックした後、ドライバーを選択します。



参考

IPアドレスを入力する場合は、[IP]を選択し、ホスト名またはIPアドレスを入力してください。「名前」には、「アドレス」に入力した番号が自動的に入ります。必要に応じて変更してください。

3 本機に装備されているオプションを選択します。



4 設定したプリンターが追加されます。



TWAINドライバーを設定する

ここではWindows 8.1を例に説明します。

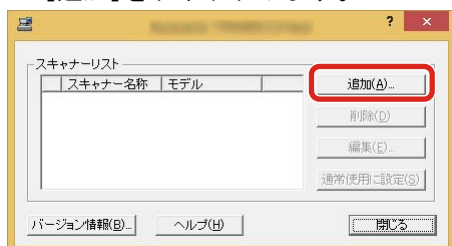
1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「TWAIN Driver Setting」と入力します。検索された一覧の中から[TWAIN Driver Setting]を選択します。TWAINドライバー設定画面が表示されます

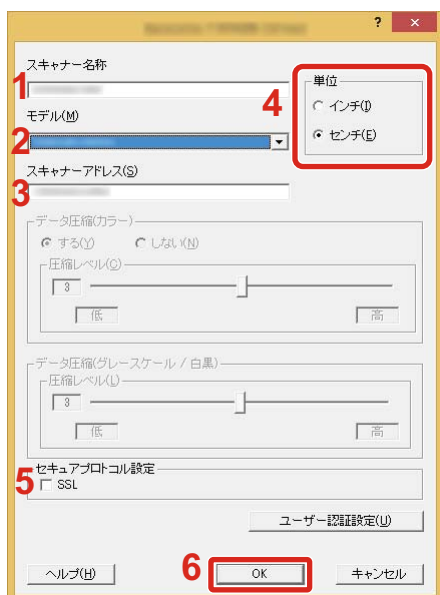
参考

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [すべてのプログラム] > [Kyocera] > [TWAIN Driver Setting]を選択してください。

- 2 [追加]をクリックします。



2 設定する

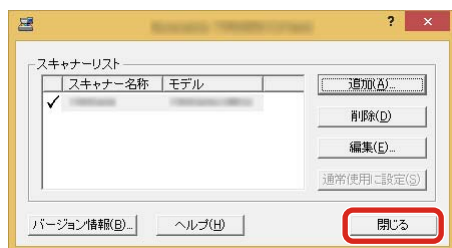


- 1 本機の名称を入力します。
- 2 リストから本機を選択します。
- 3 本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
- 4 使用する単位を選択します。
- 5 SSLを設定する場合は選択します。
- 6 [OK]をクリックします。

参考

本機のIPアドレスまたはホスト名は管理者に確認してください。

3 終了する



参考

[削除]をクリックすると、登録されている機器を削除できます。[編集]をクリックすると、名称などの変更ができます。

WIAドライバーを設定する

ここではWindows 8.1を例に説明します。

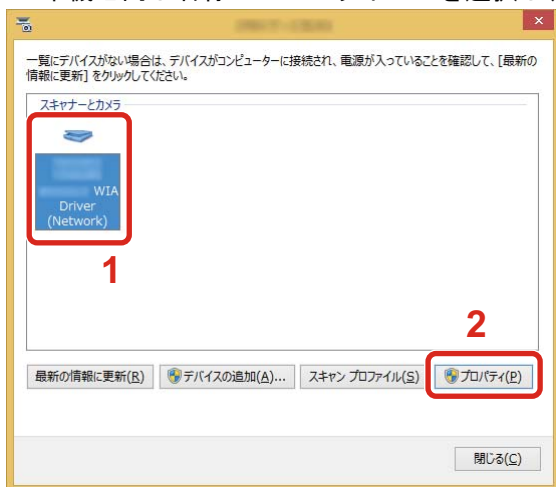
1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「スキャナーとカメラの表示」と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]を選択すると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

参考

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラムとファイルの検索]欄に「スキャナー」と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

- 2 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。



2 設定する



- 1 設定のタブをクリックします。
- 2 本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
- 3 SSLを利用する場合は選択します。
- 4 使用する単位を選択します。
- 5 [OK]をクリックします

WSDドライバーをインストールする

Windows 8、Windows 8.1、Microsoft Windows Server 2012の場合

- 1 デスクトップのチャームから[検索] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示]を選択する
- 2 ドライバーをインストールする
[デバイスの追加]をクリックします。本機の機種名が表示されたアイコンを選択して、[次へ]をクリックします。
「デバイスとプリンター」画面の「プリンター」に本機の機種名のアイコンが表示されたらインストール完了です。

Windows 7の場合

- 1 スタートメニューの[ネットワーク]を表示する

Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[ネットワーク]をクリックします。



参考

スタートメニューに[ネットワーク]が表示されていない場合は、以下の操作を行ってください。

- 1 [スタート]を右クリックし、表示されたメニューで[プロパティ]をクリックします。
- 2 「タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ」画面で[[スタート]メニュー]タブを選択し、[カスタマイズ]をクリックします。
- 3 「[スタート]メニューのカスタマイズ」画面が表示されたら、「ネットワーク」にチェックを入れて、[OK]をクリックします。

- 2 ドライバーをインストールする

本機の機種名が表示されたアイコンを右クリックして、[インストール]をクリックします。



参考

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、[続行]をクリックしてください。

「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。

ドライバーのインストール中、タスクバーに表示されるアイコンをダブルクリックすると、「ドライバーソフトウェアのインストール」画面が表示されます。「ドライバーソフトウェアのインストール」画面上に、「デバイスを使用する準備ができました。」が表示されたら、インストール完了です。

Windows10の場合

- 1 Windowsの[スタート]ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示]を選択する
- 2 ドライバーをインストールする
[デバイスの追加]をクリックします。本機の機種名が表示されたアイコンを選択して、[次へ]をクリックします。
「デバイスとプリンター」画面の「プリンター」に本機の機種名のアイコンが表示されたらインストール完了です。

管理者が行うセキュリティ強化

本機の管理者は、この章で説明していること以外に、下記を確認の上必要なセキュリティ強化を行ってください。

また、本機はユーザー認証機能を搭載しており、設定することで、登録されたログインユーザー名とパスワードを持っている人しか本機を使えないようにすることができます。

➡ [ユーザー認証、集計管理\(ユーザー管理、部門管理\) \(9-1\)](#)

強化したいこと	機能名	参照ページ
本機を使用するユーザーを制限したい	ユーザー管理	9-2
	認証セキュリティ	9-4
	オートパネルリセット	8-57
	ICカード設定 ^{*1}	9-27
使用できる基本機能を制限したい	ローカル認可	9-16
	グループ認可設定	9-17
	ゲスト 認可設定	9-19
本機に保存した文書を他のユーザーに操作させたくない	ユーザーボックス ^{*2}	5-36
本機に保存したデータの流出を防ぎたい	上書き消去 ^{*3}	Data Security Kit (E) 使用説明書
	暗号化 ^{*3}	
	PDF暗号化機能	6-41
本機を廃棄するとき、本機内のデータを完全に削除したい	セキュリティデータの完全消去	8-54
傍受、盗聴から、通信内容を保護したい	IPP over SSL	8-44
	HTTPS	8-43
	LDAPセキュリティ	Command Center RX 操作手順書
	SMTPセキュリティ	8-47
	POP3セキュリティ	8-47
	FTP暗号送信	8-17
	Enhanced WSD (SSL)	8-46
	IPSec	8-40
	SNMPv3	8-42

*1 オプションのICカード認証キットが必要です。

*2 オプションのSSDが必要です。

*3 オプションのセキュリティキットが必要です

Command Center RXとは

本機をネットワークに接続してご使用の場合、Command Center RXを使用してさまざまな設定を行うことができます。ここでは、Command Center RXへのアクセス手順と、セキュリティー設定、ホスト名の変更方法などについて説明します。

➡ Command Center RX操作手順書

参考

Command Center RXのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、文書ボックスやアドレス帳管理、設定/登録を含めたすべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです（大文字・小文字は区別されます）。

ログインユーザー名 : Admin

ログインパスワード : Admin

管理者と一般ユーザーがCommand Center RXで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明	管理者	一般ユーザー
デバイス情報	本機の構成を確認できます。	○	○
ジョブ状況	印刷やスキャンジョブ、保存ジョブ、予約ジョブ、およびジョブ履歴を含むすべてのデバイスのジョブ情報が表示されます。	○	○
文書ボックス	文書ボックスの追加や削除、または文書ボックス内の文書の削除などを行います。	○	○ ^{*1}
アドレス帳管理	アドレスおよびアドレスグループの新規作成および編集、削除を行います。	○	○ ^{*1}
デバイス設定	本機の詳細設定を行います。	○	-
機能設定	機能の詳細設定を行います。	○	-
ネットワーク設定	ネットワークの詳細設定を行います。	○	-
セキュリティー設定	セキュリティーの詳細設定を行います。	○	-
管理設定	管理の詳細設定を行います。	○	-

*1 ログインするユーザーの権限により、設定できる項目に制限があります。

参考

ファクス機能を使用するには、オプションのファクスキットが必要です。

ここではファクスの設定に関しては省略しています。

➡ ファクス使用説明書

Command Center RX へアクセスする

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。
本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]
例) `https://10.180.81.1/` (IPアドレスの場合)
`https://MFP001` (ホスト名がMFP001の場合)



本機およびCommand Center RXに関する一般情報と現在の状態が、Webページに表示されます。

参考

「このWeb サイトのセキュリティ証明書には問題があります」の画面が表示された場合、証明書の設定をしてください。

▶ Command Center RX操作手順書

または、証明書を設定しないでこのまま続行することもできます。

2 設定する

画面左のナビゲーションバーから項目を選択してください。

参考

Command Center RXのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、文書ボックスやアドレス帳管理、設定/登録を含めたすべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

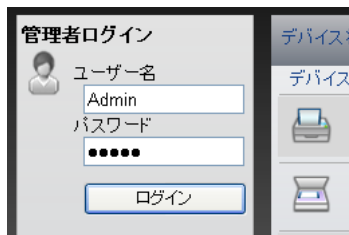
ログインユーザー名: Admin

ログインパスワード: Admin

セキュリティ設定を変更する

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。
本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]
- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin

ログインパスワード: Admin

- 4 [セキュリティ設定]をクリックします。

2 設定する

[セキュリティ設定]メニューから設定したい項目を選択して、設定を行います。



参考

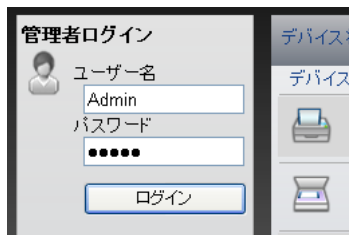
証明書に関する設定については、次を参照してください。

▶ Command Center RX操作手順書

デバイス情報を変更する

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。
本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]
- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin

ログインパスワード: Admin

- 4 [デバイス設定]メニューの[システム]をクリックします。



2 設定する

デバイス情報を入力して、[設定]をクリックします。



重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

[管理設定]メニューの[リセット]をクリックし、「再起動」の[ネットワークの再起動]をクリックすることで、ネットワークインターフェイスカードの再起動ができます。

SMTPおよびメール送信の設定をする

SMTPを設定すると、本機で読み取った画像をメールに添付して送信したり、ジョブが終了したことをメールで通知したりすることができます。

この機能を使用するには、SMTPプロトコルによる本機とメールサーバーの接続が必要です。

また、次の項目を設定してください。

- SMTPの設定
設定項目:「SMTP」の「SMTPプロトコル」、「SMTPサーバー名」等
- 本機がメールを送信するときの差出人のアドレス
設定項目:「メール送信設定」の「差出人アドレス」
- メールサイズ制限の設定
設定項目:「メール送信設定」の「メール送信のサイズ制限」

1 画面を表示する

SMTPプロトコルの画面を表示します。

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。
本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]
- 3 管理者の権限でログインします。

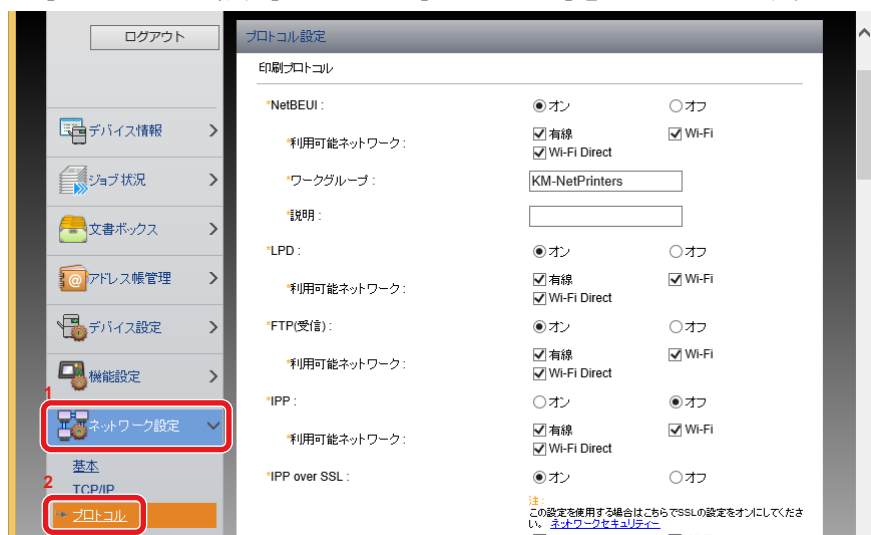


管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名:Admin

ログインパスワード:Admin

4 [ネットワーク設定]メニューの[プロトコル]をクリックします。



2 設定する

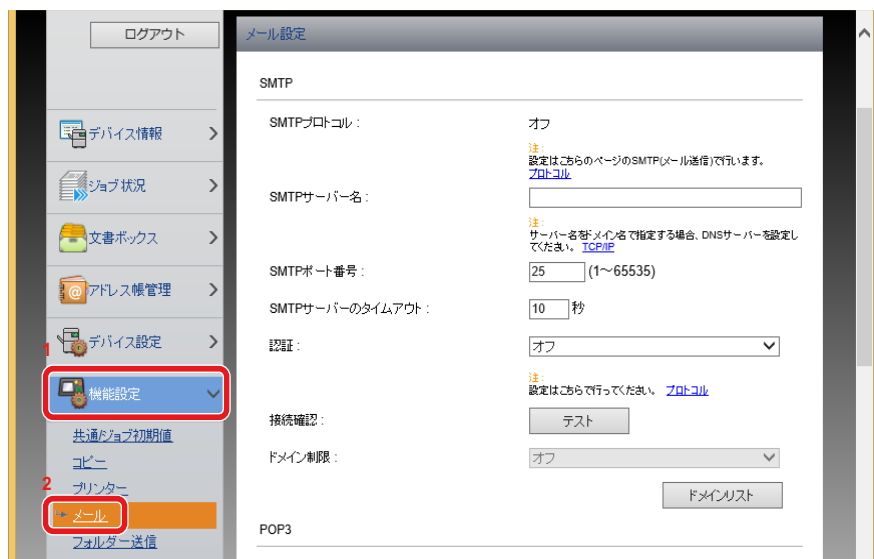
「送信プロトコル」の「SMTP(メール送信)」で設定を[オン]にしてください。



3 画面を表示する

メール設定の画面を表示します。

[機能設定]メニューの[メール]をクリックします。



4 設定する

「SMTP」および「メール送信設定」の項目を入力します。

項目		説明
SMTP		本体からメールを送信するときに設定します。
	SMTPプロトコル	SMTPプロトコルの設定を参照します。「SMTPプロトコル」の設定が[オン]になっているか確認してください。[オフ]の場合は、[プロトコル]をクリックして、SMTPプロトコルの設定を[オン]にしてください。
	SMTPサーバー名 ^{*1}	SMTPサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。
	SMTPポート番号	SMTPが使用するポート番号を設定します。ポート番号の工場出荷時の値は25です。
	SMTPサーバーのタイムアウト	タイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
	認証	SMTP認証をする場合、認証するユーザー情報を入力します。
	SMTPセキュリティ	SMTPセキュリティを設定します。「プロトコル」ページで「SMTP(メール送信)」の「SMTPセキュリティ」を設定してください。
	接続確認	メールを送信せずに、設定した内容が正しいかどうかをテストします。
POP3	ドメイン制限	ドメイン制限をする場合、[ドメインリスト]をクリックし、許可、または拒否する宛先のドメイン名を入力します。メールアドレスで指定することもできます。
	POP3プロトコル	本体からメールを送信する機能だけ使用する場合は、設定する必要はありません。本体でメールを受信する機能を使用する場合に設定します。 ▶ Command Center RX操作手順書
	着信チェック間隔	
	直ちに実行	
	ドメイン制限	
	POP3ユーザー設定	

項目		説明
メール送信 設定	メール送信の サイズ制限	送信可能なメールの最大サイズをキロバイトで入力します。ここで入力したサイズより大きいメールになった場合、エラーを表示し、メール送信しません。SMTPサーバーの送信メールのサイズを制限している場合は、入力してください。SMTPサーバーの送信メールのサイズに制限が無い場合、0を入力してください。0を入力するとメールサイズの制限に関係なくメール送信します。
	差出人アドレス ^{*1}	本機がメールを送信するときの差出人のアドレスを指定します。配信エラーメールなどが、ここで指定した差出人のアドレスに返信される場合がありますので、架空のアドレスではなく、機器管理者などが受け取れるメールアドレスを指定することをお勧めします。また、SMTP認証を設定している場合は、アドレスを正確に入力する必要があります。 差出人アドレス:128文字以内
	署名	メール本文の最後に挿入される、テキスト形式の署名を入力します。ここで入力した署名を使って、プリントシステムの識別をすることもあります。 署名:512文字以内
	機能初期値	機能の初期値を変更する場合は、[共通/ジョブ初期値]で行ってください。

5 [設定]をクリックする

アドレス帳の移行

本機のユーティリティを使用すると、機械の置き換えの際に、アドレス帳をスムーズに移行することができます。

機械に登録されているアドレス帳は、付属のDVDに収録されているKYOCERA Net Viewerを使用することでバックアップや移行ができます。

KYOCERA Net Viewerの操作方法については、次を参照してください。

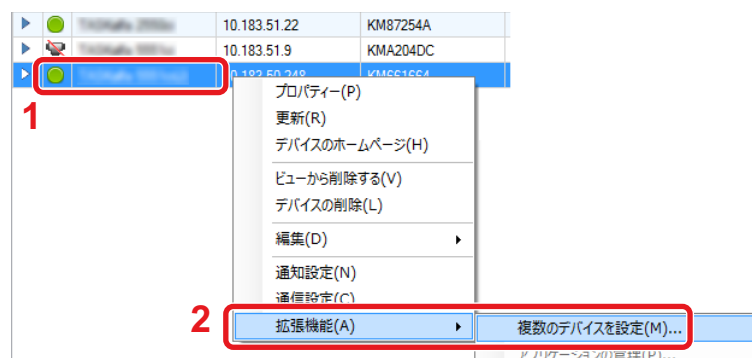
➡KYOCERA Net Viewer操作手順書

アドレス帳をパソコンにバックアップする

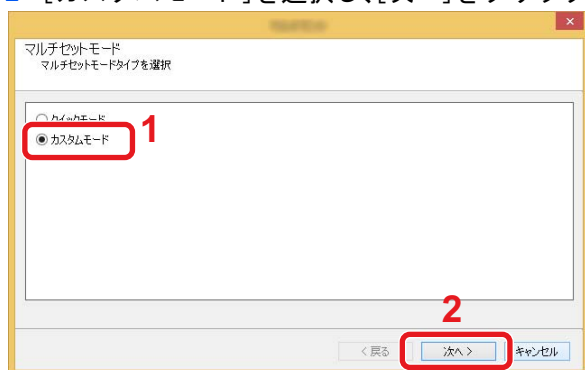
1 KYOCERA Net Viewerを起動する

2 バックアップを行う

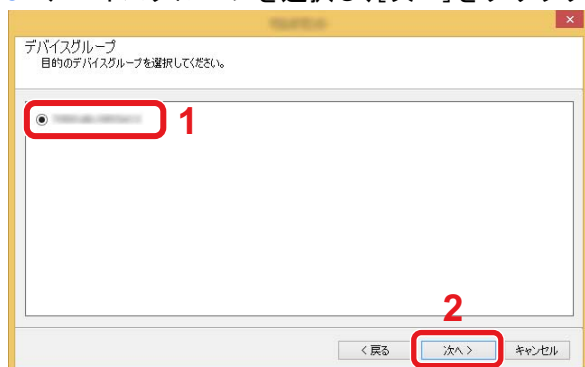
- 1 アドレス帳をバックアップしたいモデル名を右クリックし、[拡張機能] > [複数のデバイスを設定]を選択します。



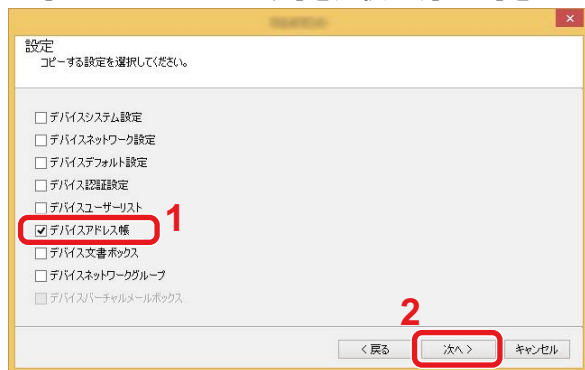
- 2 [カスタムモード]を選択し、[次へ]をクリックします。



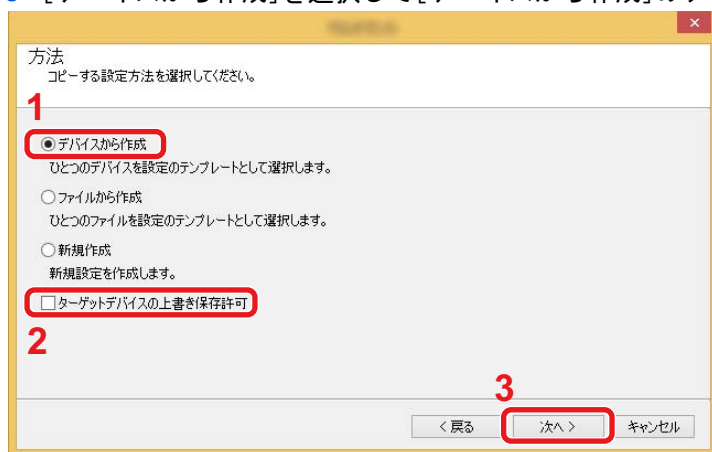
- 3 デバイスグループを選択し、[次へ]をクリックします。



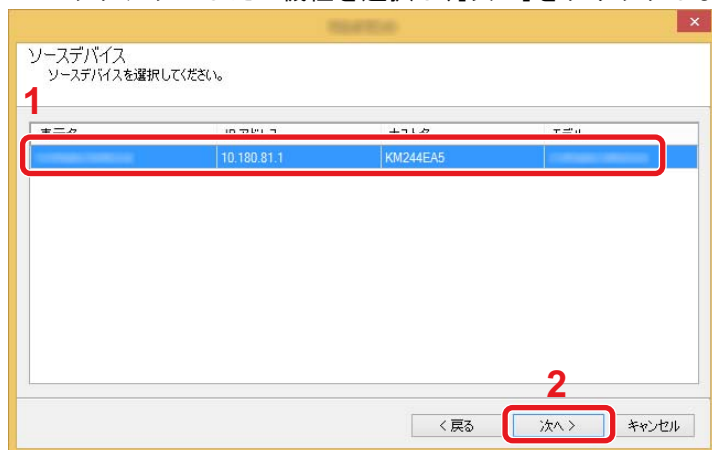
4 [デバイスアドレス帳]を選択し、[次へ]をクリックします。



5 [デバイスから作成]を選択して[デバイスから作成]のチェックを外し、[次へ]をクリックします。



6 バックアップしたい機種を選択し、[次へ]をクリックします。



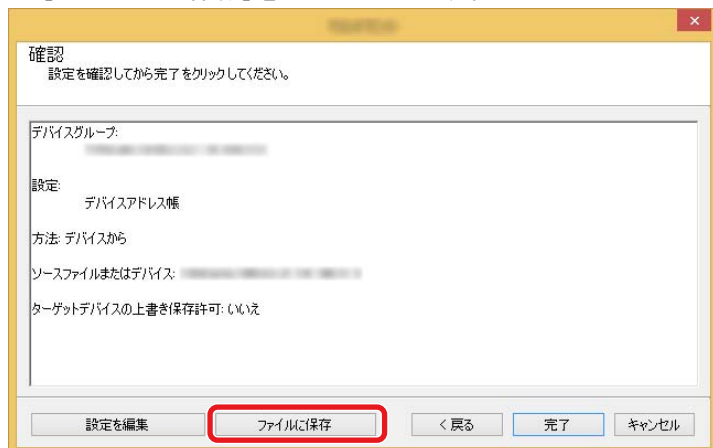
 参考

「管理者ログイン」の画面が表示されたときは、「管理者ログイン」と「ログインパスワード」を入力して[OK]を押します。初期設定は下記が設定されています(大文字・小文字は区別されます。).

ログインユーザー名: Admin

ログインパスワード: Admin

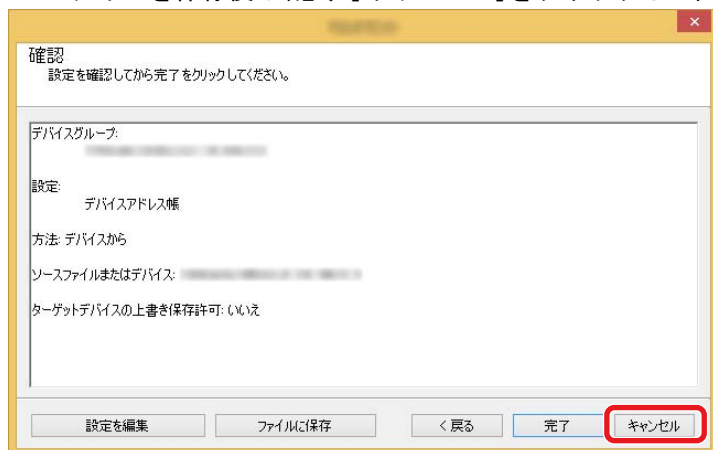
7 [ファイルに保存]をクリックします。



8 保存する場所とファイル名を設定し、[保存]をクリックします。

「ファイルの種類」は必ず「XMLファイル」を選択してください。

9 ファイルを保存後は、必ず[キャンセル]をクリックして画面を閉じます。



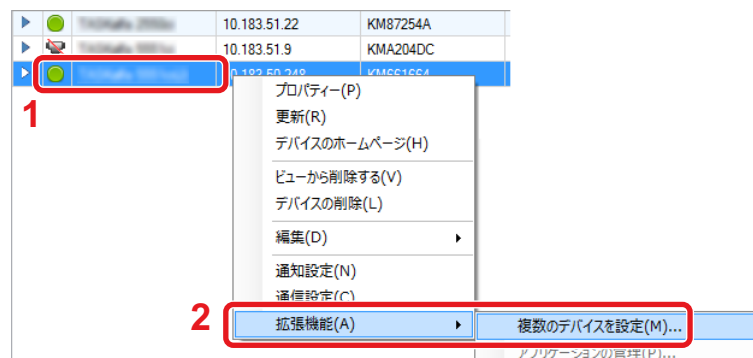
[完了]を選択すると本体のアドレス帳にデータを書き込みますのでご注意ください。

アドレス帳を本体に書き込む

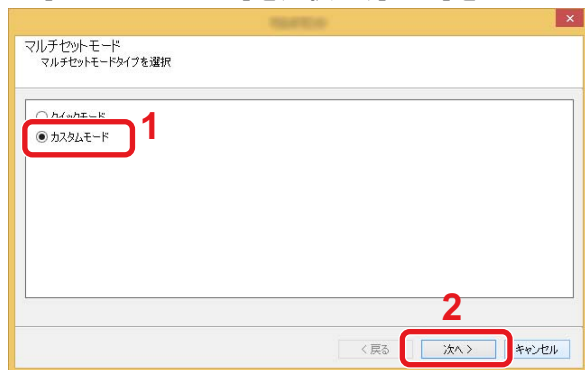
1 KYOCERA Net Viewerを起動する

2 アドレス帳データを取り込む

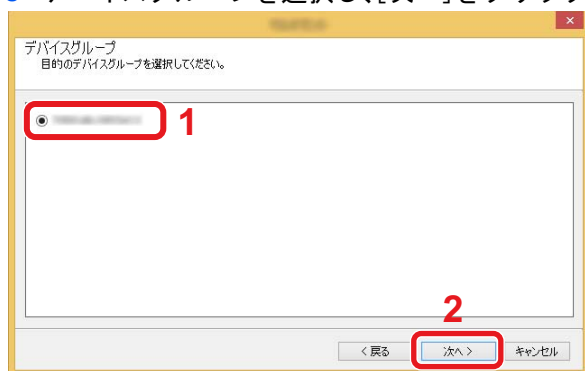
1 アドレス帳を転送したいモデル名を右クリックし、[拡張機能] > [複数のデバイスを設定]を選択します。



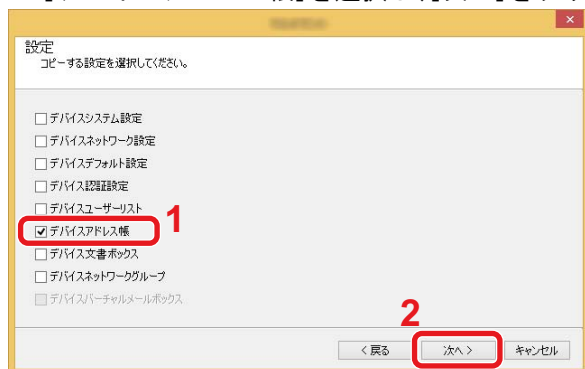
- 2 [カスタムモード]を選択し、[次へ]をクリックします。



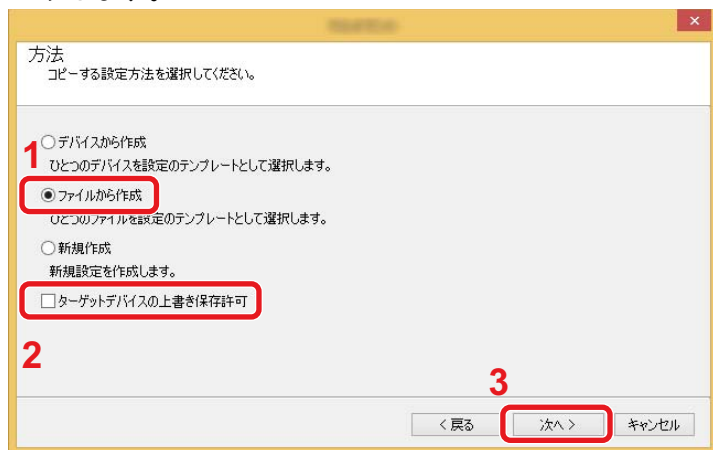
- 3 デバイスグループを選択し、[次へ]をクリックします。



- 4 [デバイスアドレス帳]を選択し、[次へ]をクリックします。

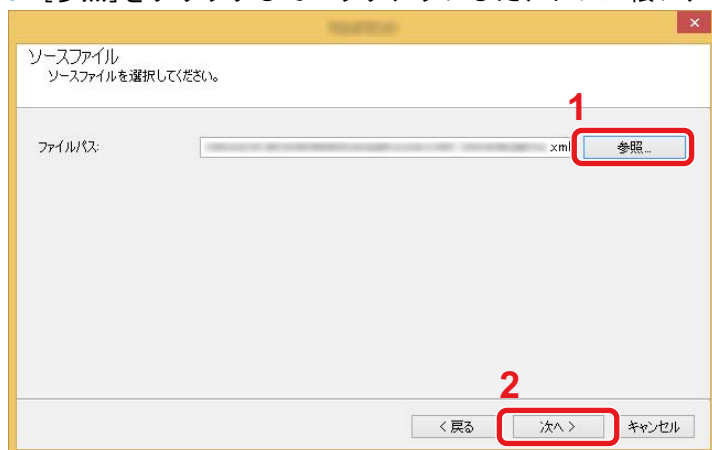


- 5 [ファイルから作成]を選択して[ターゲットデバイスの上書き保存許可]のチェックを外し、[次へ]をクリックします。

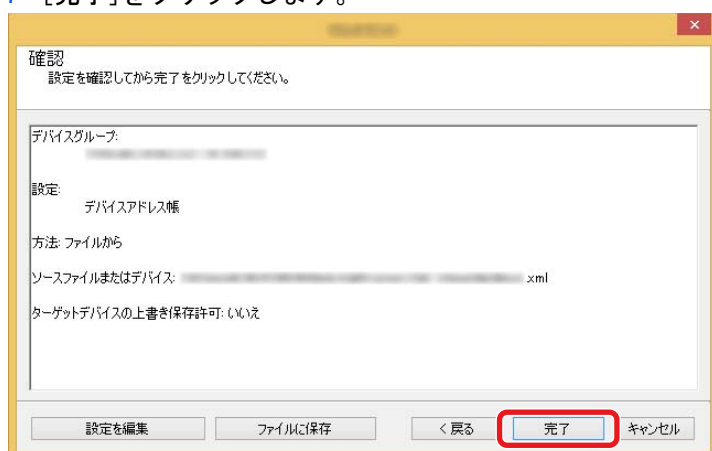


[ターゲットデバイスの上書き保存許可]にチェックを付けた場合、本体アドレス帳のNo.1から上書き保存されます。

- 6 [参照]をクリックしてバックアップしたアドレス帳ファイルを選択し、[次へ]をクリックします。



- 7 [完了]をクリックします。



アドレス帳データの書き込みを開始します。

- 8 書き込みが完了したら[閉じる]をクリックします。

アプリケーションとは

本機は、アプリケーションをインストールして機能を拡張することができます。

お客様の業務内容に合わせたスキャン機能や認証機能などのアプリケーションを提供し、日常の業務をより効率的に行えるようサポートします。

詳細につきましては、販売担当者またはお買い上げ販売店にお問い合わせください。

アプリケーションをインストールする

アプリケーションを使用するには、まず本機にアプリケーションをインストールし、その後アプリケーションを起動します。



参考

本機にアプリケーションおよび証明書をインストールできます。なお、アプリケーションの種類によって実行できるアプリケーション数が異なります。

操作手順は、次のとおりです。

1 画面を表示する

[システムメニュー／カウンター]キー > [アプリケーション] > [アプリケーション]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

2 インストールする

1 [＋]もしくは[メニュー] > [新規登録]を選択します。

2 インストールするアプリケーションが保存されているUSBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。



参考

「外部メモリーを認識しました。ファイルを表示します。よろしいですか？」が表示された場合は、[いいえ]を選択してください。

3 インストールするアプリケーションを選択 > [インストール]

[

4 [はい]を選択します。

アプリケーションのインストールが開始されます。インストールするアプリケーションによっては、インストールに時間がかかる場合があります。

インストールが終了すると、元の画面に戻ります。



参考

- 他のアプリケーションをインストールする場合は、手順2-3～2-4を繰り返してください。
- USBメモリーを取り外す場合は、[メモリー取り外し]を選択し、「外部メモリーを安全に取り外せます。」が表示されたらUSBメモリーを取り外してください。

アプリケーションをアンインストールする

1 画面を表示する

[システムメニュー／カウンター] > [アプリケーション] > [アプリケーション]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

2 削除する

1 削除するアプリケーションを選択 > [🗑]

[🔍]を選択すると、選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

2 削除の確認画面で[はい]を選択します。

3 本機を使用する準備

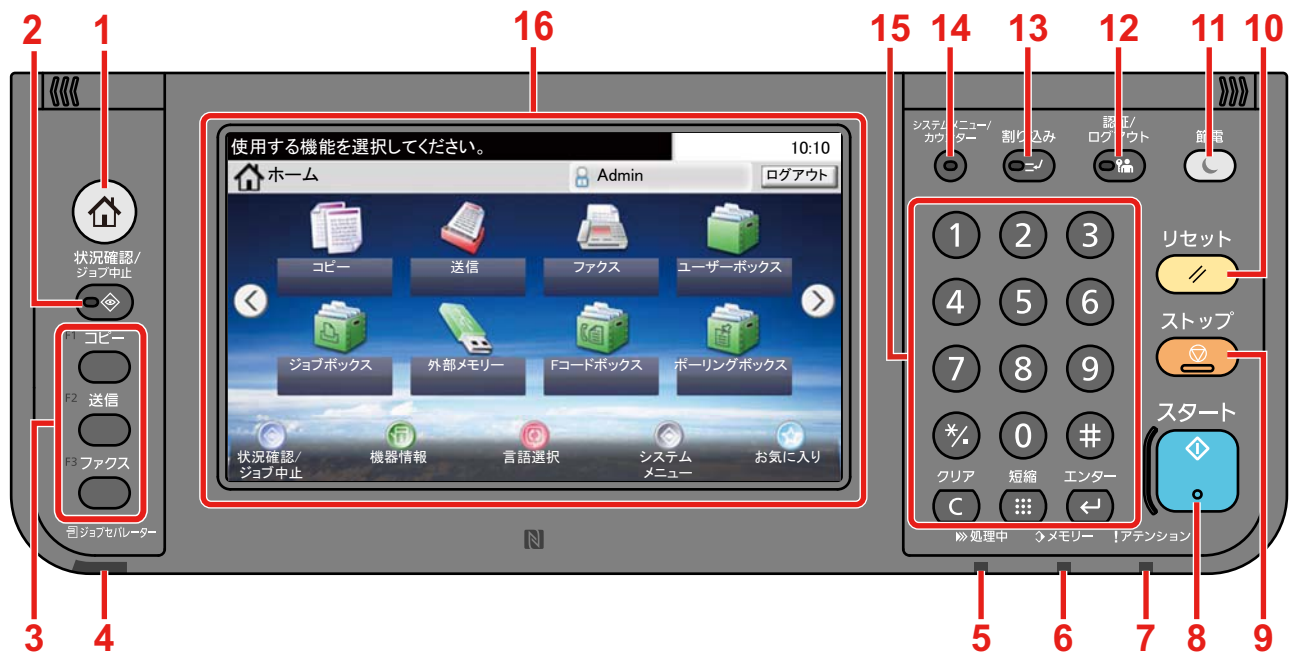
この章では、次の項目について説明します。

操作パネルの使いかた	3-3
機能キーに機能を割り当てる	3-4
タッチパネルの使いかた	3-6
ホーム画面を表示する	3-6
機器情報を表示する	3-11
機能キーを表示する	3-12
設定できないキーの表示のしかた	3-13
[エンター]キーの使いかた	3-14
[短縮]キーの使いかた	3-14
ヘルプ画面の使いかた	3-15
本機へのログイン・ログアウト	3-16
ログインする	3-16
簡単ログイン画面からログインする	3-17
ログアウトする	3-17
カウンターを確認する	3-18
用紙をセットする	3-19
用紙の取り扱い上の注意	3-19
給紙段を選択する	3-20
カセット1(～3)に用紙をセットする	3-20
排紙ストッパーの使いかた	3-24
排紙ガイドの使いかた	3-25
パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備	3-26
コンピューター名とフルコンピューター名をメモする	3-26
ユーザー名とドメイン名をメモする	3-27
共有フォルダーのアクセス許可を設定する	3-27
共有フォルダーを作成する、共有名をメモする	3-28
ファイルとプリンターの共有を許可する	3-31
Windowsファイアウォールを設定する	3-32
宛先の登録	3-36
アドレス帳に新しい宛先を登録する	3-36
アドレス帳の宛先を変更する	3-40
アドレス帳の宛先を削除する	3-41
ワンタッチキーに宛先を登録する	3-42
ワンタッチキーの宛先を変更する	3-43
ワンタッチキーの宛先を削除する	3-43
Command Center RXで宛先を登録する	3-45
よく使う機能呼び出すには(お気に入り)	3-46
お気に入りをウィザード形式で登録する	3-47
お気に入りをプログラム形式で登録する	3-48
お気に入りをウィザード形式で実行する	3-49
お気に入りをプログラム形式で実行する	3-49
お気に入りを編集する	3-50
お気に入りを削除する	3-50
よく使う機能を登録するには[ショートカット登録]	3-51
ショートカットを登録する	3-51
ショートカットを編集する	3-51
ショートカットを削除する	3-52
文書ボックスを使用するには	3-53
ユーザーボックスとは	3-53

ジョブボックスとは	3-53
外部メモリーボックスとは	3-54
Fコードボックス/ポーリングボックス/ファクスメモリー受信ボックスとは	3-54
本機でユーザーボックスを作成する	3-54
Command Center RXでユーザーボックスを作成する	3-55
ボックスを編集する	3-56
ボックスを削除する	3-57

操作パネルの使いかた

TASKalfa 2520i



- 1 [ホーム] キー: ホーム画面を表示します。
- 2 [状況確認/ジョブ中止] キー: 状況確認/ジョブ中止画面を表示します。
- 3 機能キー: コピーやスキャンなどの各種機能/アプリケーションを登録できるキーです。
⇒機能キーに機能を割り当てる
- 4 [ジョブセパレーター] ランプ: ジョブセパレーターのトレイに用紙があると点灯します。
- 5 [処理中] ランプ: 印刷中や送受信の処理中に点滅します。
- 6 [メモリー] ランプ: SSD、ファクス用メモリー、USBメモリー(汎用品)にアクセス中に点滅します。
- 7 [アテンション] ランプ: エラーが発生してジョブが停止すると点灯または点滅します。
- 8 [スタート] キー: コピーやスキャン動作を開始したり、設定動作の処理を開始したりします。
- 9 [ストップ] キー: 動作中のジョブを中止、または一時停止します。
- 10 [リセット] キー: 設定値を初期状態に戻します。
- 11 [節電] キー: 本機をスリープ状態にします。スリープ状態のときはスリープから復帰します。
- 12 [認証/ログアウト] キー: ユーザー認証と各ユーザーの操作を終了(ログアウト)します。
- 13 [割り込み] キー: 割り込みコピー画面を表示します。
- 14 [システムメニュー/カウンター] キー: システムメニュー画面を表示します。
- 15 [テンキーボード] キー: テンキーです。数字や記号を入力します。
- 16 タッチパネル: アイコンに触れて各種設定を行います。

機能キーに機能を割り当てる

機能キーは、コピーやスキャンなどの各種機能/アプリケーションを割り当てることのできるキーです。よく使う機能/アプリケーションを割り当てて、簡単にその画面を表示することができます。

本機には、あらかじめ次の機能が割り当てられていますが、これらを変更して、別の機能を登録できます。

- [F1] (機能キー1): コピー
- [F2] (機能キー2): 送信
- [F3] (機能キー3): ファクス (オプション)

1 画面を表示する

[システムメニュー／カウンター]キー> [共通設定]> [機能キー登録]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

2 設定する

- 1 設定する機能キーを選択します。

2 割り当てる機能を選択します。

機能	説明	参照ページ
なし	機能を割り当てません。	—
コピー	コピー画面を表示します。	5-12
送信	送信画面を表示します。	5-14
ファクスサーバー ^{*1}	ファクスサーバー送信画面を表示します。	5-26
ファクス ^{*1}	ファクス画面を表示します。	ファクス使用説明書
ユーザーボックス ^{*2}	ユーザーボックス画面を表示します。	3-53
ジョブボックス	ジョブボックス画面を表示します。	5-43
外部メモリー	外部メモリー画面を表示します。	5-50
Fコードボックス ^{*1}	Fコードボックス画面を表示します。	ファクス使用説明書
ポーリングボックス ^{*1}	ポーリングボックス画面を表示します。	ファクス使用説明書
自分に送信(メール) ^{*3}	送信画面を表示します。宛先には、ログインしているユーザーのメールアドレスが登録されています。	5-26
ファクスメモリー受信ボックス ^{*1}	ファクスメモリー受信ボックス画面を表示します。	ファクス使用説明書
お気に入り	登録されているお気に入りを呼び出します。	3-46
アプリケーション名	選択したアプリケーションの画面を表示します。	2-54

*1 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

*2 オプションのSSDを装着している場合に表示されます。

*3 ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。

タッチパネルの使いかた

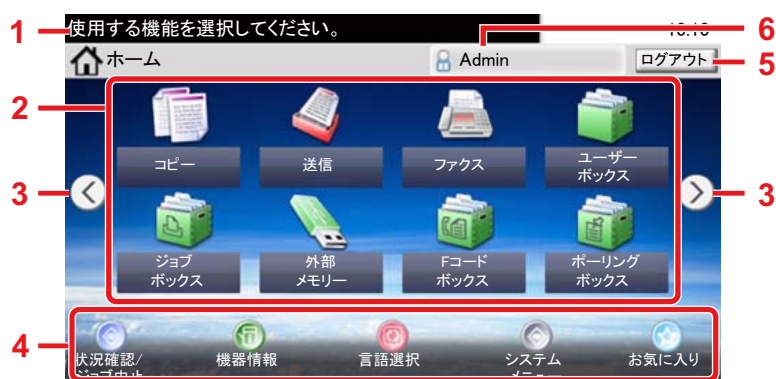
ホーム画面を表示する

操作パネルの[ホーム]キーを押すと表示される画面です。アイコンをタッチすると対応する画面が表示されます。

ホーム画面に表示するアイコンや画面の背景は変更することができます。

➡ [ホーム画面を編集する \(3-8\)](#)

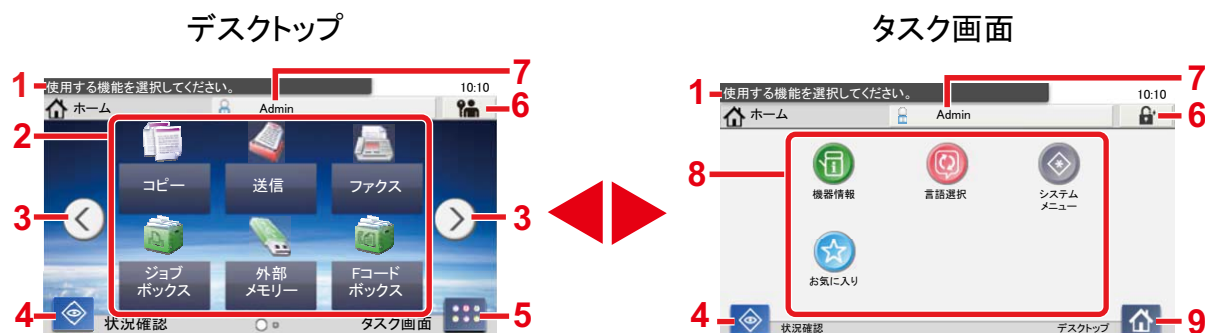
TASKalfa 2520i



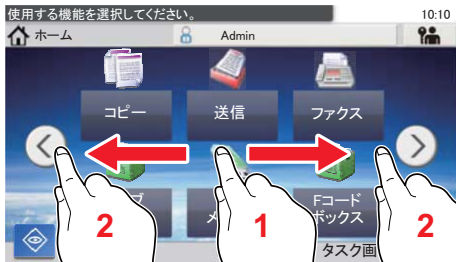
*設定やオプションの構成により、実際の画面と異なる場合があります。

番号	項目	説明
1	メッセージ	状況に応じてメッセージを表示します。
2	デスクトップ	機能アイコンを表示します。お気に入りに登録された機能も表示されます。1ページ目に表示されていないアイコンは、ページを切り替えると表示されます。
3	画面切り替えキー	デスクトップのページを切り替えます。複数ページがある場合に、表示されます。  参考 画面をタッチした状態で指を左右に動かすことでも表示を切り替えることができます。(スワイプ操作) 
4	タスクバー	タスクアイコンを表示します。
5	[ログアウト]	ログアウトします。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。
6	ログインユーザー名	ログインしているユーザー名を表示します。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。「ログインユーザー名」を選択するとログインしているユーザーの情報が表示されます。

TASKalfa 2510i



* 設定やオプションの構成により、実際の画面と異なる場合があります。

番号	項目	説明
1	メッセージ	状況に応じてメッセージを表示します。
2	デスクトップ	機能アイコンを表示します。お気に入りに登録された機能も表示されます。1ページ目に表示されていないアイコンは、ページを切り替えると表示されます。
3	画面切り替えキー	デスクトップのページを切り替えます。複数ページがある場合に、表示されます。  参考 画面をタッチした状態で指を左右に動かすことでも表示を切り替えることができます。(スワイプ操作) 
4	[状況確認]	状況確認画面を表示します。エラーが発生すると、アイコンに「！」が表示されます。エラーが解除されると元の表示に戻ります。
5	[タスク画面]	タスク画面を表示します。
6	[ログアウト]	ログアウトします。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。
7	ログインユーザー名	ログインしているユーザー名を表示します。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。「ログインユーザー名」を選択するとログインしているユーザーの情報が表示されます。
8	タスク画面	タスクアイコンを表示します。
9	[デスクトップ]	デスクトップを表示します。

ホーム画面を編集する

ホーム画面に表示するアイコンや画面の背景を編集します。

1 画面を表示する

[システムメニュー／カウンター]キー > [ホーム]



参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

2 設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
デスクトップの設定	デスクトップに表示する機能アイコンを設定します。^{*1} [新規登録]^{*3}または[+] ^{*4}を選択すると、表示する機能の選択画面が表示されます。表示する機能を選択して[OK]を選択します。 アイコンを選択して[前へ]または[後ろへ]を選択すると、デスクトップに表示する順序を入れ替えることができます。 アイコンを選択して[削除]^{*3}または[] ^{*4}を選択すると、デスクトップから削除することができます。
タスクバーの設定 ^{*3}	タスクバーに表示するタスクアイコンを設定します。 ^{*2}
タスク画面の設定 ^{*4}	ホーム画面の左下に表示する機能と、タスク画面に表示するタスクアイコンを設定します。 ^{*2}
壁紙	ホーム画面の背景を設定します。 設定値: 画像1～8

^{*1} オプション装着時に使用できる機能と、インストールしたアプリケーションを含め、61個の機能アイコンが表示できます。

^{*2} 表示できるタスクアイコンの最大数は、次のとおりです。
TASKalfa 2520i:8
TASKalfa 2510i:6

^{*3} TASKalfa 2520i

^{*4} TASKalfa 2510i

デスクトップに表示できる機能

機能	アイコン	説明	参照ページ
コピー ^{*1}		コピー画面を表示します。	5-12
送信 ^{*1}		送信画面を表示します。	5-14
ファクスサーバー		ファクスサーバー送信画面を表示します。	5-26
ファクス ^{*2}		ファクス画面を表示します。	ファクス使用 説明書
ユーザーボックス ^{*3}		ユーザーボックス画面を表示します。	3-53
ジョブボックス ^{*1}		ジョブボックス画面を表示します。	3-53
外部メモリー ^{*1}		外部メモリー画面を表示します。	3-54
ポーリングボックス ^{*2}		ポーリングボックス画面を表示します。	ファクス使用 説明書
ファクスメモリー受信 ボックス ^{*2}		ファクスメモリー受信ボックス画面を表示します。	ファクス使用 説明書
自分に送信(メール) ^{*4}		送信画面を表示します。宛先には、ログインしているユーザーのメールアドレスが登録されています。	5-26
ボックスから自分に送信(メール) ^{*3*4}		ユーザーボックス画面を表示します。宛先にはログインしているユーザーのメールアドレスが登録されています。	5-41
お気に入り		登録されているプログラムを呼び出します。アイコンはプログラムの機能により変わります。	3-46
アプリケーション名 ^{*5}		選択したアプリケーションの画面を表示します。	2-54

*1 工場出荷時に選択されています。

*2 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

*3 オプションのSSDを装着している場合に表示されます。

*4 ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。

*5 各アプリケーションのアイコンが表示されます。

タスクバー^{*2}またはタスク画面^{*3}に表示できる機能

機能	アイコン	説明	参照ページ
状況確認/ジョブ中止		状況確認画面を表示します。エラーが発生すると、アイコンに「！」が表示されます。エラーが解除されると元の表示に戻ります。	—
機器情報		機器情報画面を表示します。システムやネットワークの情報を確認できます。 また、使用しているオプションの情報も確認できます。	3-11
言語選択		システムメニューの言語選択設定画面を表示します。	8-4
用紙設定		用紙設定の画面を表示します。	8-9
Wi-Fi Direct		Wi-Fi Directが設定され、ネットワークが使用できる状態の本機の情報を一覧で表示します。	2-19
システムメニュー		システムメニュー画面を表示します。	8-1
お気に入り		お気に入りの一覧画面を表示します。	3-46
ファクス発信履歴 ^{*1}		ファクス発信履歴画面を表示します。	ファクス使用 説明書
ファクス着信履歴 ^{*1}		ファクス着信履歴画面を表示します。	ファクス使用 説明書

*1 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

*2 TASKalfa 2520i

*3 TASKalfa 2510i

機器情報を表示する

機器情報を表示します。システムやネットワークの情報を確認できます。また、使用しているオプションの情報も確認できます。

1 機器情報画面を表示します。

TASKalfa 2520iは、[ホーム]キー > タスクバーの[機器情報]

TASKalfa 2510iは、[ホーム]キー > [タスク画面] > [機器情報]

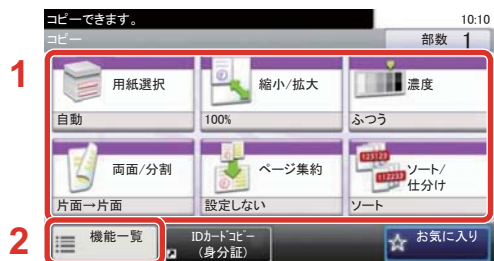
2 機器情報を確認します。

タブ	説明
識別情報/有線	モデル名、シリアル番号、ホスト名や場所などの識別情報、IPアドレスを確認できます。
Wi-Fi	モデル名、シリアル番号、ホスト名や場所などの識別情報、IPアドレスを確認できます。
ファクス ^{*1}	ファクス回線(自局ファクス番号、自局名、自局ファクスID)などファクスの情報を確認できます。
ソフトウェアバージョン/性能	ソフトウェアのバージョンや性能を確認できます。
オプション	使用しているオプションの情報を確認できます。

^{*1} オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

機能キーを表示する

- 1 機能アイコンを選択すると、表示される画面です。

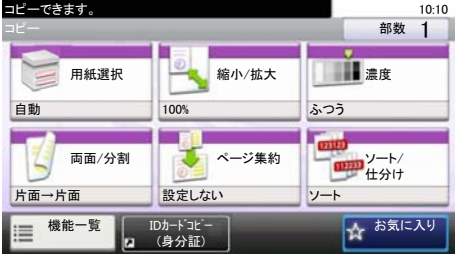


- 1 機能が表示されます。
- 2 [機能一覧]を選択すると、その他の機能が表示されます。
- 3 [へ]または[▽]を押すと、上下にスクロールします。



設定できないキーの表示のしかた

複数の機能の組み合わせやオプションの装着状態などによって、設定できない機能のキーは選択できない状態になります。

通常	キーが薄く表示される場合
	 次の場合、キーは薄く表示されて設定できなくなります。 • 先に設定している機能に対して組み合わせることができない場合 • ユーザー管理で使用が制限されている場合



参考

設定したいキーが薄く表示される場合は、先に使用していたユーザーの設定が保持されている場合があります。このときは、[リセット]キーを押してから操作し直してください。

[リセット]キーを押してもキーが薄く表示される場合は、ユーザー管理機能で使用が制限されている場合があります。このときは本機の管理者にお問い合わせください。

[エンター]キーの使いかた

[エンター]キーは、[OK←]や[閉じる←]のように、エンターのマーク(←)が表示されているキーと同じ働きをします。



[短縮]キーの使いかた

[短縮]キーは、タッチパネルに表示されている[番号]と同じ働きをします。送信するときの宛先を短縮番号で指定したり、番号を直接テンキーで入力する場合に使用します。

短縮番号については、次を参照してください。

➡ [宛先を確認または変更する \(5-32\)](#)



ヘルプ画面の使いかた

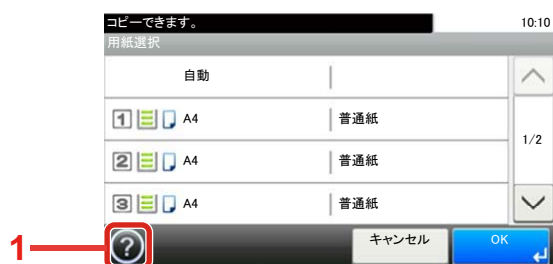
操作に困ったときは、タッチパネルで使いかたを確認できます。

タッチパネルに[?](ヘルプ)が表示されている場合、タッチパネルの[?](ヘルプ)を選択すると、ヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面では機能説明や操作方法を確認できます。

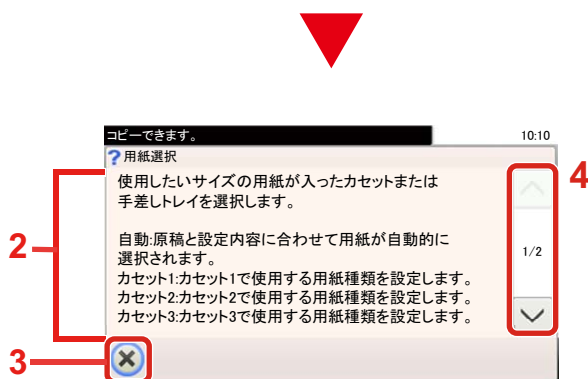
1 用紙選択の画面を表示する

→ [\[用紙選択\] \(6-5\)](#)

2 ヘルプ画面を表示する



- 1 ヘルプタイトルが表示されます。
- 2 機能説明や操作方法が表示されます。
- 3 ヘルプ画面を閉じて、元の画面に戻ります。
- 4 説明文が表示しきれない場合に、上下にスクロールします。



本機へのログイン・ログアウト

管理者権限が必要な機能を設定する場合またはユーザー管理が有効になっている場合、ログインユーザー名とログインパスワードが必要になります。

参考

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

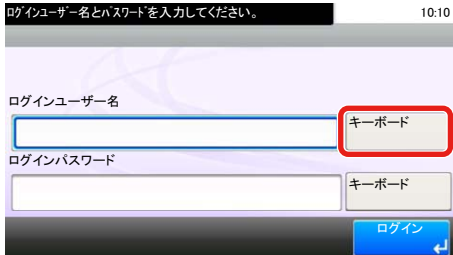
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインユーザー名またはログインパスワードを忘れた場合はログインできません。管理者の権限でログインし、ログインユーザー名またはログインパスワードを変更してください。

ログインする

1 ログインユーザー名とログインパスワードを入力する

- 1 操作中にこの画面が表示されたら、「ログインユーザー名」の[キーボード]を選択してログインユーザー名を入力します。



➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

- 2 [ログインパスワード] > ログインパスワードを入力 > [OK]

参考

ユーザーの認証方法が[ネットワーク認証]に設定されている場合、認証先が表示され、認証先を[ローカル]または[ネットワーク]から選択できます。

ICカード認証が有効になっている場合、[ICカードログイン]を選択できます。

2 [ログイン]を選択する

簡単ログイン画面からログインする



操作中にこの画面が表示されたら、ユーザーを選択してログインします。

参考

ログインパスワードが必要な場合は、入力画面が表示されます。

▶ [簡単ログイン設定を有効にする \(9-24\)](#)

ログアウトする



ログアウトするときは、[認証/ログアウト]キーを選択すると、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻ります。

また、次の状態のときも自動でログアウトします。

- スリープ状態になったとき。
- オートパネルリセットが働いたとき。

カウンターを確認する

印刷枚数および読み込み枚数を参照します。

- 1 画面を表示する
[システムメニュー/カウンター]キー > [カウンター]
- 2 [印刷ページ数]、[読み込みページ数]を選択しカウンターを確認する

印刷カバレッジを参照します。

- 1 画面を確認する
[システムメニュー/カウンター]キー > [カウンター] > [印刷ページ数] > [印刷カバレッジ]
- 2 [最終ページ]、[最終ジョブ]を選択しデータを確認します。
[最終ページ]:最後に印刷したページのデータが表示されます。
[最終ジョブ]:最後に印刷したジョブのデータが表示されます



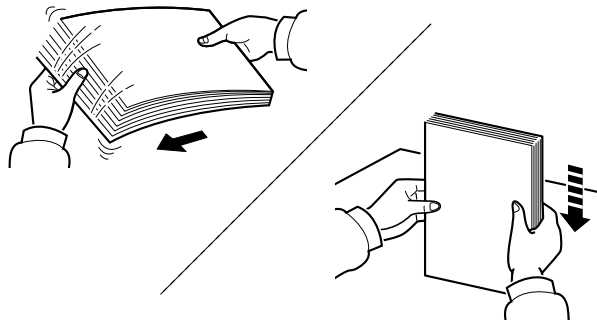
参考

印刷カバレッジに表示されている情報から換算した印字枚数と、実際の印字枚数とは一致しません。実際に印字できる枚数は、使用状態(印字内容や連続出力の頻度など)、設置環境(温度や湿度)によって変わります。

用紙をセットする

カセットによく利用する用紙をセットします。

用紙の取り扱い上の注意



用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよくそろえてください。

さらに、下記にもご注意ください。

- 用紙に折れやカールなどがある場合は、まっすぐにのばしてください。折れやカールがあると、紙づまりの原因となります。
- 包装紙から出した用紙を高湿環境に放置すると、湿気でトラブルの原因となります。カセットや手差しトレイに入れた残りの用紙は、用紙保管袋に入れて密封保管してください。
- 用紙をカセット内に長期間セットしたままにすると、用紙がカセットヒーターの熱によって変色する場合があります。
- 本機を長期間使用しない場合は、用紙を湿気から守るため、カセットから用紙を取り出し、保管袋に入れて密封保管してください。

📌 重要

再利用紙(一度印刷された用紙)を使用する場合は、必ずステープル針やクリップなどを外してください。ステープル針やクリップが残ったままだと、画像不良や故障の原因となります。

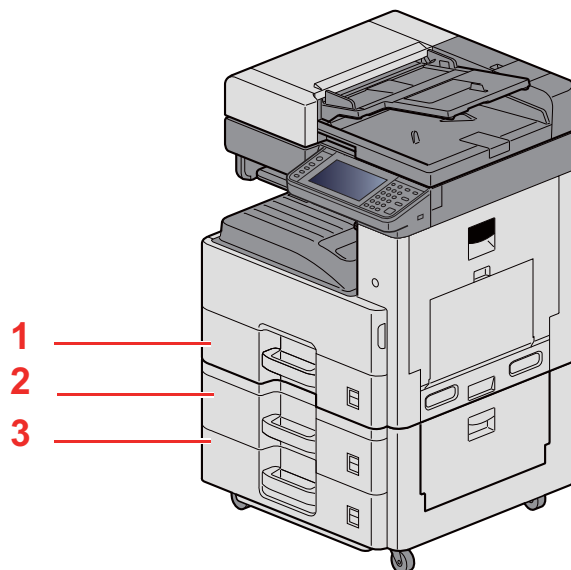
📖 参考

穴の開いた用紙、ロゴや社名などが印刷されている用紙(プレプリント)、レターヘッドなど特殊な用紙を使用する場合は、次を参照してください。

➡ [用紙について \(12-23\)](#)

給紙段を選択する

用紙のサイズや種類に応じて、用紙をセットする給紙段を選択します。



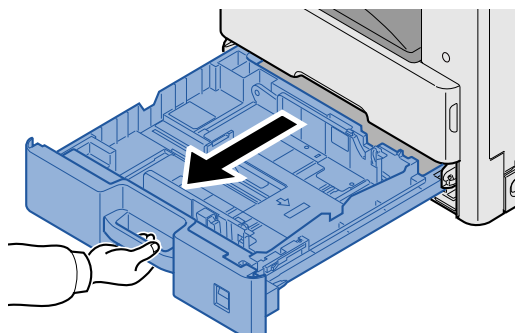
番号	名称	用紙サイズ	用紙種類	収納枚数	参照先
1	カセット1	A3、A4-R、A4、A5-R、 B4、B5-R、B5、Ledger、Letter- R、Letter、Legal、Statement- R、Folio、216x340mm、 Officio II、8K、16K-R、16K	普通紙、薄紙、再生紙、 プレプリント、ボンド紙、 カラー紙、 パンチ済み紙、 レターヘッド、厚紙、上質 紙、カスタム1～8	550枚 (64 g/m ²)	カセット1(～3)に用紙を セットする (3-20)
2	カセット2				
3	カセット3				

参考

- お使いの環境や用紙の種類(厚さ)によって、収納できる枚数は異なります。
- インクジェットプリンター用紙や表面に特殊な加工が施されている用紙は使用しないでください。(紙づまり等、故障の原因になる場合があります。)

カセット1(～3)に用紙をセットする

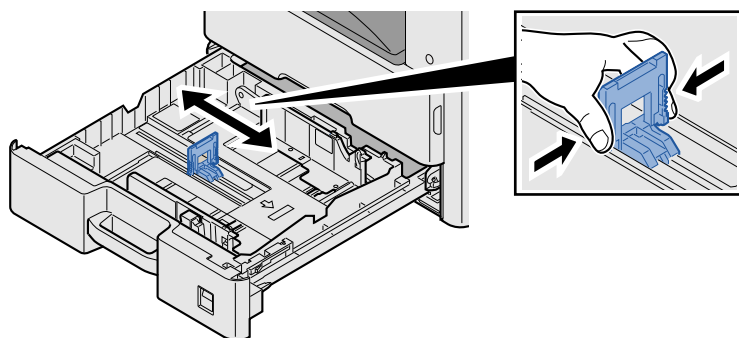
1 カセットを引き出す



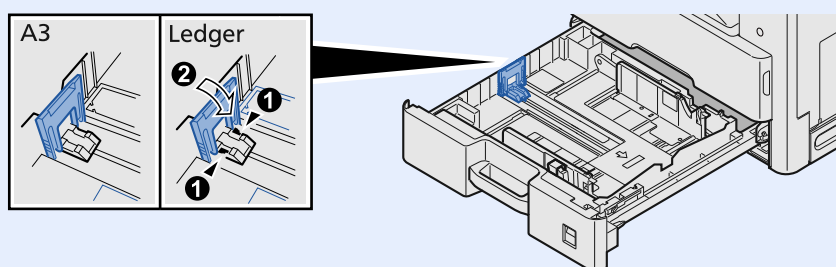
参考

複数のカセットを同時に引き出さないようにしてください。

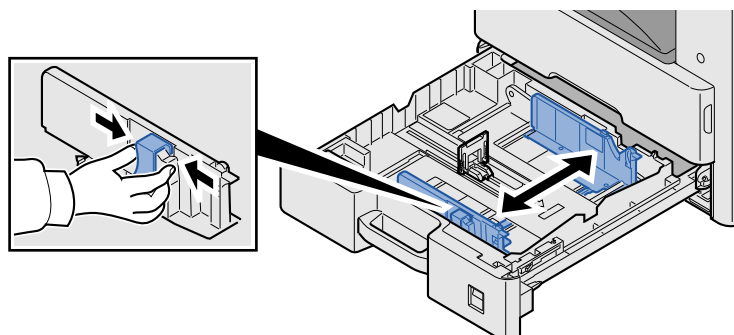
2 カセットの用紙長さガイドを調整する



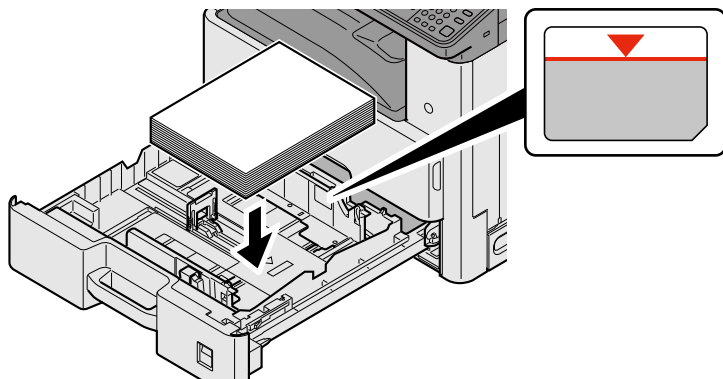
11X17" (Ledger) の用紙を使用する場合は、用紙長さガイドを左端まで移動させてから倒してください。



3 カセットの用紙幅ガイドを調整する



4 用紙をセットする



☑ 重要

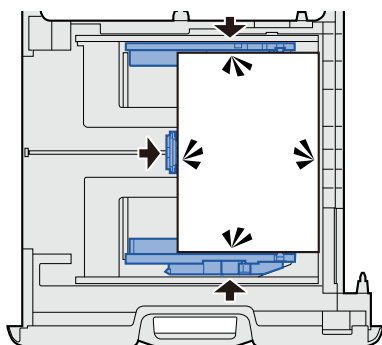
- 印刷する面を上にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。

▶ 用紙の取り扱い上の注意 (3-19)

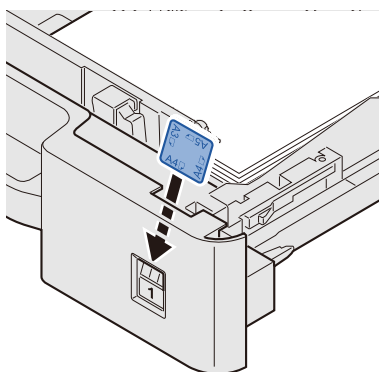
- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、収納上限を示すラベル(イラスト参照)の目盛り以下にしてください。
- 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わさずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

5 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドがしっかりと用紙に当たっているか確認する

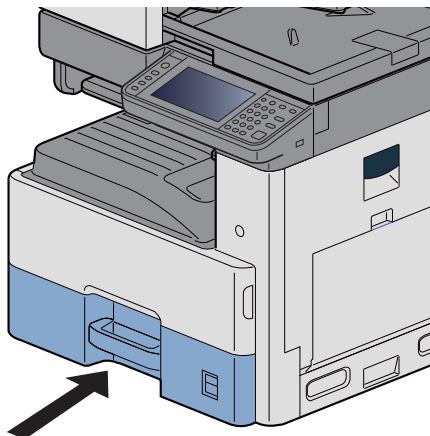
隙間があるときは用紙長さガイドまたは用紙幅ガイドを合わせ直します。



6 用紙サイズのシートを差し込む



7 カセットをゆっくり奥まで押し込む



8 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [カセット/手差しトレイ設定] > 「カセット1」

9 設定する

用紙サイズと用紙種類を選択します。

➡ [\[カセット1\(～3\)\] \(8-9\)](#)



参考

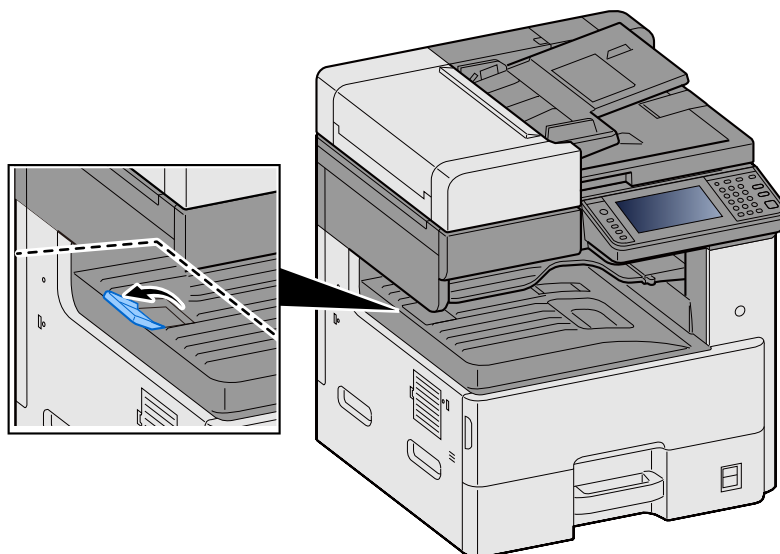
- 用紙サイズのシートが必要な場合は、お買い上げ販売店または弊社営業拠点へご連絡ください。
- 用紙サイズを自動で検知できます。次を参照してください。

➡ [\[用紙選択\] \(6-5\)](#)

➡ [\[カセット1\(～3\)\] \(8-9\)](#)

排紙ストッパーの使いかた

A3/Leger以上の用紙を使用するときは、排紙ストッパーを図のように開いてください。

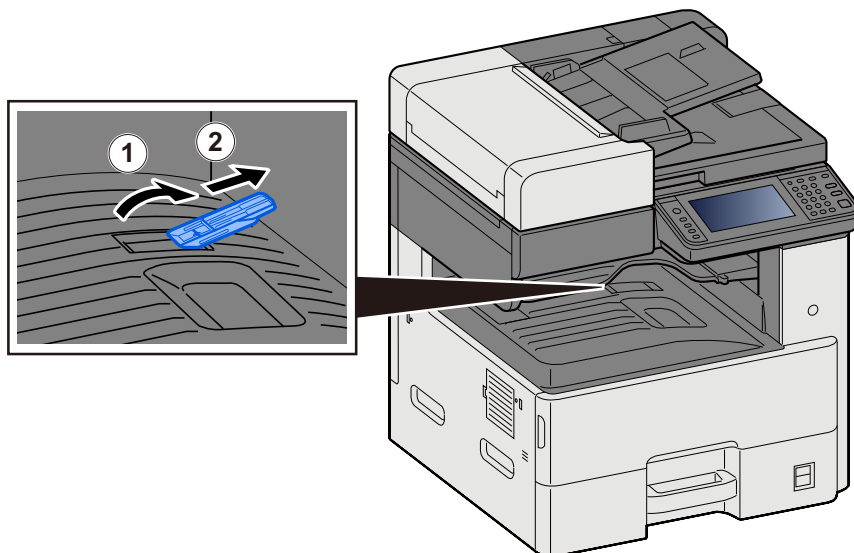


排紙ガイドの使いかた

次の場合は、排紙ガイドを図のように開いてください。

- 封筒、厚紙、はがきを使用する場合
- 排出された用紙のカールが大きい場合

使用後は元に戻してください。



パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備

本機で設定する必要な情報を確認し、パソコンに文書を受け取るためのフォルダーを作ります。ここでは、Windows 8.1をお使いになる場合を主体に説明しています。OSの種類によっては、項目名などが異なることがあります。

参考

Windowsには管理者権限でログオンします。

コンピューター名とフルコンピューター名をメモする

文書の宛先となるコンピューター名とフルコンピューター名を確認します。

1 画面を表示する

スタート画面で[PC]を右クリックして[プロパティ]を選択します。またはウィンドウアイコンを右クリックして[システム]を選択します。

参考

- Windows Vistaの場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [コンピューター]を右クリックして[プロパティ]を選択します。
- Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [コンピューター] > [システムのプロパティ]の順で選択します。
- Windows 8の場合は、スタート画面でデスクトップを選択し、デスクトップの[ライブラリ]から[コンピューター]を右クリックして[プロパティ]を選択して、「システムのプロパティ画面」を開きます。
- Windows 10の場合は、Windowsの[スタート]ボタンを右クリックして[システム]を選択します。

2 確認する

コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定

コンピューター名:	PC4050
フル コンピューター名:	pc4050.abcdnet.com
コンピューターの説明:	
ワークグループ:	WORKGROUP

 設定の変更

コンピューター名とフルコンピューター名を確認します。

画面例:

コンピューター名: PC4050

フルコンピューター名: pc4050.abcdnet.com

確認後、 [閉じる] ボタンをクリックして、「システムのプロパティ」画面を閉じます。

ユーザー名とドメイン名をメモする

Windowsにログオンする際のユーザー名とドメイン名をメモします。

1 画面を表示する

デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「コマンドプロンプト」と入力します。検索された一覧の中から[コマンドプロンプト]を選択します。

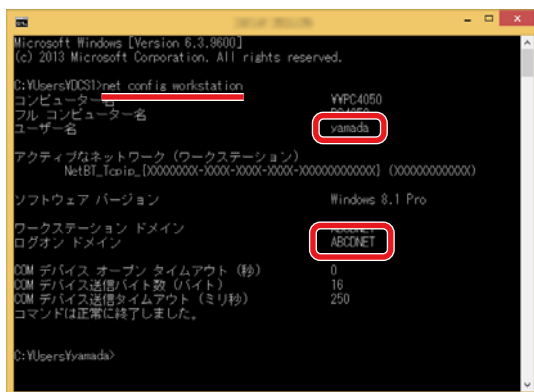
コマンドプロンプトが起動します。

参考

- Windows VistaおよびWindows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [すべてのプログラム] (または[プログラム]) > [アクセサリ] > [コマンドプロンプト]の順に選択します。
- Windows 10の場合は、Windowsの[スタート]ボタンを右クリックして[コマンドプロンプト]を選択します。

2 確認する

コマンドプロンプトに「net config workstation」と入力し、[Enter]キーを押します。



ユーザー名とドメイン名を確認します。

画面例:

ユーザー名:yamada

ドメイン名:ABCDNET

共有フォルダーのアクセス許可を設定する

システムのプロパティで、ワークグループの項目がある場合、フォルダーのアクセス許可を特定のユーザーやグループに設定するには以下の設定を行います。

1 画面を表示する

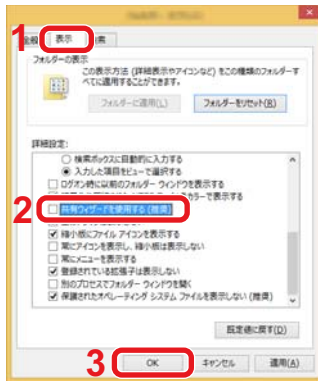
デスクトップのチャームから[設定]を選択し、[コントロールパネル] > [デスクトップのカスタマイズ] > [フォルダーオプション]の順で選択します。

参考

- Windows Vistaの場合は、[スタート]ボタン > [コントロールパネル] > [システムとメンテナンス] > [デスクトップのカスタマイズ] > [フォルダ オプション]の順で選択します。
- Windows 7の場合は、[スタート]ボタン > [コントロールパネル] > [デスクトップのカスタマイズ] > [フォルダーオプション]の順で選択します。
- Windows 10の場合は、エクスプローラーを起動し、[表示] > [オプション] > [フォルダーオプション]の順で選択します。

2 設定する

[表示] タブが選択されていることを確認し、「詳細」設定の[共有ウィザードを使用する(推奨)]のチェックを外します。



3 [OK]ボタンをクリックする。

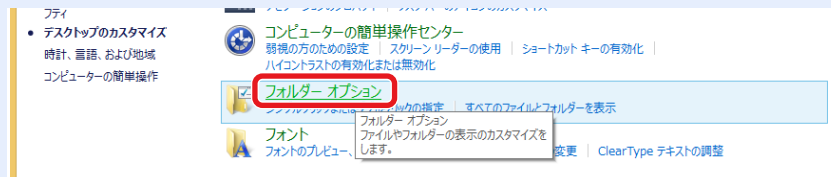
共有フォルダーを作成する、共有名をメモする

文書の宛先となるパソコンに、文書を受け取るための「共有フォルダー」を作成します。

参考

システムのプロパティで、ワークグループの項目がある場合、フォルダーのアクセス許可を特定のユーザーやグループに設定するには以下の設定を行ってください。

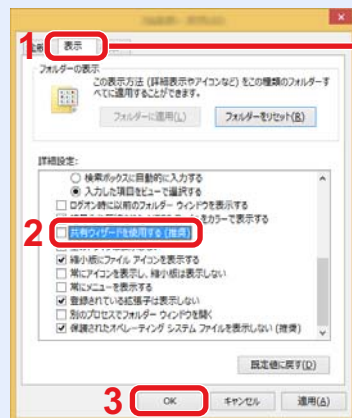
- 1 デスクトップのチャームから[設定]を選択し、[コントロールパネル] > [デスクトップのカスタマイズ] > [フォルダーオプション]の順で選択します。



Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [コントロールパネル] > [デスクトップのカスタマイズ] > [フォルダーオプション]の順で選択します。

Windows 10の場合は、エクスプローラーを起動し、[表示] > [オプション] > [フォルダーオプション]の順で選択します。

2



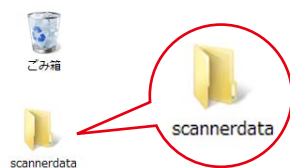
[表示]タブが選択されていることを確認します。

「詳細設定」の[共有ウィザードを使用する(推奨)]のチェックを外します。

1 フォルダーを作成する

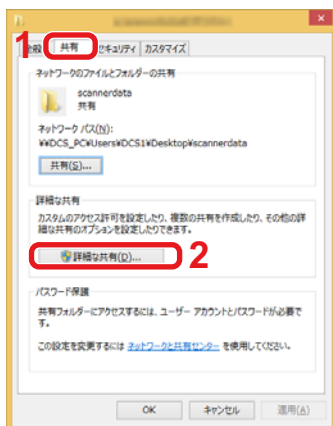
パソコン上でフォルダーを作成します。

例として、「scannerdata」という名前のフォルダーをデスクトップに作成します。

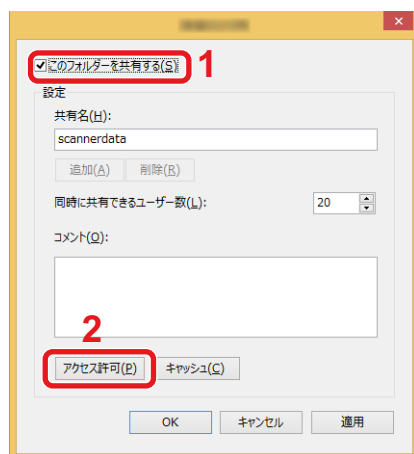


2 共有を設定する

1 「scannerdata」フォルダーを右クリックし、[共有] > [詳細な共有]の順にクリックします。

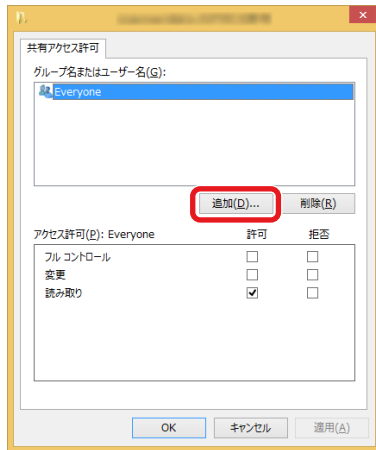


2 [このフォルダーを共有する]にチェックを付け、[アクセス許可]ボタンをクリックします。

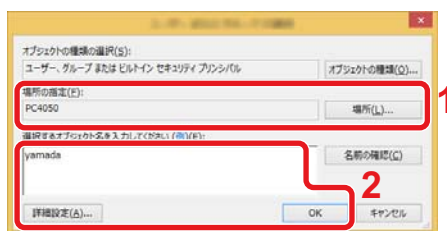


3 表示されている共有名をメモします。

4 [追加]ボタンをクリックします。



5 場所を指定します。



- 1 メモしたコンピューター名とドメイン名が同じ場合:
「場所の指定」にコンピューター名が表示されていないければ、[場所]ボタンをクリックしてコンピューター名を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

例) pc4050

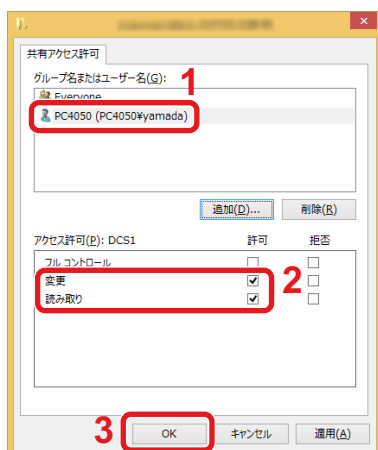
- メモしたコンピューター名とドメイン名が違う場合:
「場所の指定」にメモしたフルコンピューター名で最初のドット(.)以降の文字が表示されていないければ、[場所]ボタンをクリックしてドット(.)以降の文字を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

例) abcdnet.com

➡ [コンピューター名とフルコンピューター名をメモする\(3-26\)](#)

- 2 メモしたユーザー名をテキストボックスに入力し、[OK]ボタンをクリックします。
また[詳細設定]をクリックしてユーザーを選択することもできます。

6 選択したユーザーのアクセス許可を設定します。

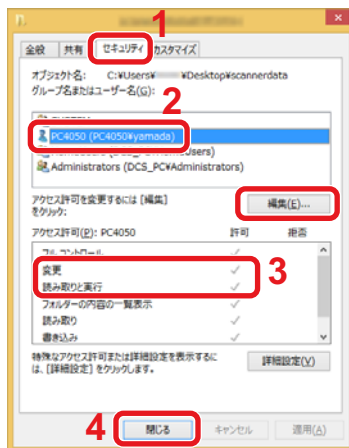


- 1 入力したユーザーを選択します。
- 2 「変更」と「読み取り」の[許可]にチェックつけます。
- 3 [OK]ボタンをクリックします。

 参考

「Everyone」とはネットワーク上のすべての人に共有を許可する設定です。セキュリティ強化のため、「Everyone」を選択し、「読み取り」の[許可]のチェックを外すことをお勧めします。

- 7 「詳細な共有」画面の[OK]ボタンをクリックし、この画面を閉じます。
- 8 [セキュリティ]タブで設定した内容を確認します。



- 1 [セキュリティ]タブを選択します。
- 2 入力したユーザーを選択します。
- 3 グループ名またはユーザー名欄に入力したユーザーが表示されていない場合は、[編集]をクリックして、共有を設定すると同様にユーザーを追加してください。
- 4 「変更」と「読み取りと実行」の[許可]にチェックが付いていることを確認します。
- 5 [閉じる]ボタンをクリックします。

ファイルとプリンターの共有を許可する

参考

Windowsには管理者権限でログインします。

1 画面を表示する

デスクトップのチャームで[設定] > [コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [Windowsファイアウォールによるアプリケーションの許可]の順で選択します。

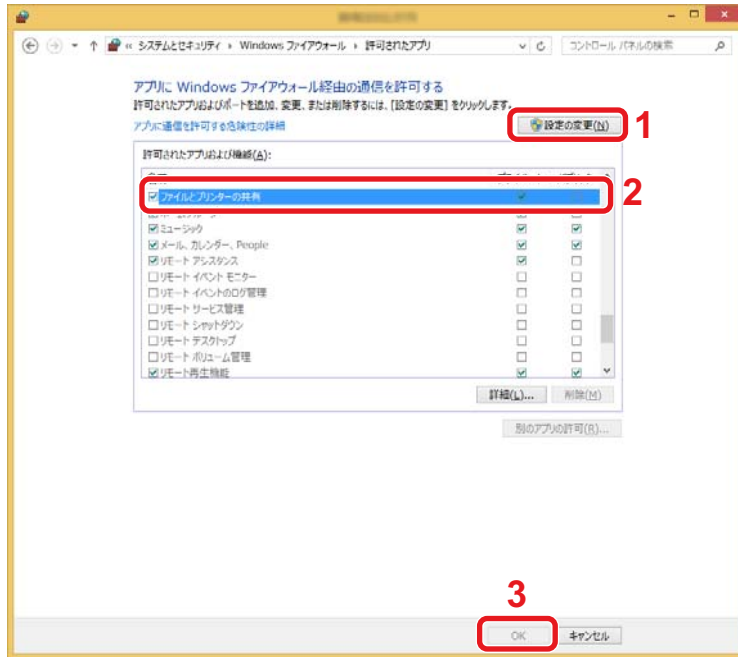
参考

- Windows Vistaの場合はWindowsの[スタート]ボタン > [コントロールパネル] > [セキュリティ] > [Windows ファイアウォールの有効化または無効化]の順で選択します。
- Windows 7の場合、Windowsの[スタート]ボタン > [コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [Windowsファイアウォールによるプログラムの許可]の順で選択します。

参考

ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックしてください。

2 [ファイルとプリンターの共有]にチェックを付ける



Windowsファイアウォールを設定する

ファイルとプリンターの共有の許可と、SMB送信で使用するポートの追加を行います。



参考

Windowsには管理者権限でログインします。

1 画面を表示する

デスクトップのチャームで[設定] > [コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [Windowsファイアウォール]の順で選択します。



参考

- Windows Vistaの場合はWindowsの[スタート]ボタン > [コントロールパネル] > [セキュリティ] > [Windows ファイアウォールの有効化または無効化]の順で選択します。。
- Windows 7の場合は、[スタート]ボタン > [コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [ファイアウォールの状態の確認]の順で選択してください。
- Windows 8の場合は、デスクトップのチャームで[設定] > [コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [Windowsファイアウォール]の順で選択します。
- Windows 10の場合は、エクスプローラーを起動し、[表示] > [オプション] > [フォルダーオプション]の順で選択します。

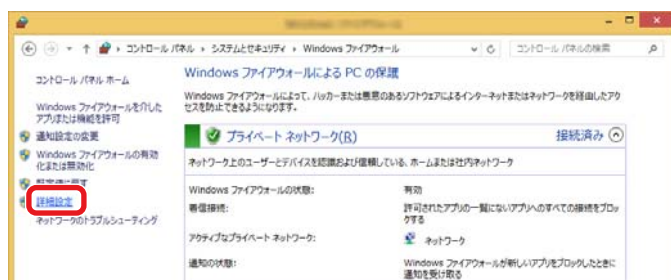


参考

ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックしてください。

2 追加するポートを設定する

1 [詳細設定]をクリックします。



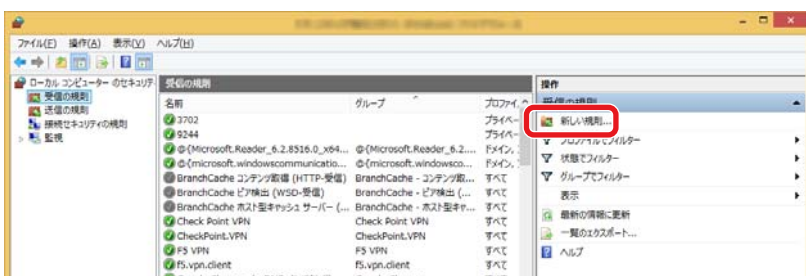
参考

Windows Vistaの場合、[例外]タブ > [ポートの追加]ボタンの順にクリックし、手順2-5に進んでください。

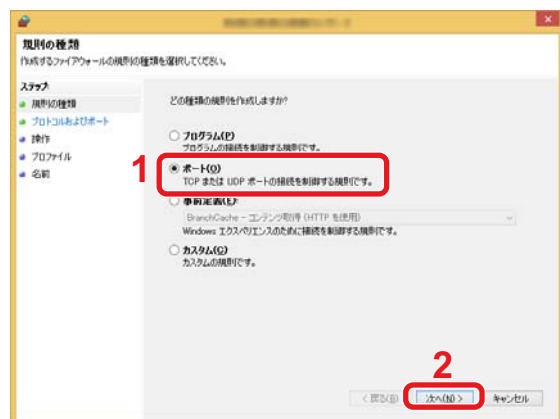
2 [受信の規則]をクリックします。



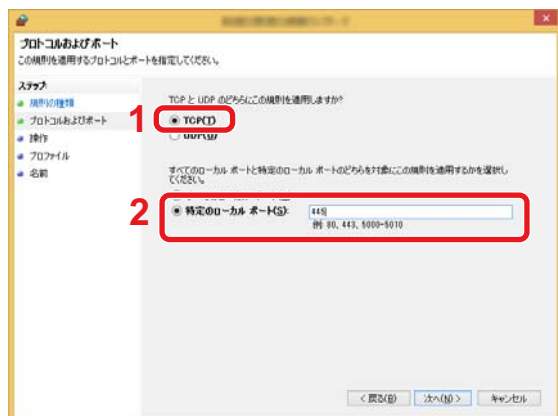
3 [新しい規則]をクリックします。



4 規則から[ポート]を選択します。



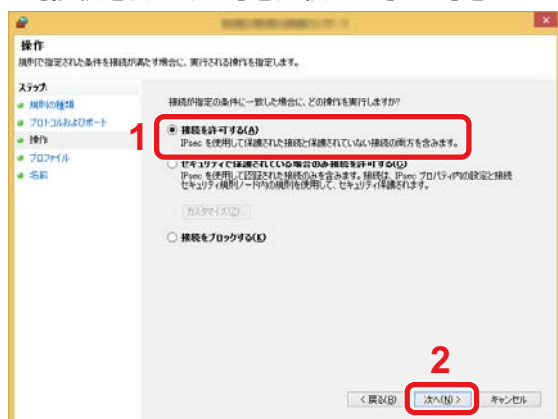
- 5 適用するポートとして[TCP]を選択します。そして[特定のローカルポート]をチェック後、「445」を入力してから[次へ]をクリックします。



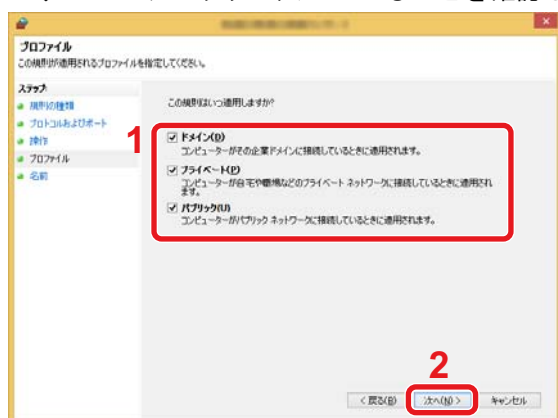
参考

Windows Vistaの場合、「名前」では、追加するポートとして任意の名前(例:Scan to SMB)を登録します。「ポート番号」には、「445」を入力します。「プロトコル」では、[TCP]を選択します。設定後、[OK]ボタンをクリックしてください。

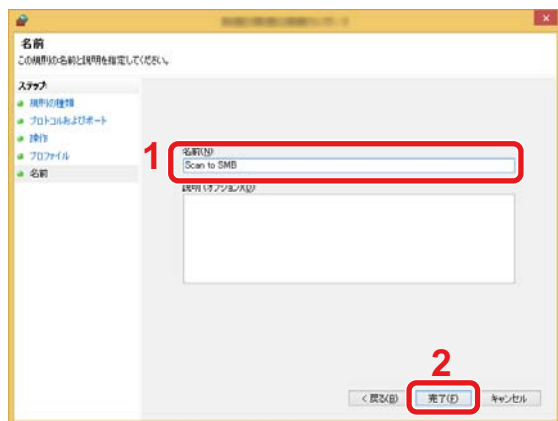
- 6 [接続を許可する]を選択して[次へ]をクリックします。



- 7 すべてにチェックが入っていることを確認して[次へ]をクリックします。



- 8 「名前」に「Scan to SMB」と入力して、[完了]をクリックします。



宛先の登録

アドレス帳やワンタッチキーに宛先を登録したり登録内容を変更したりできます。登録した宛先は、メール送信やフォルダーへの送信、ファクス送信などに利用できます。



参考

アドレス帳の登録・編集は、Command Center RXでも行えます。

➡ [Command Center RXで宛先を登録する \(3-45\)](#)

アドレス帳に新しい宛先を登録する

アドレス帳に新しい宛先を登録します。登録方法には、個人登録と複数の個人登録をまとめて登録するグループ登録の2種類があります。グループ登録をするときは、グループ名を入力し、アドレス帳からメンバーを選んでください。



参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると、アドレス帳への宛先編集ができます。

➡ [\[編集制限\] \(8-27\)](#)

個人アドレスを登録する

各宛先には、宛先名、メールアドレス、FTPサーバーのフォルダー、パソコンのフォルダー、ファクス番号などを登録できます。

登録件数: 200件まで

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [アドレス帳] > [＋] > [個人]

2 名前とフリガナを登録する

1 アドレス帳に表示される宛先名を入力 > [次へ>]



参考

入力できる文字数には制限があります。

入力文字数: 32文字以内

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

2 宛先名のフリガナを入力 > [次へ]



参考

入力できる文字数には制限があります。

入力文字数: 32文字以内

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

3 アドレスを登録する

アドレスがメールの場合

[メールアドレス] > メールアドレスを入力 > [OK]

参考

128文字まで入力できます。

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

アドレスがフォルダー(SMB)の場合

[SMB] > [ホスト名]、[パス]、[ポート]、[ログインユーザー名]および[ログインパスワード] > [OK]

参考

コンピューター名、共有名、ドメイン名、ユーザー名については、共有フォルダー作成時にメモした内容を入力します。

共有フォルダーの作成方法については、次を参照してください。

➡ [パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備 \(3-26\)](#)

入力する項目は次のとおりです。

項目	詳細	制限文字数
ホスト名	コンピューター名	64文字
パス	共有名 例) scannerdata 共有フォルダー内のフォルダーに保存する場合 共有名¥共有フォルダー内のフォルダー名	128文字
ポート	ポート番号(通常は445です。)	1-65535
ログインユーザー名	コンピューター名とドメイン名が同じ場合 ユーザー名 例) yamada コンピューター名とドメイン名が違う場合 ドメイン名¥ユーザー名 例) abcdnet¥yamada	64文字
ログインパスワード	Windowsにログオンする際のパスワード (大文字・小文字は区別されます。)	64文字

ネットワーク内にあるパソコンのフォルダーを検索して登録する場合は、次の順に選択します。

[メニュー] > [ネットワークからフォルダーを検索する]または[ホスト名でフォルダーを検索する]

「ネットワークからフォルダーを検索する」を選択した場合は、接続しているネットワーク内のすべてのパソコンより宛先を検索することができます。

「ホスト名でフォルダーを検索する」を選択した場合は、「ドメイン/ワークグループ名」「ホスト名」を入力して接続しているネットワーク内のパソコンから宛先を検索することができます。

500件まで表示することができます。ログインユーザー名、ログインパスワードの入力画面を表示するには、次の順に選択します。

表示された画面で指定したいホスト名(コンピューター名)を選択 > [次へ>]

参考

- 文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

- ホスト名、ドメイン名、ワークグループ名、ログインユーザー名に2バイト文字が使われている場合は、検索や送信ができません。
- [メニュー] > [接続確認]の順に選択すると、設定したパソコンへの接続が確認できます。接続できないときは、入力した項目を確認してください。

アドレスがフォルダー(FTP)の場合

[SMB] > [ホスト名]、[パス]、[ポート]、[ログインユーザー名]および[ログインパスワード] > [OK]

入力する項目は次のとおりです。

項目	詳細	制限文字数
ホスト名	FTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	64文字
パス ^{*1}	保存したいファイルのパス 例)¥User¥ScanData 何も入力しないと、ホームディレクトリーに保存されます。	128文字
パス	ポート番号(通常は21です。)	1-65535
ログインユーザー名	FTPサーバーへのログインユーザー名	64文字
ログインパスワード	FTPサーバーへのログインパスワード	64文字

*1 Linux/UNIXベースのFTPサーバーの場合、パスの区切りは¥ではなく/(スラッシュ)です。

参考

- 文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

- [メニュー] > [接続確認]の順に選択すると、設定したFTPサーバーへの接続が確認できます。接続できないときは、入力した項目を確認してください。

1 アドレス番号を指定したい場合は、[アドレス番号]を選択します。

2 [+],[-]または、テンキーで、任意のアドレス番号(001~250)を入力します。

自動で番号を割り当てる場合は、000を指定してください。

参考

- アドレス番号は、宛先1件ごとの識別番号です。空いている番号を選択できます。
- すでに使用されているアドレス番号を指定すると、エラーメッセージが表示され登録できません。

3 [OK]を選択します。

4 宛先が正しく設定できているか確認 > [登録]

アドレス帳に宛先が追加されます。

グループを登録する

個人登録された複数の宛先をまとめて、グループとして登録することができます。宛先を一度に指定できるので便利です。

登録件数:50件まで



参考

グループ登録には、個人登録された宛先が必要です。あらかじめ必要な個人登録を行ってください。登録できる件数は次のとおりです。

- 宛先100件
- FTPとSMBの宛先5件(合計)

1 画面を表示する

[システムメニュー] > [アドレス帳/ワンタッチ] > [アドレス帳] > [＋] > [グループ]

2 名前とフリガナを登録する

1 アドレス帳に表示されるグループ名を入力 > [次へ>]



参考

入力できる文字数には制限があります。

入力文字数:32文字以内

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

2 グループ名のフリガナを入力 > [次へ>]



参考

入力できる文字数には制限があります。

入力文字数: 32文字以内

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

3 メンバー(宛先)を選択する

1 [メンバー]を選択します。

2 [＋]を選択します。

3 グループに登録する宛先(個人)を選択します。選択された宛先は、チェックマークが付きます。



参考

宛先は、フリガナやアドレス番号で並べ替えたり、検索したりできます。

➡ [宛先を確認または変更する \(5-32\)](#)

4 [OK]を選択します。

宛先を追加するときは、手順2～4を繰り返してください。

5 [終了]を選択します。

6 アドレス番号を指定したい場合は、[アドレス番号]を選択します。

7 [＋]、[－]またはテンキーで、任意のアドレス番号(000～250)を入力します。

自動で割り当てる場合は、000を設定してください。



参考

- アドレス番号は、グループ1件ごとの識別番号です。空いている番号を選択できます。
- すでに使用されているアドレス番号を指定すると、エラーメッセージが表示され登録できません。

8 [OK]を選択します。

4 宛先がグループに追加されているか確認 > [登録]

アドレス帳にグループが追加されます。

アドレス帳の宛先を変更する

登録した宛先(個人)やグループを変更します。

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [アドレス帳]

2 変更する



参考

宛先とグループは、フリガナやアドレス番号で並べ替えたり、検索したりできます。

➡ [宛先を確認または変更する \(5-32\)](#)

個人登録の宛先を変更する場合

- 1 編集する宛先の[]を選択します。
- 2 「名前」、「フリガナ」、「アドレス番号」、送信先の種類やアドレスを変更します。
変更方法は、次を参照してください。

➡ [個人アドレスを登録する \(3-36\)](#)

- 3 [登録] > [はい]
変更した宛先が登録されます。

グループを編集する場合

- 1 編集する宛先の[]を選択します。
 - 2 「名前」、「フリガナ」、「アドレス番号」を変更します。
変更方法は、次を参照してください。
- ➡ [グループを登録する \(3-39\)](#)
- 3 [メンバー]を選択します。
 - 4 グループから宛先を削除する場合は、宛先を選択 > [] > [はい]を選択し、宛先を追加する場合は、[+]を選択します。
 - 5 [登録] > [はい]
変更したグループが登録されます。

アドレス帳の宛先を削除する

登録した宛先(個人)やグループを削除します。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [アドレス帳]
- 2 削除する宛先またはグループを選択



参考

宛先とグループは、フリガナやアドレス番号で並べ替えたり、検索したりできます。

➡ [宛先を確認または変更する \(5-32\)](#)

2 [] > [はい]

個人登録の宛先またはグループが削除されます。

ワンタッチキーに宛先を登録する

ワンタッチキーに宛先(個人またはグループ)を登録することができます。

登録件数:100件まで

参考

- ・ワンタッチキーの使用方法は、次を参照してください。
➡ [宛先を確認または変更する \(5-32\)](#)
- ・ワンタッチキーの登録・編集は、Command Center RXでも行えます。
➡ [Command Center RXで宛先を登録する \(3-45\)](#)
- ・ワンタッチキーの登録・編集を管理者のみに許可している場合は、管理者の権限でログインすると、ワンタッチキーの編集ができます。
➡ [\[編集制限\] \(8-27\)](#)
➡ [Command Center RX操作手順書](#)

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [ワンタッチキー]

2 ワンタッチキーを登録する

- 1 宛先を登録するワンタッチキー番号(001~100)を選択 > [+]
[短縮]キーを選択すると、ワンタッチキー番号を直接入力して選択できます。

参考

[短縮]キーは、次を参照してください。

- ➡ [\[短縮\]キーの使いかた \(3-14\)](#)

登録されていないワンタッチキーを選択してください。



- 2 ワンタッチキーに登録する宛先(個人またはグループ)を選択します。
[]を選択すると、選択した宛先の詳しい情報が参照できます。

参考

宛先は、フリガナ、アドレス番号で並べ替えたり検索したりできます。

- ➡ [宛先を確認または変更する \(5-32\)](#)

3 送信の基本画面に表示されるワンタッチキー名を入力 > [次へ>]

参考

入力できる文字数には制限があります。

入力文字数:24文字以内

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

4 [登録]を選択します。

ワンタッチキーに宛先が登録されます。

ワンタッチキーの宛先を変更する

ワンタッチキーに登録されている宛先を変更できます。

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [ワンタッチキー]

2 編集するワンタッチキー番号(001~100)を選択します。[短縮]キーを選択すると、ワンタッチキー番号を直接入力して選択することができます。

2 登録内容を変更する

1 [メニュー] > [編集] > [宛先]

2 新しい宛先(個人またはグループ)を選択してください。[短縮]キーを選択すると、選択した宛先の詳しい情報が参照できます。



参考

宛先は、フリガナ、アドレス番号で並べ替えたり検索したりできます。

➡ [宛先を確認または変更する \(5-32\)](#)

3 [OK] > [登録] > [はい]

ワンタッチキーに宛先が登録されます。

ワンタッチキーの宛先を削除する

ワンタッチキーに登録されている宛先を削除できます。

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [ワンタッチキー]

2 編集するワンタッチキー番号(001~100)を選択します。[短縮]キーを選択すると、ワンタッチキー番号を直接入力して選択することができます。

2 登録内容を削除する

[> [はい]の順に選択します。

ワンタッチキーの登録内容が削除されます。



Command Center RXで宛先を登録する

Command Center RXから本機のアドレス帳に宛先を登録することができます。

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。

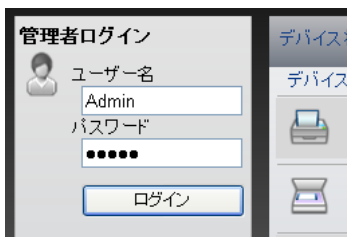
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。

本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/ネットワーク]

例1: https://192.168.48.21/(IPアドレスの場合)

例2: https://MFP001(ホスト名がMFP001の場合)

- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin

ログインパスワード: Admin

- 4 [アドレス帳管理]メニューで[本体アドレス帳]をクリックします。



- 5 [追加]をクリックします。

2 設定する

- 1 宛先情報を入力します。
登録する宛先の情報を入力してください。入力する項目は本機で登録するときと同じです。

➡ [宛先の登録 \(3-36\)](#)

- 2 [設定]をクリックします。

よく使う機能呼び出すには(お気に入り)

よく使う機能をお気に入りに登録して、簡単に呼び出すことができます。

本機には、あらかじめ次の機能が登録されていますが、これらを削除したり、新たな機能を登録したりできます。

お気に入り名	説明	登録されている機能
IDカードコピー(身分証)	免許証や保険証などのIDカードをコピーしたいときに使用します。カードの表と裏を順番に読み込むと、1枚の用紙に両面集約してコピーされます。	- コピー機能 - プログラム形式 IDカードコピー:[設定する] 連続読み込み:[設定する] 原稿サイズ:[A5-R] 用紙選択:カセット1 縮小/拡大:[100%]
用紙節約コピー	用紙を節約したいときに使用します。画面にしたがって、ページ集約や両面コピーが設定できます。	- コピー機能 - ウィザード形式 ページ集約:[2in1] 原稿:[片面] 両面/分割:[両面] 用紙選択:カセット1 印刷部数:1
簡単フォルダー送信(宛先入力)	任意のパソコンの共有フォルダーまたはFTPのフォルダーに画像を送信したいときに使用します。宛先やカラー選択など、画面にしたがって設定ができます。	- 送信機能 - ウィザード形式 宛先:新規のフォルダー カラー選択:[フルカラー] 文書名入力:初期値 ファイル形式:[PDF] 連続読み込み:[設定しない] 読み込み解像度:[300 x 300 dpi]
簡単フォルダー送信(アドレス帳)	アドレス帳に登録されているパソコンの共有フォルダーまたはFTPのフォルダーに画像を送信したいときに使用します。宛先やカラー選択など、画面にしたがって設定ができます。	- 送信機能 - ウィザード形式 宛先:アドレス帳 カラー選択:[フルカラー] 文書名入力:初期値 ファイル形式:[PDF] 連続読み込み:[設定しない] 読み込み解像度:[300 x 300 dpi]
簡単メール送信(宛先入力)	任意のメールアドレスに画像を送信したいときに使用します。宛先やカラー選択など、画面にしたがって設定ができます。	- 送信機能 - ウィザード形式 宛先:新規のメールアドレス カラー選択:[フルカラー] 文書名入力:初期値 ファイル形式:[PDF] 連続読み込み:[設定しない] 読み込み解像度:[300 x 300 dpi] メール件名:初期値 メール本文:初期値

お気に入り名	説明	登録されている機能
簡単メール送信(アドレス帳)	アドレス帳に登録されているメールアドレスに画像を送信したいときに使用します。宛先やカラー選択など、画面にしたがって設定ができます。	- 送信機能 - ウィザード形式 宛先: アドレス帳 カラー選択: [フルカラー] 文書名入力: 初期値 ファイル形式: [PDF] 連続読み込み: [設定しない] 読み込み解像度: [300 x 300 dpi] メール件名: 初期値 メール本文: 初期値



参考

20件までプログラムを登録できます。

お気に入りは、2種類の呼び出し方法から選択して登録します。

- ウィザード形式(対話選択形式): 登録した設定を順番に呼び出し、確認/変更しながら設定します。
- プログラム形式: お気に入りに登録されているキーを選択すると、すぐに設定を呼び出します。

お気に入りをウィザード形式で登録する

ここでは、送信を例に説明します。

1 画面を表示する

[ホーム]キー > [送信] > [お気に入り]

2 お気に入りを登録する

1 [メニュー] > [新規登録]

2 ジョブの種類を選択します。

3 [ウィザード形式]を選択します。

4 呼び出す機能を選択 > [次へ>]

選択した項目が、ウィザードで表示されます。



参考

ジョブの種類が[コピー]の場合は、「宛先の呼び出し方法」の選択画面は表示されません。

5 お気に入りの名称を入力 > [次へ>]

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

6 内容を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

項目	説明
名前	お気に入りの画面に表示される名前を、32文字以内で入力します。
ジョブの種類	選択したジョブの種類が表示されます。
番号 ^{*1}	お気に入りの番号を入力します。 番号を「00」にすると、空いている番号のうち最も小さい番号で登録されます。
所有者 ^{*2}	ユーザーを表示します。
共有設定 ^{*2}	お気に入りを他のユーザーと共有するか設定します。
宛先 ^{*3}	宛先を確認します。
機能一覧	ウィザードで表示する機能を選択します。
機能の形式	お気に入りの呼び出し方法を選択します。

*1 ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。

*2 ユーザー管理が有効の場合に表示されます。

*3 「ジョブの種類」が[送信]または[ファクス]の場合に表示されます。

7 [登録]を選択します。

お気に入りが登録されます。

8 「新しい機能をホーム画面に登録しますか？」が表示されます。登録したお気に入りをホーム画面に表示させたい場合は[はい]を選択し、アイコンを表示させたい位置を指定して、[登録]を選択します。

お気に入りをプログラム形式で登録する

プログラム形式を選択する場合は、登録するコピー機能、送信機能、ファクス機能や送信先などを先に設定します。

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [送信]
- 2 プログラムに登録したい送信機能や送信先を設定します。
- 3 [お気に入り]を選択します。

2 お気に入りを登録する

- 1 [メニュー] > [新規登録]
- 2 ジョブの種類を選択します。
- 3 [プログラム形式]を選択します。
- 4 お気に入りの名称を入力 > [次へ>]

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

- 5 内容を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

項目	説明
名前	お気に入りの画面に表示される名前を、32文字以内で入力します。
ジョブの種類	選択したジョブの種類が表示されます。
番号 ^{*1}	お気に入りの番号を入力します。 番号を「00」にすると、空いている番号のうち最も小さい番号で登録されます。
所有者 ^{*2}	ユーザーを表示します。
共有設定 ^{*2}	お気に入りを他のユーザーと共有するか設定します。
機能の形式	お気に入りの呼び出し方法を選択します。

*1 ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると変更できます。

*2 ユーザー管理が有効の場合に表示されます。

- 6 [登録]を選択します。

お気に入りの登録されます。

- 7 「新しい機能をホーム画面に登録しますか？」が表示されます。登録したお気に入りをホーム画面に表示させたい場合は[はい]を選択し、アイコンを表示させたい位置を指定して、[登録]を選択します。

お気に入りをウィザード形式で実行する

登録したお気に入りをウィザード形式で呼び出して実行する操作手順は、次のとおりです。

1 お気に入りを呼び出す

- 1 ホーム画面の[お気に入り]または登録しているお気に入りのキーを選択します。
登録しているお気に入りのキーを選択するとお気に入りの呼び出されます。[お気に入り]を選択した場合は、次の手順に進んでください。
- 2 呼び出すお気に入りのキーを選択します。

2 お気に入りを実行する

- 1 画面が順番に表示されるので、設定を行い、[次へ>]を選択します。
最後まで設定したら確認画面が表示されます。



参考

設定を変更するときは、[< 戻る]を選択して、設定しなおしてください。

- 2 原稿をセット > [スタート]キーを押します。

お気に入りをプログラム形式で実行する

登録したお気に入りをプログラム形式で呼び出して実行する操作手順は、次のとおりです。

1 お気に入りを呼び出す

- 1 ホーム画面の[お気に入り]または登録しているお気に入りのキーを選択します。
登録しているお気に入りのキーを選択するとお気に入りの呼び出されます。[お気に入り]を選択した場合は、次の手順に進んでください。
- 2 呼び出すお気に入りのキーを選択します。

2 お気に入りを実行する

- 1 原稿をセット > [スタート]キーを押します。

お気に入りを編集する

お気に入り番号やお気に入り名、共有設定を変更できます。

お気に入りを編集する操作手順は、次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [お気に入り]

2 お気に入りを編集する

- 1 [メニュー] > [編集]
- 2 変更するお気に入りを選択します。
- 3 お気に入り名、お気に入り番号、共有設定を変更します。
⇒お気に入りをウィザード形式で登録する
- 4 [登録] > [はい]

お気に入りを削除する

お気に入りは削除することもできます。

お気に入りを削除する操作手順は、次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [送信] > [お気に入り]

2 お気に入りを削除する

- 1 [メニュー] > [削除]
- 2 削除するお気に入りを選択します。
- 3 [はい]を選択します。

よく使う機能を登録するには[ショートカット登録]

よく使う機能を簡単に呼び出せるように、ショートカットとして登録することができます。登録したショートカットキーに表示される機能名は、必要に応じて変更できます。



参考

ショートカットはコピー機能、送信機能、ファクス機能および文書ボックスの設定をそれぞれ2つ登録できます。

ショートカットを登録する

ショートカットの登録は、機能一覧画面で行います。ショートカットを登録する操作手順は、次のとおりです。

1 画面を表示する

コピー、送信、ファクスまたは文書ボックスの画面で、次の順に選択します。

[機能一覧] > [ショートカット追加/編集]

2 ショートカットを登録する

1 [新規登録]を選択します。

ショートカットは次の内容です。

個人用ショートカット1, 2	ログインしているユーザーのみ使用できるショートカットです。ユーザー管理を使用しているときのみ登録できます
共有ショートカット1, 2	本機を使用できるユーザーみんなで使用できるショートカットです。ユーザー管理を使用しているときは、管理者の権限でログインしている場合のみ登録できます

2 登録したい設定を選択します。



参考

すでに登録されているショートカット番号を選択すると、新しいショートカットに置き換えることができます。

3 名前を入力 > [次へ>]

24文字まで入力できます。

⇒文字の入力

4 [登録]を選択します。

登録したショートカットが追加されます。

ショートカットを編集する

1 画面を表示する

コピー、送信、ファクスまたは文書ボックスの画面で、次の順に選択します。

[機能一覧] > [ショートカット追加/編集]

2 ショートカットを編集する

1 [編集]を選択します。

2 編集するショートカットを選択します。

3 [番号]または[名前] > 設定を変更 > [OK]

4 [登録] > [はい]

ショートカットを削除する

1 画面を表示する

コピー、送信、ファクスまたは文書ボックスの画面で、次の順に選択します。

[機能一覧] > [ショートカット追加/編集]

2 ショートカットを削除する

1 [削除]を選択します。

2 削除するショートカットを選択 > [はい]

文書ボックスを使用するには

文書ボックスでは、文書を保存して再利用したり、複数のユーザーで文書を共有したりできます。

文書ボックスにはユーザーボックス、ジョブボックス、外部メモリーボックス、Fコードボックス、ポーリングボックス、ファクスメモリー受信ボックスがあります。

ユーザーボックスとは

文書ボックス内に作成し、再利用するデータを保存するための汎用ボックスです。ユーザーボックスは、ユーザーが作成したり削除したりできます。

ユーザーボックスでできる主な作業は次のとおりです。

- ユーザーボックス内の文書を印刷する([5-47](#))
- スキャンした文書をユーザーボックスに保存する([5-36](#))
- ユーザーボックス内の文書を移動する([5-36](#))
- ユーザーボックス内の文書を結合する([5-38](#))
- ユーザーボックス内の文書を削除する([5-39](#))
- ユーザーボックス内の文書を送信する([5-40](#))

参考

- ユーザーボックスを使用するには、オプションのSSDが必要です。
➡ [HD-6/7<大容量記憶装置:SSD> \(12-4\)](#)
- ユーザーボックスでできる主な作業は、Command Center RXでも行えます。
➡ [Command Center RX操作手順書](#)

ジョブボックスとは

「プライベートプリント/ジョブ保留ボックス」、「クイックコピー/試し刷り後保留ボックス」の総称です。(これらのボックスをユーザーが削除したり、新たなボックスを作成したりすることはできません。)

ジョブボックスには次の4種類があります。

- プライベートプリントボックス([5-42](#))
- ジョブ保留ボックス([5-44](#))
- クイックコピーボックス([5-45](#))
- 試し刷り後保留ボックス([5-46](#))

参考

- ジョブボックスの一時保存文書を自動的に消去するように設定できます。
➡ [一時保存文書の自動消去 \(8-25\)](#)
- 「プライベートプリント/ジョブ保留ボックス」、「クイックコピー/試し刷り後保留ボックス」の操作については、次を参照してください。
➡ [本体に保存したデータの印刷 \(5-43\)](#)

外部メモリーボックスとは

USBメモリーを本機のUSBメモリースロットに接続し、保存されているデータを印刷できます。パソコンを使うことなく手軽に印刷できます。また、本機で読み込んだ画像データを、PDF、TIFF、JPEG、XPS、OpenXPS、高圧縮PDFいずれかのファイル形式で、USBメモリーに保存することもできます（Scan to USB）。

Fコードボックス/ポーリングボックス/ファクスメモリー受信ボックスとは

ファクスのデータを保存するためのボックスです。



Fコードボックス/ポーリングボックス/ファクスメモリー受信ボックスを使用するには、オプションのファクスキットが必要です。

➡ファクス使用説明書

本機でユーザーボックスを作成する



- ユーザーボックスを使用するにはオプションのSSDが必要です。
- ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインする必要があります。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
ログインユーザー名
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500
ログインパスワード
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500
- ユーザー管理が有効の場合、ユーザー権限では、次の操作ができません。管理者の権限で操作してください。
 - ボックスの作成
 - 所有者が異なるボックスの削除

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス]
- 2 [メニュー] > [新規登録]

2 ボックスを登録する

1 ボックス名を入力 > [次へ>]

32文字以下で入力してください。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

設定する項目は、次のとおりです。

項目	説明
ボックス名	ボックスの名前を32文字以下で入力してください。 ➡ 文字の入力 (12-12)
ボックス番号	[+]、[-]またはテンキーで、ボックス番号を入力してください。ボックス番号は0001～1000の範囲で入力できます。同じ番号を複数のボックスにつけることはできません。0000を入力すると、空いている番号のうち最も小さい番号が自動でつけられます。
所有者 ^{*1}	ボックスの所有者を設定します。表示されるユーザーリストから所有者を選択してください。
共有設定 ^{*2}	ボックスを共有するかどうかを設定します。
ボックスパスワード	ボックスにパスワードをつけて、アクセスできるユーザーを制限することができます。必要に応じて入力してください。[パスワード]と[パスワード(確認)]それぞれ同じパスワードを16文字以下で入力してください。 共有設定で「共有する」を選択した場合に設定できます。
使用量制限	ボックスの使用量を制限することができます。使用量を制限する場合は[+]、[-]またはテンキーで制限値(MB)を入力してください。制限値は、作成されているユーザーボックスの数で変わりますが、1～30000(MB)の範囲で入力できます。
自動文書削除	一定期間後に、保存した文書を自動消去します。自動消去する場合は、[設定する]を選択し、[+]、[-]またはテンキーで、文書を保存する日数を入力してください。1～31(日)の範囲で入力できます。自動消去しない場合は[設定しない]を選択してください。
空き容量	ボックスの空き容量が表示されます。
上書き保存許可	保存されている古い文書に上書きして新しい文書を保存することを許可するかどうかを設定します。上書きする場合[許可する]を選択してください。上書きしない場合[禁止する]を選択してください。
印刷後削除	印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。文書を削除する場合、[設定する]を選択してください。文書を削除しない場合は[設定しない]を選択してください。

*1 ユーザー管理が有効の場合に表示されます。

*2 「所有者」が[所有者なし]の場合は表示されません。

2 [登録]を選択します。

ボックスが作成されます。

Command Center RXでユーザーボックスを作成する

Command Center RXから本機にユーザーボックスを登録することができます。



参考

ユーザーボックスを使用するにはオプションのSSDが必要です。

1 画面を表示する

1 Webブラウザを起動します。

- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。
本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/ネットワーク]
例1) https://192.168.48.21/(IPアドレスの場合)
例2) https://MFP001(ホスト名がMFP001の場合)。
- 3 [文書ボックス]メニューで[ユーザーボックス]をクリックします。



- 4 [新規作成]をクリックします。

2 設定する

- 1 ボックスの情報を入力します。
登録するユーザーボックスの情報を入力してください。入力する項目は、次を参照してください。
➡ Command Center RX操作手順書
- 2 [設定]をクリックします。

ボックスを編集する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス]

2 ボックスを編集する

- 1 [メニュー] > [編集]

2 編集したいボックスを選択します。

 **参考**

- ユーザー権限でログインしている場合は、所有者が、ログインしているユーザーに設定されているボックスしか編集できません。
- 管理者の権限でログインしている場合は、すべてのボックスを編集できます。

ユーザー管理が有効の場合、ログインしているユーザーの権限により変更できる項目が異なります。

権限	変更できる機能
管理者	ボックス名
	ボックス番号
	所有者
	共有設定
	ボックスパスワード
	使用量制限
	自動文書削除
	上書き保存許可
	印刷後削除
ユーザー	ボックス名
	ボックスパスワード
	共有設定
	自動文書削除
	上書き保存許可
	印刷後削除

各項目詳細については、次を参照してください。

➡ [本機でユーザーボックスを作成する \(3-54\)](#)

ボックスを削除する

1 画面を表示する

1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス]

2 ボックスを削除する

1 [メニュー] > [削除]

2 削除したいボックスを選択します。

 **参考**

- ユーザー権限でログインしている場合は、所有者が、ログインしているユーザーに設定されているボックスしか削除できません。
- 管理者の権限でログインしている場合は、すべてのボックスを削除できます。

3 [はい]を選択します。

4 パソコン側の操作

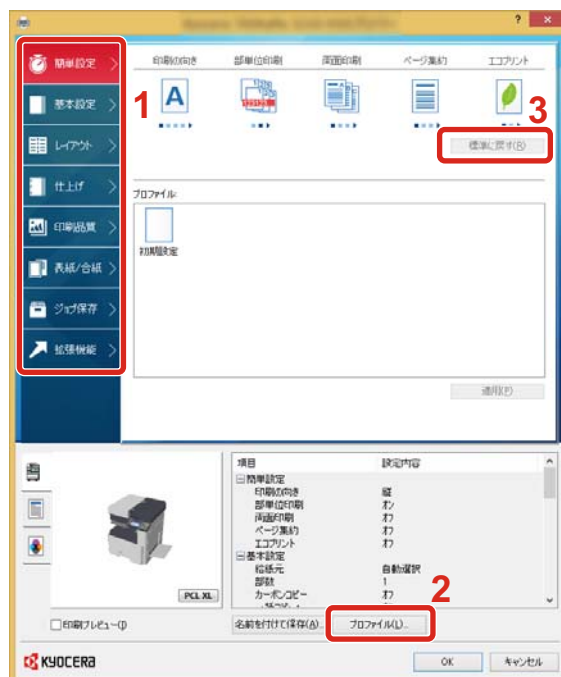
この章では、次の項目について説明します。

プリンタードライバーの印刷設定画面の見かた	4-2
プリンタードライバーのヘルプを表示する	4-4
プリンタードライバーの初期設定値を変更する	4-4
パソコンからの印刷	4-5
定形サイズ用紙に印刷する	4-5
不定形サイズ用紙に印刷する	4-7
パソコンで印刷を中止する	4-9
本体へのデータの保存と保存したデータの印刷	4-10
パソコンから文書ボックスを指定してジョブを保存する	4-10
Command Center RXでユーザーボックスに保存されている文書を印刷する	4-12
本機の状態をパソコンから確認するには(ステータスマニター)	4-14
ステータスマニターを起動する	4-14
ステータスマニターを終了する	4-14
ステータスマニターの見かた	4-14
印刷情報アイコンタブの見かた	4-15
用紙情報アイコンタブの見かた	4-15
トナー情報アイコンタブの見かた	4-15
アラート情報アイコンタブの見かた	4-16
ステータスマニターコンテキストメニューの見かた	4-16
ステータスマニターの通知機能を設定する	4-17

プリンタードライバの印刷設定画面の見かた

プリンタードライバの印刷設定画面では、印刷に関するさまざまな設定ができます。

➡プリンタードライバ操作手順書

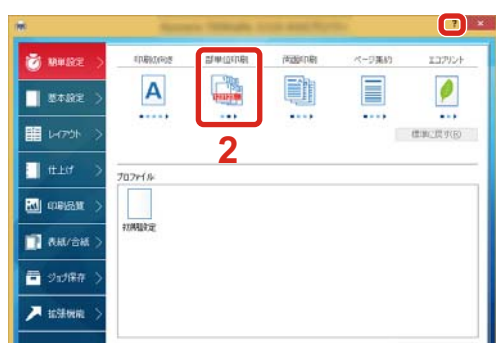


No.	説明
1	[簡単設定] タブ よく使う機能を簡単に設定できるアイコンが用意されています。アイコンをクリックすると印刷結果と同様のイメージに切り替わり、設定が反映されます。  [基本設定] タブ よく使う基本的な機能がまとめられたタブです。用紙のサイズや排紙先、両面印刷の設定ができます。 [レイアウト] タブ ブックレット印刷、ページ集約、ポスター印刷、変倍などさまざまなレイアウトで印刷するための設定ができます。 [仕上げ] タブ 印刷した用紙の仕上げに関する設定ができます。 [印刷品質] タブ 印刷結果の品質に関する設定ができます。 [表紙/合紙] タブ 印刷ジョブ用に表紙や合紙を作成したり、OHPフィルムの間に合紙を挿入できます。 [ジョブ保存] タブ 印刷データをパソコンから本機に保存するための設定ができます。定期的に使う文書などを本機に保存しておくことで簡単に印刷できるので便利です。保存した文書は本機の操作で印刷するため、見られたくない文書を印刷する際などにも便利です。 [拡張機能] タブ 印刷データにテキストページやウォーターマーク(すかし文字)を付加するための設定ができます。

2	[プロファイル] プリンタードライバの設定内容をプロファイルとして保存できます。保存したプロファイルはいつでも呼び出すことができるので、よく使用する設定を保存しておく便利です。
3	[標準に戻す] クリックすると設定内容を初期値に戻すことができます。

プリンタードライバのヘルプを表示する

プリンタードライバにはヘルプが用意されています。印刷設定項目について知りたいときは、プリンタードライバの印刷設定画面を表示し、次の方法でヘルプを表示することができます。



- 1 設定画面右上の[?]ボタンをクリックします。
- 2 知りたい設定項目をクリックします。



参考

知りたい設定項目をクリックした後、キーボードの[F1]キーを押した場合もヘルプを表示することができます。

プリンタードライバの初期設定値を変更する

プリンタードライバの初期設定値は変更することができます。よく使う機能を設定しておくことで、印刷時の操作を省略することができます。ここでは、Windows 8.1を例に説明します。

設定項目については、次を参照してください。

▶ プリンタードライバ操作手順書

- 1 デスクトップのチャームから[設定] > [コントロールパネル] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示]をクリックする



参考

Windows 7の場合は、[スタート]ボタンをクリックして、[デバイスとプリンター]をクリックします。

- 2 本機のプリンタードライバのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックする
- 3 [全般]タブの[基本設定]ボタンをクリックする
- 4 初期設定値を設定し、[OK]ボタンをクリックする

パソコンからの印刷

パソコンで作成した文書を本機で印刷します。

ここではKXドライバーを使用して印刷する方法について説明します。

参考

- パソコンで作成した文書を本機で印刷するには、DVD (Product Library) を使って、パソコンにプリンタードライバーをインストールする必要があります。
- お使いの環境によっては、プリンタードライバーの下部に現在の設定値が表示されることがあります。



- はがきや封筒を印刷する場合は、本機の手差しトレイにはがきや封筒をセットしてから操作を行ってください。

➡ [はがき、封筒の場合 \(5-9\)](#)

定形サイズ of 用紙に印刷する

本機 of 出力用紙サイズにある用紙サイズをセットしたときは、プリンタードライバー of 印刷設定画面にある[基本設定]タブで用紙サイズを選択します。

参考

本機 of 操作パネルから、印刷する用紙 of サイズと種類を設定してください。

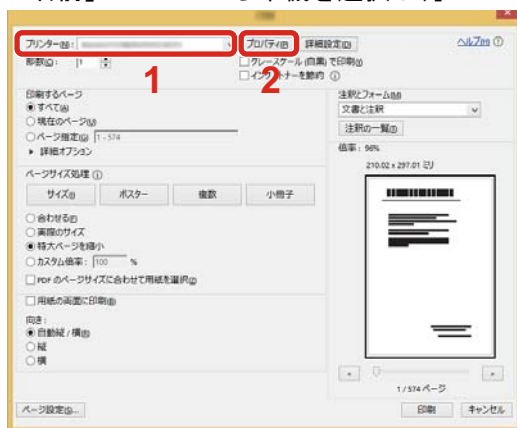
➡ [\[カセット/手差しトレイ設定\] \(8-9\)](#)

1 画面を表示する

[ファイル] をクリックし、[印刷] を選択します。

2 設定する

- 1 「名前」メニューから本機を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。



- 2 [基本設定]タブを選択します。
- 3 「出力用紙サイズ」メニューをクリックして、印刷する用紙サイズを選択します。
はがきや封筒など、本機の出力用紙サイズにない用紙サイズをセットしたときは、用紙サイズを登録する必要があります。

➡ [不定形サイズの用紙に印刷する \(4-7\)](#)

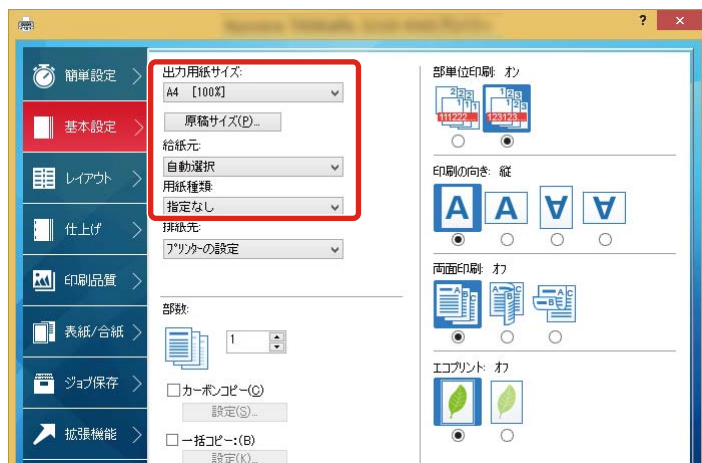


参考

「自動カセット切り替え」を[使用しない]に設定した場合は、「給紙元」から使用したい用紙がセットされている給紙元を選択してください。

➡ [自動カセット切り替え \(8-30\)](#)

厚紙やOHPフィルムのような特殊紙に印刷するときは、「用紙種類」メニューをクリックし、用紙種類を選択してください。



- 4 [OK]ボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

3 印刷を開始する

[OK]ボタンをクリックします。

不定形サイズの下紙に印刷する

本機の下紙サイズにはない下紙サイズをセットしたときは、プリンタードライバーの印刷設定画面にある[基本設定]タブで下紙サイズを登録します。

登録したサイズは、「出力下紙サイズ」メニューから選択できるようになります。ここでは、Windows 8.1を例に説明します。

参考

本機の操作パネルから、印刷する下紙のサイズと種類を設定してください。

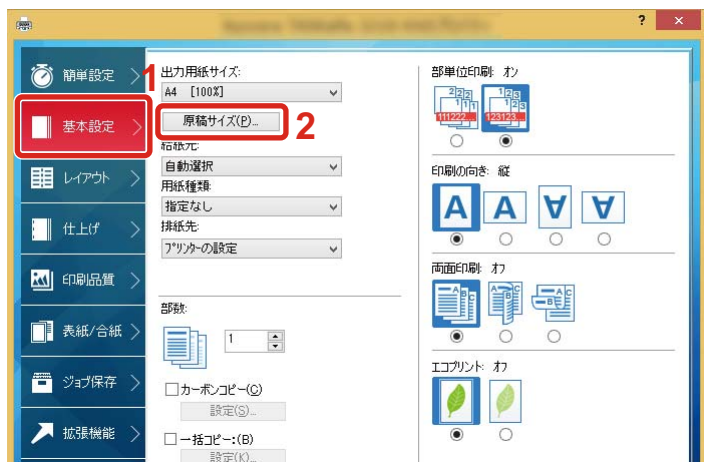
➡ [\[カセット/手差しトレイ設定\] \(8-9\)](#)

1 画面を表示する

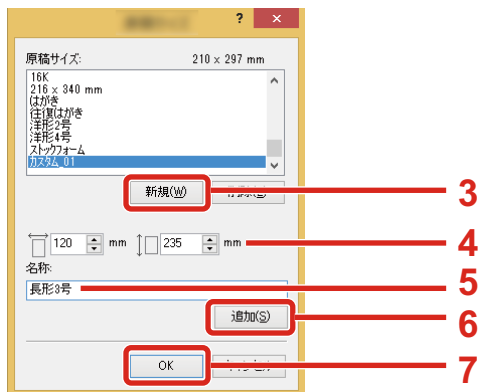
- 1 チャームの[設定] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示]を選択します。
Windows 7の場合は、[スタート]ボタン > [デバイスとプリンター]を選択します。
- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。

2 登録する

- 1 [基本設定]タブをクリックします。



- 2 [原稿サイズ]ボタンをクリックします。
- 3 [新規]ボタンをクリックします。

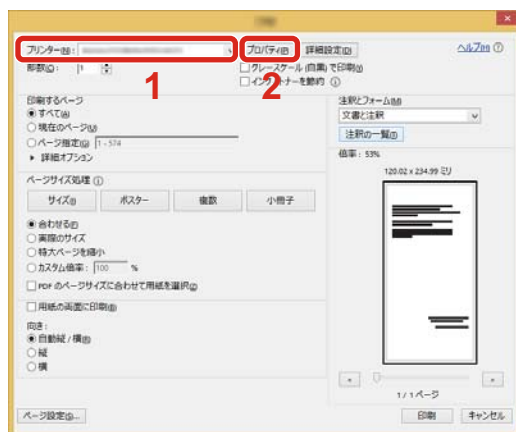


- 4 下紙サイズを入力します。

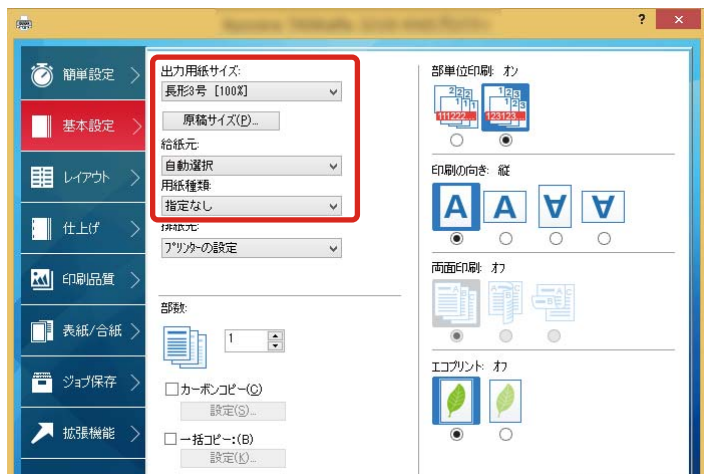
-
- The screenshot shows the "設定(X)..." (Settings...) dialog box for a Kyocera PCL XL printer. The window has a blue title bar and a standard Windows XP-style interface. On the left side, there are icons for various functions: a printer icon, a document icon, and a color calibration icon. Below these icons is a preview area showing a document page with horizontal lines. To the right of the preview is a large table with two columns: "項目" (Item) and "設定内容" (Setting Content). The table lists various settings under two main categories: "簡単設定" (Easy Settings) and "基本設定" (Basic Settings). Under "簡単設定", there are options for "印刷の向き" (Print Orientation), "部単位印刷" (Section Printing), "両面印刷" (Double-Sided Printing), "ページ集約" (Page Summarization), and "エコプリント" (Eco Print). Under "基本設定", there are options for "給紙元" (Paper Source), "部数" (Number of Copies), and "カーボンコピー" (Carbon Copy). Each option has a corresponding value or status displayed next to it. At the bottom of the dialog, there are three buttons: "印刷プレビュー(D)" (Print Preview), "名前を付けて保存(S)...", and "プロファイル(L)...". In the bottom right corner, there are two large buttons: "8" and "OK", both of which are highlighted with red rectangles.
- | 項目 | 設定内容 |
|-------------|------|
| 簡単設定 | |
| 印刷の向き | 縦 |
| 部単位印刷 | オン |
| 両面印刷 | オフ |
| ページ集約 | オフ |
| エコプリント | オフ |
| 基本設定 | |
| 給紙元 | 自動選択 |
| 部数 | 1 |
| カーボンコピー | オフ |

[ファイル]をクリックし、[印刷]を選択します。

1 「名前」メニューから本機を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。



- 3 「出力用紙サイズ」メニューをクリックして、手順2で登録した原稿サイズ(名)を選択します。
厚紙やOHPフィルムのような特殊紙に印刷するときは、「用紙種類」メニューをクリックし、用紙種類を選択してください。



参考

はがきまたは封筒をセットした場合は、「用紙種類」メニューで[はがき]または[封筒]を選択してください。

- 4 「給紙元」メニューで給紙元を選択します。
- 5 [OK]ボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

5 印刷を開始する

[OK]ボタンをクリックします。

パソコンで印刷を中止する

プリンタードライバーで印刷を実行した後、本機で印刷が始まる前に中止したいときは、次の操作を行ってください。

参考

本機で印刷を中止する場合は、次を参照してください。

▶ [印刷ジョブをキャンセルする \(5-13\)](#)

- 1 Windows画面右下のタスクバーに表示されるプリンターアイコン(🖨️)をダブルクリックして、ダイアログボックスを表示する
- 2 印刷を中止したいファイルをクリックし、「ドキュメント」メニューから[キャンセル]を選択する

本体へのデータの保存と保存したデータの印刷

ユーザーボックスおよびジョブボックスを使用して本機に印刷データを保存し、必要なときに印刷できます。

➡ [ユーザーボックスとは \(3-53\)](#)

➡ [ジョブボックスとは \(3-53\)](#)

ジョブボックスには次の4種類があります。

- プライベートプリントボックス ([5-43](#))
- ジョブ保留ボックス ([5-44](#))
- クイックコピーボックス ([5-45](#))
- 試し刷り後保留ボックス ([5-46](#))



参考

ユーザーボックスを使用するには、オプションのSSDが必要です。また、本機のRAMディスクをジョブボックスとして使用できる場合もあります。

プリンタードライバーの[ジョブ保存]タブで設定を行い印刷すると、ユーザーボックスまたはジョブボックス(メモリー)に印刷データが保存され、本体側の操作で印刷を実行することができます。

文書ボックスを使用するときは、次の流れで操作してください。

- 1 パソコンから文書ボックスを指定してジョブを保存する ([4-10](#))
- 2 操作パネルから文書ボックス内のファイルを指定して印刷する ([5-43](#))

パソコンから文書ボックスを指定してジョブを保存する

ジョブボックスにデータを保存する場合は、次の手順で行います。

- 1 アプリケーションソフトの[ファイル]をクリックし、[印刷]を選択する
印刷ダイアログボックスが表示されます。
- 2 名前の[▼]ボタンをクリックして、リストから本機を選択する
- 3 [プロパティ]ボタンをクリックする
プロパティダイアログボックスが表示されます。

4 [ジョブ保存]タブをクリックし、[ジョブ拡張機能]のチェックボックスにチェックを入れて機能を設定 > [OK]



参考

プリンタードライバーの操作方法は、次を参照してください。

➡プリンタードライバー操作手順書

5 [印刷]ボタンをクリックする

印刷ジョブが保存されます。

Command Center RXでユーザーボックスに保存されている文書を印刷する

Command Center RXからユーザーボックスに保存されている文書を印刷することができます。

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名は次の順にクリックすると確認できます。
本機ホーム画面の[機器情報] > [識別情報/有線]
- 3 [文書ボックス]メニューで[ユーザーボックス]をクリックします。



- 4 文書が保存されているユーザーボックスの番号またはボックス名をクリックします。

2 印刷する



- 1 印刷する文書を選択します。
印刷する文書のチェックボックスにチェックを入れます。
- 2 [印刷]をクリックします。
- 3 印刷設定を行い、[印刷]をクリックします。

本機の状態をパソコンから確認するには(ステータスマニター)

ステータスマニターは、プリンターの状態を監視し、報告する機能を備えています。

参考

ステータスマニターを起動する場合は、以下の内容を確認してください。

- KX Driverがインストールされている。
- [Enhanced WSD]または[Enhanced WSD(SSL)]が[使用する]に設定されている。

➡ [\[ネットワーク\] \(8-32\)](#)

ステータスマニターを起動する

印刷を開始すると、同時にステータスマニターも起動します。

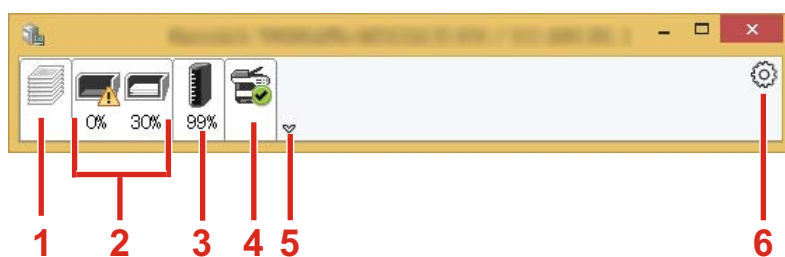
ステータスマニターを終了する

ステータスマニターは、次のいずれかの方法で終了します。

- 手動による終了:
設定アイコンをクリックしてメニューを表示し、アプリケーションの終了を選択するとステータスマニターが終了します。
- 自動的に終了:
操作を行わない状態で7分経過すると、ステータスマニターが自動的に終了します。

ステータスマニターの見かた

プリンターの状態がアイコンで表示されます。Expandボタンをクリックすると詳細情報を表示します。

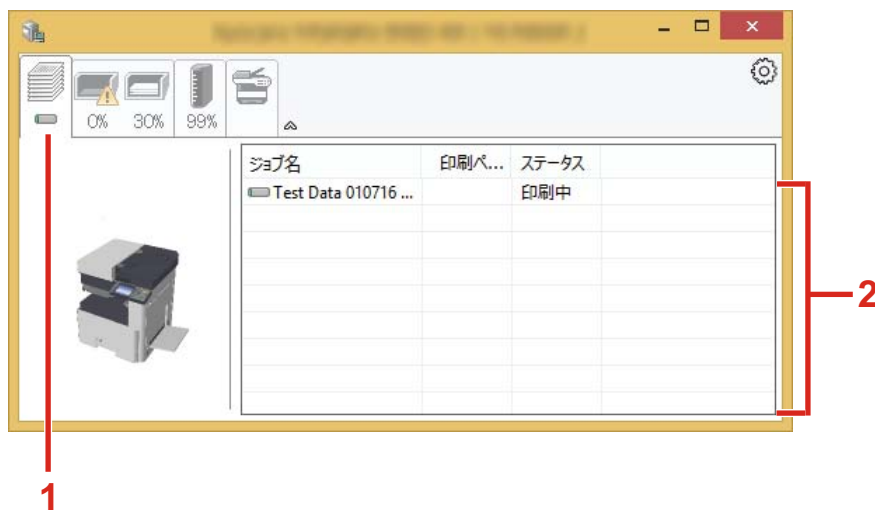


- 1 印刷情報アイコンタブ
- 2 用紙情報アイコンタブ
- 3 トナー情報アイコンタブ
- 4 アラート情報アイコンタブ
- 5 Expandボタン
- 6 設定アイコン

各アイコンタブをクリックすると、各詳細情報が表示されます。

印刷情報アイコンタブの見かた

印刷ジョブの状況が表示されます。

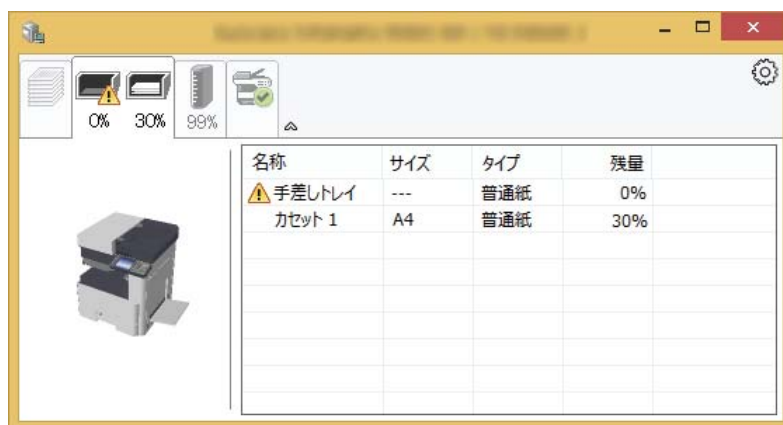


- 1 ステータスアイコン
- 2 ジョブリスト

ジョブリストでジョブを選択し、右クリックで表示されるメニューでキャンセルできます。

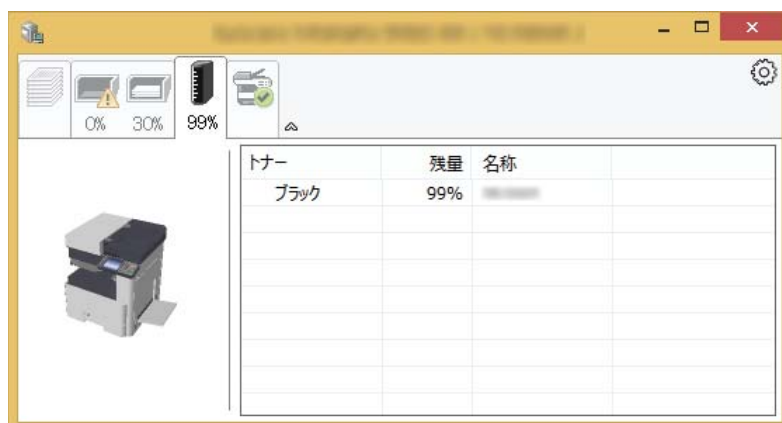
用紙情報アイコンタブの見かた

プリンターにセットされている用紙の情報と用紙残量が表示されます。



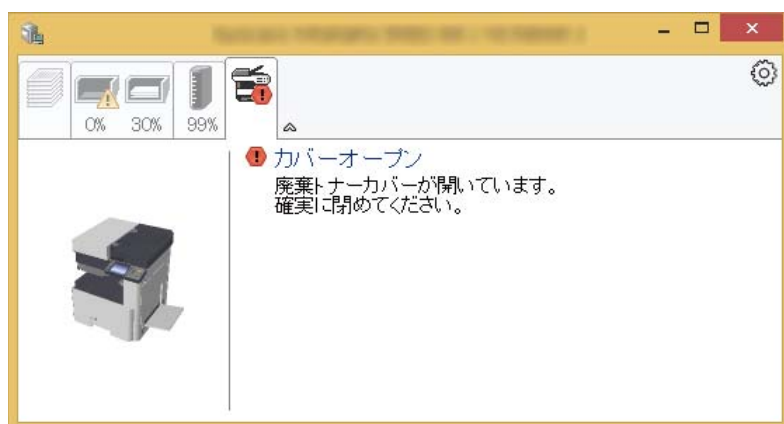
トナー情報アイコンタブの見かた

トナー残量が表示されます。



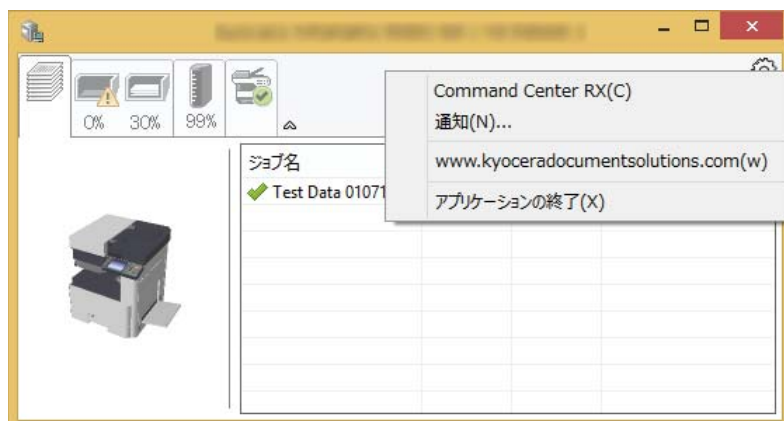
アラート情報アイコンタブの見かた

エラーが発生した場合、3Dイメージとメッセージでお知らせが表示されます。



ステータスマニターコンテキストメニューの見かた

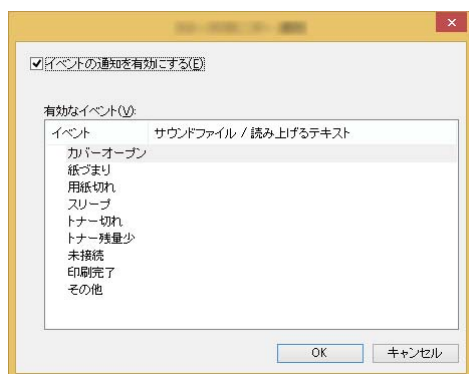
設定アイコンをクリックすると、以下のメニューが表示されます。



- **Command Center RX**
TCP/IPネットワーク環境で接続し、IPアドレスを所有している場合、Webブラウザを使ってCommand Center RXにアクセスし、ネットワーク設定の変更または確認を行います。このメニューはUSB接続の場合は表示されません。
➡ [Command Center RX操作手順書](#)
- **通知**
ステータスマニターの表示の設定を行います。
➡ [ステータスマニターの通知機能を設定する \(4-17\)](#)
- **www.kyoceradocumentsolutions.com**
弊社のホームページを開きます。
- **アプリケーションの終了**
ステータスマニターが終了します。

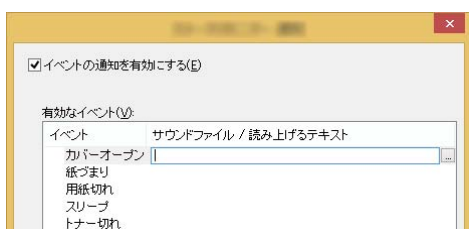
ステータスマニターの通知機能を設定する

ステータスマニターの設定とイベントリストの内容が表示されます。



イベントリストに該当するエラーが発生した場合、通知を行うかどうかを設定します。

- 1 イベントの通知を有効にするを選択します。
この設定をオフにすると、印刷を実行しても、ステータスマニターが起動しません。
- 2 有効なイベントリストから音声で通知するイベントを選択します。
- 3 サウンドファイル/読み上げるテキスト欄をクリックします。
ブラウザ(...)ボタンをクリックして、ファイルを指定します。



参考

使用できるファイルの形式はWAVファイルです。

画面に読み上げるテキストを作成する場合は、テキストボックスにテキストを入力してください。

5 本体側の操作

この章では、次の項目について説明します。

原稿をセットする	5-3
原稿ガラスにセットする	5-3
原稿送り装置にセットする	5-5
手差しトレイに用紙をセットする	5-7
アプリケーションを利用する	5-10
アプリケーションを起動する	5-10
アプリケーションを停止する	5-11
コピーのしかた	5-12
コピーする	5-12
割り込みコピーをする	5-13
印刷ジョブをキャンセルする	5-13
基本的なスキャン(送信)のしかた	5-14
スキャンした文書をメールで送信する	5-15
パソコンの共有フォルダーに送信する[SMB]	5-16
FTPサーバーのフォルダーに送信する[FTP]	5-19
TWAIN/WIA対応のアプリケーションで読み込む	5-21
便利なスキャン(送信)のしかた	5-22
WSDスキャンを実行する	5-23
File Management Utility を使用して原稿を読み込む	5-24
種類の異なる相手に送信する(複合送信)	5-25
ログインユーザーのメールアドレスに送信する	5-26
ファクスサーバーを使って送信する(ファクスサーバー送信)	5-26
スキャンをキャンセルする	5-28
宛先の操作	5-29
アドレス帳から宛先を選ぶ	5-29
拡張アドレス帳から宛先を選ぶ	5-31
ワンタッチキーから宛先を選ぶ	5-31
短縮番号から宛先を選ぶ	5-32
宛先を確認または変更する	5-32
送信前に宛先を確認する	5-32
再宛先を呼び出す	5-33
ファクスのしかた	5-34
文書ボックスの基本操作	5-35
ボックス一覧を操作する	5-35
文書一覧を操作する	5-35
ユーザーボックスの操作のしかた	5-36
スキャンした文書をユーザーボックスに保存する	5-36
ユーザーボックス内の文書を移動する	5-36
ユーザーボックス内の文書を別のユーザーボックスにコピーする	5-37
ユーザーボックス内の文書を外部メモリーにコピーする	5-37
ユーザーボックス内の文書を結合する	5-38
ユーザーボックス内の文書を削除する	5-39
ユーザーボックス内の文書を送信する	5-40
ログインユーザーのメールアドレスにボックスの文書を送信する	5-41
ユーザーボックスに保存された文書を読み込む	5-42
本体に保存したデータの印刷	5-43
プライベートプリントボックスからジョブを印刷する	5-43
プライベートプリントボックスに保存した文書を削除する	5-43
ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する	5-44

ジョブ保留ボックスに保存した文書を削除する	5-44
クイックコピーボックスからジョブを印刷する	5-45
クイックコピーボックスに保存した文書を削除する	5-45
試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する	5-46
試し刷り後保留ボックスに保存した文書を削除する	5-46
ユーザーボックス内の文書を印刷する	5-47
携帯端末からの印刷	5-48
AirPrintで印刷する	5-48
Google Cloud Printで印刷する	5-48
Mopriaで印刷する	5-48
Wi-Fi Directで印刷する	5-48
NFCで印刷する	5-49
USBメモリーの操作	5-50
USBメモリーに文書を保存する(Scan to USB)	5-50
USBメモリー情報を確認する	5-51
USBメモリーを取り外す	5-52
USBメモリーから印刷する	5-52

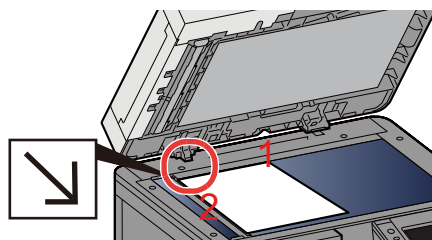
原稿をセットする

原稿は、サイズや種類、枚数、使用する機能に応じて、つぎのどちらかにセットしてください。

- 原稿ガラス: 通常のシート以外に、本や雑誌、はがき、封筒などを読み込む場合は、ここにセットします。
- 原稿送り装置: 複数ページのシート原稿をまとめて読み込む場合は、ここにセットします。また、両面原稿を読み込むこともできます。

原稿ガラスにセットする

原稿ガラスには、通常のシート原稿以外に本や雑誌もセットできます。



- 1 読み取り面を下にします。
- 2 原稿ガラスの左上に当てます。



参考

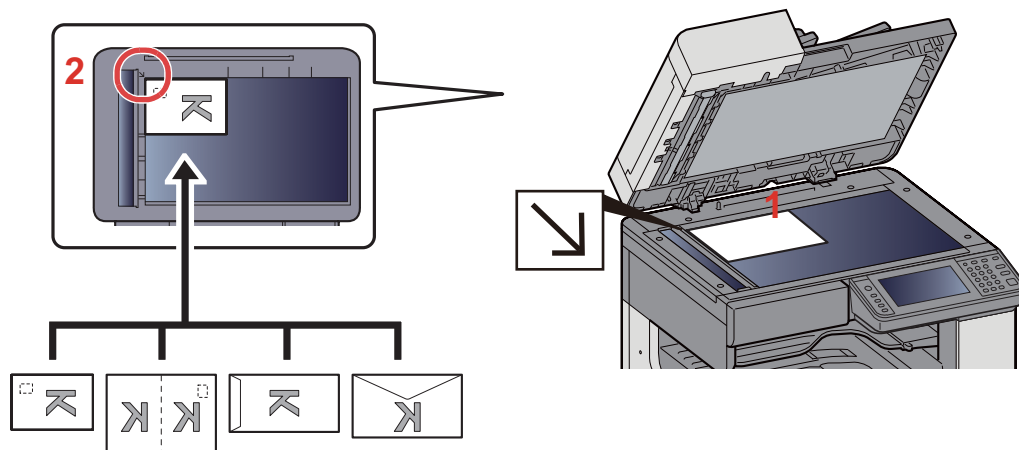
- A5はA4-Rとして検知します。タッチパネルの機能キーで、原稿サイズをA5に設定してください。

➡ [\[原稿サイズ\] \(6-4\)](#)

- 原稿セット向きについては、次を参照してください。

➡ [\[原稿セット向き\] \(6-9\)](#)

はがき、封筒の場合



- 1 読み取り面を下にします。
- 2 原稿ガラスの左上に当てます。

参考

- はがき、封筒の給紙方法については、次を参照してください。

▶ [はがき、封筒の場合 \(5-9\)](#)



注意

原稿送り装置を開いた状態のまま放置しないでください。けがの原因となるおそれがあります。

重要

- 原稿送り装置を原稿ガラスに強く押しつけないでください。ガラスが割れるおそれがあります。
- 本や雑誌をセットする場合は、原稿送り装置を開けたまま使用してください。

原稿送り装置にセットする

原稿送り装置を使用すると、複数ページのシート原稿を自動的に読むことができます。また、両面原稿を読み込むことができます。

使用できる原稿

厚さ	45～160 g/m ² (両面時: 50～120 g/m ²)
サイズ	最大A3/Ledger(297 × 432 mm) (長尺: 297 × 1,900 mm) ～ 最小A5-R/Statement-R (140 × 182 mm)
セットできる枚数	普通紙(80 g/m ²)、カラー紙、再生紙、上質紙: 50枚

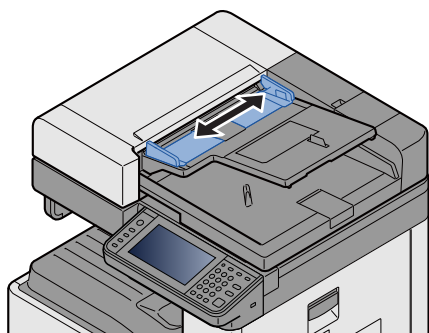
次のような原稿は、原稿送り装置に使用しないでください。原稿つまりや原稿送り装置の汚れの原因になります。

- クリップやステープルで止めてある原稿(使用するときは、クリップやステープルを外して、シワ、折れを伸ばしてください。そのまま使用すると原稿がつまる原因になります)
- 粘着テープや糊などが付着した原稿
- 切り抜きの原稿
- カールした原稿
- 折り目のついた原稿(使用するときは、折り目を伸ばしてください。そのまま使用すると原稿がつまる原因になります)
- カーボン紙
- シワや折れのひどい原稿

📌 重要

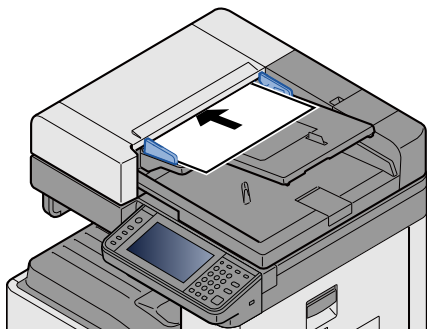
- 原稿をセットする前に、排紙された原稿が原稿排紙テーブルに残っていないことを確認してください。原稿が残っていると、原稿がつまる原因になります。
- 原稿送り装置上カバーの上で原稿をそろえるなど、カバーに衝撃を与えないでください。原稿送り装置が誤動作する原因になります。

1 原稿幅ガイドを原稿サイズに合わせる



2 原稿をセットする

- 1 読み取り面を上にして(両面原稿の場合は表面を上にして)、原稿の先端を原稿送り装置内の奥まで差し込んでください。



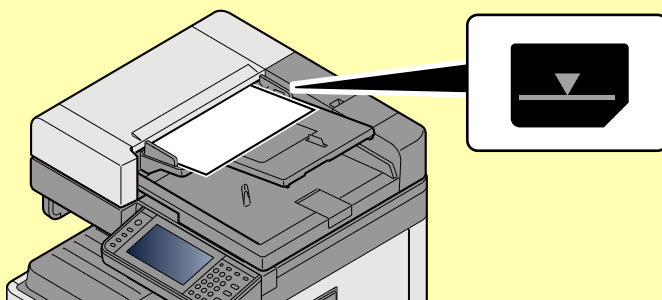
参考

原稿セット向きについては、次を参照してください。

➡ [\[原稿セット向き\] \(6-9\)](#)

重要

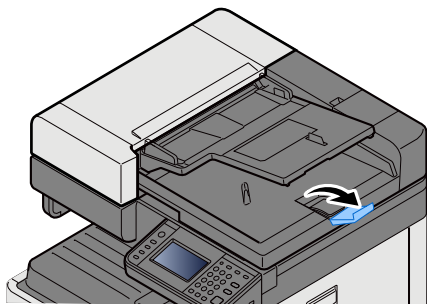
原稿幅ガイドが原稿に当たっていることを確認し、隙間があるときは原稿幅ガイドをセットし直してください。隙間があると原稿がつまる原因となります。



原稿は、原稿上限表示を超えないようにセットしてください。表示を超えて原稿をセットすると、原稿がつまる原因になります。

パンチ穴やミシン目のある原稿は、パンチ穴やミシン目が右側になるように(先に読み込まれないように)セットしてください。

- 2 原稿ストッパーを開きます(原稿サイズがA3、Ledgerの場合)。



手差しトレイに用紙をセットする

セットできる用紙サイズの詳細については、次を参照してください。

➡ [適正な用紙の選択 \(12-24\)](#)

用紙種類の設定については、次を参照してください。

➡ [用紙種類の設定について \(8-14\)](#)

特殊紙に印刷するときは必ず手差しトレイを使用してください。

📌 重要

- 106 g/m²以上の用紙を使用する場合は、用紙種類を厚紙にして、用紙の重さを使用用紙の重さに合わせて設定してください。
- OHPフィルムは1枚排紙されるごとに内部トレイから取り除いてください。紙づまりの原因となることがあります。

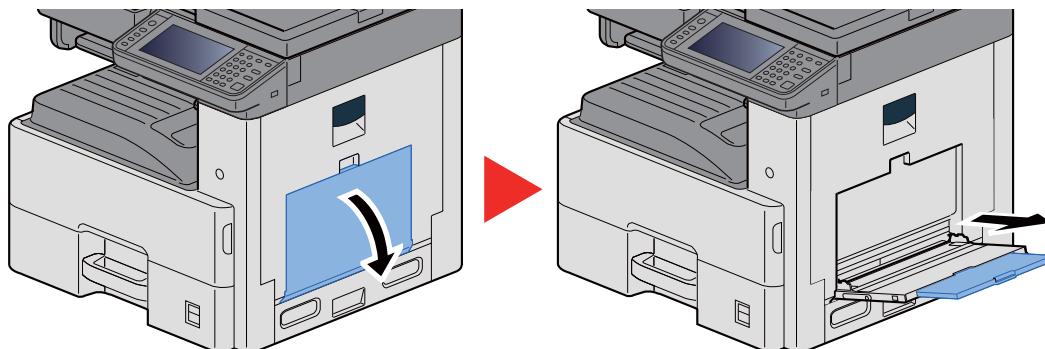
手差しトレイにセットできる用紙種類と枚数は次のとおりです。

- A4以下の普通紙(80 g/m²)、再生紙、カラー紙:100枚
- 厚紙(220 g/m²):10枚
- 厚紙(157 g/m²):10枚
- 厚紙(120 g/m²):25枚
- 厚紙(104.7 g/m²):25枚
- A4より大きいサイズの普通紙(80 g/m²)、再生紙、カラー紙:25枚
- はがき:20枚
- Envelope DL、Envelope C5、Envelope #10(Commercial#10)、Monarch、洋形4号、洋形2号:5枚
- OHPフィルム:10枚

💡 参考

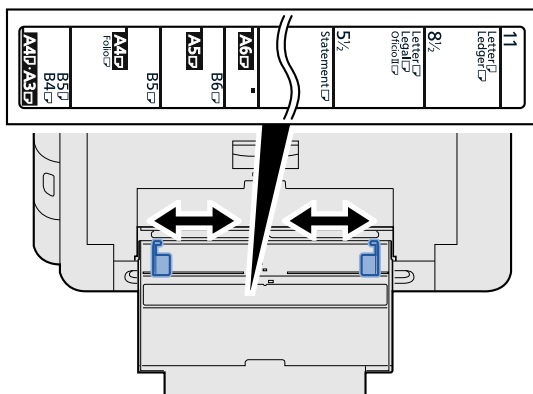
- 不定形サイズの下紙をセットするときは、用紙のサイズを入力してください。
- ➡ [\[手差しトレイ\] \(8-10\)](#)
- OHPフィルムや厚紙などの特殊紙を使用するときは、用紙種類を設定してください。
- ➡ [用紙種類の設定について \(8-14\)](#)

1 手差しトレイを開ける

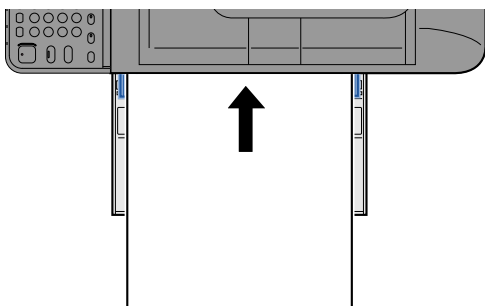


2 手差しトレイのサイズを調整する

用紙サイズは手差しトレイに表示されています。



3 用紙をセットする



用紙幅ガイドに合わせて、用紙を止まる位置まで挿入してください。

包装紙から出した用紙は、セットする前にさばいてください。

▶ [用紙の取り扱い上の注意 \(3-19\)](#)

☑ 重要

- 印刷する面を下にしてください。
- 反っている用紙は必ず反りを直してから使用してください。
- 手差しトレイに用紙を補給する前に、用紙が手差しトレイに残っていないか確認してください。また、手差しトレイに残っている用紙が少ないなどで用紙を補給する場合は、用紙を一度取り除き、補給する用紙と合わせてさばいてから再度補給してください。
- 用紙と用紙ガイドの間に隙間があるときは、斜め給紙や紙づまりの原因となりますので、隙間が生じないようにガイドを調整し直してください。

4 手差しトレイにセットする用紙を操作パネルで設定する

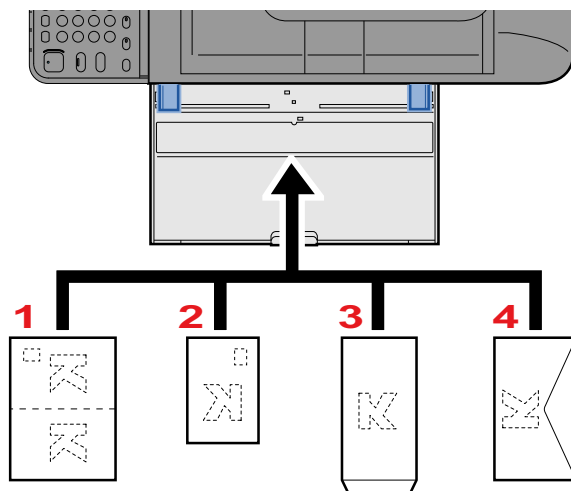
▶ [\[手差しトレイ\] \(8-10\)](#)

はがき、封筒の場合

印刷する面を下にしてセットします。印刷のしかたについては、次を参照してください。

➡ プリンタードライバー操作手順書

例) 宛名を印刷する場合



- 1 往復はがき
- 2 はがき
- 3 縦長の封筒(開封口を開く)
- 4 横長の封筒(開封口を閉じる)

👍 重要

- 往復はがきは折られていないものをセットしてください。
- 封筒のセットのしかた(向き、裏表)は、封筒の種類によって異なります。正しくセットしないと、異なった方向、異なった面に印刷されることがあります。

💡 参考

- 手差しトレイに封筒をセットするときは、封筒の種類を設定してください。

➡ [\[手差しトレイ\] \(8-10\)](#)

アプリケーションを利用する

アプリケーションを起動する

1 画面を表示する

[システムメニュー／カウンター]キー > [アプリケーション] > [アプリケーション]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

2 起動する

1 使用するアプリケーションを選択 > [メニュー] > [起動]

[]を選択すると、選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

2 [正規] > ライセンスキーを入力 > [OK]

アプリケーションによっては、ライセンスキーを入力する必要があるものがあります。ライセンスキーの入力画面が表示されない場合は手順2-3に進んでください。お試しで使用する場合は、ライセンスキーを入力せずに[試用]を選択してください。

3 [はい]を選択します。

重要

日付設定を変更すると、アプリケーションをお試しで使うことができなくなります。

起動したアプリケーションのアイコンは、ホーム画面に表示されます。

3 ホーム画面のアプリケーションアイコンを押して起動する

アプリケーションアイコンを押します。

アプリケーションが起動します。

アプリケーションを停止する

1 画面を表示する

[システムメニュー／カウンター] キー> [アプリケーション]> [アプリケーション]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

2 停止する

- 1 停止するアプリケーションを選択 > [メニュー] > [停止]

[

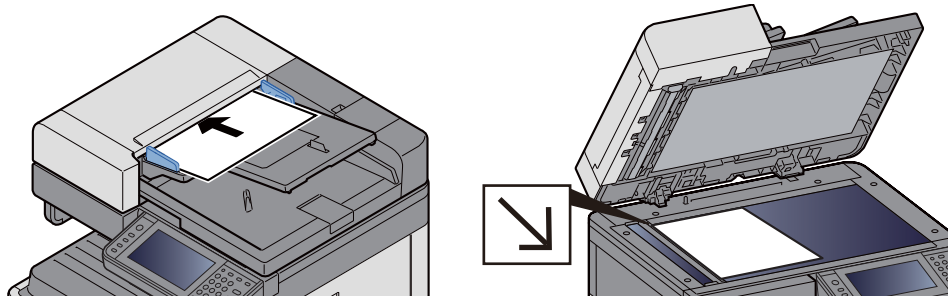
- 2 [はい]を選択します。

コピーのしかた

ここでは、コピー操作の基本的な流れとキャンセルのしかたについて説明します。

コピーする

- 1 [ホーム]キー > [コピー]
- 2 原稿をセットする



➡ [原稿をセットする \(5-3\)](#)

- 3 機能を設定する

機能キーを選択することで各機能の設定を行うことができます。また[機能一覧]を選択すると、その他の機能が設定できます。

➡ [\[コピー\] \(xi\)](#)

- 4 テンキーで部数を入力する

999部まで指定できます。

- 5 [スタート]キーを押す

コピーが開始されます。



参考

印刷中に次のコピーを予約することができます。次のコピーを予約すると、現在の印刷が終了した後、予約したコピーの印刷を開始します。「次の予約優先」が[設定しない]に設定されている場合は、[次の予約]が表示されません。[次の予約]を選択し、コピーの必要な設定を行ってください。

➡ [次の予約優先 \(8-23\)](#)



割り込みコピーをする

印刷中のジョブを一時中断させて、緊急のコピーを先に行うことができます。

割り込みコピーが終了すると、中断していた印刷が再開されます。



参考

- 割り込みコピーモード中、60 秒間操作しないと自動的に割り込みコピーが解除され、中断していた印刷を再開します。割り込みコピーが解除されるまでの時間は変更することができます。必要に応じて変更してください。

1 設定する

- 1 [割り込み]キーを押します。
印刷中のジョブが一時中断します。
- 2 割り込みコピーする原稿をセットし、コピーの必要な設定を行います。

2 [スタート]キーを押す

割り込みコピーが開始されます。

3 割り込みコピーが終了したら、[割り込み]キーを押す

中断していた印刷が再開されます。

印刷ジョブをキャンセルする

1 コピー画面が表示されている状態で、[ストップ]キーを選択する

2 キャンセルする

読み込み中のジョブがある場合

ジョブはキャンセルされます。

印刷中、待機中のジョブがある場合

印刷を一時停止し、ジョブ中止画面が表示されます。

キャンセルするジョブを選択 > [中止] > [はい]



参考

「次の予約優先」が[設定しない]に設定されている場合、タッチパネルにはコピー中の画面が表示されています。このとき、[ストップ]キーまたは[中止]を選択すると、印刷中のジョブがキャンセルされます。

➡ [次の予約優先 \(8-23\)](#)

基本的なスキャン(送信)のしかた

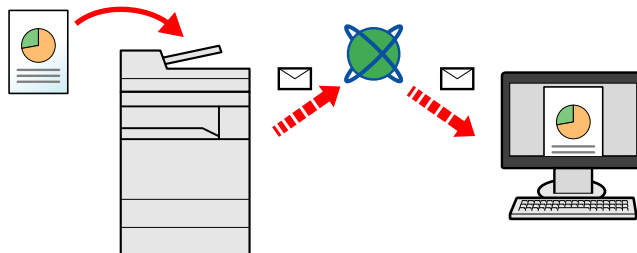
本機を使用して読み取った画像をメールに添付して送信したり、ネットワーク上のパソコンに送信したりすることができます。この機能を使うには、あらかじめ送信元と送信先(受信者)のネットワークアドレスを登録しておいてください。

メール送信を行うには、本機とメールサーバーを接続するためのネットワーク環境が必要です。通信速度およびセキュリティの面からLANIによる接続を推奨します。

基本的なスキャン(送信)の方法は次のとおりです。

- メール送信(新規メール):読み取った原稿のイメージをメールの添付ファイルとして送信します。

➡ [スキャンした文書をメールで送信する\(5-15\)](#)

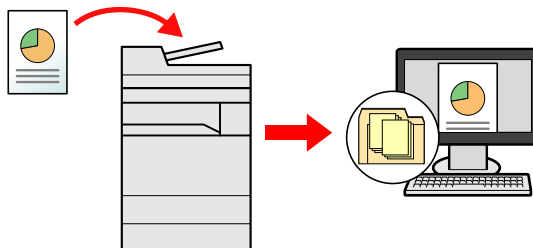


- フォルダー(SMB)送信:読み取った原稿のイメージを任意のパソコンの共有フォルダーに保存します。

➡ [パソコンの共有フォルダーに送信する\[SMB\]\(5-16\)](#)

- フォルダー(FTP)送信:読み取った原稿のイメージをFTPサーバーのフォルダーに保存します。

➡ [FTPサーバーのフォルダーに送信する\[FTP\]\(5-19\)](#)



- TWAIN/WIAでの画像データ読み込み:TWAIN/WIA対応アプリケーションを使って、文書データをパソコンに読み込みます。

➡ [TWAIN/WIA対応のアプリケーションで読み込む\(5-21\)](#)

参考

これらの送信方法を組み合わせて指定することもできます。

➡ [種類の異なる相手に送信する\(複合送信\)\(5-25\)](#)

送信にはファクス機能が使用できます。

➡ [ファクス使用説明書](#)

スキャンした文書をメールで送信する

スキャンした文書をメールで送信します。



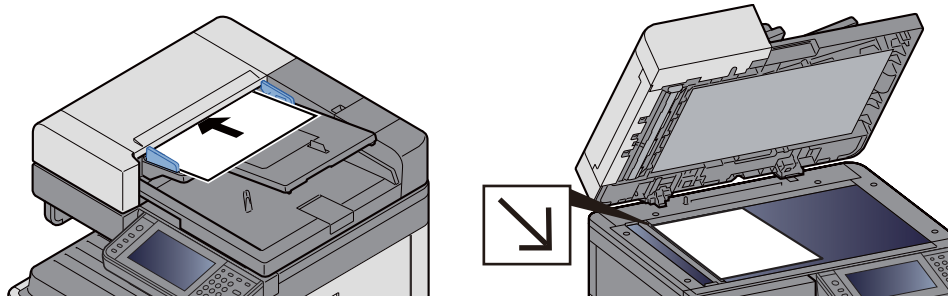
参考

送信をする前に、Command Center RXからSMTPおよびメール送信の設定をする必要があります。

➡ [SMTPおよびメール送信の設定をする \(2-45\)](#)

1 [ホーム]キー > [送信]

2 原稿をセットする



➡ [原稿をセットする \(5-3\)](#)

3 [メール]を選択するとアドレス入力画面が開きます

4 アドレスを入力 > [OK]

128文字まで入力できます。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

複数の宛先を入力する場合は、[レポート印刷]を選択して宛先を入力します。

入力可能メールアドレス数: 100件まで

[メニュー] > [<戻る]を選択すると、入力したメールアドレスをアドレス帳に登録することができます。また、すでに登録されている宛先を置き換えることもできます。

宛先は後で変更できます。

➡ [宛先を確認または変更する \(5-32\)](#)



参考

「同報送信」を[禁止する]に設定している場合は、複数の宛先を入力することはできません。

➡ [同報送信 \(8-24\)](#)

5 機能を設定する

[機能一覧]を選択する事で各機能の設定を行うことができます。

➡ [\[送信\] \(xii\)](#)

6 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

パソコンの共有フォルダーに送信する[SMB]

読み取った原稿のイメージを任意のパソコンの共有フォルダーに保存します。

参考

送信をする前に、次の設定をする必要があります。

コンピューター名とフルコンピューター名をメモする

➡ [コンピューター名とフルコンピューター名をメモする \(3-26\)](#)

ユーザー名とドメイン名をメモする

➡ [ユーザー名とドメイン名をメモする \(3-27\)](#)

共有フォルダーを作成する、共有名をメモする

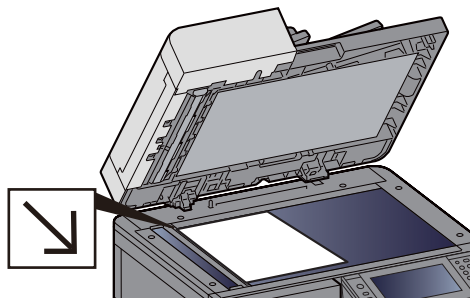
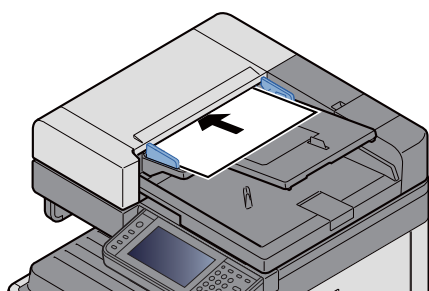
➡ [共有フォルダーを作成する、共有名をメモする \(3-28\)](#)

Windowsファイアウォールを確認する

➡ [Windowsファイアウォールを設定する \(3-32\)](#)

1 [ホーム]キー > [送信]

2 原稿をセットする



➡ [原稿をセットする \(5-3\)](#)

3 送信の基本画面で[フォルダー]を選択する

4 フォルダーの種類から[SMB]を選択する

5 フォルダーの指定方法を選択する

ネットワーク内にあるパソコンのフォルダーを検索して登録する場合は、[ネットワークからフォルダーを検索する]または[ホスト名でフォルダーを検索する]を選択してください。

[ネットワークからフォルダーを検索する]を選択した場合は、接続しているネットワーク内のすべてのパソコンから宛先を検索することができます。

[ホスト名でフォルダーを検索する]を選択した場合は、「ドメイン/ワークグループ」「ホスト名」を入力して接続しているネットワーク内のパソコンから宛先を検索することができます。

ホスト名(コンピューター名)は500件まで表示することができます。表示された画面で指定したいホスト名(コンピューター名)を選択し、[次へ>]を選択するとログインユーザー名、ログインパスワードの入力画面が表示されます。

ログインユーザー名、ログインパスワードを入力すると共有フォルダーが表示されるので、指定したいフォルダーを選択して[次へ>]を選択してください。選択した共有フォルダーが宛先に設定されます。

☑ 重要

マルチバイト文字(漢字、ひらがな、カタカナなど)を使用する場合、以下にご注意ください。

- ・送信先ホスト名にマルチバイト文字が含まれている場合、そのホスト名を使用して検索、送信ができます。
- ・送信先のドメイン名、ワークグループ名にマルチバイト文字が含まれている場合、検索や送信ができません。
- ・ログインユーザー名にマルチバイト文字が含まれている場合、そのログインユーザー名を使用して送信ができます。

検索結果のリストからフォルダーを選択します。

6 宛先情報を入力する

SMB宛先の情報を入力します。1項目が入力できたら[次へ>]を選択して、次の項目に進みます。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

入力する項目は次のとおりです。

項目	詳細	制限文字数
ホスト名 ^{*1}	コンピューター名	64文字
パス	共有名 例) scannerdata 共有フォルダー内のフォルダーに保存する場合 共有名\共有フォルダー内のフォルダー名	128文字
ログインユーザー名	コンピューター名とドメイン名が同じ場合 ユーザー名 例) yamada コンピューター名とドメイン名が違う場合 ドメイン名\ユーザー名 例) abcdnet\yamada	64文字
ログインパスワード	Windowsにログオンする際のパスワード (大文字・小文字は区別されます。)	64文字

^{*1} ポート番号を指定することもできます。次のようにコロンで区切る形式で入力してください。
「ホスト名:ポート番号」または「IPアドレス:ポート番号」
IPv6アドレスを入力する場合は、IPv6アドレスを[]で囲んでください。
(例: [2001:db8:a0b:12f0::10]:445)
なお、指定しない場合のデフォルトのポート番号は445です。

7 確認する

1 宛先情報を確認します。

必要に応じて変更してください。

2 [メニュー] > [接続確認]

宛先に正しく接続できた場合は、「接続できました。」が表示されます。「接続できません。」が表示された場合は、もう一度入力内容を確認してください。

複数の宛先を入力する場合は、[レポート印刷]を選択して宛先を入力してください。

[アドレス帳に登録]を選択すると、入力した内容をアドレス帳に登録することができます。

8 [OK]を選択する

宛先は後で変更できます。

➡ [宛先を確認または変更する \(5-32\)](#)

9 機能を設定する

[機能一覧]を選択すると、機能が表示されます。

➡ [\[送信\] \(xii\)](#)

10 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

FTPサーバーのフォルダーに送信する[FTP]

読み取った原稿のイメージをFTPサーバーのフォルダーに保存します。



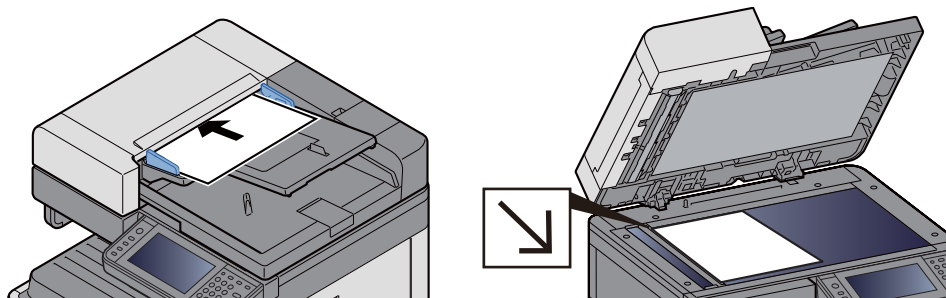
参考

送信をする前に、FTPクライアント(送信)プロトコルを設定する必要があります。

➡ [\[プロトコル設定\] \(8-41\)](#)

1 [ホーム]キー > [送信]

2 原稿をセットする



➡ [原稿をセットする \(5-3\)](#)

3 送信の基本画面で[フォルダー]を選択する

4 フォルダーの種類から[FTP]を選択する

5 宛先情報を入力する

SMB宛先の情報を入力します。1項目が入力できたら[次へ>]を選択して、次の項目に進みます。OK

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

入力する項目は次のとおりです。

項目	入力する情報	制限文字数
ホスト名 ^{*1}	FTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	64文字以下
パス ^{*2}	保存したいフォルダーのパス 例) ¥User¥ScanData 何も入力しない場合、ホームディレクトリーに保存されます。	128文字以下
ログインユーザー名	FTPサーバーへのログインユーザー名	64文字以下
ログインパスワード	FTPサーバーへのログインパスワード (大文字・小文字は区別されます。)	64文字以下

*1 ポート番号を指定することもできます。次のようにコロンで区切る形式で入力してください。

「ホスト名:ポート番号」または「IPアドレス:ポート番号」

IPv6アドレスを入力する場合は、IPv6アドレスを[]で囲んでください。

(例: [2001:db8:a0b:12f0::1]:21)

なお、指定しない場合のデフォルトのポート番号は21です。

*2 Linux/UNIXベースのFTPサーバーの場合、パスの区切りは¥ではなく/(スラッシュ)です。

6 確認する

1 宛先情報を確認します。

必要に応じて変更してください。

2 [メニュー] > [接続確認]

宛先に正しく接続できた場合は、「接続できました。」が表示されます。「接続できません。」が表示された場合は、もう一度入力内容を確認してください。

複数の宛先を入力する場合は、[レポート印刷]を選択して宛先を入力してください。

[<戻る]を選択すると、入力した内容をアドレス帳に登録することができます。

7 [OK]を選択する

宛先は後で変更できます。

➡ [宛先を確認または変更する \(5-32\)](#)

8 機能を設定する

[機能一覧]を選択すると、その他の機能が表示されます。

➡ [\[送信\] \(xii\)](#)

9 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

TWAIN/WIA対応のアプリケーションで読み込む

TWAINまたはWIAを使って、本機にセットした原稿を読み込む方法について説明します。

参考

送信をする前に、コンピューターにTWAIN/WIAドライバーのインストールと設定が完了していることを確認してください。

➡ [TWAINドライバーを設定する \(2-36\)](#)

➡ [WIAドライバーを設定する \(2-38\)](#)

1 画面を表示する

- 1 TWAIN またはWIA対応アプリケーションを起動します。
- 2 アプリケーションから本機を選択し、ダイアログボックスを表示させます。

参考

本機の実機選択方法は、各アプリケーションの使用説明書またはヘルプを参照してください。

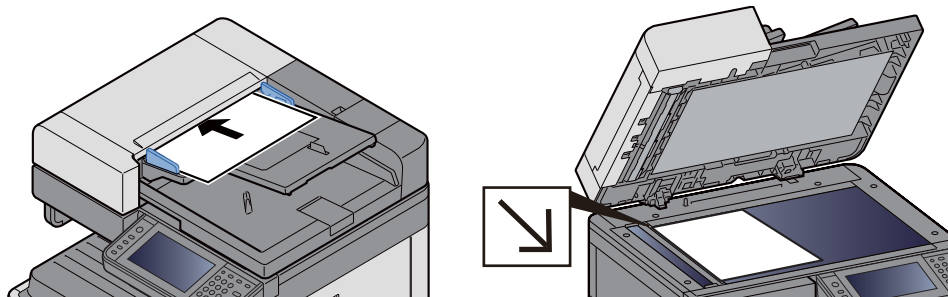
2 設定する

表示されるダイアログボックスで読み込みの設定を行ってください。

参考

設定内容は、ダイアログボックスのヘルプを参照してください。

3 原稿をセットする



➡ [原稿をセットする \(5-3\)](#)

4 スキャンする

[スキャン]ボタンをクリックします。原稿がスキャンされ、データがパソコンに保存されます。

便利なスキャン(送信)のしかた

便利なスキャン(送信)の方法は次のとおりです。

- WSDスキャン:本機で読み取った原稿のイメージを、WSD対応のパソコンにファイルとして保存します。
➡ [WSDスキャンを実行する \(5-23\)](#)
- File Management Utilityを使ったスキャン :File Management Utilityで設定した内容に従って原稿を読み込み、画像データと読み込み情報を指定のサーバーやフォルダーに保存します。
➡ [File Management Utility を使用して原稿を読み込む \(5-24\)](#)
- ファクスサーバーを使ったスキャン:スキャンした原稿をファクスサーバーを経由して送信します。
➡ [ファクスサーバーを使って送信する\(ファクスサーバー送信\) \(5-26\)](#)
- 種類の異なる相手に送信する(複合送信):一度の操作で、種類の異なる宛先(メール、フォルダーなど)に送信できます。
➡ [種類の異なる相手に送信する\(複合送信\) \(5-25\)](#)
- 自分に送信:ユーザー管理が有効の場合に、ログインしているユーザーのメールアドレスに文章を送付します。
➡ [ログインユーザーのメールアドレスに送信する \(5-26\)](#)

WSDスキャンを実行する

WSDスキャンは、本機で読み取った原稿のイメージを、WSD対応のパソコンにファイルとして保存します。

参考

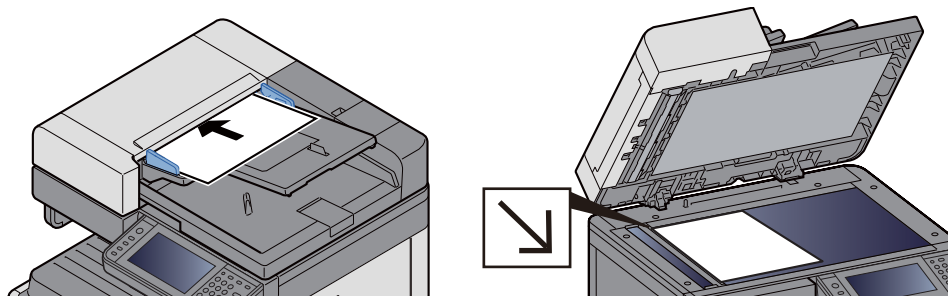
- WSDスキャンを行うには、使用するパソコンと本機がネットワーク接続されているか、ネットワーク設定の「WSDスキャン」が[使用する]に設定されているか確認してください。

➡ [WSDスキャン \(8-42\)](#)

- パソコンの操作について詳しくは、パソコンのヘルプを参照するか、使用されるWSD対応のソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

1 [ホーム]キー > [送信]

2 原稿をセットする



➡ [原稿をセットする \(5-3\)](#)

3 画面を表示する

[WSDスキャン]を選択します。

4 スキャンする

本機で操作する場合

- 1 [パネルから操作]を選択します。
- 2 送信先のパソコンを選択 > [OK]
[アドレス帳に登録]を選択すると、リストを更新します。
[- 3 必要に応じて、原稿の種類やファイル形式などを設定します。
- 4 [スタート]キーを押します。
送信中、パソコンにインストールされているWSD対応のソフトウェアが起動し、送信が終了すると、ファイルの確認ができます。

パソコンから操作する場合

- 1 [PC操作] > [次へ>]
- 2 パソコンにインストールされているWSD対応のソフトウェアを使用して、送信します。

File Management Utility を使用して原稿を読み込む

File Management Utility(FMU)は、本機でスキャンした文書を、指定されたネットワークフォルダーまたはPCに送信し、保存するアプリケーションです。スキャンした文書进行处理するためのワークフローをFMUで作成し、本機にお気に入りとして登録することができます。



参考

本機能を使用する前に、使用するパソコンにFile Management Utilityをインストールし、使用する複合機、読み込み条件や保存場所の設定を行う必要があります。File Management Utilityのインストール方法については、次を参照してください。

➡ [ソフトウェアのインストール \(2-26\)](#)

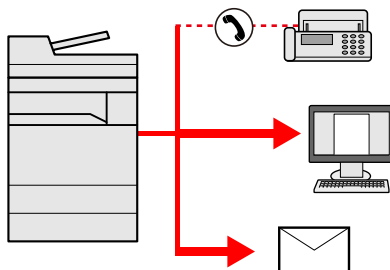
File Management Utilityの使用方法については、次を参照してください。

➡ File Management Utility操作手順書

- 1 File Management Utilityがインストールされているパソコン(またはサーバー)でFile Management Utilityが起動していることを確認する
- 2 原稿をセットする
- 3 お気に入りを呼び出す
ホーム画面に登録した[お気に入り]を選択、または[送信] > [お気に入り]で表示されるアイコンを選択します。
- 4 画面の指示に従って必要事項を入力し、[次へ>]を押す
- 5 読み込み設定画面が表示されたら、各項目を押して必要な設定を行う
設定できる機能はFile Management Utilityに依存します。
- 6 [スタート]キーを押す
送信が開始されます。

種類の異なる相手に送信する(複合送信)

宛先は、メール、フォルダー(SMB、FTP)、ファクスを組み合わせで指定することができます。これを複合送信と呼びます。一度の操作で、種類の異なる宛先(メール、フォルダーなど)に送信できて便利です。



同報件数: 最大100件

ただし、下記の送信方法は、件数の制限があります。

フォルダー(SMB、FTP): SMB、FTP合わせて5件まで

操作方法は、1種類の宛先を指定するときと同じです。宛先のメールアドレスやフォルダーの場所を続けて入力し、宛先リストに表示させてください。[スタート]キーを押すと、それらの宛先にまとめて送信されます。

参考

- 宛先にファクスが含まれる場合、すべての宛先の送信画像が白黒になります。
- 「同報送信」を[禁止する]に設定している場合は、複数の宛先を入力することはできません。

▶ [同報送信 8-24](#)

ログインユーザーのメールアドレスに送信する

ユーザー管理が有効の場合に、ログインしているユーザーのメールアドレスに文書を送付します。

参考

この機能を使用する前に、次の設定をする必要があります。

- ホーム画面に機能アイコンを表示させる

➡ [ホーム画面を編集する \(3-8\)](#)

- ユーザー管理でログインするユーザーにメールアドレスを設定する

➡ [新しいユーザーを登録する「ローカルユーザーリスト」 \(9-5\)](#)

1 操作パネルの[ホーム]キーを選択する

2 自分に送信(メール)]を選択する

ファクスサーバーを使って送信する(ファクスサーバー送信)

スキャンした原稿をファクスサーバーを経由して送信します。

参考

- この機能を使用するには、ファクスサーバーが必要です。ファクスサーバーについては、管理者にお問い合わせください。

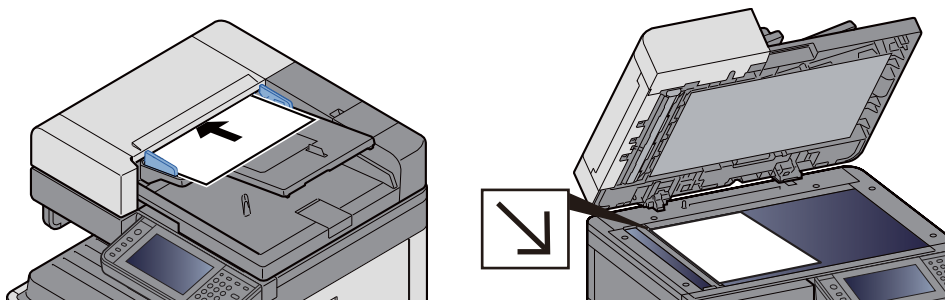
- 送信をする前に、ファクスサーバーを設定する必要があります。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

➡ [「ファクスサーバー設定」 \(8-56\)](#)

1 [ホーム]キー > [送信]

2 原稿をセットする



➡ [原稿をセットする \(5-3\)](#)

3 送信の基本画面で[ファクスサーバー]を選択する

4 宛先を入力する

直接入力する場合

1 [ファクス番号入力]を選択します。

2 ファクス番号を入力します。



参考

テンキーを使って、数値を入力します。

3 [OK]を選択します。

宛先は後で変更できます。

➡ [宛先を確認または変更する \(5-32\)](#)

アドレス帳から選択する場合

1 [アドレス帳]を選択します。

2 宛先を選択します。

➡ [アドレス帳から宛先を選ぶ \(5-29\)](#)

3 [OK]を選択します。

宛先は後で変更できます。

➡ [宛先を確認または変更する \(5-32\)](#)

拡張アドレス帳から選択する場合

1 [拡張アドレス帳]を選択します。

2 宛先を選択します。

➡ [アドレス帳から宛先を選ぶ \(5-29\)](#)

3 [OK]を選択します。

宛先は後で変更できます。

➡ [宛先の操作 \(5-29\)](#)



参考

拡張アドレス帳については、次を参照してください。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

5 機能を設定する

原稿をセットします。

➡ [\[送信\] \(xii\)](#)

6 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

スキャンをキャンセルする

[ストップ]キーを選択してジョブをキャンセルすることができます。

- 1 送信画面が表示されている状態で、[ストップ]キーを選択する
- 2 キャンセルする

読み込み中のジョブがある場合

ジョブがキャンセルされます。

送信中、待機中のジョブがある場合

ジョブ中止画面が表示されます。

キャンセルするジョブを選択 > [削除] > [はい]



参考

送信ジョブの場合、[ストップ]キーを選択しても一時停止しません。

宛先の操作

ここでは、宛先の選びかたや確認のしかたについて説明します。

宛先は、直接入力するほかに、次の方法で選択できます。

- アドレス帳から宛先を選ぶ

➡ [アドレス帳から宛先を選ぶ \(5-29\)](#)

- 拡張アドレス帳から宛先を選ぶ

➡ [拡張アドレス帳から宛先を選ぶ \(5-31\)](#)

- ワンタッチキーから宛先を選ぶ

➡ [ワンタッチキーから宛先を選ぶ \(5-31\)](#)

- 短縮番号から宛先を選ぶ

➡ [短縮番号から宛先を選ぶ \(5-32\)](#)

- ファクスから宛先を選ぶ

➡ [ファクス使用説明書](#)



参考

- [送信]キーを選択するとアドレス帳の画面を表示するように設定することができます。

➡ [\[初期画面\] \(8-11\)](#)

- 宛先にはファクスの宛先を指定することができます。テンキーで相手先の番号を入力します。

アドレス帳から宛先を選ぶ

アドレス帳に登録されている宛先を選択します。



参考

アドレス帳に宛先を登録する方法は、次を参照してください。

➡ [宛先の登録 \(3-36\)](#)

1 送信の基本画面で[アドレス帳]を選択する



参考

拡張アドレス帳については、次を参照してください。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

2 宛先を選択する

チェックボックスを選択して、宛先をリストの中から選択してください。宛先は複数選択できます。選択された宛先のチェックボックスにチェックマークがつきます。

[メニュー]を選択すると、より詳しい検索ができます。

 **参考**

- 選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。
- 「同報送信」を[禁止する]に設定している場合は、複数の宛先を入力することはできません。また、複数のあて先が登録されているグループも選択できません。

[▶ 同報送信 \(8-24\)](#)

宛先の検索

アドレス帳に登録された宛先の検索や絞り込み検索ができます。



使用するキー		検索方法	検索語句など
1		宛先絞り込み検索	登録されている宛先の種類(メール、フォルダー(SMB,FTP)、ファクス、グループ)で絞り込み検索します。
2	絞り込み	宛先絞り込み検索	登録されている宛先の種類(メール、フォルダー(SMB,FTP)、ファクス、グループ)で絞り込み検索します。
	検索(フリガナ)	フリガナ検索	登録されているフリガナで検索します。
	番号検索	番号検索	登録されているアドレス番号で検索します。
	表示順(フリガナ)	表示順検索	登録されているフリガナで検索します。
	表示順(番号)		登録されているアドレス番号で検索します。
3		フリガナ検索	登録されているフリガナで検索します。

3 宛先を決定 > [OK]

宛先は後で変更できます。

▶ [宛先を確認または変更する \(5-32\)](#)

 **参考**

「表示順」の初期値を変更することができます。

[▶ 表示順 \(8-27\)](#)

拡張アドレス帳から宛先を選ぶ

拡張アドレス帳に登録されている宛先を選択します。

参考

拡張アドレス帳については、次を参照してください。

▶ [Command Center RX操作手順書](#)

1 送信の基本画面で[拡張アドレス帳]を選択する

2 宛先を選択する

チェックボックスを選択して、宛先をリストの中から選択してください。宛先は複数選択できます。選択された宛先のチェックボックスにチェックマークが付きます。

[メニュー]を選択すると、より詳しい検索ができます。

参考

別の拡張アドレス帳に変更する場合は、[拡張アドレス帳の切り替え]を選択して、変更したい拡張アドレス帳を選択してください。

3 宛先を決定 > [OK]

宛先は後で変更できます。

▶ [宛先を確認または変更する \(5-32\)](#)

参考

「表示順」の初期値を変更することができます。

▶ [表示順 8-27](#)

ワンタッチキーから宛先を選ぶ

ワンタッチキーで宛先を選択できます。

送信の基本画面で、宛先が登録されているワンタッチキーを押してください。

参考

タッチパネル上に宛先のワンタッチキーが表示されていない場合は、[へ]/[へ]を選択してください。表示されていないワンタッチキーが表示されます。ここでは、すでにワンタッチキーが登録されているものとします。

ワンタッチキーの登録については、次を参照してください。

▶ [ワンタッチキーに宛先を登録する \(3-42\)](#)



短縮番号から宛先を選ぶ

3桁(001~100)のワンタッチキー番号(短縮番号)を指定して、宛先を選択できます。

[短縮]キーを押すと、番号入力画面が表示されます。番号入力エリアを選択して、ワンタッチキー番号をテンキーで入力してください。

参考

短縮番号を1桁～3桁で入力した場合は[OK]を押してください。



宛先を確認または変更する

選択した宛先を確認し、変更します。

1 送信の基本画面で[確認]を選択する

2 確認/変更する

[+]を選択すると宛先を追加します。

[

宛先を選択して[

参考

- ・「新規宛先の入力確認」を[設定する]に設定している場合は、確認画面が表示されます。もう一度同じ宛先を入力して[OK]を選択してください。

➡ [新規宛先の入力確認 \(8-24\)](#)

- ・「送信前の宛先確認」を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押すと、確認画面が表示されます。

➡ [送信前の宛先確認 \(8-24\)](#)

➡ [送信前に宛先を確認する \(5-32\)](#)

送信前に宛先を確認する

「送信前の宛先確認」を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押すと、宛先を確認するための宛先確認画面が表示されます。

➡ [送信前の宛先確認 \(8-24\)](#)



1 [✓]または[へ]を選択して、すべての宛先を確認する

[]を選択すると、その宛先の詳しい情報が参照できます。

宛先を削除するときは、削除する宛先を選択 > [] > [はい]

宛先を追加するときは、[全角カナ]を選択して元の画面に戻ってください。

2 [確認完了]を選択する

 参考

必ずすべての宛先をタッチパネルに表示して確認してください。すべての宛先を表示しないと[全角記号]は機能しません。

再宛先を呼び出す

送信を試みたが、相手先が応答しない。もう一度同じ宛先に送りたい。そんなときに[再宛先]を選択すると、直前に送信した宛先を宛先リストに呼び出すことができます。

1 [再宛先]を選択する

直前に送信した宛先に表示されます。

 参考

直前の送信がファクスやフォルダー、メールなどの宛先を含んでいる場合は、それらもあわせて表示されます。必要に応じて宛先の追加や削除などを行ってください。

2 [スタート]キーを押す

送信を開始します。

 参考

- ・「送信前の宛先確認」を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。

➡ [送信前に宛先を確認する \(5-32\)](#)

- ・ 次の条件で再宛先情報は破棄されます。
 - 電源を切ったとき
 - 次の送信操作を行ったとき(新しい再宛先情報が登録されます。)
 - ログアウトしたとき

ファックスのしかた

本機はファックス機能を使用することができます。ファックス機能は、オプションのファックスキットが必要です。

➡ [ファックス使用説明書](#)

文書ボックスの基本操作

ユーザーボックスで作業を行う場合を例に、文書ボックスの基本操作を説明します。



参考

ここでは、ユーザー管理が無効であるものとして説明します。ユーザー管理が有効の場合の操作については、次を参照してください。

▶ [ボックスを編集する \(3-56\)](#)

ボックス一覧を操作する



- 1 選択したボックスを開きます。
- 2 [メニュー]を選択すると、文書ボックスの検索(ボックス名/ボックス番号)、表示順の変更(ボックス名/ボックス番号/所有者)、ボックスの新規登録、ボックスの変更および削除ができます。
- 3 各ボックスの詳細情報が表示されます。

文書一覧を操作する

文書一覧は、ユーザーボックスに保存されている文書の一覧です。次のような操作ができます。



- 1 チェックマークをつけると選択されます。
- 2 [メニュー]を選択すると、文書の印刷、移動、検索(文書名)、編集、削除、すべて選択/すべて解除、および表示順の変更(名前順/時間順)ができます。
- 3 文書の詳細情報が表示されます。
- 4 文書名で検索します。



参考

- それぞれの文書のチェックボックスを押して、複数の文書を選択できます。
- [] を選択すると、リスト表示に切り替わります。

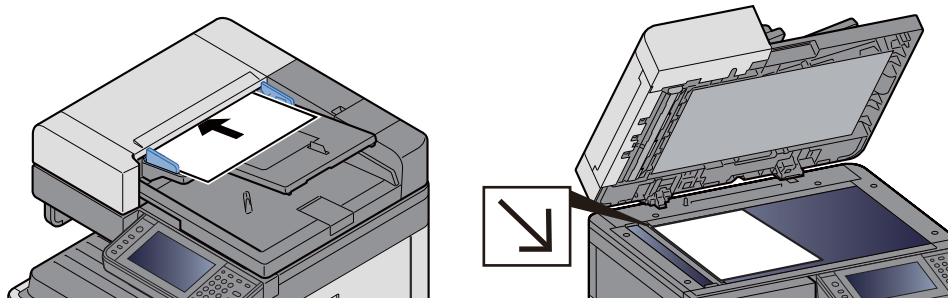
ユーザーボックスの操作のしかた

スキャンした文書をユーザーボックスに保存する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス]

2 原稿をセットする



➡ [原稿をセットする \(5-3\)](#)

3 文書を保存する

- 1 ボックスを選択 > [メニュー] > [文書保存]
- 2 必要に応じて、原稿の種類や読み込み濃度などを設定します。
設定できる機能については、次を参照してください。

➡ [\[文書保存\] \(xiv\)](#)

参考

- 文書名は32文字以下で入力してください。
- お気に入りの登録やお気に入りの呼び出しを行うときは、[お気に入り]アイコンを選択してください。

➡ [ホーム画面を編集する \(3-8\)](#)

- 3 [スタート]キーを押します。
原稿が読み込まれ、指定したボックスに保存されます。

ユーザーボックス内の文書を移動する

ユーザーボックスに保存されている文書を別のボックスに移動できます。

1 画面を表示する

- [ホーム]キー > [ユーザーボックス] > ボックスを選択

参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 文書进行操作する

- 1 リストの中から、チェックボックスを選択して移動する文書を選択します。
選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。



選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

- 2 [メニュー] > [移動/コピー] > [別のユーザーボックスへ移動]
- 3 移動先を選択します。
- 4 [この階層を選択] > [はい]
選択した文書が移動されます。



移動先のユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

ユーザーボックス内の文書を別のユーザーボックスにコピーする

ユーザーボックスに保存されている文書を別のユーザーボックスにコピーできます。

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス] > ボックスを選択



ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 文書进行操作する

- 1 リストの中から、チェックボックスを選択してコピーする文書を選択します。
選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。



選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

- 2 [メニュー] > [移動/コピー] > [別のユーザーボックスへコピー]
- 3 コピー先を選択します。
- 4 [コピー] > [はい]
選択した文書がコピーされます。



コピー先のユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

ユーザーボックス内の文書を外部メモリーにコピーする

ユーザーボックスに保存されている文書を外部メモリーにコピーできます。

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス] > ボックスを選択



参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 文書进行操作する

- 1 リストの中から、チェックボックスを選択してコピーする文書を選択します。
選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。



参考

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

- 2 [メニュー] > [移動/コピー] > [外部メモリーへコピー]
- 3 コピー先を選択します。
- 4 [この階層を選択] > [はい]
選択した文書がコピーされます。

ユーザーボックス内の文書を結合する

ユーザーボックス内の文書を結合して一つのファイルにすることができます。



参考

結合できる文書は、同じユーザーボックスに入っている文書同士です。必要に応じて、あらかじめ文書を移動しておいてください。

1 画面を表示する

- [ホーム]キー > [ユーザーボックス] > ボックスを選択



参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 文書を結合する

- 1 リストの中から、チェックボックスを選択して結合する文書を選択します。
選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。
100文書までの結合が可能です。



参考

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

- 2 結合する順番に文書を並べ替え > [OK]
並べ替えたい文書を押して反転表示させ、[キャンセル]または[クリア]を押して、結合する順番に並べ替えてください。

- 3 結合後の文書名を入力 > [次へ>]
文書名は64文字以内で入力してください。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

- 4 [はい]を選択します。
文書が結合されます。



参考

結合後も元の文書は残っています。不要であれば削除してください。

ユーザーボックス内の文書を削除する

1 画面を表示する

[ホーム]キー > [ユーザーボックス] > ボックスを選択



参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 文書を削除する

- 1 リストの中から、チェックボックスを選択して削除する文書を選択します。
選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。



参考

文書を選択しないと、[削除]を選択することはできません。

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

- 2 [削除] > [はい]
選択された文書が削除されます。

ユーザーボックス内の文書を送信する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス] > ボックスを選択

参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 送信する

- 1 リストの中から、チェックボックスを選択して送信する文書を選択します。
選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。

参考

複数の文書を選択して送信することはできません。

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

- 2 [送信]を選択します。

参考

設定によっては、アドレス帳の画面が表示される場合もあります。

- 3 宛先を指定します。
宛先の指定方法は、次を参照してください。
➡ [宛先の操作 \(5-29\)](#)
- 4 必要に応じて、ファイル形式や解像度などを設定します。
設定できる機能については、次を参照してください。

➡ [\[送信\] \(xvi\)](#)

参考

ショートカットの登録やお気に入りの呼び出しを行うときは、次を参照してください。

➡ [よく使う機能を登録するには\[ショートカット登録\] \(3-51\)](#)

➡ [よく使う機能を呼び出すには\(お気に入り\) \(3-46\)](#)

- 5 [スタート]キーを押します。
選択した文書の送信が開始されます。

ログインユーザーのメールアドレスにボックスの文書を送信する

ユーザー管理が有効の場合に、ログインしているユーザーのメールアドレスに文書を送付します。



参考

この機能を使用している場合、送信以外の機能は使えません。

この機能を使用する前に、次の設定をする必要があります。

- ホーム画面に機能アイコンを表示させる

▶ [ホーム画面を編集する \(3-8\)](#)

- ユーザー管理でログインするユーザーにメールアドレスを設定する

▶ [新しいユーザーを登録する「ローカルユーザーリスト」 \(9-5\)](#)

- 1 操作パネルの[ホーム]キーを選択する
- 2 [自分に送信(メール)]を選択する

ユーザーボックスに保存された文書を読み込む

TWAINを使って、ユーザーボックスに保存された文書データを読み込む方法について説明します。

参考

送信をする前に、コンピューターにTWAINドライバーのインストールと設定が完了していることを確認してください。

➡ [TWAINドライバーを設定する \(2-36\)](#)

ユーザーボックスに保存された文書を読み込む場合は、TWAINドライバーの設定画面で「モデル」から (Box) が付いたモデル名を選択してください。

1 TWAINダイアログボックスを表示する

- 1 TWAIN 対応アプリケーションを起動します。
- 2 アプリケーションから本機を選択し、ダイアログボックスを表示させます。

参考

本機の実機方法は、各アプリケーションの使用説明書またはヘルプを参照してください。

2 文書リストを表示する

- 1 「ボックスリスト」から読み込む文書データが保存されているユーザーボックスを選択します。
ボックスにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力する画面が表示されますので、パスワードを入力して [OK] ボタンをクリックしてください。選択すると、ユーザーボックス内の文書データが「文書リスト」に表示されます。
- 2 文書データの表示方法などを設定します。[スタート] ボタンをクリックし、各項目を選択してください。

参考

設定内容は、ダイアログボックスのヘルプを参照してください。

- 3 [OK] ボタンをクリックします。

3 スキャンする

- 1 「文書リスト」から、読み込む文書データを選択します。
検索(名前) に文書データ名を入力すると、文書データ名のすべて、または先頭が一致する文書データを検索することができます。
[詳細] ボタンをクリックすると、選択した文書データが表示されます。文書データが複数ページの場合は、読み込むページのチェックボックスにチェックを付けてください。選択したページが読み込まれます。

参考

詳細画面から文書データを取得した場合、ユーザーボックスの文書データは削除されません。

- 2 [取得] ボタンをクリックします。
文書データがパソコンに読み込まれます。

本体に保存したデータの印刷

ユーザーボックスおよびジョブボックスを使用して本機に保存した印刷データを印刷します。

プライベートプリントボックスからジョブを印刷する

プライベートプリントは、本機を操作するまでジョブを印刷されないように指定することができます。アプリケーションソフトウェアから送信するとき、プリンタードライバで4桁のパスワードを指定してください。ジョブは機密性を確保するため、操作パネルでパスワードを入力することによって印刷されます。印刷と同時に、または電源スイッチを切ったとき、データは消去されます。

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。
- 3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択 > [印刷]
- 2 パスワードを入力します。
- 3 必要に応じて、印刷部数を入力します。
- 4 [OK]を選択します。
印刷を開始します。
印刷が終了すると、プライベートプリントのデータは自動で消去されます。

プライベートプリントボックスに保存した文書を削除する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。
- 3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択 > [🗑️]



- 2 パスワードを入力します。
文書が削除されます。

ジョブ保留ボックスからジョブを印刷する

ジョブ保留は、アプリケーションから送られてきた印刷データを本機に保存します。必要に応じて、パスワードを設定することができます。パスワードを設定した場合は、印刷時にパスワードを入力してください。印刷データは、印刷後本機の内部メモリーに保存されます。繰り返し同じデータを印刷することができます。

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。
- 3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択 > [印刷]
- 2 必要に応じて、印刷部数を入力します。
- 3 [OK]を選択します。
印刷を開始します。



参考

文書にパスワードを設定している場合は、パスワードの入力画面が表示されます。テンキーでパスワードを入力してください。

ジョブ保留ボックスに保存した文書を削除する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [プライベートプリント/ジョブ保留]を選択します。
- 3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択 > [🗑]



- 2 パスワードを入力します。
文書が削除されます。

クイックコピーボックスからジョブを印刷する

クイックコピーは、一度印刷した文書を追加印刷する機能です。パソコンからクイックコピーを有効にして文書を印刷すると、同時に印刷データがこのボックスに保存されます。再度印刷が必要になったときに、タッチパネルの操作で印刷することができます。データは電源スイッチを切ると消去されます。

参考

- 保存可能な文書数(工場出荷時):32件まで
- 最大文書数を超えて文書を保存すると、古い文書から順に新しい文書が上書きされます。
- ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。

➡ [クイックコピージョブ保持数\(8-25\)](#)

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー>[ジョブボックス]
- 2 [クイックコピー/試し刷り後保留]を選択します。
- 3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択>[印刷]
- 2 必要に応じて、印刷部数を入力します。
- 3 [OK]を選択します。
印刷を開始します。

クイックコピーボックスに保存した文書を削除する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー>[ジョブボックス]
- 2 [クイックコピー/試し刷り後保留]を選択します。
- 3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択>[



- 2 [はい]を選択します。
文書が削除されます。

試し刷り後保留ボックスからジョブを印刷する

試し刷り後保留は、複数部数印刷する際に、1部だけ印刷して残りの印刷を保留する機能です。パソコンから試し刷り後保留を有効にして文書を印刷すると、1部だけ印刷して印刷データがここに保存されます。残り部数は、タッチパネルの操作で印刷することができます。部数を変更することもできます。

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [クイックコピー/試し刷り後保留]を選択します。
- 3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択 > [印刷]
- 2 必要に応じて、印刷部数を入力します。
- 3 [OK]を選択します。
印刷を開始します。

試し刷り後保留ボックスに保存した文書を削除する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ジョブボックス]
- 2 [クイックコピー/試し刷り後保留]を選択します。
- 3 文書を作成したユーザーを選択します。

2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択 > [🗑]



- 2 [はい]を選択します。
文書が削除されます。

ユーザーボックス内の文書を印刷する

1 画面を表示する

- 1 [ホーム]キー > [ユーザーボックス]
- 2 印刷したい文書が入っているボックスを選択します。



参考

ユーザーボックスにパスワードを登録している場合は、正しいパスワードを入力してください。

2 印刷する

- 1 リストの中から、チェックボックスを選択して印刷する文書を選択します。
選択された文書は、チェックボックスにチェックマークがつきます。



参考

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

- 2 [印刷]を選択します。
- 3 使用する印刷設定の選択画面が表示されます。
印刷時の設定を使用する場合は、[そのまま印刷する] > 印刷部数を入力 > [OK]
印刷が開始されます。
印刷設定を変更する場合は、[設定を変更して印刷する]を選択し、次の手順へ進んでください。
- 4 必要に応じて、用紙の選択や片面/両面印刷などを設定します。
設定できる機能については、次を参照してください。
[➡ \[印刷\] \(xv\)](#)
- 5 [スタート]キーを押します。
選択した文書の印刷が開始されます。

携帯端末からの印刷

本機は、次の印刷機能やサービスに対応しています。

- AirPrint
- Google Cloud Print
- Mopria

アプリケーションとOSの対応状況によって、機種ごとにプリンタードライバーをインストールしなくても、携帯端末やパソコンから印刷できます。

AirPrintで印刷する

AirPrintは、iOS 4.2以降またはMac OS X 10.7以降の製品に標準で搭載されている印刷機能です。

AirPrintを使用するには、Command Center RXでAirPrintが有効に設定されていることを確認してください。

➡ Command Center RX操作手順書



Google Cloud Printで印刷する

Google Cloud Printは、Google社が提供するプリントサービスです。Googleアカウントのユーザーがインターネットに接続された機器から印刷できるサービスです。

機器の設定はCommand Center RXで行います。

➡ Command Center RX操作手順書



参考

Google Cloud Printを利用するためには、Googleアカウントが必要です。お持ちでない場合は、Googleアカウントを取得してください。

またGoogle Cloud Printサービスに、機器を事前に登録する必要があります。機器の登録は、同じネットワークに接続されているパソコンで行います。

Mopriaで印刷する

Mopria(モプリア)は、Android 4.4以降でサポートが開始された印刷機能の規格です。事前にMopria Print Serviceがインストールされ、有効化されている必要があります。

詳しい使用方法については、Mopria AllianceのWebサイトを参照してください。

Wi-Fi Directで印刷する

Wi-Fi Directは、Wi-Fi Allianceが定めた無線LAN規格です。無線LANの機能の一つで、無線LANアクセスポイントや無線LANルーターなどを介さずに、機器同士が一对一で直接通信できます。

Wi-Fi Directで印刷する手順は、通常の携帯端末からの手順と同じです。

プリンタープロパティのポート指定でプリンター名またはBonjour名を使用する場合は、Wi-Fi Direct接続時でもその名称を指定して印刷できます。

ポートにIPアドレスを使用する場合は、本体側のIPアドレスを指定してください。

NFCで印刷する

Wi-FiおよびWi-Fi Directがあらかじめ設定されている場合は、NFCタグをタップするだけで本機と携帯端末とのネットワークが接続されます。

USBメモリーの操作

USBメモリーを本機に接続し、メモリー内に保存されているデータをパソコンを使うことなく手軽に印刷できます。

印刷可能なデータは、以下のとおりです。

- PDFファイル(バージョン 1.7以下)
- TIFFファイル(TIFF V6/TTN2形式)
- JPEGファイル
- XPSファイル
- OpenXPSファイル
- 暗号化PDFファイル

また、本機に接続したUSBメモリーに読み込んだ画像データを保存することができます。

保存できるファイル形式は、次のとおりです。

- PDFファイル
- TIFFファイル
- JPEGファイル
- XPSファイル
- OpenXPSファイル
- Wordファイル^{*1}
- Excelファイル^{*1}
- PowerPointファイル^{*1}
- 高圧縮PDFファイル

^{*1} オプションのOCR拡張キットを装着している場合に表示されます。

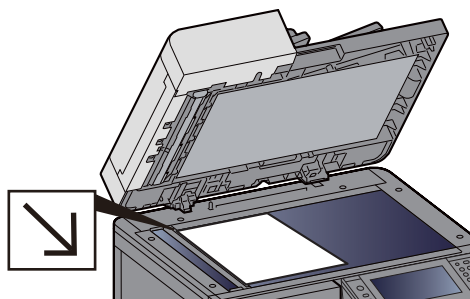
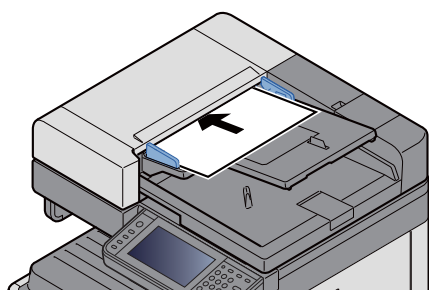
USBメモリーに文書を保存する(Scan to USB)



参考

保存できるファイル数:1,000件まで

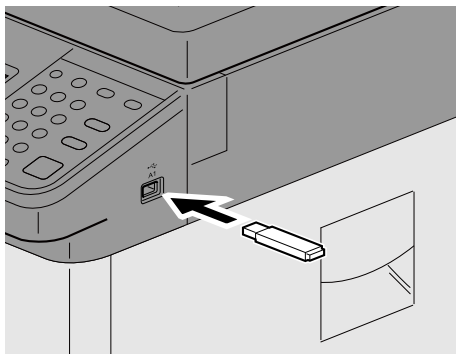
1 原稿をセットする



➡ [原稿をセットする \(5-3\)](#)

2 USBメモリーを接続する

- 1 USBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。



- 2 挿入したUSBメモリーを認識すると、「外部メモリーを認識しました。ファイルを表示します。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。[はい]を選択します。
外部メモリー画面が表示されます。

参考

メッセージが表示されない場合は、ホーム画面の[外部メモリー]を選択してください。

3 文書を保存する

- 1 文書を保存するフォルダーを選択
ルートディレクトリーを含め、3階層目まで表示できます。
- 2 [＋]を選択します。
- 3 必要に応じて、原稿の種類やファイル形式などを設定します。
設定できる機能については、次を参照してください。
→ [\[文書保存\] \(xvii\)](#)
- 4 [スタート]キーを押します。
原稿が読み込まれ、USBメモリーに保存されます。

USBメモリー情報を確認する

- 1 外部メモリーの基本画面で[外部メモリー情報]を選択する
- 2 情報を確認後、[デバイスから作成]を選択する

USBメモリーを取り外す



重要

正しい手順で取り外さないと、データやUSBメモリーが破損するおそれがあります。

1 画面を表示する

[ホーム]キー > [外部メモリー]

2 [メニュー] > [メモリー取り外し]

「外部メモリーを安全に取り外せます。」が表示されたら、[OK]を選択してUSBメモリーを取り外してください。



参考

USBメモリーの取り外しは、デバイスの状態確認からも実行できます。

➡ [デバイスの状態\(デバイス/通信\)を確認する \(7-10\)](#)

USBメモリーから印刷する

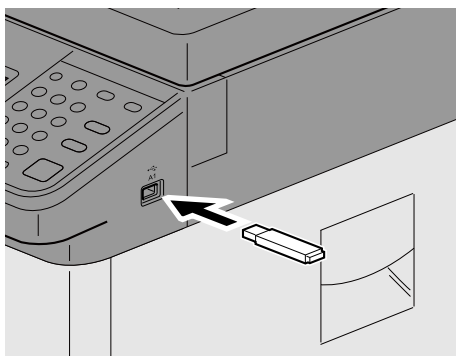


参考

- 印刷するPDFファイルには拡張子(.pdf)が必要です。
- 印刷するファイルは、ルートディレクトリーを含め、3階層までのフォルダーに保存してください。
- USBメモリーは、本機でフォーマットしたものを使用してください。
- USBメモリーは、本機のUSBメモリースロットに直接挿入してください。

3 USBメモリーを接続する

- 1 USBメモリーをUSBメモリースロットに挿入します。



- 2 挿入したUSBメモリーを認識すると、「外部メモリーを認識しました。ファイルを表示します。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。[はい]を選択します。

外部メモリー画面が表示されます。



参考

メッセージが表示されない場合は、ホーム画面の[外部メモリー]を選択してください。

4 文書を印刷する

- 1 印刷したいファイルが保存されているフォルダーを選択します。
ルートディレクトリーを含め、3階層目までのフォルダーにある文書が表示できます。



参考

- 表示できる文書数:1,000件まで
- 1つ上の階層に戻る場合は、[<戻る]を選択してください。

- 2 印刷するファイルを選択 > [印刷]
- 3 必要に応じて、印刷部数や片面 / 両面印刷などを変更します。
設定できる機能については、次を参照してください。
[➡ \[印刷\] \(xviii\)](#)
- 4 [スタート]キーを押します。
選択したファイルの印刷を開始します。

6 各機能の詳細設定

この章では、次の項目について説明します。

本章のアイコンの見かた	6-2
[IDカードコピー(身分証)]	6-3
[原稿サイズ]	6-4
[用紙選択]	6-5
[原稿サイズ混載]	6-6
[原稿セット向き]	6-9
[ソート/仕分け]	6-10
[排紙先]	6-11
[濃度]	6-12
[原稿の画質]	6-13
[エコプリント]	6-14
[カラー選択]	6-15
[シャープネス]	6-16
[コントラスト]	6-16
[地色調整]	6-17
[うら写り防止]	6-18
[縮小/拡大]	6-18
[ページ集約]	6-20
[とじしろ]	6-22
[両面/分割]	6-23
[連続読み込み]	6-25
[自動画像回転]	6-26
[ジョブ終了通知]	6-26
[文書名入力]	6-28
[優先印刷]	6-28
[白紙ページスキップ]	6-28
[両面/見開き原稿]	6-30
[送信サイズ]	6-31
[ファイル形式]	6-32
[ファイル分割]	6-37
[読み込み解像度]	6-37
[メール件名/本文]	6-38
[FTP暗号送信]	6-38
[印刷後削除]	6-38
[送信後削除]	6-39
[保存サイズ]	6-40
[長尺原稿]	6-41
[暗号化PDFパスワード]	6-41
[JPEG/TIFF印刷方法]	6-42
[XPS印刷サイズ調整]	6-42
[原稿領域外の消去]	6-42

本章のアイコンの見かた

便利な機能を説明しているページでは、その機能を使用できるモードをアイコンで示しています。

印刷:

コピー

ユーザー
ボックス

USB
メモリー

送信:

送信

ユーザー
ボックス

保存:

USB
メモリー

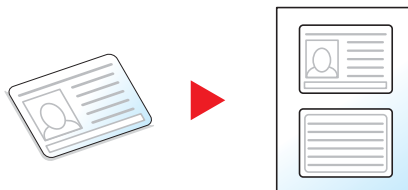
ユーザー
ボックス

[IDカードコピー(身分証)]

コピー

免許証や保険証などのIDカードをコピーします。カードの表と裏を順番に読み込むと、1枚の用紙に両面を集約してコピーされます。

([設定値](#): [設定しない]/[設定する])



[原稿サイズ]

コピー

送信

ユーザー
ボックスUSB
メモリー

原稿の読み込みサイズを設定します。

[自動(原稿送り装置)]、[A系/B系]、[インチ系]、[その他]、または[サイズ入力]を選択して、原稿サイズを選択してください。

設定項目	設定値	説明
自動	—	原稿サイズを自動検知します。
A系/B系	A3、A4-R、A4、A5-R、A5、A6-R、B4、B5-R、B5、B6-R、B6、Folio、216 × 340 mm	A系/B系の定形サイズから選択します。
インチ系	Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、Statement、11×15"、Oficio II	インチ系の定形サイズから選択します。
その他	8K、16K-R、16K、はがき、往復はがき、カスタム ^{*1}	特殊な定形サイズ、カスタム原稿サイズから選択します。
サイズ入力	センチ X: 50～432 mm(1 mm単位) Y: 50～297 mm(1 mm単位) インチ X: 2.00～17.00"(0.01"単位) Y: 2.00～11.69"(0.01"単位)	定形サイズに表示されていないサイズを入力します。 ^{*2} [サイズ入力]を選択した場合は、[+]または[-]を押して、「X」(よこ)と「Y」(たて)のサイズを設定してください。[テンキー]を押すとテンキーで入力することができます。

*1 カスタム原稿サイズの登録方法は、次を参照してください。

➡ [カスタム原稿サイズ登録 \(8-12\)](#)

*2 入力単位は、システムメニューで切り替えることができます。

➡ [\[入力長さ単位\] \(8-19\)](#)



参考

不定形サイズの原稿を使用する場合は、必ず原稿サイズを設定してください。

[用紙選択]

コピー

ユーザー
ボックス

USB
メモリー

使用したいサイズ of 用紙が入ったカセットまたは手差しトレイを選択します。

[自動]を選択すると、原稿と同じサイズの用紙を自動で選択します。



参考

- ・ カセットに補給されている用紙サイズおよび用紙種類をあらかじめ登録してください。
- ▶ [\[カセット/手差しトレイ設定\] \(8-9\)](#)
- ・ オプションのペーパーフィーダーが装着された場合、カセット2～3が表示されます。

[手差しトレイ]を選択する場合は、[用紙設定]を押して用紙サイズと用紙種類を変更してください。

選択できる用紙サイズと用紙種類は次のとおりです。

設定項目		設定値	説明
用紙サイズ	A系/B系	A3、A4-R、A4、A5-R、A6-R、B4、B5-R、B5、B6-R、Folio、216 × 340 mm	A系/B系の定形サイズから選択します。
	インチ系	Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、Executive、Oficio II	インチ系の定形サイズから選択します。
	その他	8K、16K-R、16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号	特殊な定形サイズ、カスタム用紙サイズから選択します。
	サイズ入力	センチ X: 148～432 mm (1 mm単位) Y: 98～297 mm (1 mm単位) インチ X: 5.83～17.00" (0.01"単位) Y: 3.86～11.69" (0.01"単位)	定形サイズに表示されていないサイズを入力します。 ^{*1} [サイズ入力]を選択した場合は、[+]、[-]またはテンキーで、「X」(よこ)と「Y」(たて)のサイズを設定してください。[テンキー]を押すとテンキーで入力することができます。
用紙種類		普通紙(60～105 g/m ²)、OHPフィルム、薄紙(59 g/m ² 以下)、ラベル紙、再生紙、プレプリント ^{*2} 、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙 ^{*2} 、レターヘッド ^{*2} 、封筒、厚紙(106 g/m ² 以上)、上質紙、カスタム1～8 ^{*2}	

*1 入力単位は、システムメニューで切り替えることができます。

➡ [\[入力長さ単位\] \(8-19\)](#)

*2 用紙種類のカスタム1～8の登録方法は、次を参照してください。

➡ [用紙種類の設定について \(8-14\)](#)

プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは、次を参照してください。

➡ [特定用紙種類の動作設定 \(8-14\)](#)



重要

手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を変更した場合、[用紙種類]が選択されます。このとき、[手差しトレイ]を押すと設定が解除されますのでご注意ください。



参考

よく使用する用紙サイズと用紙種類は、あらかじめ初期設定として選択しておくると便利です。

➡ [\[手差しトレイ\] \(8-10\)](#)

指定されている用紙サイズの用紙が給紙元のカセットまたは手差しトレイに入っていない場合、確認画面が表示されます。使用したい用紙を補給して[継続]を押してください。コピーが開始されます。

[原稿サイズ混載]



原稿送り装置を使用し、サイズの異なる原稿を一度に読み込みます。

原稿ガラスの場合は、使用できません。

コピー時

設定項目	設定値	説明
原稿サイズ混載	設定しない	
	設定する	原稿送り装置を使用し、幅が同じサイズ of 原稿を一度に読み込み、コピーします。

送信時

設定項目	設定値	説明
原稿サイズ混載	設定しない	
	設定する	原稿送り装置を使用し、幅が同じサイズ of 原稿を一度に読み込み、送信します。

保存時

設定項目	設定値	説明
原稿サイズ混載	設定しない	
	設定する	原稿送り装置を使用し、幅が同じサイズ of 原稿を一度に読み込み、保存します。

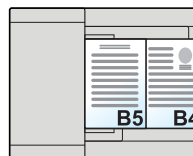
セットできる原稿サイズの組み合わせ

同じ幅

原稿幅が同じ場合、セットできる原稿の組み合わせは次のとおりです。

- B4とB5
- A3とA4(LedgerとLetter)
- A4-RとFolio(LegalとLetter-R)

例:B4とB5セット



参考

- 次の組み合わせで原稿サイズ混載を行う場合は、「原稿自動検知」の「Folio」を[検知する]にしてください。

A4-RとFolio

▶ [原稿自動検知 \(8-12\)](#)

- 原稿送り装置にセットできる枚数:30枚まで

[原稿セット向き]

コピー

送信

ユーザー
ボックスUSB
メモリー

文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

次の機能を使用する場合は、セットした原稿の向きを設定する必要があります。

- ・ 縮小/拡大
- ・ 両面/分割
- ・ とじしろ
- ・ ページ集約
- ・ 両面/見開き原稿



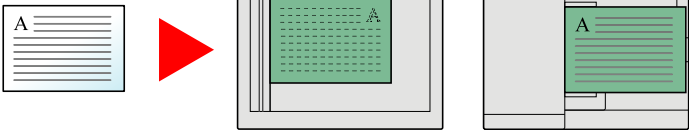
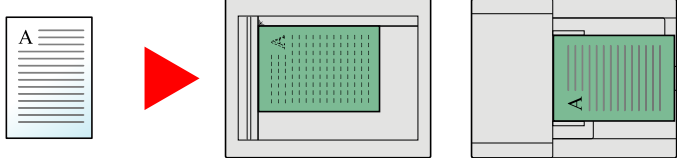
参考

システムメニューの原稿セット向きの確認を[設定する]に設定している場合は、上記機能を設定すると原稿セット向きの選択画面が表示されます。

➡ [原稿セット向き\(コピー\) \(8-16\)](#)

➡ [原稿セット向き\(送信/保存\) 8-16](#)

原稿のセット向きを、[上辺を奥向き]、[上辺を左向き]または[自動]から選択してください。

設定項目	イメージ	
上辺を奥向き		
上辺を左向き		
自動 ^{*1}		

*1 オプションのOCR拡張キットを装着している場合に表示されます。



参考

原稿セット向きの初期値を変更することができます。

➡ [原稿セット向き\(コピー\) \(8-16\)](#)

➡ [原稿セット向き\(送信/保存\) 8-16](#)

[ソート/仕分け]

コピー

ユーザー
ボックス

USB
メモリー

用紙を部数ごと、またはページごとに仕分けします。

ソート



ソートを使用すると、複数枚の原稿から、ページ順に並んだコピーを必要部数作成します。

仕分け



仕分けを使用すると、用紙が1部ごと（またはページごと）に90°回転して排紙されます。



参考

仕分けをする場合、選択した給紙段とは別の給紙段に同じサイズで向きが異なる用紙が入っている必要があります。

仕分けに使用できる用紙サイズ: A4、B5、Letter、16K

[排紙先]



排紙先のトレイを指定します。

設定項目	説明
内部トレイ	本体の内部トレイに排紙します。
ジョブセパレータートレイ	内部ジョブセパレーターに排紙します。



参考

- ・排紙先を初期設定で変更することができます。

▶ [排紙先 \(8-18\)](#)

[濃度]



濃度を調整します。

(設定値: [-4] ~ [+4] (うすく ~ こく))



[原稿の画質]



原稿の画質に合わせて、画像を処理します。

コピー時

設定項目			説明
文字+写真*1			文字と写真が混在している原稿に適しています。
写真			写真原稿に適しています。
文字			文字の多い原稿に適しています。
図表/地図			地図原稿に適しています。
プリンター印刷物			本機で印刷された文書に適しています。
その他	原稿の画質	文字+写真	文字と写真が混在している原稿に適しています。
		写真	写真原稿に適しています。
		文字	文字の多い原稿に適しています。
		図表/地図	地図原稿に適しています。
		プリンター印刷物	本機で印刷された文書に適しています。
	蛍光ペン	設定する	各設定にて、蛍光ペンで書かれた文字やラインを出したい場合に選択してください。蛍光ペンの色味を可能な限り再現します。
		設定しない	蛍光ペンの色味を再現しません。

*1 [文字+写真]の印字で、グレーの文字切れが起こるときは、[文字]を選択することで改善することがあります。

送信/保存時

設定項目	説明
文字+写真	文字と写真が混在する原稿に適しています。
写真	カメラで撮った写真などの原稿に適しています。
文字	えんぴつや細線をくっきりと再現します。
うすい文字/細線	えんぴつなどで書かれたうすい文字や、地図原稿や図表の細線をくっきりと再現します。
文字(OCR用)*2	OCR処理に適した画像で読み込みます。

*2 送信またはユーザーボックス、USBメモリーへの保存時に、カラー選択で[自動(カラー/白黒)]または[白黒]を選択したときのみ表示されます。

[エコプリント]

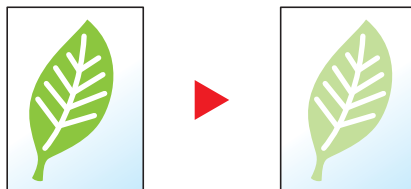
コピー

ユーザー
ボックス

USB
メモリー

エコプリントを設定するとトナーの消費量を節約します。試し印刷など高品質な印刷が必要でないときに使用してください。

([設定値](#): [設定しない]/[設定する])



[カラー選択]



カラーのモードを選択します。

送信/保存時

設定項目	説明
自動カラー(カラー/グレー)	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別し、カラー原稿はフルカラーで、白黒原稿はグレースケールで読み込みます。
自動カラー(カラー/白黒)	カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別し、カラー原稿はフルカラーで、白黒原稿は白黒で読み込みます。
フルカラー	フルカラーで読み込みます。
グレースケール	白から黒までの明暗だけで読み込みます。画像が滑らかに、きめ細かく表現されます。
白黒	白黒で読み込みます。

[シャープネス]



画像の輪郭の強弱を調整します。

鉛筆で書かれた原稿などを使用するときに、文字や線がかすれたり、つぶれたりする場合、シャープネスを「強く」に調整すると文字や線が鮮明になります。また、雑誌の写真など網点で表現される画像を使用するときに、モアレ*1が発生する場合、シャープネスを「弱く」に調整すると、輪郭をぼかしてモアレを弱めることができます。



設定項目	説明
[+1]～[+3] (強く)	画像の輪郭を強調します。
[-1]～[-3] (弱く)	画像の輪郭をぼかします。モアレ*1を弱めることができます。

*1 網点が均等に配列されず斑紋が出る状態。

[コントラスト]



画像の濃淡のコントラストを調整します。

コントラスト低く



設定項目	説明
[+1]～[+4] (高く)	メリハリのある色合いにします。
[-1]～[-4] (低く)	なめらかな色合いにします。

[地色調整]



新聞紙など地色のこい原稿の地色をとり除きます。

地色が気になる場合、[自動]を選択してください。[自動]を選択しても地色がとり除かれない場合は、[手動]を選択し、地色の濃度を調整してください。

設定項目	説明
設定しない	地色を調整しません。
自動	自動で地色を調整します。
手動	[1]～[5](うすく～こく)を選択して、手動で地色の濃度を調整します。

[うら写り防止]

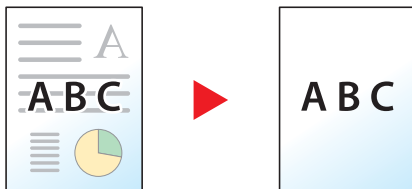
コピー

送信

ユーザー
ボックスUSB
メモリー

うすい紙の原稿を読み込む場合、うら面の印刷が写り込まないように画質を調整します。

(設定値: [設定しない]/[設定する])



[縮小/拡大]

コピー

送信

ユーザー
ボックスUSB
メモリー

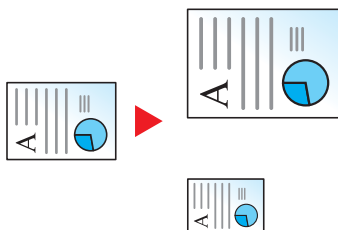
倍率を変更して、画像を縮小/拡大します。

コピー時

縮小/拡大には次の方法があります。

自動

用紙サイズに合わせて縮小または拡大します。



定型倍率

あらかじめ用意されている倍率で縮小/拡大します。

400%	最大	115%	B4→A3、B5→A4	70%	A3→A4、B4→B5
200%	A5→A3	100%	—	50%	—
141%	A4→A3、B5→B4	86%	A3→B4、A4→B5	25%	最小
122%	A4→B4、A5→B5	81%	B4→A4、B5→A5		

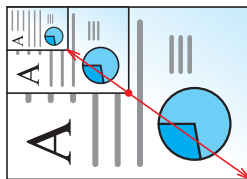
その他

定型倍率以外の倍率で縮小/拡大します。

129%	Statement→Letter	78%	Legal→Letter
90%	Folio→A4	64%	Letter→Statement

倍率入力

25～400%の範囲で、1%刻みに倍率を選択できます。[+]、[-]またはテンキーで倍率を入力します。



印刷/送信/保存時

設定項目	説明
100%	原稿と同じサイズで処理します。
自動	用紙/送信/保存サイズに合わせて縮小または拡大します。

参考

縮小または拡大する場合は、用紙サイズ、送信サイズまたは保存サイズを選択してください。

➡ [\[用紙選択\] \(6-5\)](#)

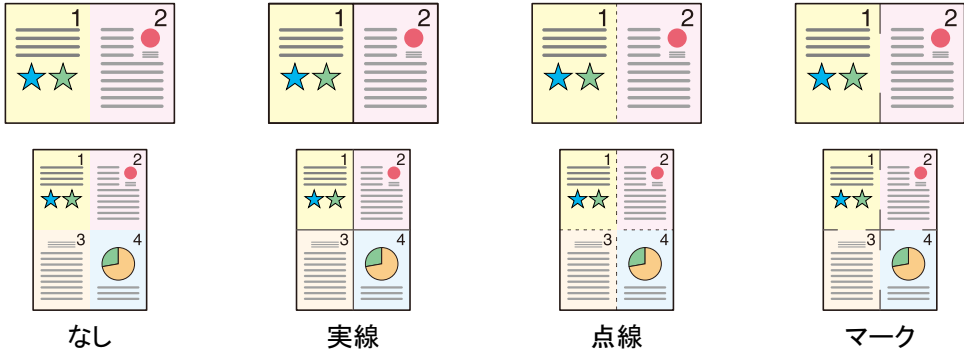
➡ [\[送信サイズ\] \(6-31\)](#)

➡ [\[保存サイズ\] \(6-40\)](#)

[ページ集約]



2枚または4枚の原稿を、1枚に集約して印刷します。
ページの並び順を指定したり、原稿に境界線を入れることもできます。
境界線の線種は次のとおりです。



設定項目		設定値	説明
設定しない		—	この機能を使用しません。
2 in 1		—	2枚の原稿を、1枚に集約して印刷します。
4 in 1		—	4枚の原稿を、1枚に集約して印刷します。
その他	ページ集約	設定しない、2 in 1(左→右、上→下)、2 in 1(右→左、下→上)、4 in 1(左上→右)、4 in 1(右上→左)、4 in 1(左上→下)、4 in 1(右上→下)	読み込んだ原稿の並べかたを選択します。
	境界線	なし、実線、点線、マーク	境界線の線種を選択します。
	原稿セット向き	上辺を奥向き、上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

レイアウトイメージ

設定項目		イメージ
2 in 1	左→右/上→下	
	右→左/下→上	
4 in 1	左上→右	
	右上→左	
	左上→下	
	右上→下	

 参考

- 集約に使用できる用紙サイズ:A3、A4-R、A4、A5-R、B4、B5-R、B5、Folio、216×340mm、Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、Oficioll、8K、16K-R、16K
- 原稿を原稿ガラスにセットするときは、ページ順にセットしてください。

[とじしろ]

コピー

ユーザー
ボックスUSB
メモリー

コピー/印刷時

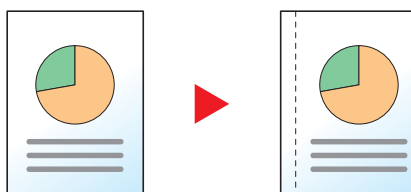
とじしろ(余白)を作ります。とじしろの幅を設定したり、うら面のとじしろを設定したりすることもできます。



参考

とじしろ幅の初期値を変更することができます。

➡ [とじしろ \(8-17\)](#)



設定項目			設定値	説明	
設定しない				とじしろを設定しません。	
設定する	とじしろ	左右(-18～+18)	センチ:-18mm ～ +18mm(1mm単位)	とじしろの幅を設定します。*1 [+]または[-]で「左右(-18～+18)」、「上下(-18～+18)」のとじしろを入力してください。[テンキー]を押すとテンキーで入力することができます。	
		上下(-18～+18)	インチ:-0.75 ～ +0.75"(0.01"単位)		
	うら面設定	自動			両面コピーのときは、[うら面設定]を押し、[自動]か[手動]かを選択してください。 うら面はおもて面の設定と仕上がりのとじ方向に応じて自動的にとじしろをつけます。
		手動	左右(-18～+18)	センチ:-18mm ～ +18mm(1mm単位) インチ:-0.75 ～ +0.75"(0.01"単位)	おもて面とは違うとじしろを設定できません。表示される画面でとじしろを設定してください。設定値はおもて面と同じです。*1 [+]または[-]で「左右(-18～+18)」、「上下(-18～+18)」のとじしろを入力してください。[テンキー]を押すとテンキーで入力することができます。
			上下(-18～+18)		
原稿セット向き			上辺を奥向き、上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。 [原稿セット向き]を押して、[上辺を奥向き]または[上辺を左向き]から原稿のセット向きを選択し、[OK]を押してください。	

^{*1} 入力単位は、システムメニューで切り替えることができます。

➡ [\[入力長さ単位\] \(8-19\)](#)

送信時

原稿サイズと送信サイズを指定して送信した場合、サイズによっては、用紙の下側または左右どちらかに余白ができます。センター移動すると、この余白が上下左右均等になるように画像を配置することができます。

([設定値](#): [設定しない]/[設定する])

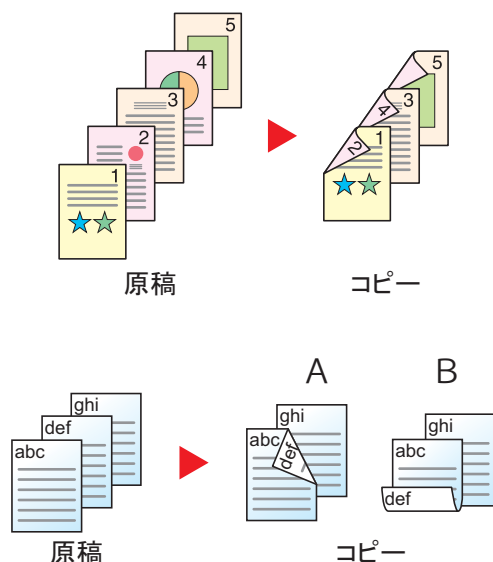
[両面/分割]

コピー

用紙の両面に印刷できます。また、分割は、両面原稿を1ページずつ片面印刷できます。

両面/分割には次の方法があります。

片面→両面



片面原稿を両面コピーします。原稿が奇数枚のときは、最終ページのうら面が白紙になります。

同じ方法は次の2とおりです。

A仕上がり左/右と同じ：うら面のコピーをおもて面と同じ方向でコピーします。

B仕上がり上と同じ：うら面のコピーをおもて面に対して180°回転させてコピーします。仕上がったコピーを上でとじると、各見開きのページが同じ方向になります。

両面→片面

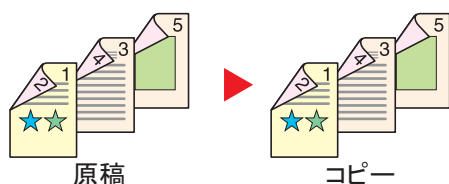


両面原稿を1ページずつ片面コピーします。

同じ方法は次の2とおりです。

- ・ 左/右と同じ：うら面のコピーをおもて面と同じ方向でコピーします。
- ・ 上と同じ：うら面のコピーをおもて面に対して180°回転させてコピーします。

両面→両面

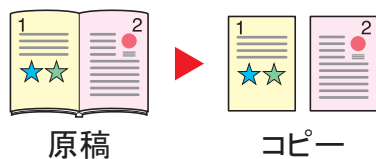


両面原稿を両面コピーします。

参考

両面コピーに使用できる用紙サイズ：A3、A4-R、A4、A5-R、B4、B5-R、B5、216×340mm、Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、Executive、OficioII、Folio、8K

見開き→片面



見開き2ページの原稿を1ページずつ片面コピーします。

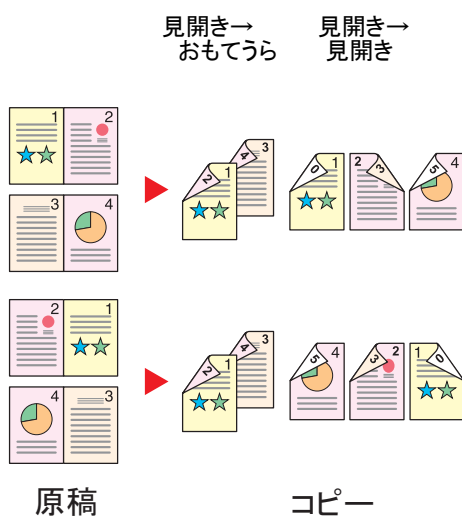
とじ方法は次の2とおりです。

左とじ: 見開き原稿の左ページ、次に右ページの順でコピーします。
右とじ: 見開き原稿の右ページ、次に左ページの順でコピーします。

参考

- 見開き→片面に使用できる原稿サイズ: A3、A4-R、A5-R、B4、B5-R、Ledger、Letter-R、8K
- 見開き→片面に使用できる用紙サイズ: A4、B5、Letter、16K

見開き→両面



見開き2ページの原稿を用紙の両面にコピーします。

参考

- 見開き→両面に使用できる原稿サイズ: A3、A4-R、A5-R、B4、B5-R、Ledger、Letter-R、8K
- 見開き→両面に使用できる用紙サイズ: A4、B5、Letter、16K

コピー時

片面や見開き原稿を両面に印刷したり、両面や見開き原稿を片面に印刷します。原稿および仕上がりのとじ方向を指定してください。

設定項目		設定値	説明
片面→ 片面		—	この機能を設定しません。
片面→ 両面		—	初期値の設定でコピーします。初期値の設定については、次を参照してください。
両面→ 片面		—	
両面→ 両面		—	
その他	両面/分割	片面→片面、片面→両面、 両面→片面、両面→両面、 見開き→片面、 見開き→両面	両面/分割の設定を選択します。
	原稿とじ方向 ^{*1}	左/右とじ、上とじ、 左とじ、右とじ	原稿のとじ方向を設定します。
	仕上がりとし方向 ^{*2}	左/右とじ、上とじ、 見開き→両面、 見開き→見開き	仕上がりとし方向を設定します。
	原稿セット向き	上辺を奥向き、 上辺を左向き、 自動 ^{*3}	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

*1 「両面/分割」で[両面→片面]、[両面→両面]、[見開き→片面]、[見開き→両面]を設定したときに表示されます。

*2 「両面/分割」で[片面→両面]、[両面→両面]、[見開き→両面]を設定したときに表示されます。

*3 オプションのOCR拡張キットを装着している場合に表示されます。

原稿ガラスに原稿をセットしたときは、次の原稿に入れ替えて[スタート]キーを押してください。

次の原稿がなければ、[読み込み終了]を押してください。コピーが開始されます。

印刷時

文書を片面に印刷したり両面に印刷したりします。

設定項目	設定値	説明
片面	—	この機能を設定しません。
両面	左/右とじ	用紙を左/右でとじたときに正しい向きになるように両面印刷します。
	上とじ	用紙を上でとじたときに正しい向きになるように両面印刷します。

[連続読み込み]

コピー

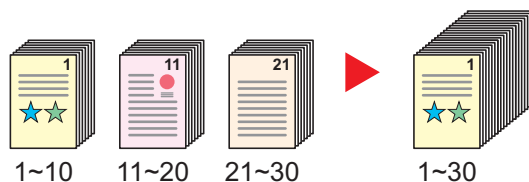
送信

ユーザー
ボックスUSB
メモリー

原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。[読み込み終了]を押すまで、原稿を読み込みます。

連続読み込みを行うときは[設定する]を選択してください。

(設定値:[設定しない]/[設定する])



[自動画像回転]

コピー

セットした原稿と給紙元の用紙が同じサイズで向きが異なる場合、画像を90度回転してコピーします。

設定値:[設定しない]/[設定する])



参考

- ・ 初期設定で自動画像回転するかどうかを変更できます。
➡ [自動画像回転 \(8-17\)](#)
- ・ 自動画像回転を設定した場合、回転のさせかたを変更できます。
➡ [自動画像回転の動作 \(8-23\)](#)

[ジョブ終了通知]

コピー

ユーザー
ボックス

USB
メモリー

送信

ユーザー
ボックス

ユーザー
ボックス

USB
メモリー

ジョブが終了したことをメールで通知します。ジョブが中断したときに通知することもできます。

離れた席にいてもジョブの終了を知ることができるため、終わるまで本機の近くで待機する必要がありません。



参考

あらかじめパソコンで、メールを使用できるようにしてください。詳細は、次を参照してください。

▶ [Command Center RXとは \(2-41\)](#)

メールを送る宛先は1件です。

設定項目	説明
設定しない	この機能を設定しません。
ジョブ終了時のみ	[メニュー] > [新規登録]を選択すると宛先を追加できます。 アドレス帳:アドレス帳画面が表示されるので、通知先を選択し、[OK]を選択します。 拡張アドレス帳 ^{*1} :拡張アドレス帳から通知先を選択します。 アドレス入力:通知先を直接入力します。メールアドレスを128文字以内で入力し、[OK]を選択します。 自分のアドレス ^{*2} :ログインしているユーザーのメールアドレスに通知します。
ジョブ終了時+ジョブ中断時	

*1 拡張アドレス帳は、Command Center RXで設定できます。

▶ [Command Center RX操作手順書](#)

*2 ユーザー管理を行っているときに表示されます。

▶ [ユーザー管理の設定 \(9-4\)](#)



参考

- [メニュー] > [編集]を選択し、宛先を選ぶと、宛先を編集できます。
- [📧]を選択すると、宛先の詳しい情報が参照できます。
- [🗑️]を選択すると、宛先を削除します。

[文書名入力]



文書に名前を付けます。

ジョブ番号、日時の付加情報も設定できます。ここで付けた名前、日時、ジョブ番号を使用して、ジョブの履歴やステータスの確認ができます。

文書名を入力し、[OK]を選択してください。

入力文字数:32文字以内

日時を付加する場合は[日時]を、ジョブ番号を付加する場合は[ジョブ番号]を選択してください。付加された情報は「付加情報」に表示されます。

[優先印刷]



印刷中のジョブを中断し、新規の印刷ジョブを優先します。

優先した印刷ジョブが終了すると、中断していたジョブの印刷を再開します。

(設定値:[設定しない]/[設定する])



参考

- 印刷中の文書が優先印刷の場合は、中断できません。
- 印刷中のジョブの状況やメモリーの使用状況によっては、優先印刷が実行できない場合があります。その場合は、割り込みコピーが実行できないかを確認してください。

➡[割り込みコピーをする \(5-13\)](#)

[白紙ページスキップ]



読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。

罫線や少量の文字を含むページは白紙と設定することもできます。

本機が白紙のページを判断するため、原稿内の白紙の有無を確認しなくても無駄な印刷を省きます。

設定項目		説明
設定しない		白紙ページも含めてすべて読み込みます。
設定する	白紙+罫線	白紙と罫線を含むページを白紙として判断します。
	白紙のみ	白紙のページだけを白紙として判断します。
	白紙+少量の文字	白紙と少量の文字を含むページを白紙として判断します。



参考

パンチ穴のある原稿や、下地に色がある原稿は白紙と認識できないことがあります。

[両面/見開き原稿]



原稿に合わせて、原稿の種類ととじ方向を選択します。

設定項目		設定値	説明
片面		—	「両面/見開き原稿」を設定しません。
両面	とじ方向	左/右とじ、上とじ	原稿のとじ方向を設定します。
	原稿セット向き	上辺を奥向き、上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。 [原稿セット向き]を押して、[上辺を奥向き]または[上辺を左向き]から原稿のセット向きを選択し、[OK]を押してください。
見開き ^{*1}	とじ方向	左とじ、右とじ	原稿のとじ方向を設定します。
その他	両面/見開き原稿	片面	片面のシート原稿のときに設定します。
		両面(とじ方向左/右とじ)	左または右でとじる両面のシート原稿のときに設定します。
		両面(とじ方向上とじ)	上でとじる両面のシート原稿のときに設定します。
		見開き(とじ方向左とじ)	左でとじられた雑誌や本などの見開きの原稿のときに設定します。
		見開き(とじ方向右とじ)	右でとじられた雑誌や本などの見開きの原稿のときに設定します。
	原稿セット向き ^{*2}	上辺を奥向き、上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。

*1 原稿セット向きは[上辺を奥向き]が設定されています。

*2 [両面(とじ方向左/右とじ)]、[両面(とじ方向上とじ)]を選択した場合、表示されます。

[送信サイズ]

送信

送信する画像のサイズを選択します。

[原稿サイズと同じ]、[A系/B系]、[インチ系]または[その他]を選択して、送信サイズを選択してください。

設定項目	設定値	説明
原稿サイズと同じ	—	原稿と同じ送信サイズが自動的に選択されます。
A系/B系	A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6、Folio、216 × 340 mm	A系/B系の定形サイズから選択します。
インチ系	Ledger、Letter、Legal、Statement、11×15"、Oficio II	インチ系の定形サイズから選択します。
その他	8K、16K、はがき、往復はがき	特殊な定形サイズから選択します。

原稿サイズ、送信サイズ、縮小/拡大の関係について

原稿サイズ、送信サイズ、縮小/拡大は関連があります。次の表を参考にしてください。

原稿サイズと送信するサイズが	同じとき	違うとき
[原稿サイズ] (6-4)	必要に応じて設定	必要に応じて設定
送信サイズ	[原稿サイズと同じ]を選択	送信したいサイズを選択
[縮小/拡大] (6-18)	[100%] (または[自動])を選択	[自動]を選択



参考

原稿サイズと異なる送信サイズを選択し、縮小/拡大を[100%]にすると、画像は等倍で送信されます(縮小/拡大は行われません)。

[ファイル形式]



送信



USB
メモリー

画像のファイル形式を設定します。

ファイル形式を[PDF]、[TIFF]、[JPEG]、[XPS]、[OpenXPS]または[高圧縮PDF]から選択してください。

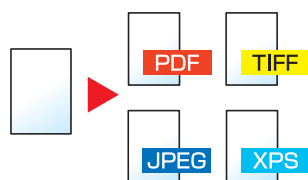
オプションのOCR拡張キットを装着している場合は、[Word]、[Excel]、[PowerPoint]を選択することもできます。

画質のレベルを調整することもできます。

[ファイル形式] > [その他] > [画質]から選択してください。

読み込み時のカラーモードを、グレースケールまたはフルカラーに選択している場合は、画質を設定してください。

[PDF]または[高圧縮PDF]を選択した場合は、暗号化やPDF/Aの設定を行うことができます。



設定項目		設定値	説明
高圧縮PDF		—	高圧縮PDF形式で処理します。
TIFF		—	TIFF形式で処理します。
PDF		—	PDF形式で処理します。
JPEG		—	JPEG形式で処理します。原稿1ページにつき1ファイルが作成されます。
XPS		—	XPS形式で処理します。
OpenXPS		—	OpenXPS形式で処理します。
Word ^{*1}		—	選択したファイル形式を設定します。
Excel ^{*1}		—	
PowerPoint ^{*1}		—	
その他	ファイル形式	高圧縮PDF、TIFF、PDF、JPEG、XPS、OpenXPS	ファイル形式を選択します。
	画質 ^{*2}	圧縮率優先、標準、画質優先	画質のレベルを調整します。
	画質 ^{*3}	1低画質(高圧縮)～5高画質(低圧縮)	画質のレベルを調整します。
	PDF/A	設定しない、PDF/A-1a、PDF/A-1b、PDF/A-2a、PDF/A-2b、PDF/A-2u	PDF/Aの設定をします。
	暗号化 ^{*4}	Acrobat 3.0およびそれ以降、暗号化レベル: 中(40-bit) Acrobat 5.0およびそれ以降、暗号化レベル: 高(128-bit)	暗号化の設定をします。
	OCR文字認識 ^{*1}	設定しない、設定する	OCR文字認識の初期状態を設定します。 ➡ OCR文字認識(オプション) (6-36)
	OCR出力形式 ^{*5}	文字+グラフィック、 文字+グラフィック(スキャン画像付き)、スキャン画像(検索用文字付き)	Word、Excel、PowerPointの出力形式を選択します。

*1 オプションのOCR拡張キットを装着している場合に表示されます。

*2 「ファイル形式」で[高圧縮PDF]を設定したときに表示されます。

*3 「ファイル形式」で[高圧縮PDF]以外を設定したときに表示されます。

*4 暗号化の設定ができます。詳細は次の項目を参照してください。

*5 「ファイル形式」で[Word]、[Excel]または[PowerPoint]を設定したときに表示されます。

PDF暗号化機能

ファイル形式でPDFまたは高圧縮PDFを選択した場合、パスワードによるセキュリティーを使用し、PDFの表示、印刷および編集に対して、制限を追加することができます。

- 1 設定項目から[その他]を選択する
- 2 ファイル形式から[高圧縮PDF]または[PDF]を選択する
- 3 [暗号化] > [互換性のある形式] > 設定値を選択する

選択した設定値により、設定できる項目が変わります。

[Acrobat 3.0およびそれ以降、暗号化レベル: 中(40-bit)]を選択した場合

設定項目	設定値	説明
文書を開くパスワード	使用しない、使用する	PDFファイルを開くためのパスワードを入力します。 [使用する]を選択して、パスワード(最高256文字まで)を入力し、[次へ]を選択します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[OK]を選択します。
文書編集/印刷のパスワード	使用しない、使用する	PDFファイルを編集するためのパスワードを入力します。 [使用する]を選択して、パスワード(最高256文字まで)を入力し、[次へ]を選択します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[OK]を選択します。 文書編集/印刷のパスワードを入力して、[詳細]を選択すると、具体的な操作の制限ができます。
印刷を許可	許可しない、許可する	PDFファイルの印刷を制限します。
変更を許可	許可しない	PDFファイルが変更できなくなります。
	注釈の追加	注釈の追加のみできます。
	ページの抽出を除くページレイアウトの変更	PDFファイルのページを抽出する以外の、ページレイアウトの変更ができます。
	ページの抽出を除くすべての操作	PDFファイルのページを抽出する以外の、すべての操作ができます。
画像及び、その他の内容のコピー	無効にする、有効にする	PDFファイル上のテキストやオブジェクトのコピーを制限します。

[Acrobat 5.0およびそれ以降、暗号化レベル: 高(128-bit)]を選択した場合

設定項目	設定値	説明
文書を開くパスワード	使用しない、設定する	PDFファイルを開くためのパスワードを入力します。 [設定する]を選択して、パスワード(最高256文字まで)を入力し、[次へ]を選択します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[OK]を選択します。
文書編集/印刷のパスワード	使用しない、設定する	PDFファイルを編集するためのパスワードを入力します。 [設定する]を選択して、パスワード(最高256文字まで)を入力し、[次へ]を選択します。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[OK]を選択します。 文書編集/印刷のパスワードを入力すると、具体的な操作の制限ができます。
印刷を許可	許可しない	PDFファイルが印刷できなくなります。
	許可する(低解像度のみ)	PDFファイルを低解像度でのみ印刷できます。
	許可する	PDFファイルを本来の解像度で印刷できます。
変更を許可	許可しない	PDFファイルが変更できなくなります。
	ページの挿入、削除、回転	PDFファイルのページの挿入、ページの削除、およびページの回転のみができます。
	注釈の追加	注釈の追加のみできます。
	ページの抽出を除くすべての操作	PDFファイルのページを抽出する以外の、すべての操作ができます。
画像及び、その他の内容のコピー	無効にする、有効にする	PDFファイル上のテキストやオブジェクトのコピーを制限します。

OCR文字認識(オプション)

ファイル形式で[PDF]、[高圧縮PDF]、[Word]、[Excel]または[PowerPoint]を選択した場合は、読み込んだ文書にOCRを実行し、テキスト検索可能なファイルを作成することができます。[OCR文字認識] > [設定する]の順に選択して、読み込む文書の言語を選択し、[OK]を選択してください。

設定項目	説明
設定しない	テキスト検索可能なファイルを作成しません。
設定する	テキスト検索可能なファイルを作成します。 抽出する言語をタッチパネルに表示される言語の中から選択してください。



参考

- この機能は、オプションのOCR拡張キットを装着している場合に設定できます。
- ➡ [Scan extension Kit\(A\) <OCR拡張キット> \(12-9\)](#)
- 適切な言語を選択していないと、ファイルの作成に時間がかかったり、作成できなかったりすることがあります。抽出する言語の初期値はシステムメニューで切り替えることができます。
- ➡ [OCRの言語^{*2} \(8-18\)](#)
- 原稿を正しい向きにセットしていないと、原稿のテキストを文字として認識できません。また、ファイルの作成に時間がかかることがあります。原稿が正しい向きにセットされていることを確認してください。
- 原稿の文字の認識率は、原稿の状態に左右されます。以下の場合、文字の認識率が下がることがあります。
 - 何度もコピーした原稿(コピーのコピー)
 - ファクスで受信した原稿(解像度が低い原稿)
 - 文字間や行間が狭すぎるまたは広すぎる原稿
 - 文字に罫線や下線がかかっている原稿
 - 特殊なフォントが使われている原稿
 - 本の綴じ込み付近
 - 手書き文字

[ファイル分割]

送信

ユーザー
ボックス

USB
メモリー

読み込んだ原稿データを1ページごとに分割して複数のファイルを作成します。

([設定値](#): [設定しない]/[ページごと])

[ページごと]を選択すると、ファイル分割が設定されます。



参考

ファイル名の最後には、「xxx_001.pdf、xxx_002.pdf」のような3桁の通し番号が付きます。

[読み込み解像度]

送信

ユーザー
ボックス

USB
メモリー

画像の細かさを設定します。

([設定値](#): [600 × 600 dpi]/[400 × 400 dpiウルトラファイン]/[300 × 300 dpi]/[200 × 400 dpiスーパーファイン]/[200 × 200 dpiファイン]/[200 × 100 dpiノーマル])



参考

数値が大きいほど、きめが細かくなりますが、ファイルサイズが大きくなり、処理時間が長くなります。

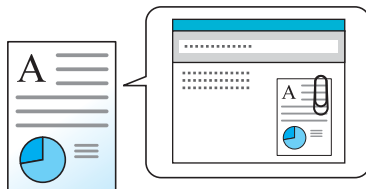
[メール件名/本文]

送信

ユーザー
ボックス

メールで文書を送信する際、件名と本文を付けます。

「件名」の欄を選択して件名の入力、「本文」の欄を選択して本文の入力をしてください。



参考

- 入力できる文字数は、次のとおりです。
件名: 60文字
本文: 500文字

[FTP暗号送信]

送信

ユーザー
ボックス

FTPで送信する際に画像を暗号化します。

暗号化することで第三者に文書を見られることを防ぎます。

(設定値: [設定しない]/[設定する])

参考

Command Center RXで[セキュリティ設定] > [ネットワークセキュリティ]の順にクリックしてください。セキュアプロトコル設定の「SSL」の設定が[オン]になっていることと、クライアント機能時の設定で有効な暗号方式が1つ以上選択されていることを確認してください。

➡ Command Center RX操作手順書

[印刷後削除]

ユーザー
ボックス

印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。

(設定値: [設定しない]/[設定する])

[送信後削除]



送信が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。

([設定値](#): [設定しない]/[設定する])

[保存サイズ]



保存する画像のサイズを選択します。
[原稿サイズと同じ]、[A系/B系]、[インチ系]または[その他]を選択して、保存サイズを選択してください。

設定項目	設定値	説明
原稿サイズと同じ	—	原稿と同じ保存サイズが自動的に選択されます。
A系/B系	A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6、Folio、216 × 340 mm	A系/B系の定形サイズから選択します。
インチ系	Ledger、Letter、Legal、Statement、11×15"、Oficio II	インチ系の定形サイズから選択します。
その他	8K、16K、はがき、往復はがき	特殊な定形サイズから選択します。

原稿サイズ、保存サイズ、縮小/拡大の関係について
原稿サイズ、保存サイズ、縮小/拡大は関連があります。次の表を参考にしてください。

原稿サイズと送信するサイズが	同じとき	違うとき
[原稿サイズ] (6-4)	必要に応じて設定	必要に応じて設定
送信サイズ	[原稿サイズと同じ]を選択	送信したいサイズを選択
[縮小/拡大] (6-18)	[100%] (または[自動])を選択	[自動]を選択



参考

原稿サイズと異なる保存サイズを選択し、縮小/拡大を[100%]にすると、画像は等倍で保存されます(縮小/拡大は行われません)。

[長尺原稿]

送信

USB
メモリー

原稿送り装置を使用し、長尺サイズ of 原稿を読み込み、送信または保存します。

(設定値:[設定しない]/[設定する])



参考

- 長尺原稿は、白黒もしくはグレースケールで送信されます。
- 長尺原稿は、片面しか読み込むことができません。1,900 mm^{*1}までの原稿を読み込むことができます。
- 300dpi×300dpi以下の解像度が選択できます。

*1 ファクス機能を使用している場合は1,600mm。

[暗号化PDFパスワード]

USB
メモリー

あらかじめ指定したパスワードを入力し、PDFを印刷します。

パスワードを入力し、[OK]を選択してください。



参考

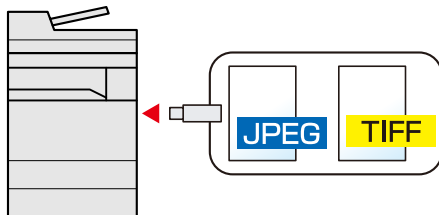
パスワードの入力については、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

[JPEG/TIFF印刷方法]

USB
メモリー

JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像サイズを設定します。



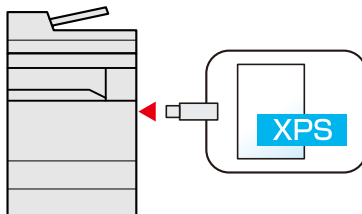
設定項目	説明
用紙サイズ	選択した用紙サイズに合わせて印刷します。
画像解像度	画像解像度のままで印刷します。
印刷解像度	印刷解像度に合わせて印刷します。

[XPS印刷サイズ調整]

USB
メモリー

XPSファイルを用紙サイズに合わせて印刷します。

(設定値:[設定しない]/[設定する])

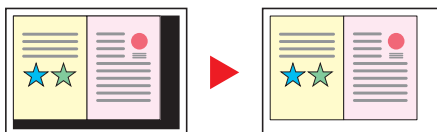


[原稿領域外の消去]

コピー

原稿送り装置を開けたまま原稿を読み込んだときに原稿外の部分にできる影を消去します。

(設定値:[設定しない]/[設定する])



7 ジョブ/消耗品/デバイスの管理

この章では、次の項目について説明します。

ジョブの状況確認	7-2
確認できる状況の種類	7-2
状況確認画面を表示する	7-2
状況確認画面	7-3
印刷ジョブ状況画面の見かた	7-3
送信ジョブ状況画面の見かた	7-4
保存ジョブ状況画面の見かた	7-5
予約ジョブ画面の見かた	7-5
ジョブの詳細情報を確認する	7-6
ジョブの履歴確認	7-7
確認できるジョブ履歴の種類	7-7
ジョブ履歴画面を表示する	7-8
ジョブ履歴の詳細情報を確認する	7-8
ジョブ履歴を送信する	7-8
ジョブの操作	7-9
ジョブを一時停止/再開する	7-9
ジョブをキャンセルする	7-9
デバイスの状態(デバイス/通信)を確認する	7-10
トナーや用紙の残量(用紙/消耗品)を確認する	7-12

ジョブの状況確認

実行中または待機中のジョブの状況を確認できます。

確認できる状況の種類

実行中/待機中のジョブの状況は、印刷ジョブ、送信ジョブ、保存ジョブ、予約ジョブの4種類の画面に分けてタッチパネルに表示されます。各画面で表示されるジョブは次のとおりです。

状況確認画面	表示されるジョブ
印刷ジョブ状況	- コピー印刷 - プリンター印刷 - ファクス受信印刷 - メール受信印刷 - 文書ボックスからの印刷 - 外部メディアのデータ印刷 - アプリケーション印刷 - レポート/リスト印刷
送信ジョブ状況	- ファクス送信 - メール送信 - フォルダー送信 - アプリケーション送信 - 複合送信 - ファクスサーバー送信
保存ジョブ状況	- スキャン保存 - ファクス保存 - プリンター保存
予約ジョブ	ファクス送信

状況確認画面を表示する

1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択する。

2 確認したいジョブを選択する

[印刷ジョブ状況]、[送信ジョブ状況]、[保存ジョブ状況]、[予約ジョブ]から確認するジョブを選択します。

- ➡ [印刷ジョブ状況画面の見かた \(7-3\)](#)
- ➡ [送信ジョブ状況画面の見かた \(7-4\)](#)
- ➡ [保存ジョブ状況画面の見かた \(7-5\)](#)
- ➡ [予約ジョブ画面の見かた \(7-5\)](#)

状況確認画面



参考

すべてのユーザーのジョブ状況を表示したり、自分だけのジョブ状況を表示したりすることができます。

➡ [\[状況/履歴の表示\] \(8-20\)](#)

また、この設定は、Command Center RXからも変更できます。

➡ [Command Center RX操作手順書](#)

印刷ジョブ状況画面の見かた



番号	項目	説明
1	番号	ジョブの受付番号
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン コピー印刷 プリンター印刷 文書ボックスからの印刷 ファクス受信印刷 メール受信印刷 外部メディアのデータ印刷 アプリケーション印刷 レポート/リスト印刷
3	ジョブ名	ジョブ名またはファイル名
4	[]	詳細情報を表示したいジョブのキーを選択してください。 ➡ ジョブの詳細情報を確認する 7-6
5	状況	ジョブの状態 (印刷枚数)/(合計枚数):印刷中 処理中:印刷を開始する前の状態 待機中:印刷待機中 一時停止:印刷の一時停止やエラーにより印刷を一時停止 中止中:ジョブのキャンセル中
6	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。
7	[全印刷一時停止]	印刷中のジョブを一時停止します。もう一度押すと印刷が再開されます。

送信ジョブ状況画面の見かた



番号	項目	説明
1	番号	ジョブの受付番号
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン ファクス送信 メール送信 フォルダー(SMB/FTP)送信 アプリケーション送信 複合送信 ファクスサーバー送信
3	ジョブ名	ジョブ名またはファイル名が表示されます。
4	[]	詳細情報を表示したいジョブのキーを選択してください。 ➡ ジョブの詳細情報を確認する 7-6
5	状況	ジョブの状態 処理中: 原稿の読み込み中など、送信を開始する前の状態 送信中: 送信中 待機中: 送信待機中 中止中: ジョブのキャンセル中 一時停止: ジョブの一時停止中
6	[メニュー]	このキーを選択すると、[優先送信]が表示されます。ファクスジョブを優先して送信できます。 すぐに送信したいファクスジョブを一覧で選択 > [メニュー] > [優先送信]
7	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。

保存ジョブ状況画面の見かた



番号	項目	説明
1	番号	ジョブの受付番号
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン スキャン保存 プリンター保存 ファクス保存
3	ジョブ名	ジョブ名またはファイル名が表示されます。
4	[	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。 ➡ ジョブの詳細情報を確認する (7-6)
5	状況	ジョブの状態 処理中: 原稿の読み込み中など、保存を開始する前の状態 保存中: データ保存中 中止中: ジョブのキャンセル中 一時停止: ジョブの一時停止中
6	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。

予約ジョブ画面の見かた



番号	項目	説明
1	番号	ジョブの受付番号
2	種類	ジョブの種類を示すアイコン ファクス予約
3	宛先	送信先(宛先名/ファクス番号/同報件数のいずれか)

番号	項目	説明
4	[	詳細情報を表示したいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。 ➡ ジョブの詳細情報を確認する (7-6)
5	開始時刻	このジョブを開始する時間
6	[メニュー]	このキーを選択すると、[今すぐ開始]が表示されます。 すぐに送信したいジョブを一覧で選択 > [メニュー] > [今すぐ開始]
7	[中止]	キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、このキーを押してください。

ジョブの詳細情報を確認する

各ジョブの詳細情報を確認できます。



参考

ユーザー権限でログインしている場合は、ログインしているユーザーのジョブのみ確認できます。管理者の権限でログインしている場合は、すべてのジョブを確認できます。

1 画面を表示する

➡ [ジョブの状況確認 \(7-2\)](#)

2 確認する

- 1 詳細を確認したいジョブの[]を選択します。



詳細情報が表示されます。

[▽]または[△]を選択して、次/前のページの情報を確認できます。白い項目を選択すると、さらに詳細情報を確認できます。

送信ジョブでは、「状況/宛先」を選択して、送信先を確認できます。

- 2 確認が終了したら、[閉じる]を選択します。

ジョブの履歴確認

終了したジョブの履歴を確認できます。



参考

- ジョブ履歴はパソコンからCommand Center RXまたはKYOCERA Net Viewerを使って確認することもできます。
 - ➡ Command Center RX操作手順書
 - ➡ KYOCERA Net Viewer操作手順書
 - すべてのユーザーのジョブ履歴を表示したり、自分だけのジョブ履歴を表示したりすることができます。
 - ➡ [\[状況/履歴の表示\] \(8-20\)](#)
- この設定は、Command Center RXからも変更できます。
- ➡ Command Center RX操作手順書

確認できるジョブ履歴の種類

ジョブの履歴は、印刷ジョブ、送信ジョブ、保存ジョブ、ファクスジョブの4種類の履歴画面に分けて表示されます。各画面で確認できるジョブ履歴は次のとおりです。

履歴画面	表示されるジョブ履歴
印刷ジョブ	• コピー印刷 • プリンター印刷 • ファクス受信印刷 • メール受信印刷 • 文書ボックスからの印刷 • レポート/リスト印刷 • 外部メディアのデータ印刷 • アプリケーション印刷
送信ジョブ	• ファクス送信 • メール送信 • フォルダー送信 • アプリケーション送信 • 複合送信 • ファクスサーバー送信
保存ジョブ	• スキャン保存 • ファクス保存 • プリンター保存
ファクスジョブ	➡ ファクス使用説明書

ジョブ履歴画面を表示する

1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

2 確認したいジョブを選択する

ジョブ履歴の詳細情報を確認する

各ジョブ履歴の詳細情報を確認することができます。

1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

2 確認する

1 確認するジョブの[]を選択します。



選択したジョブの詳細情報が表示されます。

参考

[✓]または[へ]を選択して、次/前のページの情報を確認できます。

2 確認が終了したら、[閉じる]を選択します。

ジョブ履歴を送信する

ジョブ履歴をメールで送信することができます。必要なときに手動で送信したり、件数を設定して定期的に自動送信することもできます。

➡ [\[履歴送信\] \(8-7\)](#)

ジョブの操作

ジョブを一時停止/再開する

印刷中/待機中のすべての印刷ジョブを一時停止/再開することができます。

- 1 画面を表示する
[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。
- 2 印刷ジョブ状況確認画面の[全印刷一時停止]を選択する
印刷が一時停止します。
一時停止中のジョブの印刷を再開するときは、[全印刷再開]を選択します。

ジョブをキャンセルする

印刷中/待機中のすべての印刷ジョブを中止することができます。

- 1 画面を表示する
[状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。
- 2 キャンセルしたいジョブを一覧で選択して、[中止]を選択する
- 3 確認画面で[はい]を選択する

デバイスの状態(デバイス/通信)を確認する

本機を構成するデバイスや本機に接続されている機器/回線の状態を確認できます。

1 画面を表示する

1 [状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

2 確認する項目を選択します。

デバイスの状態を確認または、操作するための画面が表示されます。

2 確認する

確認できる項目は、次のとおりです。

「スキャナー」

原稿読み込み状態やエラー情報(紙づまり、カバー開など)が表示されます。

「プリンター」

紙づまりやトナー切れ、用紙切れなどのエラー情報や、待機中、印刷中などの状態が表示されます。

「ファクスメモリー受信ボックス」

ファクスメモリー受信ボックス内の文書情報(文書名、ファイルサイズなど)が表示されます。

➡ [ファクス使用説明書](#)

「ファクス」

- ・ [回線を切る]を選択すると、送/受信中のファクスを中止することができます。
- ・ 送/受信中やダイヤル中などの情報が表示されます。

➡ [ファクス使用説明書](#)

「外部メモリー」

- ・ 本機に接続した外部メモリー(USBメモリー)の使用量/全容量/空き容量が表示されます。
- ・ [メニュー]>[フォーマット]を選択すると、外部メディアをフォーマットできます。



重要

[フォーマット]を選択すると外部メディアの中のデータがすべて消去されます。

- [メモリーの取り外し]を選択すると、外部メディアを安全に取り外すことができます。

「USBキーボード」

USBキーボードの状態が表示されます。

「Bluetoothキーボード」

Bluetoothキーボードの状態が表示されます。

「ネットワーク接続状態」

ネットワークの接続状態が表示されます。

「オプションネットワーク接続状態」

オプションのネットワークインターフェイスキットの接続状態が表示されます。

「Wi-Fi Direct」

Wi-Fi Directの接続状態が表示されます。

「ワイヤレスネットワーク」

オプションのワイヤレスインターフェイスキットの接続状態が表示されます。

「Wi-Fi」

Wi-Fiの接続状態が表示されます。

「SSD」

SSDを装着している場合に表示されます。

「NFC」

NFCの接続状態が表示されます。

トナーや用紙の残量(用紙/消耗品)を確認する

タッチパネルで、トナーや用紙の有無を確認できます。

1 画面を表示する

1 [状況確認/ジョブ中止]キーを選択します。

2 確認する項目を選択します。

2 確認する

確認できる項目は、次のとおりです。

「トナー状況」

トナー残量が段階的に表示されます。また、廃棄トナーボックスの状態が確認できます。

「用紙状況」

給紙元の用紙のサイズと向き、種類、残量が確認できます。また、用紙残量は段階的に表示されます。

8 本機の初期設定[システムメニュー]

この章では、次の項目について説明します。

システムメニューの操作方法	8-2
[簡単セットアップウィザード]	8-3
[言語選択]	8-4
[レポート]	8-5
[カウンター]	8-8
[カセット/手差しトレイ設定]	8-9
[共通設定]	8-11
[ホーム]	8-22
[コピー]	8-23
[送信]	8-24
[文書ボックス]	8-25
[ファクス]	8-26
[アプリケーション]	8-26
[インターネット]	8-26
[アドレス帳/ワンタッチ]	8-27
[ユーザー/部門管理]	8-27
[プリンター]	8-29
[システム/ネットワーク]	8-32
[日付/タイマー/節電]	8-57
[調整/メンテナンス]	8-59

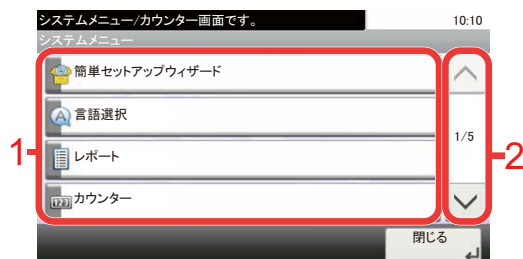
システムメニューの操作方法

システムメニューは、本機の動作全般に関わる設定です。使用用途に応じて、工場出荷時の設定値を変更してください。

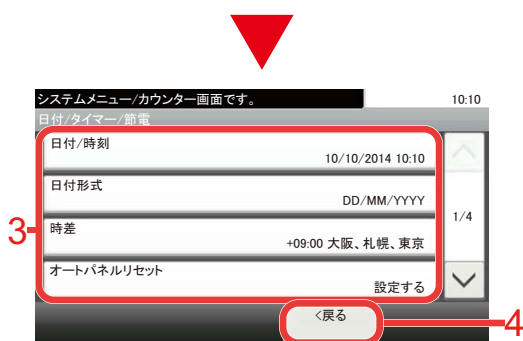
1 画面を表示する

[システムメニュー／カウンター]キーを選択します。

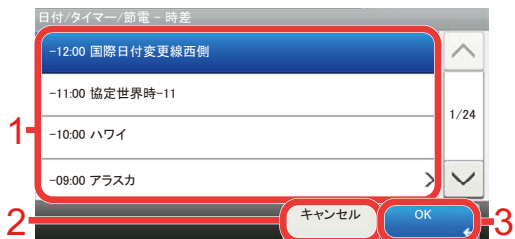
2 選択する



- 1 システムメニューの項目を表示します。
- 2 画面をスクロールして、表示されていない項目を表示します。
- 3 設定項目を表示します。
各項目のキーを選択して設定画面を表示します。
- 4 前の画面に戻ります。



3 設定する



- 1 設定項目を選択すると、設定が確定します。
- 2 設定を変更せずに前の画面に戻ります。
- 3 設定を確定して終了します。



参考

- 管理者権限が必要な機能を設定する場合、管理者の権限でログインする必要があります。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
ログインユーザー名：
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500
ログインパスワード：
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500
- 機能初期値を変更した場合、各機能の画面で[リセット]キーを選択すると設定がすぐに切り替わります。

次のシステムメニューの項目を参照して、必要な設定を行ってください。

[簡単セットアップウィザード]

ファクス機能、省エネ機能、ネットワークについては、次の項目をウィザード形式の画面で設定できます。

➡ [簡単セットアップウィザードを使って設定する \(2-24\)](#)

次の機能をウィザード形式の画面で設定できます。

機能	項目	説明
ファクスのセットアップ	ファクスの基本設定を行います。オプションのファクスキットが装着されている場合のみ表示されます。 ➡ ファクス使用説明書	
省エネのセットアップ	省エネ機能を設定します。	
	1.スリープモード	スリープ時間 スリープレベル
	2.低電力モード	低電力モード時間
ネットワークのセットアップ	1.ネットワーク	Wi-Fi 有線 DHCP*1 IPアドレス*2 サブネットマスク*2 デフォルトゲートウェイ*2

*1 ネットワーク選択で[有線]を選択した場合に表示されます。

*2 DHCPの設定で[設定する]を選択した場合は表示されません。



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

[言語選択]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー> [言語選択]

本機の画面で表示する言語を選択します。

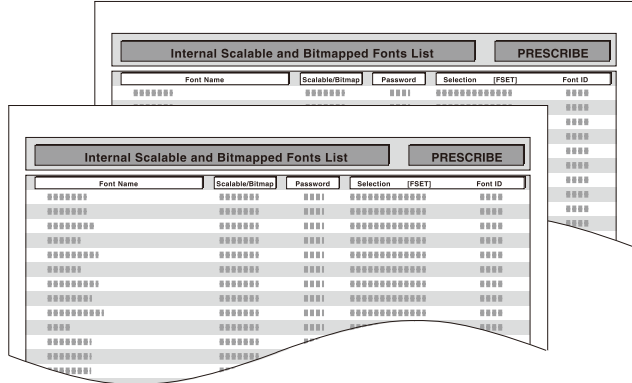
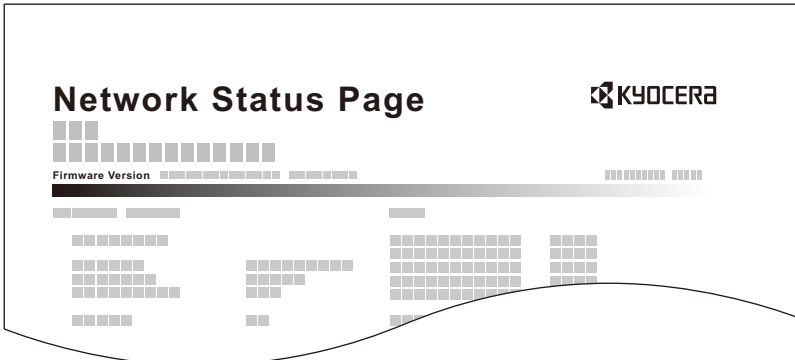
項目	説明
言語選択	タッチパネルに表示される言語を設定します。

[レポート]

本機の設定や状態、履歴を確認するための各種レポートを印刷したり、印刷のしかたを設定することができます。

[はい]

メニュー遷移:[システムメニュー／カウンター]キー > [レポート] > [はい]

項目	説明
ステータスページ	ステータスページを印刷します。現在の設定内容、使用可能メモリー、装着されているオプション機器などの情報が確認できます。 
フォントリスト	フォントリストを印刷します。本機に搭載されているフォントをサンプルで確認できます。 
ネットワークステータス	ネットワークステータスページを印刷します。ネットワークインターフェイスのファームウェアバージョンやネットワークアドレス、ネットワークプロトコルなどの情報が確認できます。 
サービスステータスページ	サービスステータスページを印刷します。ステータスページよりも詳細な情報が確認できます。サービス担当者がメンテナンスの際に印刷するのが主な用途です。
部門管理レポート	部門管理レポートを印刷します。部門管理を実行している際に、全部門で集計されたページ数を確認できます。

項目	説明
Fコードボックスリスト	ファクス機能に関するレポートを印刷します。 ▶ ファクス使用説明書  参考 この機能は、オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。
ファクスリスト(見出し)	
ファクスリスト(番号)	
ファクス発信レポート	
ファクス着信レポート	
オプションネットワークステータス	オプションネットワークステータスページを印刷します。オプションネットワークインターフェイスのファームウェアバージョンやネットワークアドレス、ネットワークプロトコルなどの情報が確認できます。  参考 この機能は、オプションのネットワークインターフェイスキットまたはワイヤレスインターフェイスキットを装着している場合に表示されます。

[管理レポート設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [管理レポート設定]

ファクス発信レポートまたはファクス受信レポートを自動的に印刷するかどうかを設定します。

[▶ ファクス使用説明書](#)

[結果通知設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [結果通知設定]

項目	説明
送信結果レポート	送信が終了したときに、送信結果レポートを自動的に印刷します。
メール/フォルダー	メール/フォルダーの送信結果をレポートで印刷します。 設定値: 設定しない、設定する、エラー時のみ
ファクス* ¹	▶ ファクス使用説明書
ネットワークファクス送信時の添付画像	ネットワークファクス送信時の添付画像を送付状、もしくは本文にするかを指定します。 設定値: 本文、送付状
送信前の中止レポート* ²	送信を開始する前のジョブを中止した場合にレポートを印刷します。 設定値: 設定しない、設定する
宛先の表示形式* ²	送信結果レポートの宛先の表示形式を設定します。 設定値: 名前または宛先、名前と宛先
ファクス受信結果通知* ¹	▶ ファクス使用説明書
終了通知設定* ¹	▶ ファクス使用説明書

*¹ オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

*² [メール/フォルダー]と[ファクス]がどちらも[設定しない]の場合は表示されません。

[履歴送信]

メニュー遷移:[システムメニュー／カウンター]キー > [レポート] > [履歴送信]

項目	説明
履歴送信	設定されている宛先にジョブ履歴を手動で送信します。
自動送信	ジョブ履歴が設定した件数になると、設定されている宛先にジョブ履歴を自動的に送信します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する]を選択した場合は、自動送信をするジョブ履歴の件数を設定してください。設定範囲は1～16件です。
宛先	ジョブ履歴を送信する宛先を設定します。設定できるアドレスはメールアドレスのみです。
ジョブ履歴件名	ジョブ履歴をメールで送信するときに、自動的に入力される件名を設定します。 設定値: 60 字以内
個人情報	履歴に個人情報を含めるかどうかを設定します。 設定値: 含める、含めない

[カウンター]

印刷枚数および読み込み枚数を参照します。

- 1 画面を表示する
[システムメニュー]キー > [カウンター]
- 2 [印刷ページ数]、[読み込みページ数]を選択しカウンターを確認する

印刷カバレッジを参照します。

- 1 画面を確認する
[システムメニュー]キー > [カウンター] > [印刷ページ数] > [印刷カバレッジ]
- 2 [最終ページ]、[最終ジョブ]を選択しデータを確認します。
[最終ページ]:最後に印刷したページのデータが表示されます。
[最終ジョブ]:最後に印刷したジョブのデータが表示されます



参考

印刷カバレッジに表示されている情報から換算した印字枚数と、実際の印字枚数とは一致しません。実際に印字できる枚数は、使用状態(印字内容や連続出力の頻度など)、設置環境(温度や湿度)によって変わります。

[カセット/手差しトレイ設定]

カセットと手差しトレイの用紙サイズ・用紙種類について設定します。

[カセット1(～3)]

[システムメニュー／カウンター]キー > [カセット/手差しトレイ設定] > [カセット1(～3)]

カセット1～3の用紙サイズと用紙種類について設定します。

選択する項目		選択できるサイズ/種類
用紙サイズ	自動	用紙のサイズを自動で検知、選択します。 設定値 A系/B系、インチ系
	A系/B系	A系/B系の定形サイズから選択します。 設定値 A3、A4-R、A4、A5-R、B4、B5-R、B5、Folio、216×340 mm
	インチ系	インチ系の定形サイズから選択します。 設定値 Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、Oficio II
	その他	特殊な定形サイズから選択します。 設定値 8K、16K-R、16K
用紙種類 ^{*1}		用紙種類を選択します。 設定値 普通紙(60～105 g/m ²)、薄紙(59 g/m ² 以下)、再生紙、プレプリント ^{*2} 、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙 ^{*2} 、レターヘッド ^{*2} 、厚紙(106～256 g/m ²)、上質紙、カスタム1～8

*1 用紙種類を「普通紙」から変更する場合は、次を参照してください。

➡ [用紙種類の設定について \(8-14\)](#)

*2 プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは、次を参照してください。

➡ [特定用紙種類の動作設定 \(8-14\)](#)



参考

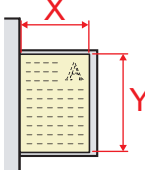
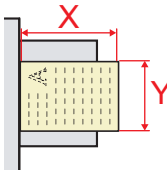
オプションのファクスキットを装着している場合、受信したファクスの印刷に使用できる用紙種類は次のとおりです。

普通紙、薄紙、再生紙、ボンド紙、カラー紙、厚紙、上質紙、カスタム1～8

[手差しトレイ]

[システムメニュー／カウンター]キー > [カセット/手差しトレイ設定] > [手差しトレイ]

手差しトレイの用紙サイズと用紙種類について設定します。

選択する項目		選択できるサイズ/種類
用紙サイズ	A系/B系	A系/B系の定形サイズから選択します。 設定値 A3、A4-R、A4、A5-R、A6-R、B4、B5-R、B5、B6-R、Folio、216×340 mm
	インチ系	インチ系の定形サイズから選択します。 設定値 Ledger、Letter-R、Letter、Legal、Statement-R、Executive、Oficio II
	その他	特殊な定形サイズ、カスタム用紙サイズから選択します。 設定値 8K、16K-R、16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号
	サイズ入力	定形サイズに表示されていないサイズを入力します。 設定値 センチX: 148～432 mm (1 mm単位)、Y: 98～297 mm (1 mm単位) インチX: 5.83～17.00" (0.01"単位)、Y: 3.86～11.69" (0.01"単位) X=長さ、Y=幅 縦向き  横向き 
用紙種類 ^{*1}		用紙種類を選択します。 設定値 普通紙 (60～105 g/m ²)、OHPフィルム、薄紙 (59 g/m ² 以下)、ラベル紙、再生紙、プレプリント ^{*2} 、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙 ^{*2} 、レターヘッド ^{*2} 、封筒、厚紙 (106 g/m ² 以上)、上質紙、カスタム1～8

*1 用紙種類を「普通紙」から変更する場合は、次を参照してください。

➡ [用紙種類の設定について \(8-14\)](#)

*2 プレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドに印刷するときは、次を参照してください。

➡ [特定用紙種類の動作設定 \(8-14\)](#)



参考

オプションのファクスキットを装着している場合、手差しトレイからはファクス受信できません。

[共通設定]

本機全般について設定します。

[初期画面]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [初期画面]

項目	説明
初期画面	電源を入れて最初に表示される画面(初期画面)を選択します。 設定値: ホーム、コピー、送信、ファクス ^{*1} 、ユーザーボックス ^{*2} 、ジョブボックス、外部メモリー、Fコードボックス ^{*1} 、ポーリングボックス ^{*1} 、ファクスメモリー受信ボックス ^{*1} 、お気に入り ^{*3} 、状況確認

*1 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

*2 オプションの大容量記憶装置(SSD)を装着している場合に表示されます。

*3 お気に入りに登録しているジョブが表示されます。

▶ [よく使う機能呼び出すには\(お気に入り\) \(3-46\)](#)

[音設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [音設定]

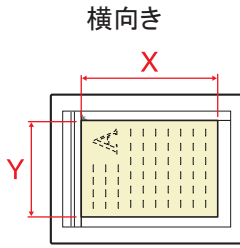
項目	説明
ブザー	本機の操作中に鳴るブザーについて設定します。
音量	ブザーの音量を設定します。 設定値: 0(消音)、1(小)、2、3(中)、4、5(大)
操作確認音	操作パネルやタッチパネルのキーを選択したときに鳴る音、またはオートクリアが働くときに鳴る音です。 設定値: 使用しない、使用する
正常終了音	ジョブの処理が正常に終了したときに鳴る音です。 設定値: 使用しない、使用する、ファクス受信時のみ
準備完了音	操作が可能になったときに鳴る音です。 設定値: 使用しない、使用する
注意音	エラーが発生したときに鳴る音です。 設定値: 使用しない、使用する
操作確認音(USBキーボード)	USBキーボードの操作状況を知らせる音です。 設定値: 使用しない、使用する
ファクススピーカー音量 ^{*1}	▶ ファクス使用説明書
ファクスモニター音量 ^{*1}	

*1 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

[原稿設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > 「原稿設定」

原稿に関する設定を行います。

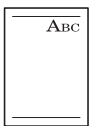
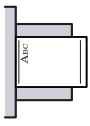
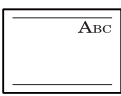
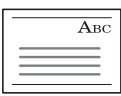
項目	説明
カスタム原稿サイズ登録	よく使用する不定形の原稿サイズを、カスタムサイズとして登録します。 登録したサイズは、原稿サイズの選択時に表示されます。 [使用する]を選択して、サイズを入力してください。 設定値 センチ X: 50～432 mm(1 mm単位) Y: 50～297 mm(1 mm単位) インチ X: 2.00～17.00" (0.01"単位) Y: 2.00～11.69" (0.01"単位) X=長さ、Y=幅 
原稿自動検知	特殊な原稿サイズを自動検知するか選択します。センチサイズ of 原稿を自動検地する場合は、[A系/B系]を選択します。インチサイズ of 原稿を自動検地する場合は、[インチ系]を選択します。 設定値: A系/B系、インチ系 A系/B系 A6/はがき A6とはがきはサイズが似ているため、原稿サイズを自動検知するときに、どちらとして検知するか設定します。 設定値: A6、はがき  参考 [はがき]を設定した場合、原稿ガラスにセットした原稿だけが検知されます。 Folio Folioサイズを自動検知するかどうか設定します。 設定値: 検知しない、検知する 11×15" 11×15"のサイズを自動検知するかどうか設定します。 設定値: 検知しない、検知する インチ系 Legal/ Oficioll/ 216×340mm 原稿サイズを自動で検知する設定します。 設定値: Legal、Oficioll、216×340mm

[用紙設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > 「用紙設定」

用紙に関する設定を行います。

項目	説明
カスタム用紙サイズ登録	よく使用する不定形の用紙サイズを、カスタムサイズとして登録します。 登録したサイズは、手差しトレイの用紙サイズ選択時に表示されます。 [使用する]を選択して、サイズを入力してください。 設定値 センチ X: 148～432 mm(1 mm単位) Y: 98～297 mm(1 mm単位) インチ X: 5.83～17.00" (0.01"単位) Y: 3.86～11.69" (0.01"単位) X=長さ、Y=幅
用紙種類の設定	それぞれの用紙種類に対して、重さ(用紙の厚さ)を設定します。 また、カスタム1～8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。 設定値は、次を参照してください。 ▶ 用紙種類の設定について (8-14)
優先給紙元	優先して使用する給紙元を設定します。 設定値 : カセット1～3、手差しトレイ  参考 [カセット2]～[カセット3]は以下のオプションが装着されているときに表示されます。 [カセット2]: ペーパーフィーダー(550枚)またはペーパーフィーダー(550枚×2) [カセット3]: ペーパーフィーダー(550枚×2)
用紙選択	用紙の給紙元を本機に自動で選択させるか、優先給紙元から給紙させるかを設定します。 設定値 : 自動、優先給紙元
自動用紙の用紙種類(白黒)	用紙選択で自動が選択されているときに、自動で選択される用紙を用紙の種類で限定することができます。例えば[普通紙]を選択すると、指定したサイズの普通紙がセットされている給紙元が選択されます。[全用紙種類]を選択すると、用紙の種類に関係なく、指定したサイズの用紙がセットされた給紙元が選択されます。 設定値 : 全用紙種類、普通紙、OHPフィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、封筒、厚紙、上質紙、カスタム1～8)

項目	説明
特定用紙種類の動作設定	パンチ済み紙、プレプリント、レターヘッドに印刷するとき、原稿のセット方法やコピー機能の組み合わせによっては、穴の位置が揃わなかったり、天地が逆に印刷されたりすることがあります。そのようなときに、この設定で[印刷方向を合わせる]を選択し、仕上がりの向きを揃えます。仕上がりの用紙の天地が逆になっても問題がない場合は、[速度優先]を選択します。 [印刷方向を合わせる]を選択した場合は、次の方法で用紙を補給してください。 例：レターヘッドにコピーする場合  原稿  用紙  仕上がり  カセット  手差しトレイ  原稿  用紙  仕上がり  カセット  手差しトレイ 設定値：印刷方向を合わせる、速度優先
用紙セット時の確認	用紙をセットした時に、用紙設定の確認画面を表示するかどうかを各カセットごとに設定します。 設定値：設定しない、設定する
カセット1～3	
手差しトレイ	 参考 [カセット2]～[カセット3]は以下のオプションが装着されているときに表示されます。 [カセット2]：ペーパーフィーダー(550枚)またはペーパーフィーダー(550枚×2) [カセット3]：ペーパーフィーダー(550枚×2)

用紙種類の設定について

各用紙種類に設定できる用紙の重さは次のとおりです。

用紙の重さ	秤量(g/m ²)、用紙種類	用紙の重さ	秤量(g/m ²)、用紙種類
軽い	～59 g/m ²	重い 1	106 g/m ² ～135 g/m ²
普通 1	60 g/m ² ～74 g/m ²	重い 2	136 g/m ² ～163 g/m ²
普通 2	75 g/m ² ～90 g/m ²	重い 3	164 g/m ² ～
普通 3	91 g/m ² ～105 g/m ²	非常に重い	OHPフィルム

各用紙種類に設定されている重さの初期値は次のとおりです。

用紙種類	初期値	用紙種類	初期値
普通紙	普通1	カラー紙	普通1
OHPフィルム	非常に重い	パンチ済み紙	普通1
薄紙	軽い	レターヘッド	普通2
ラベル紙	重い1	封筒	重い2
再生紙	普通1	厚紙	重い2
プレプリント	普通2	上質紙	普通1

用紙種類	初期値	用紙種類	初期値
ボンド紙	普通3	カスタム1～8	普通1
はがき	重い2		

また、カスタム1～8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。

項目		説明
両面印刷	許可する	両面印刷できます。
	禁止する	両面印刷は禁止されます。
名前		カスタム1～8の名前を変更します。16文字以内で入力できます。手差しトレイに用紙種類を選択するときなどに、変更した名前が表示されます。 → 文字の入力 (12-12)

[機能初期値]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [機能初期値]

項目	説明
ファイル形式	ファイル形式の初期値を設定します。 設定値: PDF、高圧縮PDF、TIFF、JPEG、XPS、OpenXPS、Word、Excel、PowerPoint  参考 [Word]、[Excel]、[PowerPoint]はオプションのOCR拡張キットを装着している場合に 表示されます。
原稿セット向き(コピー)	原稿セット向きの初期値を設定します。 設定値: 上辺を奥向き、上辺を左向き、自動
原稿セット向き(送信/保存)	 参考 [自動]はオプションのOCR拡張キットを装着している場合に表示されます。
ソート/仕分け	ソート/仕分けの初期値を設定します。 設定値 設定しない、ソートのみ、ページごとに仕分け、1部ごとに仕分け
ファイル分割	ファイル分割の初期値を設定します。 設定値: 設定しない、ページごと
読み込み解像度	原稿を読み込むときの解像度の初期値を設定します。 設定値: 600x600dpi、400x400dpi ウルトラ、300x300dpi、200x400dpi スーパー、200x200dpi ファイン、200x100dpi ノーマル
カラー選択	カラーモードの初期値を設定します。 設定値: 自動(カラー/グレー)、自動(カラー/白黒)、フルカラー、グレースケール、白黒
原稿の画質(コピー)	原稿の画質(コピー時)の初期値を設定します。 設定値: 文字+写真、写真、文字、図表/地図
原稿の画質(送信/保存)	原稿の画質(送信時/保存時)の初期値を設定します。 設定値: 文字+写真、写真、文字、文字(OCR用)、うすい文字/細線
地色調整(コピー)	地色調整(コピー時)の初期値を設定します。 設定値: 設定しない、自動、手動(こく5)
地色調整(送信/保存)	地色調整(送信時/保存時)の初期値を設定します。 設定値: 設定しない、自動、手動(こく5)
エコプリント	エコプリントの初期値を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
うら写り防止(コピー)	うら写り防止(コピー時)の初期値を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
うら写り防止(送信/保存)	うら写り防止(送信時/保存時)の初期値を選択します。 設定値: 設定しない、設定する
白紙ページスキップ(コピー)	白紙ページスキップの初期状態を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
白紙ページスキップ(保存/送信)	白紙ページスキップの初期状態を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
ファクス送信解像度 ^{*1}	➡ ファクス使用説明書
縮小/拡大	縮小/拡大の初期値を設定します。 設定値: 100%、自動

項目	説明
とじしろ	とじしろ幅の初期値を設定します。 設定値 センチ 左右: -18 ~ 18 mm(1 mm単位)、上下: -18 ~ 18 mm(1 mm単位) インチ 左右: -0.75 ~ 0.75"(0.01" 単位)、上下: -0.75 ~ 0.75"(0.01" 単位)
原稿領域外の消去	原稿領域外の消去の初期値を設定します。 設定値 : 設定しない、設定する
連続読み込み(コピー)	連続読み込み(コピー時)の初期値を設定します。 設定値 : 設定しない、設定する
連続読み込み(ファクス)*1	➡ ファクス使用説明書
連続読み込み(送信/保存)	連続読み込み(送信時/保存時)の初期値を設定します。 設定値 : 設定しない、設定する
自動画像回転	自動回転コピーの初期値を設定します。 設定値 : 設定しない、設定する
文書名入力	ジョブに名前をつけるときに、自動的に入力される名前(名前の初期値)を設定します。 また付加情報として、日時とジョブ番号の有無も設定できます。 設定値 文書名: 32文字以内で入力できます。 付加情報: なし、日時、ジョブ番号、ジョブ番号 & 日時、日時 & ジョブ番号
メール 件名/本文	読み込んだ原稿をメールで送信するときに、自動的に入力される件名と本文(件名と本文の初期値)を設定します。 設定値 件名: 60文字以内で入力できます。 本文: 500文字以内で入力できます。
FTP暗号送信	送信時の文書の暗号化の初期値を設定します。 設定値 : 設定しない、設定する  参考 セキュアプロトコルの[SSL]の設定が[使用する]の場合、表示されます。
JPEG/TIFF印刷方法	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像のサイズ(解像度)の初期値を設定します。 設定値 : 用紙サイズ、画像解像度、印刷解像度
XPS印刷サイズ調整	XPS印刷サイズ調整の初期値を設定します。 設定値 : 設定しない、設定する

項目	説明
詳細設定	-
画質	送信・保存する画像のファイル形式を選択するときの、画質の調整範囲の初期値を設定します。 設定値: 1 低画質(高圧縮)、2、3、4、5 高画質(低圧縮)
PDF/A	PDF/Aの初期状態を設定します。 設定値: 設定しない、PDF/A-1a、PDF/A-1b、PDF/A-2a、PDF/A-2b、PDF/A-2u
高圧縮PDF画質	ファイル形式が高圧縮PDF のときの、画質の初期値を設定します。 設定値: 圧縮率優先、標準、画質優先
OCR文字認識 ^{*2}	OCR文字認識の初期状態を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
OCRの言語 ^{*2}	抽出する文字の言語の初期状態を設定します。 抽出する言語をタッチパネルに表示される言語の中から選択してください。
OCR出力形式 ^{*2}	OCR出力形式の初期状態を設定します。 設定値: 文字+グラフィック、文字+グラフィック(スキャン画像付き)、スキャン画像(検索用文字付き)
白紙検知対象(コピー)	白紙ページスキップの初期状態を設定します。 設定値: 白紙+罫線、白紙のみ、白紙+少量の文字
白紙検知対象(送信/保存)	白紙ページスキップの初期状態を設定します。 設定値: 白紙+罫線、白紙のみ、白紙+少量の文字

*1 この機能は、オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

*2 オプションのOCR拡張キットを装着している場合に表示されます。

[排紙先]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [排紙先]

項目	説明
排紙先	コピー、文書ボックスからの印刷、パソコンからの印刷、およびファクス受信データの印刷について、それぞれ別の排紙先を指定することができます。 設定値 - 内部トレイ: 本体の内部トレイに排紙します。 - ジョブセパレーター: ジョブセパレータートレイに排紙します。

[部数制限]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [排紙先]

1回でコピーできる部数を制限することができます。

項目	説明
部数制限	設定値: 1～999部

[エラー処理設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [エラー処理設定]

エラーが発生したときに印刷を停止するか、続行するかを設定します。

項目	説明
両面エラー	選択した用紙サイズまたは用紙種類で、両面印刷できない場合の処理方法を設定します。 設定値 片面印刷: 片面印刷で印刷します。 エラーで停止: メッセージが表示され、印刷を停止します。
後処理エラー	選択した用紙サイズまたは用紙種類で後処理(仕分け)できない場合の処理方法を設定します。 設定値 無視する: 設定を無視して印刷します。 エラーで停止: メッセージが表示され、印刷を停止します。
用紙ミスマッチエラー	カセットまたは手差しトレイを指定してパソコンから印刷するとき、選択した用紙サイズまたは用紙種類と選択した給紙元にセットされている用紙サイズまたは用紙種類が一致しない場合の処理方法を設定します。 設定値 無視する: 設定を無視して印刷します。 エラーで停止: メッセージが表示され、印刷を停止します。
給紙時のサイズエラー	カセットに設定している用紙サイズと実際に給紙した用紙サイズが異なっていることを検知した場合の処理方法を設定します。 設定値 無視する: 設定を無視して印刷します。 エラーで停止: メッセージが表示され、印刷を停止します。

[入力長さ単位]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [入力長さ単位]

項目	説明
入力長さ単位	用紙サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから設定できます。 設定値: mm、inch

[トナー残量少の通知]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [トナー残量少の通知]

項目	説明
トナー残量少の通知	トナーが残り少なくなったときに、トナーを発注するタイミングを管理者に通知するトナー残量を設定します。この通知は、Event Report、ステータスマニター、SNMP Trap(印刷機器管理システム等)に使用するものです。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する]を選択した場合は、通知するトナー残量を設定してください。設定範囲は5～100%(1%単位)です。

[キーボード入力方式]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [キーボード入力方式]

項目	説明
キーボード入力方式	名前などを入力するときに表示されるキーボードの文字入力方式の初期値を設定します。 設定値: 停止、起動

[USBキーボードタイプ]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [USBキーボードタイプ]

項目	説明
USBキーボードタイプ	使用したいUSBキーボードタイプを設定します。 設定値: 米国英語、米国英語ユーロ付き、フランス語、ドイツ語、英国英語

[状況/履歴の表示]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [状況/履歴の表示]

状況/履歴の表示を設定します。

項目	説明
ジョブ状況の詳細の表示	設定値: すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない
ジョブ履歴の表示	設定値: すべて表示、自分のジョブのみ、表示しない
ファクス通信履歴の表示 ^{*1}	設定値: すべて表示、表示しない

*1 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

[機能キー登録]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [機能キー登録]

各機能キーに機能を割り当てます。

項目	説明
機能キー1	設定値: なし、コピー、送信、ファクスサーバー ^{*1} 、ファクス ^{*2} 、ユーザーボックス ^{*3} 、ジョブボックス、外部メモリー、Fコードボックス ^{*2} 、ポーリングボックス ^{*2} 、ファクスメモリー受信ボックス ^{*2} 、IDカードコピー(身分証)、用紙節約コピー、簡単フォルダー送信(宛先入力)、簡単フォルダー送信(アドレス帳)、簡単メール送信(宛先入力)、簡単メール送信(アドレス帳)、アプリケーション ^{*4}  参考 [すべて]、[アプリケーション]、[お気に入り]、[その他]で、表示される機能を選択することができます。
機能キー2	
機能キー3	

*1 外部サーバー(ファクスサーバー)を設定している場合に表示されます。

*2 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

*3 オプションの大容量記憶装置(SSD)を装着している場合に表示されます。

*4 登録されているアプリケーション名を表示します。

[電源オフ時の確認]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [電源オフ時の確認]

項目	説明
電源オフ時の確認	電源オフ時に確認メッセージを表示するかどうか設定します。 設定値 : 設定しない、設定する

[IDカードコピー(身分証)レイアウト]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [共通設定] > [IDカードコピー(身分証)レイアウト]

項目	説明
IDカードコピー(身分証)レイアウト	IDカード(身分証)コピー時に読み込んだ画像の印刷位置を設定します。 設定値 : 右上に揃える、中央に揃える

[ホーム]

メニュー遷移:[システムメニュー] > [ホーム]

ホーム画面の設定を行います。

➡ [ホーム画面を編集する \(3-8\)](#)

[コピー]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [コピー]

コピー機能に関する設定を行います。

項目	説明
自動用紙動作設定	用紙選択が[自動]に設定されている場合に、縮小/拡大の倍率を変更したときの、用紙サイズの選択方法を設定します。 設定値 最適サイズ: 原稿サイズと倍率に応じて、最適な用紙サイズが選択されます。 原稿サイズと同じ: 倍率にかかわらず、原稿と同じ用紙サイズが選択されます。
自動倍率優先	原稿と違うサイズの給紙元を意図的に選択した場合に、自動的に倍率を変更(縮小/拡大)するかどうかを設定します。 設定値 : 設定しない、設定する
小サイズ原稿の用紙サイズ	自動用紙設定で、検出できない小さいサイズの原稿を印刷する場合に使用する用紙サイズを設定します。 設定値 : 優先給紙元、A4-R、A4、A5-R、A6-R、B5-R、B5、B6-R、Letter-R、Letter、Statement-R
原稿未検知時の原稿サイズ	原稿未検知時の原稿のサイズを設定します。 設定値 : 優先給紙元に合わせる、サイズ選択画面を表示
次の予約優先	印刷中に次のコピーを予約する際、基本の画面を表示させるかどうかを設定します。[設定する]を選択すると、基本の画面が表示されます。 設定値 : 設定しない、設定する
自動画像回転の動作	自動画像回転の動作を設定します。 設定値 : 手動コピー時は回転しない、すべて回転する、画像サイズに応じて回転する

[送信]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [送信]

送信機能に関する設定を行います。

項目	説明
送信前の宛先確認	送信するとき、[スタート]キーを押した後に宛先確認画面を表示するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
新規宛先の入力確認	新規で宛先を入力するとき、確認のために、宛先を再入力させるかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
送信控え転送	送信するとき、原稿を同時に別の宛先に転送するかどうかを設定します。
転送	原稿を転送するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定する]を選択した場合は、転送する条件を[ファクス] ^{*1} 、[メール]、[フォルダー(SMB)]、[フォルダー(FTP)]の中から選択してください。
宛先	原稿を転送する宛先を設定します。設定できる宛先は1件のみです。宛先の登録方法は次のとおりです。 • アドレス帳 • 拡張アドレス帳 • アドレス入力(メール) • アドレス入力(フォルダー) ➡宛先の操作 (5-29)
カラーTIFF圧縮方式	カラー本機で扱うTIFF画像の圧縮方式を設定します。 設定値: TIFF V6、TTN2
初期画面	[送信]キーを押すと、最初に表示される画面を設定します。 設定値: 宛先、アドレス帳、拡張アドレス帳、ワンタッチ
新規宛先の入力	宛先の直接入力を許可するかどうかを設定します。 設定値: 許可する、禁止する
再宛先	送信画面の[再宛先]の使用を許可するかどうかを設定します。 設定値: 許可する、禁止する
同報送信	同報送信の使用を許可するかどうかを設定します。 設定値: 許可する、禁止する
OCR文字認識動作 ^{*2}	OCR文字認識動作を設定します。 設定値: 速度優先、精度優先

*1 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

*2 オプションのOCR拡張キットを装着している場合に表示されます。

[文書ボックス]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [文書ボックス]

ユーザーボックスやジョブボックス、Fコードボックス、ポーリングボックスに関する設定を行います。

項目	説明
ユーザーボックス ^{*1}	ユーザーボックスに関する設定を行います。
登録/編集	▶ 本機でユーザーボックスを作成する (3-54)
初期設定	文書自動消去時刻 保存されている文書を自動的に消去する時刻を設定することができます。
Fコードボックス ^{*2}	▶ ファクス使用説明書
ジョブボックス	ジョブボックスに関する設定を行います。
クイックコピー ジョブ保持数	ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。 設定値: 0 ~ 300 の範囲  参考 0 を設定するとクイックコピーは使用できません。
一時保存文書の自動消去	ジョブボックスのプライベートプリント、クイックコピー、試し刷り後保留の一時保存文書を、保存した一定時間後に自動的に消去するように設定します。 設定値: 設定しない、1 時間、4 時間、1 日、1 週間  参考 この機能は、設定後に保存した文書に有効です。この機能の設定に関わらず、主電源スイッチを切ると一時保存文書は消去されます。
保存先	データを保存するメディアを選択することができます。 設定値: SSD、SDカード  参考 オプションのSSDまたはSDカードが装着されていない場合、この設定は表示されません。
ポーリングボックス ^{*2}	▶ ファクス使用説明書
ファクスメモリー受信ボックス ^{*2}	

*1 オプションのSSDを装着している場合に表示されます。

*2 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

[ファクス]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[ファクス]

ファクス機能に関する設定を行います。

➡[ファクス使用説明書](#)

[アプリケーション]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[アプリケーション]

アプリケーションに関する設定を行います。

➡[アプリケーションとは \(2-54\)](#)

[インターネット]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[インターネット]

アプリケーションからインターネットへ接続するときのプロキシを設定します。

項目	説明
プロキシ	プロキシを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
同じプロキシを使用	すべてのプロトコルに同じプロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。同じプロキシサーバーを使用しない場合は[使用しない]を選択してください。 設定値: 使用しない、使用する
HTTPプロキシサーバー	プロキシサーバー(HTTP)を設定します。 設定値: (プロキシのアドレスとポート番号を入力します)
HTTPSプロキシサーバー	プロキシサーバー(HTTPS)を設定します。「同じプロキシを使用」の設定が[使用しない]の場合に設定できます。 設定値: (プロキシのアドレスとポート番号を入力します)
プロキシ未使用ドメイン	プロキシを使用しないドメインを設定します。 設定値: (ドメインを入力します)

[アドレス帳/ワンタッチ]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[アドレス帳/ワンタッチ]

アドレス帳やワンタッチキーに宛先を登録したり登録内容を変更したりできます。登録した宛先は、メール送信やフォルダーへの送信、ファクス送信などに利用できます。

➡[宛先の登録 \(3-36\)](#)

アドレス帳]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[アドレス帳/ワンタッチ]>[アドレス帳]

アドレス帳に関する設定を行います。

➡[アドレス帳に新しい宛先を登録する \(3-36\)](#)

[ワンタッチキー]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[アドレス帳/ワンタッチ]>[ワンタッチキー]

ワンタッチキーに関する設定を行います。

➡[ワンタッチキーに宛先を登録する \(3-42\)](#)

[アドレス帳初期設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[アドレス帳/ワンタッチ]>[アドレス帳初期設定]

項目	説明
表示順	アドレス帳を表示したときに、宛先を表示する順番の初期値を設定します。 設定値: 番号、フリガナ
アドレス帳の種類 ^{*1}	アドレス帳を表示したときに、どの拡張アドレス帳を表示するかを設定します。

*1 拡張アドレス帳が使用できる場合のみ表示されます。

[編集制限]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[アドレス帳/ワンタッチ]>[編集制限]

項目	説明
アドレス帳	アドレス帳の編集を制限します。[管理者のみ許可]を選択すると、アドレス帳を編集する際に、管理者権限でのログインが必要になります。 設定値: 制限しない、管理者のみ許可
ワンタッチキー	ワンタッチキーの編集を制限します。[管理者のみ許可]を選択すると、ワンタッチキーを編集する際に、管理者権限でのログインが必要になります。 設定値: 制限しない、管理者のみ許可

[リスト印刷]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[アドレス帳/ワンタッチ]>[リスト印刷]

➡[ファクス使用説明書](#)

[ユーザー/部門管理]

メニュー遷移:[システムメニュー]>[ユーザー/部門管理]

本機の管理に関する設定を行います。

➡ [ユーザー管理とは \(9-2\)](#)

➡ [部門管理とは \(9-30\)](#)

➡ [不明ユーザー処理方法を設定する \(9-48\)](#)

[プリンター]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー>[プリンター]

パソコンから印刷する場合、各種の設定は通常、アプリケーションソフトの画面で行います。ここで説明するプリンター設定は、使用する環境に合わせて初期設定を変更するときに行ってください。

項目	説明
エミュレーション	本機を他のプリンター用のコマンドで動作させるためのエミュレーションを設定します。 設定値: PCL6、KPD L、KPD L (自動)  参考 [KPD L (自動)]を選択した場合は、「代替エミュレーション」の設定も行ってください。 [KPD L]または[KPD L (自動)]を選択した場合は、「KPD Lエラーレポート」の設定も行ってください。
代替エミュレーション	エミュレーションモードに[KPD L (自動)]を選択すると、印刷するデータに応じてKPD Lともの1つのエミュレーションモード(代替エミュレーション)を自動的に切り替えることができます。 設定値: PCL6
KPD Lエラーレポート	KPD Lエミュレーションモードで印刷中にエラーが発生した場合に、エラーレポートを出力するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
エコプリント	エコプリントとは、トナーの消費量を抑える機能です。ただし印刷は薄くなりますので、試し印刷などのときに設定してください。 設定値: 設定しない、設定する
A4/Letterの共通使用	サイズの近いA4サイズとLetterサイズを共通サイズとみなすかどうかを設定します。 設定値 設定しない: A4サイズとLetterサイズは共通サイズとみなされません。 設定する: A4サイズとLetterサイズが共通サイズとみなされます。どちらかのサイズが給紙元にあれば給紙されます。
両面印刷	両面印刷時の、仕上がりのとじ方向を設定します。 設定値: 片面、両面長辺とじ、両面短辺とじ
部数	印刷部数を1～999部まで設定します。 設定値: 1～999部
印刷向き	印刷方向を[たて]または[よこ]に設定します。 設定値: たて、よこ
ワイドA4	この設定を[設定する]にすると、A4ページ1行に印刷できる文字数が80文字に増加します(10 cpi)。この設定はPCL6のエミュレーションでのみ有効になります。 設定値: 設定しない、設定する
改ページ待ち時間	本機は、パソコンからの印刷データを受け取る際、データの末尾であることを示す情報がないと、最終ページを印刷せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページ(印刷)を行います。この待ち時間を5～495秒の範囲で設定します。 設定値: 5～495秒(5秒単位)
改行(LF)動作	本機が改行コード(文字コード0AH)を受信したときの動作を設定します。 設定値: 改行(LF)のみ、改行(LF)+復帰(CR)、改行(LF)を無視する
復帰(CR)動作	本機が復帰コード(文字コード0DH)を受信したときの動作を設定します。 設定値: 復帰(CR)のみ、改行(LF)+復帰(CR)、復帰(CR)を無視する

項目	説明
ジョブ名	プリンタードライバーで設定したジョブ名を使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 [使用する]を選択した場合は、使用するジョブ名を[ジョブ名]、[ジョブ番号&ジョブ名]、[ジョブ名&ジョブ番号]の中から選択してください。
ユーザー名	プリンタードライバーで設定したユーザー名を使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
印刷範囲補正	プリンターの印刷範囲を補正します。アプリケーションによっては、印刷位置が意図したものとは異なる場合があります。この場合には印刷位置を補正して、印刷位置を縦横方向にずらすことができます。 設定値 たて: -76.0～+76.0 mm よこ: -76.0～+76.0 mm
手差しトレイ優先	手差しトレイに用紙がセットされている場合に、手差しトレイから優先して給紙させることができます。 設定値 設定しない: プリンタードライバーの設定に従います。 自動給紙時: プリンタードライバーで自動を選択している場合、手差しトレイに用紙があれば手差しトレイから給紙します。 常時: 手差しトレイに用紙があれば、プリンタードライバーの設定にかかわらず手差しトレイから給紙します。
給紙指定動作	パソコンからの印刷時、給紙元と用紙種類を選択している場合の給紙方法を設定します。 設定値 自動: 用紙サイズおよび用紙種類にあわせて給紙元を選択し、印刷します。 固定: 選択した給紙元の用紙で印刷します。
自動カセット切り替え	印刷中に給紙カセットに用紙がなくなった場合の動作を選択します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 [設定しない]を選択すると、優先給紙元から給紙され、用紙がなくなった場合、「カセット○に以下の用紙を補給してください。」(○はカセットの番号)または「手差しトレイに以下の用紙を補給してください。」と表示して印刷を停止します。 メッセージに表示されたカセットに用紙をセットすると、印刷を再開します。 他のカセットから印刷する場合は、[用紙選択]を選択して給紙元を選択します。 [設定する]を選択すると、用紙がなくなっても、用紙サイズと種類が一致する他のカセットがあるときは、印刷を自動的に継続します。
解像度	印刷時の解像度を設定します。 設定値: 600dpi、Fine1200  参考 操作パネルの設定よりも、プリンタードライバーでの設定が優先されます。

項目	説明
KIR	KIR(スムージング)の初期状態を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
印刷ジョブの終端	使用環境や他の理由で印刷ジョブが最後まで処理されなかった場合に、ジョブ終端とみなす条件を設定します。 設定値 EOJ(End of Job): ジョブデータの終端を表すコマンドの検出までを1ジョブとします。 ネットワークセッションの終了: ネットワーク接続の1セッション中に含まれるデータを1ジョブとします。 UEL(Universal Exit Language): ジョブの終端部のUELの検出までを1ジョブとします。

[システム/ネットワーク]

本機のシステムについて設定します。

[ネットワーク]

ネットワークに関する設定を行います。

[ホスト名]

メニュー遷移:[システムメニュー／カウンター]キー> [システム/ネットワーク]> [ネットワーク]>[ホスト名]

項目	説明
ホスト名	本機のホスト名を確認します。ホスト名の変更はCommand Center RXで行います。 ➡ デバイス情報を変更する (2-44)

[Wi-Fi Direct設定]

メニュー遷移:[システムメニュー／カウンター]キー> [システム/ネットワーク]> [ネットワーク]>[Wi-Fi Direct設定]

Wi-Fi Directの設定を行います。

項目	説明
Wi-Fi Direct	Wi-Fi Directを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
デバイス名	デバイス名を設定します。  参考 文字数は最大32文字までです。 この機能は、Wi-Fi Directが[設定する]の場合に表示されます。
IPアドレス	本機のIPアドレスを確認します。 ➡ [TCP/IP設定] (8-38) 設定値: ###.###.###.###  参考 [設定する]を選択した場合は、自動的に切断するまでの時間を設定してください。 この機能は、Wi-Fi Directが[設定する]の場合に表示されます。
自動切断	Wi-Fi Directで接続された機器を自動的に切断します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレイアウトになり、入力できません。

[Wi-Fi設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク]>[Wi-Fi設定]

Wi-Fiの設定を行います。

[Wi-Fi]

項目	説明
Wi-Fi	Wi-Fiを使用するかどうか設定します。 設定値: 使用しない、使用する

[セットアップ]

項目	説明
接続の状態	無線LANの状態を確認できます。
簡単セットアップ	ワイヤレスネットワークの自動設定に対応したアクセスポイントに接続する場合は、簡単セットアップで接続設定ができます。
利用可能なネットワーク	接続可能なアクセスポイントを選択し、事前共有キーを入力すると接続を開始します。
WEPキーインデックス	アクセスポイントで設定しているキーインデックスの値を選択してください。 設定値: 0～3
プッシュボタン方式	アクセスポイントがプッシュボタン式に対応している場合、プッシュボタンを操作して無線設定を行うことができます。この設定でプッシュボタンを実行し、アクセスポイントのプッシュボタンを押して接続を開始します。  参考 プッシュボタン式はWPSのみに対応しています。
PINコード方式(本体)	本機のPINコードで接続を開始します。表示されたPINコードをアクセスポイントに入力してください。本機のPINコードは自動的に生成されます。
カスタムセットアップ	無線LANの詳細設定を変更できます。

項目	説明
ネットワーク名(SSID)	本機を接続する無線LANのSSID (Service Set Identifier)を設定します。  参考 32 文字まで入力できます。
ネットワーク認証	ネットワーク認証の方式を選んでください。 設定値: オープンシステム、WPA2/WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA2/WPA-EAP、WPA2-EAP
暗号化	暗号化方式を設定します。[ネットワーク認証]の方式により設定値が異なります。 [ネットワーク認証]の方式が[オープンシステム]の場合 設定値: 無効、WEP WEPキー:26文字まで WEPキーインデックス:0~3 ネットワーク認証の方式が[WPA2/WPA-PSK]の場合 設定値: AES、自動 事前共有キー:64文字まで ネットワーク認証の方式が[WPA2-PSK]の場合 設定値: AES(固定) 事前共有キー:64文字まで ネットワーク認証の方式が[WPA2/WPA-EAP]の場合 設定値: AES、自動 ネットワーク認証の方式が[WPA2-EAP]の場合 設定値: AES(固定)

[TCP/IP設定]

項目	説明
TCP/IP	TCP/IPプロトコルを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
IPv4設定	TCP/IP (IPv4) でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP] が [使用する] の場合、表示されます。
DHCP	DHCP (IPv4) サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
Auto-IP	Auto-IPを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
IPアドレス	IPアドレスを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレースアウトになり、入力できません。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレースアウトになり、入力できません。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレースアウトになり、入力できません。
DNSサーバー	DHCPを使って、IPアドレスの自動取得を行うかどうかを指定します。 設定値: 自動(DHCP)、手動
IPアドレス	[DNSサーバー]で[手動]を設定した場合、プライマリーおよびセカンダリーDNSサーバーのIPアドレスを設定します。
プライマリーサーバー	プライマリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。 設定値: ###.###.###.###
セカンダリーサーバー	セカンダリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。 設定値: ###.###.###.###

 重要

- Auto IPを使用する場合、IPアドレス に0.0.0.0を設定してください。
- 設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です

➡ [\[ネットワークの再起動\] \(8-48\)](#)

項目		説明
IPv6		TCP/IP (IPv6) でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP] が [使用する] の場合、表示されます。
IPv6		IPv6 を使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 [使用する] に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IP アドレス (Link Local)] / プレフィックス長] に IP アドレスが表示されます。
手動設定		TCP/IP (IPv6) の IP アドレス、プレフィックス長、およびゲートウェイアドレスを手動で入力します。 設定値 IP アドレス (手動): 128 ビットのアドレスを、4 桁の 16 進数で構成される 8 つのグループで表現。コロン (:) で分割 プレフィックス長: 0 ~ 128 デフォルトゲートウェイ: 128 ビットのアドレスを、4 桁の 16 進数で構成される 8 つのグループで表現。コロン (:) で分割  参考 この機能は、[IPv6] を [使用する] にしている場合に表示されます。 [デフォルトゲートウェイ] を入力する場合は、[RA (Stateless)] を [使用しない] に設定します。
RA (Stateless)		RA (Stateless) を使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 この機能は、[IPv6] を [使用する] にしている場合に表示されます。 [使用する] に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IP アドレス (Stateless)] / プレフィックス長] に IP アドレスが表示されます。
DHCP		DHCP (IPv6) サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 この機能は、[IPv6] を [使用する] にしている場合に表示されます。 [使用する] に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IP アドレス (Stateful)] / プレフィックス長] に IP アドレスが表示されます。
DNSサーバー		DHCP を使って、IP アドレスの自動取得を行うかどうかを指定します。 設定値: 自動 (DHCP)、手動
IPアドレス		[DNSサーバー] で [手動] を設定した場合、プライマリおよびセカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
プライマリサーバー		プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを入力します。 設定値: 28 ビットのアドレスを、4 桁の 16 進数で構成される 8 つのグループで表現。コロン (:) で分割
セカンダリーサーバー		セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを入力します。 設定値: 28 ビットのアドレスを、4 桁の 16 進数で構成される 8 つのグループで表現。コロン (:) で分割

 重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源の OFF/ON が必要です。

➡ [\[ネットワークの再起動\] \(8-48\)](#)

[有線設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [有線設定]

有線ネットワークの設定を行います。

[TCP/IP設定]

項目		説明
TCP/IP		TCP/IPプロトコルを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
IPv4設定		TCP/IP (IPv4) でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[使用する]の場合、表示されます。
DHCP		DHCP (IPv4) サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
Auto-IP		Auto-IPを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
IPアドレス		IPアドレスを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレースアウトになり、入力できません。
サブネットマスク		サブネットマスクを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレースアウトになり、入力できません。
デフォルトゲートウェイ		デフォルトゲートウェイを入力します。 設定値: ###.###.###.###  参考 この機能は、DHCPを[使用する]にしている場合はグレースアウトになり、入力できません。
DNSサーバー		DHCPを使って、IPアドレスの自動取得を行うかどうかを指定します。 設定値: 自動(DHCP)、手動
IPアドレス		[DNSサーバー]で[手動]を設定した場合、プライマリーおよびセカンダリーDNSサーバーのIPアドレスを設定します。
プライマリーサーバー		プライマリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。 設定値: ###.###.###.###
セカンダリーサーバー		セカンダリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。 設定値: ###.###.###.###

 重要

- Auto IPを使用する場合、IPアドレス に0.0.0.0を設定してください。
- 設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

➡ [\[ネットワークの再起動\] \(8-48\)](#)

項目		説明
IPv6		TCP/IP (IPv6)でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[使用する]の場合、表示されます。
IPv6		IPv6を使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス (Link Local)]/プレフィックス長]にIPアドレスが表示されます。
手動設定		TCP/IP (IPv6)のIPアドレス、プレフィックス長、およびゲートウェイアドレスを手動で入力します。 設定値 IPアドレス (手動): 128ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグループで表現。コロン(:)で分割 プレフィックス長: 0~128 デフォルトゲートウェイ: 128ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグループで表現。コロン(:)で分割  参考 この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。 [デフォルトゲートウェイ]を入力する場合は、[RA (Stateless)]を[使用しない]に設定します。
RA (Stateless)		RA (Stateless)を使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。 [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス (Stateless)]/プレフィックス長]にIPアドレスが表示されます。
DHCP		DHCP (IPv6)サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する  参考 この機能は、[IPv6]を[使用する]にしている場合に表示されます。 [使用する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス (Stateful)]/プレフィックス長]にIPアドレスが表示されます。
DNSサーバー		DHCPを使って、IPアドレスの自動取得を行うかどうかを指定します。 設定値: 自動(DHCP)、手動
IPアドレス		[DNSサーバー]で[手動]を設定した場合、プライマリーおよびセカンダリーDNSサーバーのIPアドレスを設定します。
プライマリーサーバー		プライマリーDNSサーバーのIPアドレスをを入力します。 設定値: 28ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグループで表現。コロン(:)で分割
セカンダリーサーバー		セカンダリーDNSサーバーのIPアドレスをを入力します。 設定値: 28ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグループで表現。コロン(:)で分割

 重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

➡ [\[ネットワークの再起動\] \(8-48\)](#)

[LANインターフェイス]

項目	説明
LANインターフェイス	使用するLANインターフェイスを設定します。 設定値: 自動、10Base-Half、10Base-Full、100Base-Half、100Base-Full、1000BASE-T



重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

➡ [\[ネットワークの再起動\] \(8-48\)](#)

[Bonjour]

メニュー遷移: [システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [Bonjour]

項目	説明
プロトコル設定	Bonjourを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク (有線)	

[IPSec]

メニュー遷移: [システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [IPSec]

項目	説明
IPSec	IPSecを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する

[プロトコル設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [プロトコル設定]

プロトコルの設定を行います。

項目	説明
NetBEUI	—
プロトコル設定	NetBEUIを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考
利用可能なネットワーク (有線)	この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
LPD	—
プロトコル設定	LPDを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考
利用可能なネットワーク (有線)	この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
SMTP(メール送信)	SMTPを使用してメールを送信するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
POP3(メール受信)	POP3を使用してメールを受信するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
FTPクライアント(送信)	FTPを使用して文書を送信するかどうかを設定します。使用するには、本設定で[使用する]を選択してください。ポート番号の工場出荷時の値は21です。 設定値: 使用しない、使用する
FTPサーバー(受信)	—
プロトコル設定	FTPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考
利用可能なネットワーク (有線)	この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
SMBクライアント(送信)	SMBを使用して文書を送信するかどうかを設定します。使用するには、本設定で[使用する]を選択してください。ポート番号の工場出荷時の値は445です。 設定値: 使用しない、使用する

項目	説明
WSDスキャン	—
プロトコル設定	WSDスキャンを使用するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考
利用可能なネットワーク (有線)	この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
WSD印刷	—
プロトコル設定	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考
利用可能なネットワーク (有線)	この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
DSMスキャン	DSMスキャンを使用するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
LDAP	LDAPを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
SNMP	—
プロトコル設定	SNMPを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考
利用可能なネットワーク (有線)	この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
SNMPv3	—
プロトコル設定	SNMPv3を使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考
利用可能なネットワーク (有線)	この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。

項目	説明
HTTP	—
プロトコル設定	HTTPを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
有利用可能なネットワーク (有線)	
HTTPS	—
プロトコル設定	HTTPSを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1*2} 設定値: 使用しない、使用する
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
有利用可能なネットワーク (有線)	
IPP	—
プロトコル設定	IIPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。使用するには、本設定で[使用する]を選択し、「セキュリティ設定」の[SSL]で[使用しない]を選択してください。そして、Command Center RXからセキュリティ設定で[非セキュア (IPPSとIPP)]を選択してください。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する  参考 設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。
ポート番号	使用するポート番号を設定します。ポート番号の工場出荷時の値は631です。 設定値: 1—32767  参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
有利用可能なネットワーク (有線)	

項目	説明
IPP over SSL	SSLで保護されたIPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。使用するには、本設定で[使用する]を、「セキュリティ設定」の[SSL]で[使用する]を選択してください。ポート番号の工場出荷時の値は443です。^{*1*2} 設定値: 使用しない、使用する  参考 設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。
プロトコル設定	Raw Portを使用して文書を受信するかどうかを設定します。^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
ポート番号	使用するポート番号を設定します。ポート番号の工場出荷時の値は4000です。 設定値: 1—32767  参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
有利用可能なネットワーク (有線)	
Raw Port	—
プロトコル設定	Raw Portを使用して文書を受信するかどうかを設定します。^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
有利用可能なネットワーク (有線)	

項目	説明
ThinPrint	—
プロトコル設定	ThinPrintを使用するかどうかを設定します。使用するには、本設定で[使用する]を選択してください。 設定値: 使用しない、使用する  参考 この機能は、オプションのUG-33が起動されている場合に表示されます。
ポート番号	使用するポート番号を設定します。ポート番号の工場出荷時の値は4000です。 設定値: 1—32767  参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
Thin Print over SSL	Thin Print over SSLを使用するには、本設定で[使用する]を、「セキュリティ設定」の[SSL]で[使用する]を選択してください。 設定値: 使用しない、使用する  参考 設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
利用可能なネットワーク (有線)	

項目	説明
Enhanced WSD	—
プロトコル設定	弊社が独自に提供するWeb サービスを使用するかどうかを設定します。^{*1*2} 設定値: 使用しない、使用する  参考 [使用しない]を選択した場合、WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAXドライバーが使用できません。
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考
有利用可能なネットワーク (有線)	この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
Enhanced WSD over SSL	—
プロトコル設定	弊社が独自に提供するWeb サービスをSSL上で使用するかどうかを設定します。^{*1*2} 設定値: 使用しない、使用する  参考 [使用しない]を選択した場合、WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAXドライバーが使用できません。 設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考
有利用可能なネットワーク (有線)	この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
eSCL	eSCLを使用してスキャンした文書を受信するかどうかを設定します。^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
プロトコル設定	弊社が独自に提供するWeb サービスをSSL上で使用するかどうかを設定します。^{*1*2} 設定値: 使用しない、使用する  参考 設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考
有利用可能なネットワーク (有線)	この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。

項目	説明
eSCL over SSL	SSLで保護されたeSCLを使用してスキャンした文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1*2} 設定値: 使用しない、使用する
プロトコル設定	弊社が独自に提供するWeb サービスをSSL上で使用するかどうかを設定します。 ^{*1*2} 設定値: 使用しない、使用する  参考 設定が[使用する]の場合、SSLの証明書が必要です。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。
利用可能なネットワーク (Wi-Fi Direct)	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効、有効
利用可能なネットワーク (Wi-Fi)	 参考 この設定は、[プロトコル設定]を[使用する]にしている場合に表示されます。
有利用可能なネットワーク (有線)	

*1 デバイスまたはネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

*2 「セキュリティ設定」で[SSL]を[使用する]にしてください。

[セキュリティ設定]

メニュー遷移: [システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [セキュリティ設定]

項目	説明
SSL	通信にSSLを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する
IPPセキュリティ	IPPセキュリティレベルを設定します。[SSL]の設定が[使用する]の場合、表示されます。 設定値: IPP/IPP over SSL、IPP over SSLのみ
HTTPセキュリティ	HTTPセキュリティレベルを設定します。[SSL]の設定が[使用する]の場合、表示されます。 設定値: HTTP/HTTPS、HTTPSのみ
SMTPセキュリティ	SMTPサーバーがサポートしているセキュリティに合わせて、通信プロトコルを選択してください。「SMTP」の設定が[使用する]の場合、表示されます。 設定値: 使用しない、SSL/TLS、STARTTLS
POP3セキュリティ (ユーザー1)	POP3サーバーがサポートしているセキュリティに合わせて、通信プロトコルを選択してください。「POP3」の設定が[使用する]の場合、表示されます。 設定値: 使用しない、SSL/TLS、STARTTLS
POP3セキュリティ (ユーザー2)	
POP3セキュリティ (ユーザー3)	

[Ping]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [Ping]

項目	説明
Ping	送信先のホスト名またはIPアドレスを入力することで、送信先と通信ができるかどうかを確認します。  参考 この機能は、[送信機能のネットワーク]を[オプションネットワーク]に設定している場合は表示されません。

[ネットワークの再起動]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [ネットワークの再起動]

項目	説明
ネットワークの再起動	ネットワークを再起動します。

[プロキシ]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ネットワーク] > [プロキシ]

項目	説明
プロキシ	アプリケーションからインターネットへ接続するときのプロキシを設定します。 設定値 : 使用する、使用しない
同じプロキシを使用	すべてのプロトコルに同じプロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値 : 使用する、使用しない
HTTPプロキシサーバー	プロキシサーバー(HTTP)を設定します。 設定値 : (プロキシのアドレスとポート番号を入力します)
HTTPSプロキシサーバー	プロキシサーバー(HTTPS)を設定します。「すべてのプロトコルでこのプロキシを使用する」の設定が[使用しない]の場合に設定できます。 設定値 : (プロキシのアドレスとポート番号を入力します)
プロキシ未使用ドメイン	プロキシを使用しないドメインを設定します。 設定値 : (ドメインを入力します)

[オプションネットワーク]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [オプションネットワーク]

オプションのネットワークインターフェイスキットの設定を行います。

参考

このメニューは、オプションのネットワークインターフェイスキット (IB-50) または、ワイヤレスインターフェイスキット (IB-51) を装着している場合に表示されます。

[基本設定]

項目	説明
ホスト名	本機のホスト名を確認します。ホスト名の変更はCommand Center RXで行います。 ➡ デバイス情報を変更する (2-44)
TCP/IP設定	設定値は、次を参照してください。 ➡ [TCP/IP設定] (8-38) ➡ [IPSec] (8-40)
NetWare	NetWareを使用して文書を受信します。 ➡ ネットワークインターフェイスキットの使用説明書 設定値: 使用しない、使用する
AppleTalk	AppleTalkを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値: 使用しない、使用する
LANインターフェイス	LANインターフェイスを選択します。 ^{*1} 設定値: 自動、10Base-Half、10Base-Full、100Base-Half、100Base-Full、1000BASE-T  参考 この機能は、オプションのネットワークインターフェイスキットを装着している場合に表示されます。
MACアドレスフィルター	MACアドレスフィルターを使用するかどうかを設定します。 ➡ ネットワークインターフェイスキットの使用説明書 設定値: 使用しない、使用する
ネットワークの再起動	ネットワークを再起動します

*1 デバイスまたは本機のネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

[ワイヤレスネットワーク]

オプションのワイヤレスインターフェイスキットの設定を行います。



参考

この機能は、オプションのワイヤレスインターフェイスキット (IB-51) を装着している場合に表示されます。

項目	説明
接続の状態	オプションのワイヤレスインターフェイスキット (IB-51) が装着されている場合、無線 LAN の状態を確認できます。
簡単セットアップ	ワイヤレスネットワークの自動設定に対応したアクセスポイントに接続する場合は、簡単セットアップで接続設定ができます。
利用可能なネットワーク	接続可能なアクセスポイントを選択し、事前共有キーを入力すると接続を開始します。
プッシュボタン方式	アクセスポイントがプッシュボタン式に対応している場合、プッシュボタンを操作して無線設定を行うことができます。この設定でプッシュボタンを実行し、アクセスポイントのプッシュボタンを押して接続を開始します。 参考 プッシュボタン式はWPSのみに対応しています。
PINコード方式(本体)	本機のPINコードで接続を開始します。表示されたPINコードをアクセスポイントに入力してください。本機のPINコードは自動的に生成されます。
PIN方式(端末)	アクセスポイントのPINコードで接続を開始します。アクセスポイントのPINコードを入力してください。
カスタムセットアップ	無線LANの詳細設定を変更できます。
ネットワーク名(SSID)	本機を接続する無線LANのSSID (Service Set Identifier)を設定します。 参考 文字数は32 文字以内です。
接続モード	接続モードを設定します。 設定値: アドホック、インフラストラクチャー 参考 - アドホック: アクセスポイントを介せずに直接機器と通信します。2台以上の機器と接続はできません。 - インフラストラクチャー: アクセスポイントを介して通信を行います。
チャンネル	チャンネルを設定します。[-][+]またはテンキーで数値を入力してください。 設定値: 1~11
ネットワーク認証	ネットワーク認証の方式を選んでください。他の認証方式を選択する場合は、コンピューターからwebページにアクセスして設定してください。 設定値: オープンシステム、共有キー、WPA-PSK^{*1}、WPA2-PSK^{*1}
暗号化	暗号化方式を設定します。[無効]以外を設定した場合は、WEPキーまたは事前共有キーを入力してください。ネットワーク認証の方式により設定値が異なります。[データの暗号化]を選択してください。 ネットワーク認証の方式が[オープンシステム]または[共有キー]の場合 設定値: 無効、WEP ネットワーク認証の方式が[WPA-PSK]または[WPA2-PSK]の場合 設定値: TKIP^{*2}、AES、自動^{*2}、事前共有キー 参考 [WEP]を選択した場合、WEPキーを入力してください。文字数は26文字以内です。 [TKIP]、[AES]、または[自動]を選択した場合、事前共有キーを入力してください。文字数は8~64文字までです。

*1 「接続モード」で[アドホック]にしている場合は表示されません。

*2 「ネットワーク認証」で[WPA2-PSK]にしている場合は表示されません。

[優先ネットワーク(クライアント)]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [優先ネットワーク(クライアント)]

項目	説明
優先ネットワーク(クライアント)	本機がクライアント側として動作する送信機能や拡張アドレス帳の接続時に使用するネットワークインターフェイスを選択します。 設定値: Wi-Fi、有線、オプションネットワーク  参考 ・ [オプションネットワーク]はオプションのネットワークインターフェイスキット (IB-50)、またはオプションのワイヤレスインターフェイスキット (IB-51)を装着している場合に表示されます。 ・ Eメールは、標準ネットワーク (有線またはWi-Fi) とオプションネットワーク (IB-50またはIB-51) で、それぞれ個別に設定や使用ができます。

[インターフェイスブロック設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [インターフェイスブロック設定]

USBホストやオプションインターフェイスなど、外部機器とのインターフェイスをブロックして、本機を保護することができます。

項目	説明
USBホスト	USBポートおよびUSBポート (USBホスト) をブロックして保護します。 設定値: ブロックしない、ブロックする
USBデバイス	USBインターフェイスコネクタ (USBデバイス) をブロックして保護します。 設定値: ブロックしない、ブロックする
USBストレージ	USBメモリースロットをブロックして保護します。 設定値: ブロックしない、ブロックする  参考 この機能は、USBホストを[ブロックしない]にしている場合に設定できます。
オプションインターフェイス(スロット1)	オプションインターフェイスをブロックして保護します。 設定値: ブロックしない、ブロックする
オプションインターフェイス(スロット2)	 参考 この機能は、各オプションインターフェイスで設定できます。



重要

設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

➡ [\[再起動\] \(8-52\)](#)

[Bluetooth設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [Bluetooth設定]

項目	説明
Bluetoothキーボード	Bluetoothキーボードを使用します。 設定値: ブロックしない、ブロックする
デバイス検索	利用するキーボードを選択してください。

[セキュリティーレベル]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [セキュリティーレベル]

項目	説明
セキュリティーレベル	セキュリティーのレベルを設定します。 設定値 低い: メンテナンス時に使用します。通常は使用しないでください。 高い: 弊社が推奨するセキュリティー設定です。通常はこの設定を使用してください。 最高: [高い]の状態に加えて、外部のコマンドから本体の設定を変更できないようにします。  参考 この機能は機器管理者の権限でログインしたときのみ設定できます。 ➡ 新しいユーザーを登録する[ローカルユーザーリスト] (9-5)

[オプションメモリー使用量]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [オプションメモリー使用量]

項目	説明
オプションメモリー使用量	オプションのメモリーを装着しているときに、用途に応じてメモリーの配分パターンを選択します。 設定値: プリンター優先、標準、コピー優先

[再起動]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [再起動]

項目	説明
再起動	主電源スイッチを切ることなく、CPU を再起動することができます。本機の動作が不安定なときなどに実行してください(パソコンの再起動と同様です)。

[RAMディスク設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [RAMディスク設定]

 **参考**

この機能は、オプションのSSDを装着している場合は表示されません。

項目	説明
RAMディスク設定	RAMディスクを作成し、その容量を設定します。 RAMディスクを作成することによって、ジョブボックスからプリントデータを印刷することができます。 設定値 RAMディスク設定: 設定しない、設定する RAMディスクサイズ: 搭載されているメモリーのサイズやオプションメモリー使用量の設定によって設定範囲が変わります。

 **重要**

設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

➡ [\[再起動\] \(8-52\)](#)

[データセキュリティ]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [データセキュリティ]

SSDに保存されているデータに関する設定を行います。

項目	説明
SSDの初期化	セキュリティ機能の設定を変更します。  参考 - この機能は、SSDを装着し、オプションのセキュリティキットを起動している場合に表示されます。 - セキュリティ機能の設定を変更するには、セキュリティパスワードの入力が必要です。工場出荷時は000000となっています。
セキュリティパスワード	セキュリティパスワードを工場出荷時の値から変更して、管理者だけがセキュリティキットを操作できるようにします。 パスワードは6～16桁の英数字記号で入力してください。 確認のため、もう一度同じパスワードを入力する必要があります。  重要 セキュリティパスワードは11111111や12345678など推測されやすい番号の使用はできるだけ避けてください。
システムの初期化	SSDの内容を完全に消去することができます。本体の使用を中止するときなどに行ってください。  重要 初期化中に電源スイッチを切ると、SSDが破損し、初期化が完了しなくなるおそれがあります。  参考 途万一初期化中に電源スイッチを切ってしまった場合は、電源スイッチを入れ直してください。自動的に初期化が再開します。
セキュリティデータの完全消去	本機に登録されている次の情報を、工場出荷時に戻します。 - アドレス帳 - お気に入りデータ - システム設定 - ファクス送受信/転送データ - ファクス送受信履歴 - ユーザーボックス内のデータ - オプションアプリケーションデータ  参考 - ステータスページを印刷して、セキュリティデータが確実に消去されていることを確認してください。 → [レポート] (8-5) - 途中で処理を取り消すことはできません。 - この操作を行う前にモジュラーケーブルやネットワークケーブルなどを外してください。 - 消去中に電源を切らないでください。消去中に電源を切った場合、電源起動後に自動的に消去を実行しますが、完全な動作保証はできません。

消去される項目

分類	消去されるデータ
機器/ジョブ	• ユーザーが設定したジョブの設定値 • ネットワークの設定 • 文書ボックスなどに保存された画像データ • ワンタッチキーに登録されたデータ • ジョブの履歴 • ユーザー情報(ユーザーリスト、アドレス帳、ユーザーが登録した文書ボックスなど) • 部門管理の部門情報 • ネットワーク証明書 • サービス担当者が変更した本機の起動画面
ファクス*1	• ユーザーが設定したファクスの設定値 • 通信制限の設定 • 暗号鍵の設定 • 通信履歴 • 予約ジョブ • 条件付き受信/転送の設定
アプリケーション	• ユーザーやサービス担当者が登録したアプリケーション/プログラム • お試し機能

*1 オプションのファクスキット装着時のみ

OCR辞書のインストール

[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [OCR辞書のインストール]

項目	説明
OCR辞書のインストール	OCR辞書をインストールします。  参考 • 辞書データについては、購入元または弊社のサービス担当者にご連絡ください。 • OCR辞書をインストールするには、SSDまたはSD/SDHCメモリーカードの装着が必要です。 • SSDとSD/SDHCメモリーカードを装着している場合、OCR辞書はSSDへインストールされます。 • SD/SDHCメモリーカードを使用する場合は、32GBのSDHCメモリーカードを推奨します。

[オプション機能]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [オプション機能]

項目	説明
オプション機能	本機にインストールされているオプションのアプリケーションを使用できます。 ➡オプションのアプリケーションについて 12-9

[リモートサービス設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [リモートサービス設定]

項目	説明
リモートサービス設定	リモートサービスを使用するかどうかを設定します。 設定値: 使用しない、使用する

[ファクスサーバー設定]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [ファクスサーバー設定]

項目	説明
ファクスサーバー	ファクスサーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
アドレス設定	宛先につけるプレフィックス、サフィックスおよびドメイン名を設定します。  参考 ファクスサーバーの情報については、ファクスサーバーの管理者にお問い合わせください。
ファイル形式	ファイル形式の初期値を設定します。 設定値: PDF、TIFF、XPS
アドレス帳初期設定	使用する拡張アドレス帳を設定します。  参考 - ファクスサーバーで[設定する]を設定している場合に表示されます。 - 拡張アドレス帳が設定されていない場合は、表示されません。 → Command Center RX操作手順書

[NFC]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [システム/ネットワーク] > [NFC]

項目	説明
NFC	NFC(近距離通信)を使用します。 設定値: 使用しない、使用する

[日付/タイマー/節電]

メニュー遷移:[システムメニュー/カウンター]キー > [日付/タイマー/節電] 日付や時間に関する設定を行います。

項目	説明
日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。本機の送信機能でメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。 設定値: 年(2000～2037)、月(1～12)、日(1～31)、時(00～23)、分(00～59)、秒(00～59) ➡ 日付と時刻を設定する (2-12)  参考 日付設定を変更すると、オプションやアプリケーションをお試しで 사용할 ことができなくなります。
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 設定値: 月/日/年、日/月/年、年/月/日
時差	GMT(世界標準時)からの時差を設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した場合は、サマータイムの設定を行ってください。 ➡ 日付と時刻を設定する (2-12)
オートパネルリセット	オートパネルリセットは、一定時間操作がないと、設定内容が自動的にリセットされて初期値に戻る機能です。ここでは、オートパネルリセットを使用するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する  参考 リセットされるまでの時間は、次を参照してください。 ➡ パネルリセット時間 (8-57)
パネルリセット時間	オートパネルリセットを設定した場合は、操作終了後リセットされるまでの時間を設定できます。 設定値: 5～495秒(5秒単位)  参考 この機能は、[オートパネルリセット]を[設定する]にしている場合に表示されます。
低電力モード時間	低電力モードに入る時間を設定します。 設定値: 1～240分(1分単位) ➡ 低電力モードとは (2-22)
スリープレベル ^{*1}	スリープレベルを設定します。 節電優先を設定すると、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えることができます。 設定値: 復帰優先、節電優先
節電優先	次の機能別に、節電優先を使用するかどうかを設定します。 - ICカードリーダー接続時^{*2} - ファクス接続時^{*3} - アプリケーション起動時 設定値: 使用しない、使用する  参考 節電優先のスリープモードに入ると、USBケーブルで接続したパソコンから印刷データを受信しても、本機はスリープモードから復帰しません。また、ICカードも認識しません。

項目	説明
スリープ時間	スリープに入る時間を設定します。 設定値: 1～240分(1分単位) ➡ スリープとは (2-23)
節電復帰レベル	節電状態からの復帰方法を設定します。 設定値: 全体復帰: すべての機能をすぐに使えるよう復帰するモードです。 ただし、節電効果は低いです。 通常復帰: すべての機能をすぐに使えるよう復帰するか、使用したい機能のみ使えるよう復帰するか、操作に応じて使い分けができるモードです。 すべての機能をすぐに使いたい場合は、[節電]キーを押すと復帰します。 省電力復帰: 使用したい機能のみ使えるよう復帰するモードです。節電効果が一番高いです。
エラー後自動継続	処理中にエラーが発生すると、通常は処理が停止してユーザーによる対処を待ちます。エラー後自動継続は、エラー発生後一定時間が経過すると、自動で処理を再開する機能です。 設定値: 設定しない、設定する  参考 セットされるまでの時間は、次の項目を参照してください。
エラー後自動継続時間	エラー後の自動継続を設定した場合、印刷を再開するまでの時間を設定します。 設定値: 5～495秒(5秒単位)  参考 この機能は、[エラー後自動継続]を[設定する]にしている場合に表示されます。
割り込み解除時間	割り込みコピーモードにして何も操作しないときの、通常モードに戻るまでの時間を設定します。 設定値: 5～495秒(5秒単位)
使用禁止時間 ^{*3}	➡ ファクス使用説明書
Pingタイムアウト時間	「システム/ネットワーク」の[Ping]を実行した場合、タイムアウトになるまでの時間を設定します。 設定値: 1～30秒(1秒単位)

*1 オプションのネットワークインターフェイスキットを装着している場合は表示されません。

*2 オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。

*3 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

[調整/メンテナンス]

メニュー遷移:[システムメニュー]キー>[調整/メンテナンス]

印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。

項目	説明
濃度調整	濃度を全体的にこく、またはうすくします。
コピー	コピーの濃度を全体的にこく、またはうすくします。7段階で調整します。 設定値:-3(うすく)、-2、-1、0(ふつう)、+1、+2、+3(こく)
送信/ボックス	送信および文書ボックスに保存するときの読み込み濃度を、全体的にこく、またはうすくします。7段階で調整します。 設定値:-3(うすく)、-2、-1、0(ふつう)、+1、+2、+3(こく)
ファクス ^{*1}	➡ ファクス使用説明書
シャープネス調整	画像の輪郭の強弱を調整します。
コピー	コピー時の画像の輪郭を全体的に強く、または弱くします。7段階で調整します。 設定値:-3(弱く)、-2、-1、0、+1、+2、+3(強く)
送信/ボックス	送信および文書ボックスに保存するときの画像の輪郭を全体的に強く、または弱くします。7段階で調整します。 設定値:-3(弱く)、-2、-1、0、+1、+2、+3(強く)
コントラスト	コントラストを全体的に高く、または低くします。
コピー	コピーのコントラストを全体的に高く、または低くします。 設定値:-3(低く)、-2、-1、0(ふつう)、+1、+2、+3(高く)
送信/ボックス	送信および文書ボックスに保存するときのコントラストを全体的に高く、または低くします。 設定値:-3(低く)、-2、-1、0(ふつう)、+1、+2、+3(高く)
地色調整	地色調整を全体的にこく、またはうすくします。
コピー(自動)	コピー時の地色調整を全体的にこく、またはうすくします。7段階で調整します。 設定値:-3(うすく)、-2、-1、0(ふつう)、+1、+2、+3(こく)
送信/ボックス(自動)	送信および文書ボックスに保存するときの地色調整を、全体的にこく、またはうすくします。7段階で調整します。 設定値:-3(うすく)、-2、-1、0(ふつう)、+1、+2、+3(こく)
トナー節約レベル(エコプリント)	トナー節約レベル(エコプリント)の初期値を選択します。
コピー	コピー時のトナー節約レベル(エコプリント)の初期値を選択します。 設定値:1(低い)~5(高い) レベルを上げるとトナーの消費を抑えられますが、画質は悪くなります。
プリンター	プリンター使用時のトナー節約レベル(エコプリント)の初期値を選択します 設定値:1(低い)~5(高い) レベルを上げるとトナーの消費を抑えられますが、画質は悪くなります。
印刷濃度	印刷濃度を全体的にこく、またはうすくします。 設定値:1(うすく)、2、3(ふつう)、4、5(こく)
自動カラー判別基準	自動カラーモード時のカラー原稿と白黒原稿の判別レベルを調整できます。数値を小さくするとカラー原稿と判別されることが多くなり、数値を大きくすると白黒原稿と判別されることが多くなります。 設定値:1(カラー)、2、3、4、5(白黒)

項目	説明
黒筋軽減処理	原稿送り装置を使用して読み込んだ画像にすじ（原稿にない線状の汚れ）が発生した場合、このすじを目立たないようにします。 設定値: 設定しない、設定する
画面の明るさ	タッチパネルの明るさを調整します。 設定値: 1（暗く）、2、3、4、5（明るく）
階調調整	長期間の使用や、周辺の温度や湿度の影響で、印刷の色合いにズレが生じる場合があります。 原稿と印刷された画像の色合いが異なる場合は、この機能を使って補正することができます。 → 階調調整を実行する（11-23）
ドラムリフレッシュ1	印刷された画像の流れたようにじみや白点を改善します。約1、2分かかります。所要時間は使用環境により異なる場合があります。 → ドラムリフレッシュ1を実行する（11-24）  参考 印刷中にドラムリフレッシュ1は実行できません。印刷が終了してから実行してください。
ドラムリフレッシュ2	印刷された画像の白点を改善します。約100秒かかります。ドラムリフレッシュ2を実行するときは、手差しトレイにA3またはLedgerの用紙をセットしてください。 ドラムリフレッシュ2を実行すると、本体より振動音がします。その後、約100秒後に用紙を排出してドラムリフレッシュを終了します。排出された用紙はトナーで汚れていますが、異常ではありません。 → ドラムリフレッシュ2を実行する（11-24）  参考 印刷中にドラムリフレッシュ2は実行できません。印刷が終了してから実行してください。
自動ドラムリフレッシュ	自動ドラムリフレッシュの実行時間を設定します。 設定値: 設定しない: 自動ドラムリフレッシュを実行しません。 短い: 自動ドラムリフレッシュが実行される時間を短くします。 標準: 自動ドラムリフレッシュが実行される時間を標準にします。 長い: 自動ドラムリフレッシュが実行される時間を長くします。
サービス設定	本機の保守・点検を行います。主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。

*1 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

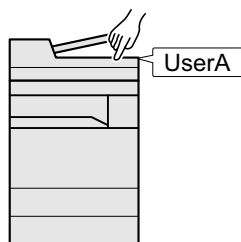
9 ユーザー認証、集計管理 (ユーザー管理、部門管理)

この章では、次の項目について説明します。

ユーザー管理とは	9-2
パソコンからユーザーを管理する	9-2
ユーザー管理を有効にする	9-3
ユーザー管理の設定	9-4
認証セキュリティを設定する	9-4
新しいユーザーを登録する[ローカルユーザーリスト]	9-5
ユーザー情報を変更する	9-9
印刷するユーザーを管理する	9-12
TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理する	9-13
WIAを使ってスキャンするユーザーを管理する	9-14
パソコンからファクスを送信するユーザーを管理する	9-15
ローカルユーザー認可を設定する	9-16
グループ認可を設定する	9-17
ゲスト認可を設定する	9-19
ネットワークユーザー情報を取得する	9-22
簡単ログイン設定とは	9-24
ICカード認証方法を設定する	9-27
PINコード認証を設定する	9-28
ユーザー管理を使う	9-29
ログイン/ログアウトをする	9-29
部門管理とは	9-30
部門管理を有効にする	9-31
部門管理方式を設定する	9-31
管理する部門を設定する[ローカル]	9-32
部門を新規に登録する[部門リスト]	9-32
使用制限を設定する	9-33
制限枚数超過時の処理を設定する	9-34
部門情報を編集する	9-35
部門を削除する	9-36
部門の印刷状況を管理する	9-36
TWAINを使ったスキャンジョブを管理する	9-38
WIAを使ったスキャンジョブを管理する	9-39
パソコンから送信したファクスジョブを管理する	9-40
部門管理を利用する	9-41
部門管理の初期設定をする	9-41
用紙サイズ別に集計する	9-42
使用枚数を集計する	9-43
部門レポートを印刷する	9-45
コピー/プリンターのカウント方法を設定する	9-46
ログイン/ログアウトする(部門管理)	9-47
不明ユーザー処理方法を設定する	9-48
ID不明ジョブ処理を設定する	9-48
ID不明ユーザーのユーザー情報を登録する	9-48

ユーザー管理とは

ユーザー管理は、本機を使用できるユーザーを特定し、使用者を管理することができる機能です。入力されたログインユーザー名とパスワードがあらかじめ登録されたものと一致すれば、ユーザーが認証され、本機へのログインができます。



- 1 ユーザー管理を有効にする ([9-3](#))
- 2 ユーザーを設定する ([9-4](#))
- 3 ログインユーザー名とパスワードを入力してジョブを実行する ([3-16](#))

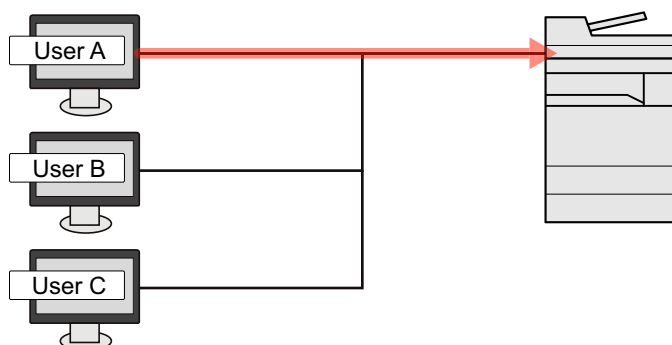
ユーザーは、その権限によって「ユーザー」と「管理者」および「機器管理者」に分けられます。セキュリティレベルの設定は、機器管理者だけが変更できます。

パソコンからユーザーを管理する

パソコンから本機を使用するユーザーを管理するには、次の設定が必要です。

パソコンから印刷するユーザーを管理する

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理するには、プリンタードライバの設定が必要です。



- 1 プリンタードライバでユーザー管理を設定する ([9-12](#))
- 2 印刷する

TWAINを使ってスキャンするユーザー

TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理するには、パソコンでTWAINドライバの設定が必要です。

➡ [TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理する \(9-13\)](#)

WIAを使ってスキャンするユーザー

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理するには、パソコンでWIAドライバの設定が必要です。

➡ [WIAを使ってスキャンするユーザーを管理する \(9-14\)](#)

パソコンからファクスを送信するユーザー

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理するには、パソコンでFAXドライバの設定が必要です。

➡ [パソコンからファクスを送信するユーザーを管理する \(9-15\)](#)

ファクス機能は、オプションのファクスキットが必要です。

ユーザー管理を有効にする

ユーザー管理を有効にします。ユーザーの認証方法を次から選択してください。

項目	詳細
ローカル認証	本機内のローカルユーザーリストに登録されたユーザー情報でユーザーを認証します。
ネットワーク認証	認証サーバーを使用してユーザーを認証します。認証サーバーに登録されているユーザー情報でログインしてください。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [ユーザー管理設定] > [ユーザー管理]

2 設定する

- 1 [ローカル認証]または[ネットワーク認証]を選択します。

ユーザー管理を無効にする場合は[設定しない]を選択します。

[ネットワーク認証]を選択した場合は、サーバータイプを[NTLM][Kerberos]または[Ext.]から選択してください。また、認証サーバーのホスト名(64文字以内)とドメイン名(256文字以内)を入力してください。

サーバータイプで[Ext.]を選択した場合は、ポート番号を入力します。

参考

「ドメイン名」を選択するとドメイン入力画面が表示されます。ドメイン名を入力してください。

登録可能ドメイン名:10件まで

- 2 「新しい機能をホーム画面に登録しますか?」が表示されます。新しい機能をホーム画面に表示させたい場合は[はい]を選択して、アイコンを表示させたい位置を指定します。

➡ [ホーム画面を編集する \(3-8\)](#)

参考

ログインユーザー名とパスワードが認証されないとき、以下の設定を確認してください。

- 本機のネットワーク認証の設定
- 認証サーバーのユーザープロパティ
- 本機と認証サーバーの時刻設定

本機の設定でログインできない場合、ローカルユーザーリストに登録されている管理者でログインし、設定を修正してください。

ユーザー管理の設定

ここでは、認証セキュリティの設定、ユーザーの登録/変更/削除、ユーザー管理手順などを説明します。

認証セキュリティを設定する

ユーザー認証が有効な場合に、ユーザー認証のセキュリティに関する設定を行います。

ユーザーアカウントロックアウトを設定する

ログイン時にパスワードを連続して間違えて入力した場合に、そのユーザー名でのログインを禁止する設定を行います。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

 **参考**

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [ユーザー管理設定] > [ユーザーアカウントロックアウト設定]

2 ユーザーアカウントロックを登録する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
ロックアウト	アカウントロックアウトポリシーを有効にするかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
ロックアウトポリシー	アカウントロックアウトが適用される条件と適用する範囲を設定します。 設定値 ロックまでの回数: 何回ログインに失敗するとロックされるのかを設定します。(1～10回) ロックアウト期間: ロックが解除されるまでの時間を設定します。(1～60分) ロックアウト対象: アカウントロックアウトを適用する範囲を設定します。[リモートログインのみ]と[すべて]から選択できます。リモートログインのみは操作部以外からの操作をすべてロックします。
ロックされているユーザーのリスト	ロックされているユーザーがリストに表示されますので、ロックを解除するユーザーを選択し、[ロック解除]を選択すると、選択したユーザーのロックを解除します。  参考 アカウントロックアウトポリシーを有効にしたときに表示されます。

新しいユーザーを登録する[ローカルユーザーリスト]

新しいユーザーを登録します。



参考

- 登録可能なユーザー数(ログインユーザー名の初期値を含む): 100人まで
- 工場出荷時は、機器管理者の権限を持つデフォルトユーザーと管理者の権限を持つデフォルトユーザーが各1人登録されています。各デフォルトユーザーのユーザー情報は次のとおりです。(大文字・小文字は区別されません。)

機器管理者

ユーザー名: DeviceAdmin

ユーザー名(フリガナ): DeviceAdmin

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

アクセスレベル: 機器管理者

管理者

ユーザー名: Admin

ユーザー名(フリガナ): Admin

ログインユーザー名: Admin

ログインパスワード: Admin

アクセスレベル: 管理者

ユーザー名、ログインユーザー名、ログインパスワードはセキュリティ保護のため、定期的に変更することをお勧めします。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [ユーザー管理設定] > [ローカルユーザーリスト] > [+]

2 ユーザー情報を入力する

[次へ>]を選択します。

登録する項目は次のとおりです。

項目	説明
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。
ユーザー名(フリガナ)	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。
ログインユーザー名	ログインのときに入力するログインユーザー名を、64文字以内で入力します。ログインユーザー名は重複して登録することはできません。
アクセスレベル	ユーザーの権限を、「管理者」または「ユーザー」から選択します。



参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

▶ [文字の入力\(12-12\)](#)

3 ユーザー情報を確認する

必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

項目	説明
ユーザー名 ^{*1}	ユーザーリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。
ユーザー名(フリガナ) ^{*1}	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。
ログインユーザー名 ^{*1}	ログインのときに入力するログインユーザー名を、64文字以内で入力します。ログインユーザー名は重複して登録することはできません。
ログインパスワード	ログインのときに入力するパスワードを、64文字以内で入力します。確認画面で、新しいパスワードをもう一度入力して、[OK]を選択してください。
部門名	ユーザーが所属している部門を登録することができます。所属部門を登録したユーザーでログインすると、部門コードを入力する必要がなくなります。 → 部門管理とは (9-30)  参考 [メニュー] > [検索(フリガナ)]または[部門コード検索]を選択すると、フリガナや部門コードで検索ができます。 [メニュー] > [表示順(フリガナ)]または[表示順(ID)]選択すると、部門名の並べ替えができます。
メールアドレス	ユーザーのメールアドレスが登録できます。メール送信を使用する場合は登録してください。登録されたアドレスはメール機能が必要とされる動作のとき自動的に選択されます。
アクセスレベル ^{*1}	ユーザーの権限を、「管理者」または「ユーザー」から選択します。
ICカード情報	ICカードの情報を登録します。ICカードリーダーにICカードをおいて、[読み取り]を選択してください。  参考 この機能は、オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。 → ICカード認証キット(B)<ICカード認証キット> (12-3)

*1 ユーザー登録のときの必須項目です。

項目	説明
マイパネル	ユーザーごとに言語選択と初期画面、ショートカットの設定を登録します。ここで登録しておけば、ログインするだけで設定が適用されます。
ローカル認可 ^{*1}	ユーザーごとに使用制限を設定します。 使用制限できる項目は次のとおりです。 プリンター制限: プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 • ボックスからの印刷 • 外部メモリーからの印刷 • パソコンからの印刷 コピー制限: コピーの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 両面制限: 両面印刷のみを許可するかどうか設定します。 集約制限: ページ集約の印刷のみを許可するかどうか設定します。 エコプリント制限: エコプリントのみ許可するかどうか設定します。 送信制限: 送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ファクス送信制限^{*2}: ファクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ボックス保存制限: ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 外部メモリー保存制限: 外部メモリー保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。

*1 ローカルユーザー認可を有効にしたときに表示されます。

➡ [ローカルユーザー認可を設定する \(9-16\)](#)

*2 オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

マイパネルの初期画面で[送信]を選択した場合は、表示する画面を[宛先]、[アドレス帳]または[拡張アドレス帳]のいずれかから選択してください。

4 [登録]を選択する

ローカルユーザーリストに新しいユーザーが追加されます。

参考

簡単ログインを設定している場合、新規登録が完了したときに簡単ログインの設定を行うかどうかの確認画面が表示されます。簡単ログインを設定する場合は[はい]を選択してください。[いいえ]を選択するとユーザーリスト画面に戻ります。

簡単ログインの設定方法については、次を参照してください。

➡ [簡単ログイン設定とは \(9-24\)](#)

ユーザー情報を変更する

ユーザー情報を変更できます。変更できる内容は、ログインしているユーザーの権限によって異なります。

参考

機器管理者のユーザー情報を変更する場合は、機器管理者の権限でログインしてください。その他のユーザーでログインした場合は、ユーザー情報の参照しかできません。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

「管理者」の権限を持つユーザーでログインする

ユーザー情報の変更やユーザーの削除ができます。登録できるすべての項目を変更できます。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [ユーザー管理設定] > [ローカルユーザーリスト]

2 ユーザー情報を変更する

ユーザー情報を変更する場合

- 1 ユーザー情報を変更するユーザーの[]を選択します。



参考

- ・ [メニュー] > [表示順(フリガナ)]または[表示順(ログインユーザー名)]を選択すると、ユーザーリストの並び替えができます。
- ・ [メニュー] > [検索(フリガナ)]または[検索(ログインユーザー名)]を選択すると、フリガナやログイン名で検索ができます。

- 2 ユーザーの新規登録の手順3を参照して、ユーザー情報を変更します。

➡ [新しいユーザーを登録する「ローカルユーザーリスト」\(9-5\)](#)

- 3 [登録] > [はい]

ユーザー情報が変更されます。

ユーザーを削除する場合

- 1 削除するユーザーを選択します。

- 2 [🗑️] > [はい]を選択します。

ユーザーが削除されます。



参考

工場出荷時に登録されている、「管理者」の権限を持つデフォルトユーザーは削除できません。

ログインしているユーザーのユーザー情報を変更する(ユーザー情報)

ユーザー自身のユーザー情報を一部変更できます。

1 画面を表示する

[システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー情報]

2 ユーザー情報を変更する

必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

➡ [新しいユーザーを登録する\[ローカルユーザーリスト\] \(9-5\)](#)

項目	説明
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を変更します。32文字まで入力できます。
ユーザー名(フリガナ)	ユーザー名のフリガナを変更します。32文字まで入力できます。
ログインユーザー名	ログインのときに入力するログインユーザー名を参照します。
ログインパスワード	ログインのときに入力するパスワードを変更します。64文字まで入力できます。
部門名	ユーザーが所属している部門を参照します。
メールアドレス	ユーザーのメールアドレスを変更します。128文字まで入力できます。  参考 ユーザー権限でログインし、[新規宛先の入力]が[禁止する]に設定されている場合は、メールアドレスの確認のみできます。
アクセスレベル	ユーザーの権限を参照します。
認可情報	ログインしているユーザーに設定されている使用制限を参照します。  参考 この機能は、ローカル認可を[設定する]、またはグループ認可設定が[設定する]、またはゲスト認可設定が[設定する]の場合に表示します。 [部門管理]で、ログインしているユーザーに設定されている部門名および部門に設定されている使用制限を参照します。 この機能は、部門管理が[設定する]の場合に表示されます。 ➡ 部門管理を有効にする (9-31)
ICカード情報	ログインしているユーザーのICカード情報を参照します。  参考 この機能は、オプションのICカード認証キットを起動している場合に表示されます。 ➡ ICカード認証キット(B)<ICカード認証キット> (12-3) この機能は、ネットワーク認証のサーバータイプで[Ext.]を選択していて、そのタイプのサーバーで管理されているユーザーでログインした場合は表示されません。
簡単ログイン	簡単ログインを設定している場合は、内容を変更します。  参考 この機能は、簡単ログインが[設定しない]、または簡単ログインに登録していない場合は表示されません。
マイパネル	ユーザーごとに言語選択と初期画面、ショートカットを登録します。ここに登録しておけば、ログインするだけで設定が適用されます。

3 [登録]を選択します。

ユーザー情報が変更されます。

TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理する

TWAINを使ってスキャンするユーザーを管理するには、TWAINドライバで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1を例に説明します。

1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「TWAIN Driver Setting」と入力します。検索された一覧の中から[TWAIN Driver Setting]を選択します。TWAINドライバ設定画面が表示されます。

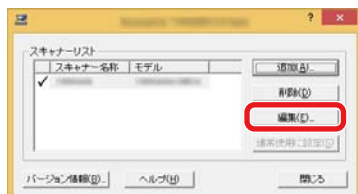
参考

Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [すべてのプログラム] > [Kyocera] > [TWAIN Driver Setting]を選択してください。

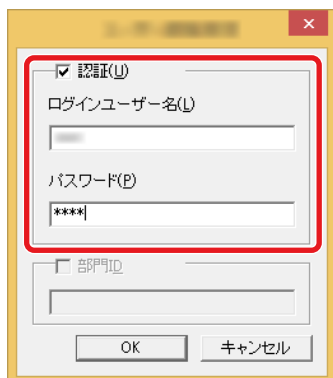
- 2 本機を選択し、[編集]をクリックします。

2 設定する

- 1 [ユーザー認証設定]をクリックします。



- 2 [認証]を選択して、ログインユーザー名とパスワードを入力します。



- 3 [OK]をクリックします。

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理する

WIAを使ってスキャンするユーザーを管理するには、WIAドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1を例に説明します。

1 画面を表示する

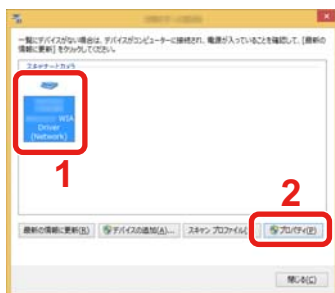
- 1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「スキャナーとカメラの表示」と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。



参考

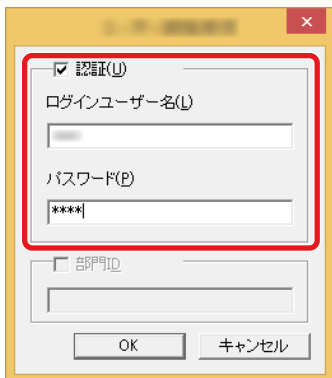
Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラムとファイルの検索]欄に[スキャナー]と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

- 2 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。



2 設定する

- 1 [設定]タブの[認証]を選択して、ログインユーザー名とパスワードを入力します。



- 2 [OK]をクリックします。

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理する

パソコンからファクスを送信するユーザーを管理するには、FAXドライバーで次の設定が必要です。ここでは、Windows 8.1を例に説明します。

1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[設定] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示]を選択します。

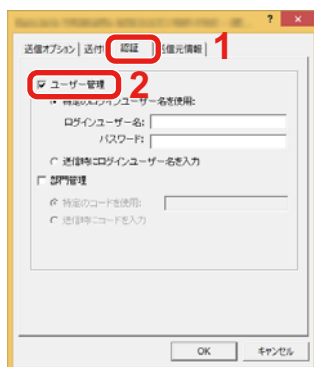
参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]を選択します。

- 2 本機のFAXドライバーのアイコンを右クリックして、[印刷設定]メニューをクリックします。
- 3 [ファクス設定]タブの[ファクス送信設定]をクリックします。

2 設定する

- 1 [認証]タブの[ユーザー管理]を選択します。



- 2 ユーザー管理を設定します。

[特定のログインユーザー名を使用]: 特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべてのファクスジョブに対して同じユーザーログインを使用します。この設定が選択されていると、ファクスジョブごとにユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。

[送信時にログインユーザー名を入力]: 送信時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名とパスワードは、送信するたびに入力する必要があります。

- 3 [OK]をクリックします。

ローカルユーザー認可を設定する

ローカル認可を使用するかどうかを設定します。



ローカル認可を使用する場合は、ユーザー認証方法を[ローカル認証]に設定する必要があります。

➡ [ユーザー管理を有効にする \(9-3\)](#)

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [ユーザー管理設定] > [ローカルユーザー認可]

2 設定する

[設定しない]または[設定する]を選択します。

グループ認可を設定する

認証サーバーに登録されたグループごとに本機の使用制限を設定します。

参考

グループ認可設定を使用する場合は、「ユーザー管理設定」でユーザーの認証方法を[ネットワーク認証]に設定する必要があります。また、「プロトコル設定」で、「LDAP」を「使用する」に設定してください。

➡ [ユーザー管理を有効にする \(9-3\)](#)

➡ [LDAP \(8-42\)](#)

グループ認可設定を有効にする

グループ認可設定を有効にします。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 「ユーザー管理設定」>「グループ認可設定」>「グループ認可」

2 設定する

[設定しない]または[設定する]を選択します。

グループリストに登録する

本機の使用を制限するグループに登録します。グループリストに登録したグループに属さないユーザーやグループは、すべて「その他」になります。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

2 [ユーザー管理設定] > [グループ認可設定] > [グループリスト] > [+]



2 設定する

- 1 グループIDを入力(1~4294967295の範囲) > [次へ>]
- 2 グループ名を入力(32文字以内) > [次へ>]
- 3 必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

項目	詳細
グループID*1	グループリストに表示されるIDを、1~4294967295までの最大10桁で入力します。
グループ名	グループリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。
アクセスレベル	グループ制限を、[管理者]または[ユーザー]から選択します。
プリンター制限	プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。
コピー制限	コピーの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。
両面制限	両面印刷のみを許可するかどうか設定します。
集約制限	ページ集約の印刷のみを許可するかどうか設定します。
エコプリント制限	エコプリントのみ許可するかどうか設定します。
送信制限	送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。
ファクス送信制限*2	ファクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。
ボックス保存制限	ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。
外部メモリー保存制限	外部メモリー保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。

*1 「グループID」は、WindowsのActive Directoryでユーザーに割り当てているPrimaryGroupIDを設定してください。Windows Server 2008では、ユーザーのプロパティ画面の属性エディタタブで確認できます。

*2 オプションのファクスキットを装着装着している場合に表示されます。

 **参考**

文字の入力方法は、次を参照してください。

[▶文字の入力\(12-12\)](#)

- 3 アクセスレベルを選択 > [次へ>]
- 4 内容を確認します。必要に応じて、情報の変更・追加ができます。
- 5 登録する

[登録]を選択します。

グループリストに新しいグループが追加されます。

ゲスト認可を設定する

ユーザー管理が有効のとき、本機にログインできないゲストユーザーが使用できる機能を設定します。

参考

ゲスト認可設定を使用する場合は、「ユーザー管理設定」でユーザー管理を有効に設定する必要があります。

➡ [ユーザー管理を有効にする \(9-3\)](#)

ゲスト認可設定を有効にする

ゲスト認可設定を有効にします。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 「ユーザー管理設定」>「ゲスト認可設定」>「ゲスト認可」

2 設定する

[設定する]または[設定しない]を押します。

参考

ゲスト認可設定を有効にした場合、ログイン時に[認証／ログアウト]キーを選択する必要があります。

ゲストユーザーの初期設定では、モノクロコピーしか使用できません。それ以外の機能を使用したいときは、使用する機能の制限がないユーザーでログインするか、ゲストプロパティで設定を変更してください。

ゲストプロパティを設定する

ゲストユーザーの情報と制限する機能を設定します。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 「ユーザー管理設定」>「ゲスト認可設定」>「ゲストプロパティ」

2 設定する

必要に応じて、情報の変更・追加ができます。

項目	詳細
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を、32文字以内で入力します。 初期設定は「Guest User」です。
ユーザー名(フリガナ)	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。 初期設定は「Guest User」です。
アクセスレベル	ユーザーの権限が表示されます。変更はできません。
部門名	ユーザーが所属している部門を登録することができます。 部門に所属していない場合は、[その他]を選択してください。
認可情報	制限する機能を設定します。 制限できる項目は次のとおりです。 プリンター制限: プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 • ボックスからの印刷 • 外部メモリーからの印刷 コピー制限: コピーの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 両面制限: 両面印刷のみを許可するかどうか設定します。 集約制限: ページ集約の印刷のみを許可するかどうか設定します。 エコプリント制限: エコプリントのみ許可するかどうか設定します。 送信制限: 送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ファクス送信制限^{*1}: ファクス送信機能を使用禁止にするかどうか設定します。 ボックス保存制限: ボックス保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。 外部メモリー保存制限: 外部メモリー保存機能を使用禁止にするかどうか設定します。

^{*1} オプションのファクスキットを装着装着している場合に表示されます。

3 登録する

[登録]を選択します。

ネットワークユーザー情報を取得する

LDAPサーバーからユーザー情報を取得するために必要な項目を設定します。この設定で取得されたユーザー名やメールアドレスは、ユーザー情報、状況確認画面やメールのヘッダーに表示されます。



参考

LDAPサーバーからネットワークユーザー情報を取得する設定を行うには、「ユーザー管理設定」でユーザーの認証方法を[ネットワーク認証]に設定する必要があります。また、「プロトコル設定」で、「LDAP」を[使用する]に設定してください。

➡ [ユーザー管理を有効にする \(9-3\)](#)

➡ [LDAP \(8-42\)](#)

1 画面を表示する

1 [システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

2 [ユーザー管理設定] > [ネットワークユーザー情報の取得] > [設定する]

2 設定する

各項目を設定 > [OK]

項目	詳細
サーバー名 ^{*1}	LDAPサーバーのサーバー名またはIPアドレスを64文字以内で入力します。サーバー名を入力しない場合、ネットワーク認証で設定しているサーバーからユーザー情報を取得します。
ポート	LDAPサーバーのポート番号です。ポート番号の工場出荷時の値は389です。
名前1 ^{*2}	LDAPサーバーから表示するユーザー名を取得する際のLDAPアトリビュートを32文字以内で入力します。
名前2 ^{*3}	
メールアドレス ^{*4}	LDAPサーバーからメールアドレスを取得する際のLDAPアトリビュートを128文字以内で入力します。
認証方式 ^{*5}	認証方式を設定します。[簡易認証]または[SASL]のどちらかを選択してください。設定変更後にシステムの再起動を行うか、電源のOFF/ONを行ってください。
検索タイムアウト時間	タイムアウトするまでの時間を5～255秒の秒単位で入力します。
LDAPセキュリティ(ユーザー情報)	接続するLDAPサーバーがサポートしているセキュリティに合わせて、タイプを変更する場合は選択します。設定値は[使用しない]、[SSL/TLS]または[STARTTLS]です。

^{*1} WindowsのActive Directoryの場合、通常はネットワーク認証で設定したサーバー名と同じです。

^{*2} WindowsのActive Directoryの場合、通常は属性のdisplayNameを使用します。

^{*3} 「名前2」は省略できます。「名前1」にdisplayName、「名前2」にdepartmentを設定し、WindowsのActive Directoryの値が

displayName=山田 太郎、department=営業部の場合、ユーザー名は「山田 太郎 営業部」と表示します。

*4 WindowsのActive Directoryの場合、通常は属性のmailを使用します。

*5 「ネットワーク認証」でサーバータイプを「Kerberos」に設定している場合に表示されます。

簡単ログイン設定とは

簡単ログインは、ユーザーを選択するだけでログインできる機能です。ユーザーはあらかじめ登録しておく必要があります。

参考

- ユーザーの登録は、次を参照してください。
 - ▶ [新しいユーザーを登録する「ローカルユーザーリスト」\(9-5\)](#)
- 簡単ログインを使用する場合は、「ユーザー管理設定」でユーザー管理を有効に設定する必要があります。
 - ▶ [ユーザー管理を有効にする \(9-3\)](#)
- ゲスト認可を有効にした場合、簡単ログイン画面は表示されません。

簡単ログイン設定を有効にする

簡単ログイン設定を有効にするかどうかを設定します。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [ユーザー管理設定] > [簡単ログイン設定] > [簡単ログイン]

2 設定する

[設定する]または[設定しない]を押します。

簡単ログインキーを登録する

簡単ログインを使用するユーザーを登録します。ユーザーは20人まで登録できます。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

2 [ユーザー管理設定] > [簡単ログイン設定] > [簡単ログイン情報]

2 ユーザー情報を入力する

1 設定したいキーを選択します。

2 [+]を選択します。



3 ユーザーをローカルユーザーから指定するときは[ローカルユーザー]を、ネットワークユーザーを指定するときは[ネットワークユーザー]を選択します。

選択した指定方法によって、操作手順が異なります。

ローカルユーザーからユーザーを指定するとき

簡単ログインを設定するユーザーを選択してください。



参考

- ・ [メニュー] > [表示順(フリガナ)]または[表示順(ログインユーザー名)]を選択すると、ユーザーリストの並べ替えができます。
- ・ [メニュー] > [検索(フリガナ)]または[検索(ログインユーザー名)]を選択すると、フリガナやログイン名で検索ができます。

ネットワークユーザーからユーザーを指定するとき



[ログインユーザー名]、[ログインパスワード]の[キーボード]を選択して登録するユーザーの情報を入力して、[OK]を選択してください。

ネットワーク認証でドメイン名を設定しているユーザーを指定するときは、「ドメイン名」でユーザーを登録しているドメイン名を選択してください。

[次へ>]を選択してください。



参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

- 4 表示するユーザー名を入力して、[次へ>]を選択します。



参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

▶ [文字の入力 \(12-12\)](#)

- 5 「パスワード認証」> [設定する]または[設定しない]を選択 > 「アイコン」

- 6 表示するユーザーのアイコンを選択します。

3 登録する

[登録]を選択します。

ICカード認証方法を設定する

ICカード認証が有効の場合、認証方法を設定します。

 **参考**

- この機能は、ICカード認証キットが起動されている場合に表示されます。
- ▶ [ICカード認証キット\(B\)<ICカード認証キット> \(12-3\)](#)
- この機能は、ネットワーク認証ユーザーでログインしている場合は表示されません。

1 画面を表示する

1 [システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

 **参考**

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

2 [ユーザー管理設定] > [ICカード設定]

2 設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
キーボードログイン	ICカード認証が有効の場合、キーボードによるログインを許可するかどうかを設定します。 設定値: 許可する、禁止する
追加認証 ^{*1}	ICカードで認証後、パスワードを入力させるかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、パスワードを使う、PINコードを使う

^{*1} ネットワーク認証のサーバータイプを[NTLM]または[Kerberos]に設定している場合は表示されません。

PINコード認証を設定する

PINコード認証を使用するかどうかを設定します。



参考

PINコード認証を使用する場合は、ネットワーク認証を有効にし、サーバータイプを[Ext.]に設定する必要があります。

▶ [ユーザー管理を有効にする \(9-3\)](#)

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [ユーザー管理設定] > [PINコード認証]

2 設定する

- 1 [設定しない]または[設定する]を選択します。
- 2 [OK]を選択します。

ユーザー管理を使う

ユーザー管理を設定しているときの操作を説明します。

ログイン/ログアウトをする

ユーザー管理が有効の場合は、本機を使用するとき、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

ログインする

本機の操作中にログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら次を参照してください。

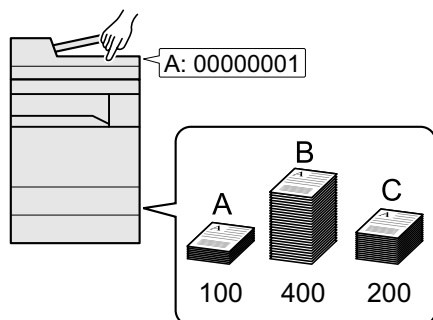
➡ [ログインする \(3-16\)](#)

ログアウトする

操作が終了したら、[認証/ログアウト]キーを選択します。ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻ります。

部門管理とは

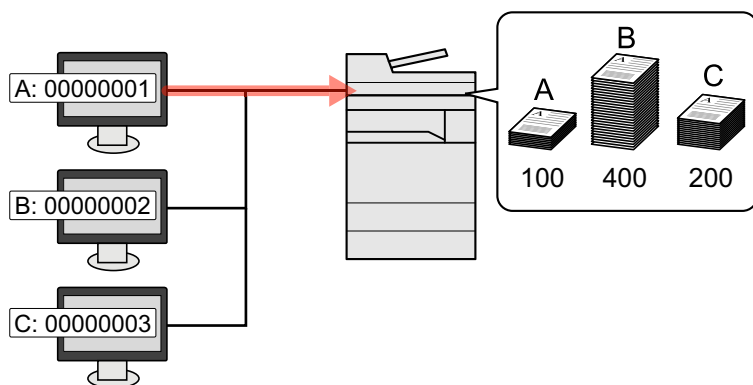
部門管理は、部門コードを入力することにより、部門別にコピー/印刷/スキャン/ファクスの使用枚数を管理できる機能です。



- 1 部門管理を有効にする([9-31](#))
- 2 部門を設定する([9-32](#))
- 3 部門コードを入力してジョブを実行する([9-47](#))
- 4 使用枚数が集計される。

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理する

パソコンから本機で印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバーの設定が必要です。



- 1 プリンタードライバーでパソコンに部門管理を設定する([9-36](#))
- 2 印刷する
- 3 使用枚数が集計される。

TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理する

TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、パソコンでTWAINドライバーの設定が必要です。

➡ [TWAINを使ったスキャンジョブを管理する \(9-38\)](#)

WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理する

WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、パソコンでWIAドライバーの設定が必要です。

➡ [WIAを使ったスキャンジョブを管理する \(9-39\)](#)

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理する

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理するには、パソコンでFAXドライバーの設定が必要です。

➡ [パソコンから送信したファクスジョブを管理する \(9-40\)](#)

ファクス機能は、オプションのファクスキットが必要です。

部門管理を有効にする

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [部門管理設定] > [部門管理]

2 [設定する]を選択する

参考

- ・ 部門管理を無効にする場合は、[設定しない]を選択してください。
- ・ 初期画面に戻ると、自動でログアウトされ、部門コードを入力する画面が表示されます。つづけて作業を行う場合は、部門コードを入力してください。

部門管理方式を設定する

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [部門管理設定] > [部門管理方式]

2 設定する

[ローカル]または[ネットワーク管理]を選択します。

参考

PINコード認証を使用する場合は、ネットワーク認証を有効にし、サーバータイプを[Ext.]に設定する必要があります。

➡ [ユーザー管理を有効にする \(9-3\)](#)

管理する部門を設定する[ローカル]

部門の登録や編集、削除をしたり、部門ごとに使用制限を設定できます。

部門を新規に登録する[部門リスト]

登録可能件数:100部門まで

登録できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
部門名	入力可能文字数:32文字以内
部門名(フリガナ)	入力可能文字数:32文字以内
部門コード	入力可能範囲:0~99999999(8桁まで)

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [部門管理設定] > [部門リスト] > [+]

2 部門情報を入力する

- 1 部門名を入力 > [次へ>]

参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力 \(12-12\)](#)

- 2 部門名(フリガナ)を入力 > [次へ>]

- 3 部門コードを入力 > [次へ]

参考

すでに登録されている「部門コード」は使用できません。別の部門コードを入力してください。

- 4 使用制限の方法を選択します。

➡ [使用制限を設定する \(9-33\)](#)

- 5 [登録]を選択します。

部門リストに新しい部門が追加されます。

使用制限を設定する

部門ごとに使用を禁止したり、使用できる枚数を制限したりすることができます。

制限できる内容は、「コピー/プリンターカウント方法」を「個別」にしているか「合計」にしているかによって異なります。

➔ [コピー/プリンターのカウント方法を設定する \(9-46\)](#)

使用制限できる項目

コピー/プリンターカウント方法が「個別」の場合

項目	詳細
コピー制限(合計)	コピーの使用枚数を制限します。
プリンター制限(合計)	印刷の使用枚数を制限します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 - ボックスからの印刷 - 外部メモリーからの印刷 - パソコンからの印刷
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み枚数を制限します。
ファクス送信制限	ファクスの送信枚数を制限します。オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

コピー/プリンターカウント方法が「合計」の場合

項目	詳細
印刷制限(合計)	コピーとプリンターの合計の使用枚数を制限します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み枚数を制限します。
ファクス送信制限	ファクスの送信枚数を制限します。オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

使用制限の方法

使用制限の方法は次のとおりです。

項目	詳細
制限しない	使用を制限しません。
カウンター制限初期値	使用枚数を、1～9,999,999枚の範囲(1枚単位)で制限します。
使用禁止	使用を禁止します。

制限枚数超過時の処理を設定する

制限枚数に達したときの処理を変更できます。

項目	詳細
即時禁止 ^{*1}	制限枚数に達した時点でジョブの処理が禁止されます。
次ジョブから禁止	印刷中または読み込み中のジョブは続行されますが、次のジョブから使用禁止になります。
警告のみ	警告メッセージが表示されますが、ジョブの処理は続行されます。

*1 送信中や、ボックス保存中は次のジョブから禁止されます。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [部門管理設定] > [初期設定] > [制限超過時設定]

2 設定する

- 1 [即時禁止]、[次ジョブから禁止]、または[警告のみ]を選択します。
- 2 [OK]を選択します。

部門情報を編集する

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [部門管理設定] > [部門リスト]

2 編集する

- 1 部門情報を変更する部門の[]を選択します。



参考

- [メニュー] > [検索(フリガナ)]または[部門コード検索]を選択すると、フリガナや部門コードで検索ができます。
- [メニュー] > [表示順(フリガナ)]または[表示順(ID)]を選択すると、部門名の並べ替えができます。

- 2 変更する部門情報を選択して、部門情報を変更してください。

- 3 [登録] > [はい]

部門情報が変更されます。

部門を削除する

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー／カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [部門管理設定] > [部門リスト]

2 削除する

- 1 削除する部門を選択します。
- 2  > [はい]
部門が削除されます。

部門の印刷状況を管理する

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバで次の設定が必要です。ここではWindows 8.1を例に説明します。

1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[設定] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示]を選択します。

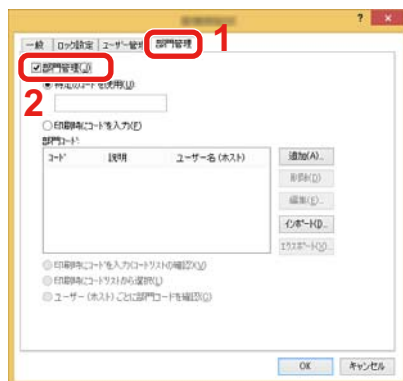
参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン > [デバイスとプリンター]を選択します。

- 2 本機のプリンタードライバのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。
- 3 [デバイス設定]タブの[管理者設定]をクリックします。

2 設定する

- 1 [部門管理] タブの[部門管理]を選択します。



- 2 部門管理を設定します。

[特定のコードを使用]: 特定の部門コードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じ部門コードを使用します。この設定が選択されていると、印刷するたびに部門コードを入力する必要がありません。

[印刷時にコードを入力]: 印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードを入力(コードリストの確認)]: 印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは「部門コードリスト」に登録されているものを入力します。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードリストから選択]: 印刷時に部門コードリストが表示されます。部門コードは「部門コードリスト」に登録されている必要があります。

[ユーザー(ホスト)ごとに部門コードを確認]: 印刷時に、Windowsユーザー名を「部門コードリスト」で検索し、登録されている場合は印刷できます。登録されていない場合、部門コードを入力する画面が表示されます。

- 3 [OK]をクリックします。

参考

部門管理についてのその他の設定は、次を参照してください。

➡ プリンタードライバ操作手順書

TWAINを使ったスキャンジョブを管理する

TWAINを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、TWAINドライバーで次の設定が必要です。ここではWindows 8.1を例に説明します。

1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「TWAIN Driver Setting」と入力します。検索された一覧の中から[TWAIN Driver Setting]を選択します。

参考

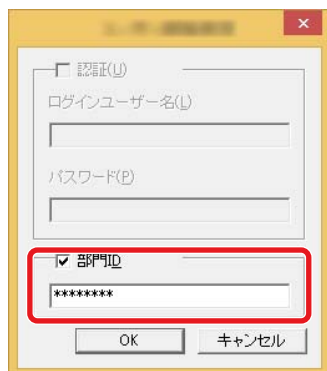
Windows 7の場合は、Windowsの[スタート]ボタン > [すべてのプログラム] > [Kyocera] > [TWAIN Driver Setting]を選択してください。

- 2 本機を選択し、[編集]をクリックします。



2 設定する

- 1 [ユーザー認証設定]をクリックします。
- 2 [部門ID]を選択して、部門コードを入力します。



- 3 [OK]をクリックします。

WIAを使ったスキャンジョブを管理する

WIAを使ってスキャンしたジョブの使用枚数を管理するには、WIAドライバーで次の設定が必要です。ここではWindows 8.1を例に説明します。

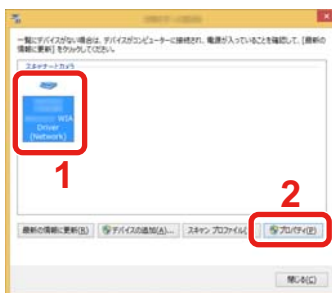
1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[検索]をクリックし、検索欄に「スキャナーとカメラの表示」と入力します。

参考

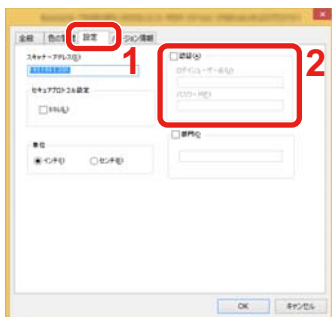
Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラムとファイルの検索]欄に[スキャナー]と入力します。検索された一覧の中から[スキャナーとカメラの表示]をクリックすると、スキャナーとカメラ画面が表示されます。

- 2 本機と同じ名称のWIAドライバーを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。



2 設定する

- 1 [設定]タブの[部門ID]を選択して、部門コードを入力します。



- 2 [OK]をクリックします。

パソコンから送信したファクスジョブを管理する

パソコンから送信したファクスジョブの使用枚数を管理するには、FAXドライバーで次の設定が必要です。ここではWindows 8.1を例に説明します。

1 画面を表示する

- 1 デスクトップのチャームから[設定] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示]を選択します。。

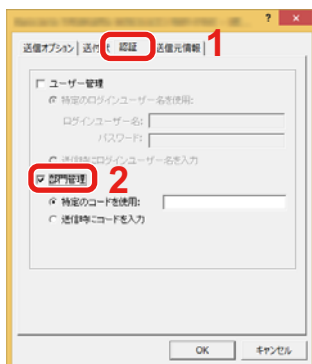
参考

Windows 7の場合はWindowsの[スタート]ボタン > [デバイスとプリンター]を選択します。

- 2 本機のFAXドライバーのアイコンを右クリックして、[印刷設定]メニューをクリックします。
- 3 [ファクス設定]タブの[ファクス送信設定]をクリックします。

2 設定する

- 1 [認証]タブの[部門管理]を選択します。



- 2 部門管理を設定します。

[特定のコードを使用]: 特定の部門コードを指定して、すべてのファクスジョブに対して同じ部門コードを使用します。この設定が選択されていると、ファクスジョブごとに部門コードを入力する必要がありません。

[送信時にコードを入力]: 送信時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは送信するたびに入力する必要があります。

- 3 [OK]をクリックします。

部門管理を利用する

部門管理の初期設定をする

使用制限の初期値を設定します。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

 **参考**

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 「部門管理設定」>「初期設定」>「カウンター制限初期値」

2 設定する

- 1 制限枚数の初期値を設定する項目を選択 > [+]、[-]またはテンキーで制限枚数の初期値を入力

項目	説明
カウンター制限初期値	新規部門登録を行う場合の、制限枚数の初期値を変更することができます。設定範囲は1～9,999,999 枚です。 設定できる内容は、「コピー/プリンターカウント方法」を「個別」にしているか「合計」にしているかによって異なります。 ➡ コピー/プリンターのカウント方法を設定する (9-46)
コピー/プリンターカウント方法が「個別」の場合	
コピー制限(合計)	コピーの制限枚数の初期値を設定します。
プリンター制限(合計)	印刷の制限枚数の初期値を設定します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 - ボックスからの印刷 - 外部メモリーからの印刷 - パソコンからの印刷
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み制限枚数の初期値を設定します。
ファクス送信制限 ^{*1}	ファクスの送信制限枚数の初期値を設定します。オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。
コピー/プリンターカウント方法が「合計」の場合	
印刷制限(合計)	コピーとプリンター合計の制限枚数の初期値を設定します。
その他スキャン制限	コピー以外の原稿読み込み制限枚数の初期値を設定します。
ファクス送信制限 ^{*1}	ファクスの送信制限枚数の初期値を設定します。オプションのファクスキットを装着している場合に表示されます。

^{*1} オプションのファクスキットが装着されている場合のみ表示されます。

- 2 [OK]を選択します。
- 3 他の制限枚数の初期値を設定する場合は、手順1、2を繰り返します。

用紙サイズ別に集計する

特定の用紙サイズ(例:A4)の使用枚数を集計することができます。

参考

用紙サイズは、1～5の5種類を指定することができます。この5種類の使用枚数は、部門レポートに記載されています。

➡ [部門レポートを印刷する \(9-45\)](#)

用紙サイズ指定時に、合わせて用紙種類も指定できます(例:A4サイズでカラー用紙の使用枚数を集計する)。用紙種類を指定しない場合は、用紙種類に関係なく指定した用紙サイズの使用枚数が集計されます。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [部門管理設定] > [初期設定] > [用紙サイズ別集計] > [用紙サイズ1(～5)]

2 設定する

- 1 [設定する]を選択します。
- 2 指定する用紙サイズを選択します。
- 3 用紙種類を指定する場合は、[用紙種類]を選択します。
- 4 指定する用紙種類を選択して、[OK]を選択します。
- 5 [OK]を選択します。

使用枚数を集計する

使用枚数を集計することができます。集計は、全部門または部門別に行います。また、一定期間管理した使用枚数をリセットして、新たに使用枚数のカウントを始めることができます。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [部門管理設定] > [全部門集計]または[部門別集計]

2 設定する

参照できる項目は次のとおりです。

項目	説明
印刷ページ数	コピー、プリンター、およびその合計の使用枚数が表示されます。また、「ファクス」、「用紙サイズ別集計」、「両面集計」、「集約集計」でそれぞれの使用枚数も確認できます。
用紙サイズ別集計	
コピー(合計)	コピーの使用枚数が表示されます。
プリンター(合計)	プリンターの使用枚数が表示されます。 該当する印刷機能は次のとおりです。 • ボックスからの印刷 • 外部メモリーからの印刷 • パソコンからの印刷
コピー/プリンター(合計)	コピーとプリンターの合計の使用枚数が表示されます。
ファクス*1	ファクス受信の使用枚数が表示されます。
合計	合計の使用枚数が表示されます。
両面集計	両面(片面印刷)、両面(両面印刷)およびその合計の使用枚数が確認できます。
集約集計	集約(なし)、集約(2 in 1)、集約(4 in 1)、およびその合計の使用枚数が確認できます。
用紙サイズ別集計	特定の用紙サイズ、およびその他の用紙の使用枚数が表示されます。
読み込みページ数	コピーの読み込み、ファクスの読み込み、その他の読み込み、およびその合計の使用枚数が表示されます。
ファクス送信ページ*1	ファクス送信の使用枚数が表示されます。
ファクス送信時間*1	ファクス送信の使用時間が表示されます。
カウンターリセット	使用枚数をリセットします。 確認画面で[はい]を選択してください。

*1 オプションのファクスキットが装着されている場合に表示されます。

全部門の使用枚数を集計する

全部門の使用枚数を集計します。

1 画面を表示する

集計を参照する機能を選択します。

2 参照する

- 1 集計結果を参照します。
- 2 内容を確認したら、[終了]を選択します。

部門別の使用枚数を集計する

部門別の使用枚数を集計します。

1 画面を表示する

- 1 集計を参照する部門を選択します。
- 2 [



参考

- [メニュー] > [検索(フリガナ)]または[部門コード検索]を選択すると、フリガナや部門コードで検索ができます。自部門以外を表示するときは[その他部門を選択]を選択してください。
- [メニュー] > [表示順(フリガナ)]または[表示順(ID)]を選択すると、部門名の並べ替えができます。

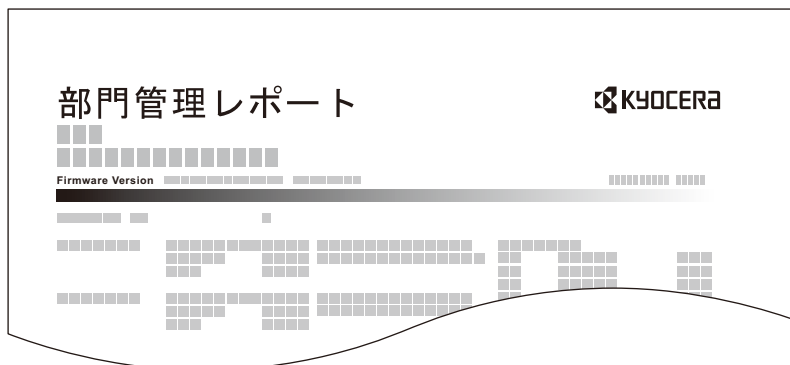
- 3 参照する機能を選択します。
集計結果が表示されます。
- 4 内容を確認したら、[終了]を選択します。

部門レポートを印刷する

全部門で集計された枚数を、部門レポートとして印刷できます。

レポートは、コピーとプリンターの枚数管理の方法によって、印刷されるフォームが変わります。

コピーとプリンターの管理方法が「個別」の場合



1 用紙を準備する

カセットにA4またはLetterの用紙が補給されていることを確認します。

2 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理] > [部門管理設定]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

3 印刷する

[部門管理レポート印刷] > [はい]

部門管理レポートが印刷されます。

コピー/プリンターのカウント方法を設定する

コピーとプリンターの使用枚数を合計して管理するか、個別に管理するか選択することができます。この選択によって、使用枚数の制限や集計の方法が変わりますので、本機をお使いの環境に合わせてください。

本機の操作中にログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら次を参照してください。

➡ [使用制限を設定する \(9-33\)](#)

➡ [使用枚数を集計する \(9-43\)](#)

➡ [部門レポートを印刷する \(9-45\)](#)

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [部門管理設定] > [初期設定] > [コピー/プリンターカウント方法]

2 設定する

- 1 [合計]または[個別]を選択します。
- 2 [OK]を選択します。

ログイン/ログアウトする(部門管理)

部門管理が有効の場合は、本機を使用するとき、部門コードを入力する画面が表示されます。

ログインする(部門管理)

本機を操作して部門コードを入力する画面が表示されたら、次の操作をしてください。

1 テンキーで部門コードを入力 > [ログイン]



- 入力を間違えたときは、[クリア]キーを選択して入力し直してください。
- [カウンター参照]を選択すると、印刷枚数や読み込み枚数を参照することができます。

ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたとき

ユーザー管理が有効の場合は、部門コードを入力する画面の代わりに、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ログインユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。ユーザーに部門情報が登録されているときは、部門コードの入力は省略されます。

▶ [新しいユーザーを登録する\[ローカルユーザーリスト\] \(9-5\)](#)

2 通常の操作を行う

ログアウトする(部門管理)

操作が終了したら、[認証/ログアウト]キーを選択します。部門コードを入力する画面に戻ります。

不明ユーザー処理方法を設定する

ID不明ジョブ処理を設定する

ログインユーザー名(ユーザーID)が不明なジョブ、またはログインユーザー名(ユーザーID)のないジョブがパソコンから届いた場合の処理方法を選択することができます。ユーザー管理が無効で、部門管理を有効にしている場合は、ジョブの部門コードが不明のときの処理方法となります。

設定項目は次のとおりです。

項目	詳細
許可する	ジョブを処理します。
拒否する	ジョブを処理しません。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

- 2 [ID不明ジョブ処理]を選択します。

2 設定する

[拒否する]または[許可する]を選択します。

ID不明ユーザーのユーザー情報を登録する

ID不明ユーザーのユーザー情報を登録すると、ジョブ状況画面やジョブ履歴画面で確認できるようになります。また、使用できる機能を制限することができます。



参考

この設定は、[ID不明ジョブ処理]を[許可する]にしている場合に表示されます。

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [ユーザー/部門管理]

 **参考**

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

ログインパスワード
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

2 [不明ユーザー設定] > [ユーザー情報]を選択します。

2 ユーザー情報を登録する

各項目を設定 >[OK]

項目	詳細
ユーザー名	ユーザー名を、32文字以内で入力します。
ユーザー名(フリガナ)	ユーザー名のフリガナを、32文字以内で入力します。
部門名	ID不明ユーザーに部門を登録します。 → 部門管理とは (9-30)  参考 ・ [メニュー] > [検索(フリガナ)]または[部門コード検索]を選択すると、フリガナや部門コードで検索ができます。 ・ [メニュー] > [表示順(フリガナ)]または[表示順(ID)]を選択すると、部門リストの並べ替えができます。 ・ 部門管理が有効になっているときに表示されます。
認可情報	使用制限を設定します。 使用制限できる項目は次のとおりです。 プリンター制限: プリンターの印刷機能を使用禁止にするかどうか設定します。 該当する印刷機能は次のとおりです。 ・ パソコンからの印刷

10 メンテナンス

この章では、次の項目について説明します。

日常のお手入れ	10-2
原稿ガラスを清掃する	10-2
スリットガラスを清掃する	10-2
消耗品の交換と補充	10-4
トナーコンテナを交換する	10-4
廃棄トナーボックスを交換する	10-7
用紙を補給する	10-9

日常のお手入れ

印刷品質を保つため、定期的に本機を清掃します。



注意

本機の清掃を行うときは、安全上必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

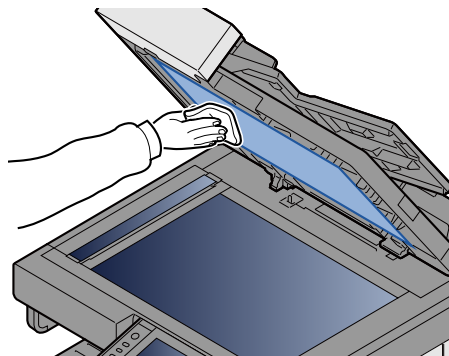
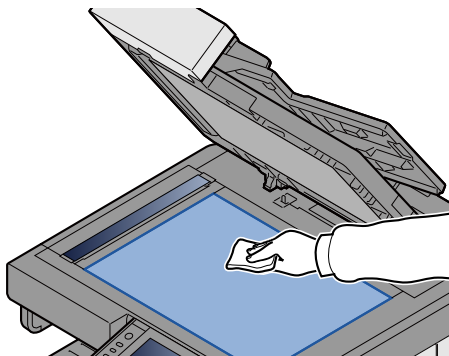
原稿ガラスを清掃する

原稿ガラスと、原稿押さえまたは原稿送り装置のうら面をアルコールまたはうすい中性洗剤をつけた柔らかい布で拭いてください。



重要

シンナー、有機溶剤などは使用しないでください。



スリットガラスを清掃する

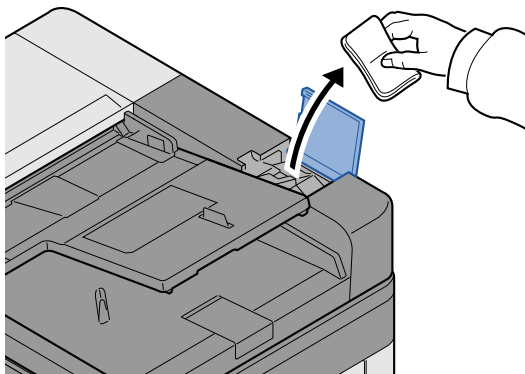
原稿送り装置を使用している場合、付属の清掃用布でスリットガラスと読み取りガイドの表面を拭いてください。



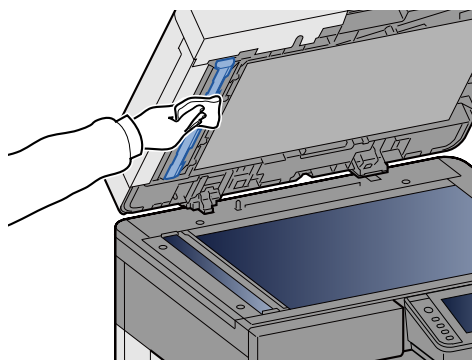
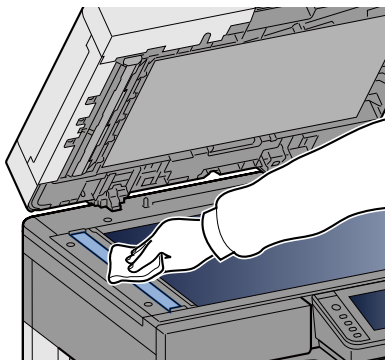
参考

スリットガラスや読み取りガイドの汚れは、出力紙に黒いすじなどが写る原因となります。

1 清掃用布を取り出す



2 スリットガラスと読み取りガイドを清掃する



消耗品の交換と補充

トナーがなくなったときやカセットの用紙がなくなったときは、本体の画面にメッセージが表示されます。メッセージに従って、消耗品を交換および補充してください。

トナーコンテナを交換する

トナーがなくなったときは、次のメッセージが表示されます。トナーコンテナを交換してください。

「トナーがありません。」

また、トナー残量が少なくなると次のメッセージが表示されます。新しいトナーコンテナをご用意ください。

「トナーが残り少なくなっています。(なくなったら交換)」

参考

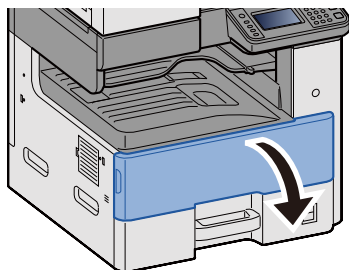
- トナーコンテナは、必ず純正品を使用してください。純正品を使用しない場合、画像不良や故障の原因となります。
- 本製品のトナーコンテナに装着されているメモリーチップは、お客様の利便性の向上、使用済みトナーコンテナ・リサイクルシステムの運用、および新製品の企画・開発のために必要な情報を収集・蓄積します。この収集・蓄積される情報には、特定の個人を識別することができる情報は含まれず、匿名情報のまま上記の目的に利用されます。



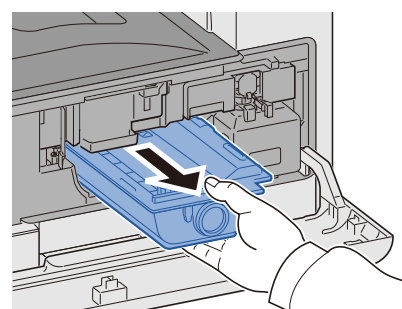
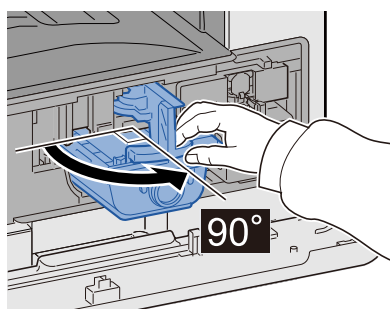
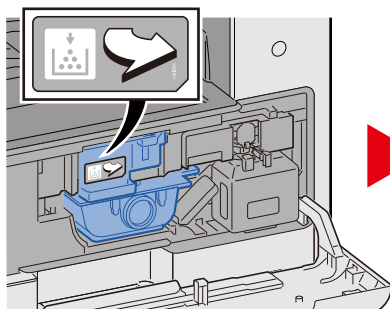
注意

トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

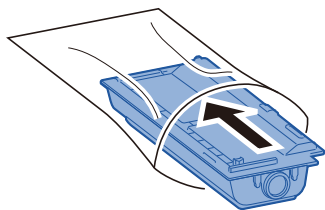
1 前カバーを開ける



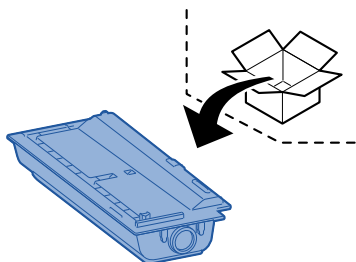
2 トナーコンテナを取り出す



3 使用済みトナーコンテナを廃棄用ポリ袋に入れる

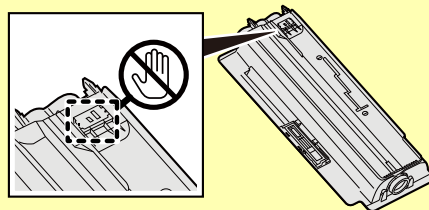


4 新しいトナーコンテナを取り出す

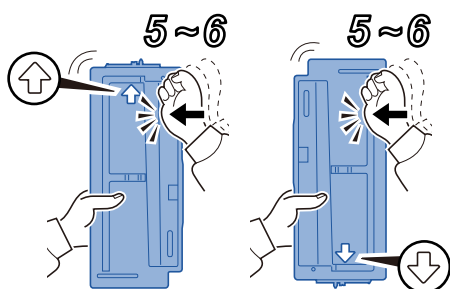


⓪ 重要

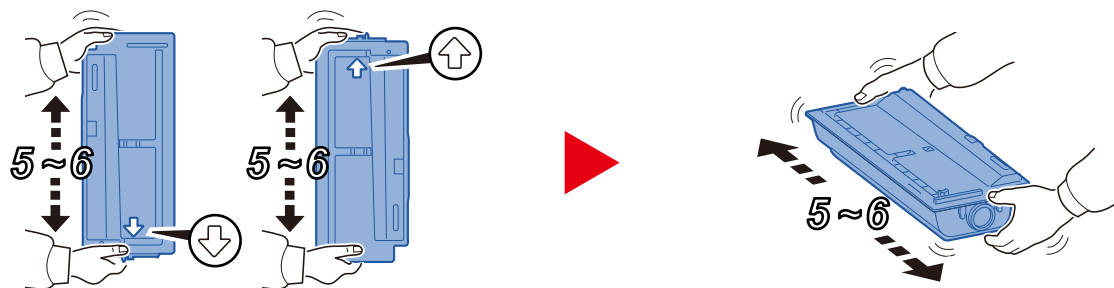
破線部分は手で触らないでください。



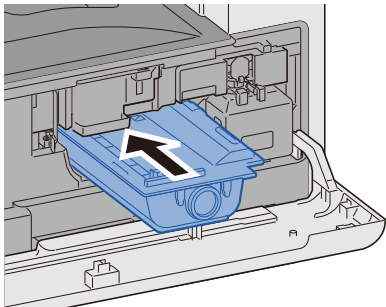
5 トナーコンテナを軽くたたく



6 トナーコンテナを振る



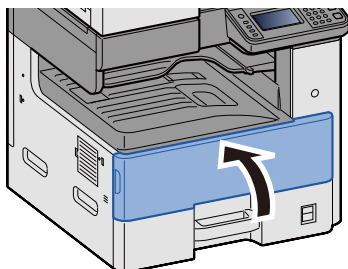
7 トナーコンテナを装着する



📌 重要

トナーコンテナは、奥まで挿入してください。

8 前カバーを閉める



💡 参考

- ・ 前カバーが閉まらない場合は、トナーコンテナが正しく装着されているか確認してください。
- ・ 使用後、不要となったトナーコンテナは、購入元の販売店または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

廃棄トナーボックスを交換する

廃棄トナーボックスがいっぱいになったときは、次のメッセージが表示されます。廃棄トナーボックスを交換してください。

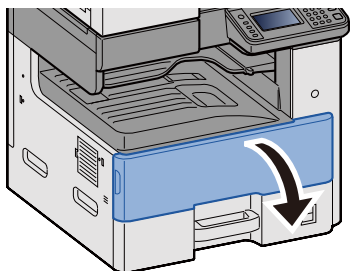
「廃棄トナーボックスを確認してください。」



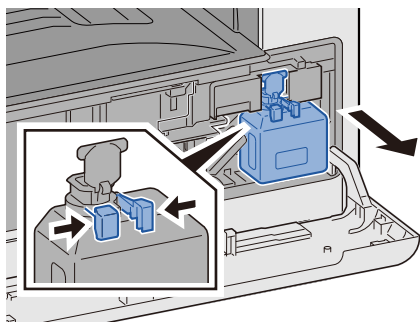
注意

トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

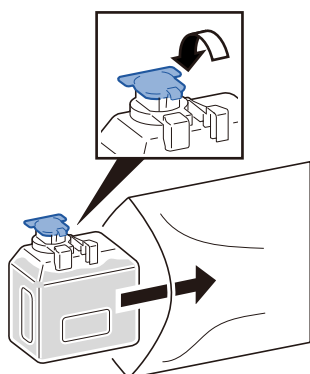
1 前カバーを開ける



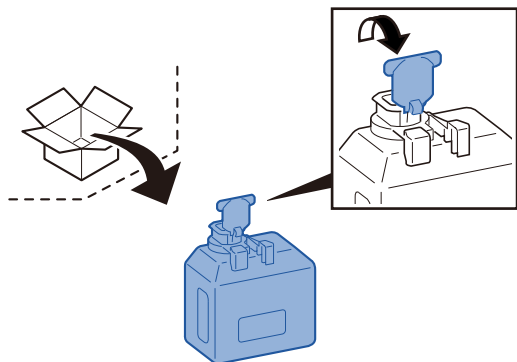
2 廃棄トナーボックスを取り出す



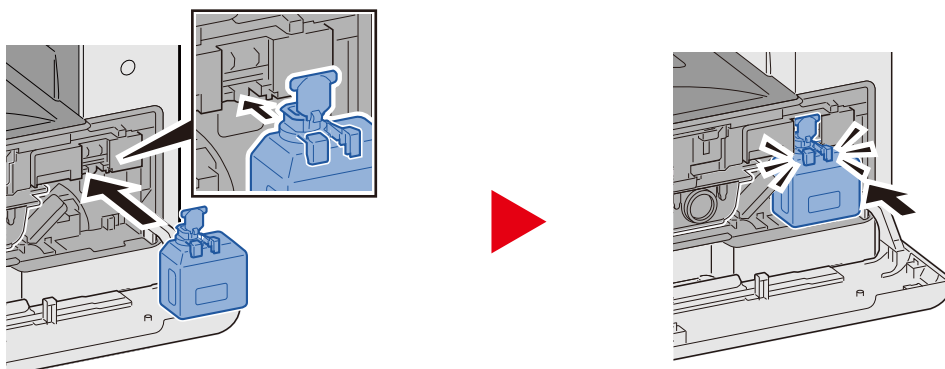
3 使用済み廃棄トナーボックスを廃棄用ポリ袋に入れる



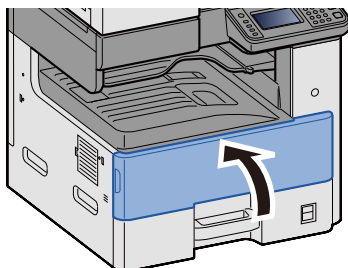
4 新しい廃棄トナーボックスを取り出す



5 廃棄トナーボックスを装着する



6 前カバーを閉める



参考

使用後、不要となった廃棄トナーボックスは、購入元の販売店または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収された廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

用紙を補給する

給紙段の用紙がなくなったときは、次のメッセージが表示されます。用紙を補給してください。

「カセット○に以下の用紙を補給してください。」(○はカセットの番号)

「手差しトレイに以下の用紙を補給してください。」

➡ [カセット1\(～3\)に用紙をセットする \(3-20\)](#)

➡ [手差しトレイに用紙をセットする \(5-7\)](#)



参考

用紙を補給したとき、[用紙セット時の確認]を[設定する]に設定している場合は、用紙設定の確認画面が表示されます。用紙を変更した場合、[変更]を選択して、用紙の設定を変更してください。

➡ [\[カセット1\(～3\)\] \(8-9\)](#)

➡ [\[手差しトレイ\] \(8-10\)](#)

11 トラブルシューティング

この章では、次の項目について説明します。

一般的なトラブル	11-2
トラブルが発生したら	11-2
機械動作のトラブル	11-3
画像のトラブル	11-6
こんな表示がでたら	11-9
メッセージが表示されたら	11-9
エラーメッセージ一覧	11-9
送信エラーコード一覧	11-20
調整/メンテナンスメニュー	11-23
調整/メンテナンスメニューについて	11-23
階調調整を実行する	11-23
ドラムリフレッシュ1を実行する	11-24
ドラムリフレッシュ2を実行する	11-24
紙づまりの解除	11-26
紙づまり表示の見かたと位置の確認	11-26
手差しトレイの紙づまりを除去する	11-27
右カバー1の紙づまりを除去する	11-28
カセット1、2、3の紙づまりを除去する	11-29
右カバー2、3の紙づまりを除去する	11-30
原稿送り装置の紙づまりを除去する	11-33

一般的なトラブル

トラブルが発生したら

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に以下のチェックを行ってください。

ここで説明する処置を行っても問題が解決されないときは、購入元または弊社お客様相談窓口に連絡してください。電話番号は最終ページをご覧ください。



参考

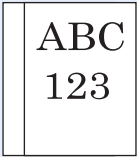
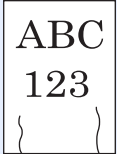
お問い合わせの際は、シリアル番号が必要になります。

シリアル番号の確認のしかたについては、次を参照してください。

▶ [機器情報を表示する \(3-11\)](#)

機械動作のトラブル

機械動作のトラブルには次のような現象があります。現象に応じて、処置を行ってください。

現象	確認事項	処置	参照ページ
アプリケーションが立ち上がらない。	オートパネルリセットの設定時間が短くありませんか？	オートパネルリセットの設定時間を30秒以上に設定してください。	8-57
電源を入れても、画面に何も表示されない。	電源コードを確認してください。	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	2-9
[スタート]キーを押しても印刷できない。	画面にメッセージが表示されていませんか？	メッセージに対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	11-9
	スリープ状態になっていませんか？	操作パネルのいずれかのキーを押してください。	2-23
何も印刷しない。 	原稿が正しくセットされていますか？	原稿ガラスに原稿をセットするときは、原稿を下向きにし、原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。	5-3
		原稿送り装置に原稿をセットするときは、原稿を上向きにセットしてください。	5-5
	—	アプリケーションソフトの設定を確認してください。	—
紙づまりがたびたび起こる。	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-20
	—	用紙をカセットから一度取り出し、用紙のセット方向を前後180度変えてください。	3-20
	用紙の種類や保管状態は正しいですか？	用紙をカセットから一度取り出し、裏返してからセットし直してください。	3-20
	用紙がカールしたり、折れやシワがありませんか？	新しい用紙に交換してください。	3-19
	つまった用紙や紙片が本機内部に残っていませんか？	つまった用紙を取り除いてください。	11-26
用紙が2枚以上重なってでる。(重送) 	—	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-20
用紙にシワが発生する。 	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-19
	—	用紙をカセットから一度取り出し、用紙のセット方向を前後180度変えてください。	3-19
	用紙が湿っていませんか？	新しい用紙と交換してください。 頻繁に問題が発生する場合は、カセットヒータースイッチをONにしてください。カセットヒーターは装着機と非装着機があります。非装着機はカセットヒータースイッチに「非装着」の表記があります。	3-20 2-4

現象	確認事項	処置	参照ページ
用紙にカールが発生する。 	—	用紙をカセットから一度取り出し、用紙を裏返してセットし直す、または用紙のセット方向を前後180度変えてください。	3-20
	用紙が湿っていませんか？	新しい用紙と交換してください。 頻繁に問題が発生する場合は、カセットヒータースイッチをONにしてください。カセットヒーターは装着機と非装着機があります。非装着機はカセットヒータースイッチに「非装着」の表記があります。	3-19 2-4
プリンタードライバーがインストールできない。	Wi-FiまたはWi-Fi Direct機能が使用できる状態で、ドライバーをホスト名でインストールしていませんか？	ホスト名の代わりにIPアドレスを指定してください。	2-27
印刷が開始されない。	電源コードを確認してください。	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	2-9
	電源が入っていますか？	電源スイッチを入れてください。	2-10
	USBケーブルやネットワークケーブルが、正しく接続されていますか？	USBケーブルやネットワークケーブルを確実に接続してください。	2-8 2-9
	印刷ジョブが一時中止になっていませんか？	印刷を再開してください。	7-9
	名前解決を使った有線およびWi-Fiネットワークを設定している場合、アクセスできないもう一方のネットワークのIPアドレス(プライベートアドレス)が混在していませんか？	本機で利用できるホスト名およびドメイン名はそれぞれ1つずつです。この制限事項を考慮してネットワークの運用設定をしてください。	—
		Command Center RXで、NetBEUIやDNSなどの名前解決の設定を変更するか、ネットワーク環境の設定を変更してください。	Command Center RX操作手順書
		優先ネットワーク(クライアント)で、制限なく使用するネットワークとしてWi-Fi、有線またはオプションネットワークを選択してください。	8-51
		プロトコル設定で[有線]または[Wi-Fi]のどちらか一方を[有効]に、もう一方を[無効]に設定してください。	8-41
USBメモリーで印刷できない。	USBホストの設定が、[ブロックする]になっていませんか	USBホストの設定を、[ブロックしない]に変更してください。	8-51
USBメモリーを認識しない。	—	USBメモリーが、本機にしっかり接続されているか確認してください。	—
[Auto-IP]を[使用する]に設定したが、IPアドレスが取得できない。	TCP/IP(v4)のIPアドレスに0.0.0.0以外のアドレスが設定されていませんか？	TCP/IP(v4)のIPアドレスに0.0.0.0を設定してください。	2-13

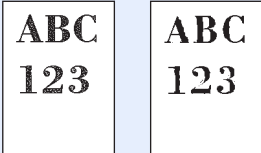
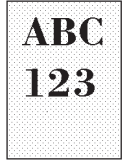
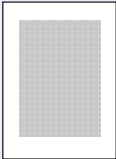
現象	確認事項	処置	参照ページ
SMB送信ができない。	ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルを確実に接続してください。	2-8
	本体側のネットワーク設定は正しく設定されていますか？	TCP/IPの設定を正しく行ってください。	8-38
	フォルダーの共有設定は正しく設定されていますか？	フォルダーのプロパティで共有設定、アクセス許可を確認してください。	3-28
	「SMBクライアント(送信)」が[使用しない]になっていますか？	「SMBクライアント(送信)」を、[使用する]に変更してください。	8-41
	[ホスト名]を正しく入力しましたか？ ^{*1}	データの宛先になるコンピューター名を確認してください。	5-16
	[パス]を正しく入力しましたか？	共有フォルダーの共有名を確認してください。	5-16
	[ログインユーザー名]を正しく入力しましたか？ ^{*1*2}	ドメイン名、ログインユーザー名を確認してください。	5-16
	[ホスト名]と[ログインユーザー名]のドメイン名が同じになっていませんか？	[ログインユーザー名]に入力されているドメイン名と「¥」を削除してください。	5-16
	[ログインパスワード]を正しく入力しましたか？	ログインパスワードを確認してください。	5-16
	Windows ファイアウォールの例外設定は正しく設定されていますか？	Windows ファイアウォールの例外設定を正しく設定してください。	3-32
	本体、ドメインサーバー、データの宛先になるパソコンの時間設定がずれていませんか？	本体、ドメインサーバー、データの宛先になるパソコンの時間設定を合わせてください。	—
	画面に「送信エラーです。」と表示されていませんか？	送信エラーコードを参照してください。	11-20
Wi-Fi Directを使って本機に接続できない。	3台の携帯端末が同時に接続されていませんか？	接続中の携帯端末を手動で接続解除するか、自動切断で接続時間を設定して接続を解除した後、接続を設定してください。	8-32
メールが送信できない。	本機に登録しているSMTPサーバーでメールの送信サイズに制限がありませんか？	Command Center RXの[メール送信のサイズ制限] > 「アドレス帳管理」に制限値が入力されているかどうかを確認し、必要に応じて設定を変更してください。	2-45
排紙口付近から湯気が出る	本機を使用している場所の温度が低くないか、かつ湿気を帯びた用紙が使用されていないか確認してください。	本機を使用する環境や用紙の状態によっては、用紙に含まれる水分が、印刷時の熱によって蒸発し、その水蒸気が煙のように見える場合があります。そのまま印刷を続けても問題はありません。水蒸気が気になる場合は、室内温度を上げるか、湿気の少ない新しい用紙に交換してください。	—

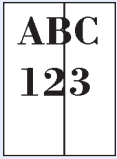
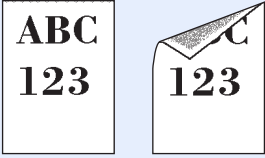
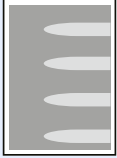
*1 ホスト名にフルコンピューター名を入力しても接続できます。(例: pc001.abcdnet.com)

*2 ログインユーザー名は、以下の方式で入力することも可能です。
ドメイン名¥ユーザー名 (例: abcdnet¥yamada)
ユーザー名@ドメイン名 (例: yamada@abcdnet)

画像のトラブル

画像のトラブルには次のような現象があります。現象に応じて、処置を行ってください。

現象	確認事項	処置	参照ページ
画像が全体的にうすい。 	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。 頻繁に問題が発生する場合は、カセットヒータースイッチをONにしてください。カセットヒーターは装着機と非装着機があります。非装着機はカセットヒータースイッチに「非装着」の表記があります。	3-19 2-4
	濃度を変更していますか？	適切な濃度に設定してください。	6-12 8-59
	トナーコンテナをよく振り了吗？	トナーコンテナを数回左右に振ってください。	10-4
	エコプリントを設定していませんか？	[エコプリント]の設定を、[設定しない]に切り替えてください。	6-14
	—	[ドラムリフレッシュ1]を実行してください。	11-24
	—	用紙種類の設定が正しいか確認してください。	8-9
画像の白地部分が全体的に灰色に見える。 	濃度を変更していますか？	適切な濃度に設定してください。	6-12 8-59
モアレ（網点が均等に配列されず斑紋が出る状態）が発生する。 	写真が印刷された原稿ですか？	[原稿の画質(コピー)]または、[原稿の画質(送信／保存)]を[写真]に設定してください。	6-13
文字がはっきり印刷されない。 	原稿の種類に合った画質を選択していますか？	[原稿の画質(コピー)]または、[原稿の画質(送信／保存)]で適切な画質を選択してください。	6-13
画像の白地部分に黒点が入る。 	原稿押さえ面や原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿押さえ面や原稿ガラスを清掃してください。	10-2

現象	確認事項	処置	参照ページ
印刷がぼける 	湿気が高い、または急激に温度や湿度が変化する場所で使用していませんか？	湿度が適切な環境で使用してください。 頻繁に問題が発生する場合は、カセットヒータースイッチをONにしてください。カセットヒーターは装着機と非装着機があります。非装着機はカセットヒータースイッチに「非装着」の表記があります。	— 2-4
	—	[ドラムリフレッシュ1]を実行してください。	11-24
画像の位置がズれる。 	原稿が正しくセットされていますか？	原稿ガラスに原稿をセットする場合は、原稿サイズ指示板に原稿を確実に合わせてください。 原稿送り装置に原稿をセットする場合は、原稿挿入ガイドを確実に合わせてから原稿をセットしてください。	5-3 5-5
	用紙が正しくセットされていますか？	カセットの用紙幅ガイドの位置を確認してください。	3-20
	—	[センターライン調整を実施してください。調整の仕方については、サービス担当者にご連絡ください。	
	—	—	
縦線が入る。 	スリットガラスが汚れていませんか？	スリットガラスを清掃してください。	10-2
用紙の先端や裏側が汚れる 	本体内部が汚れていませんか？	右カバーを開け、本体内部がトナーなどで汚れている場合は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。	—
画像の一部が周期的にうすい、ぼやける、または白いすじが入る。 	現像ユニット、ドラムユニットが正しくセットされていますか？	現像ユニット、ドラムユニットが正しくセットしなおしてください	—
	—	右カバーを開けて、閉めなおしてください。	—
	—	[ドラムリフレッシュ1]を実行してください。	11-24
	—	頻繁に問題が発生する場合は、カセットヒータースイッチをONにしてください。カセットヒーターは装着機と非装着機があります。非装着機はカセットヒータースイッチに「非装着」の表記があります。	2-4

現象	確認事項	処置	参照ページ
うら面の印刷が写り込む。 	—	[うら写り防止(コピー)]または[うら写り防止(送信／保存)]を[設定する]にしてください。	6-18
原稿の地色が気になる。	—	[地色調整]を実行してください。	6-17
印刷で思ったとおりの濃淡がでない。	—	[階調調整]を実行してください。	11-23

こんな表示がでたら

メッセージが表示されたら

画面にメッセージが出たときには、それぞれ確認事項と処理方法を参考に問題を解決してください。

問題が解決されないときは、主電源スイッチを一度切り、5秒以上あけて主電源スイッチを入れてください。それでも問題が解決されないときは、購入元または弊社お客様相談窓口にご連絡してください。電話番号は最終ページをご覧ください。



参考

お問い合わせの際は、シリアル番号が必要になります。

シリアル番号の確認のしかたについては、次を参照してください。

▶ [機器情報を表示する \(3-11\)](#)

エラーメッセージ一覧

画面に次のようなエラーメッセージが表示されます。メッセージに応じて、処置を行ってください。

英数字

現象	確認事項	処置	参照ページ
Google Cloud Printに登録します。よろしいですか？	—	本機にGoogle Cloud Printのデバイス登録要求が来ると表示されます。[はい]を選択すると、本機がGoogle Cloud Printのデバイスとして登録されます。[全角記号]を選択すると、デバイス登録をキャンセルします。	5-48
ICカード情報を読み取れません。	—	ICカード情報の登録時、ICカード情報を正しく読み取れませんでした。もう一度ICカードをICカード読取部にかざしてください。 同じメッセージが再度表示されるときは、本製品に対応していないICカードの場合があります。別のICカードと交換してください。	9-7
KPDLエラーです。	—	PostScriptエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
MKを交換してください。(A)(B)	—	約200,000イメージの印刷ごとにメンテナンスキットによる部品交換が必要です。購入元または弊社お客様相談窓口にご連絡してください。	—
MK交換間近です。(A)(B)	—	部品の交換時期が近づいています。メンテナンスキットを準備してください。購入元または弊社お客様相談窓口にご連絡してください。	—

現象	確認事項	処置	参照ページ
RAMディスクエラーです。	—	RAMディスクでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 04: RAMディスク上の空き容量が足りません。オプションのRAMディスクを装着している場合は、[システムメニュー/カウンター]キー>[システム/ネットワーク]>[RAMディスク設定]でRAMディスクサイズを大きくしてください。  参考 RAMディスクサイズの設定範囲は、「オプションメモリー使用量」の設定で[プリンター優先]を選択すると大きくなります。	8-53
SSDエラーです。	—	SSDでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 01: 一度に保存できるデータ容量を超えています。電源をOFF/ONしてください。エラーが解消されない場合はファイルを分割してください。それでも解消されない場合は、指定されたファイルが壊れている可能性があります。ファイルを削除してください。 04: SSD上の空き容量が足りません。データを移動する、または不要なデータを削除してください。  参考 システムの初期化を実行するとSSDに保存されているデータは削除されますのでご了承ください。	—

あ行

現象	確認事項	処置	参照ページ
アクセスポイントが検出できませんでした。	—	アクセスポイントが正しく設定されているか確認してください。	2-15
以下の用紙は仕分けできません。	仕分けできないサイズ、種類の用紙を選択していませんか？	仕分け可能な用紙を選択する場合は、[用紙選択]を選択してください。仕分けを解除して印刷をする場合は、[継続]を選択してください。	6-10
以下の用紙は両面印刷できません。	両面印刷できないサイズ、種類の用紙を選択していませんか？	両面印刷可能な用紙を選択する場合は、[用紙選択]を選択してください。両面印刷を解除して印刷をする場合は、[継続]を選択してください。	6-23

か行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
階調調整を実行してください。	長期間の使用、周辺の温度や湿度の影響により、印刷の濃淡にズレが起こった可能性があります。	[階調調整]を実行してください。	11-23
外部メモリーエラーです。	外部メモリーが書き込み禁止になっていませんか？	外部メモリーにエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 01:書き込み可能な外部メモリーを接続してください。	—
	—	外部メモリーにエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 01:一度に保存できるデータ容量を超えています。システムを再起動、または電源をOFF/ONしてください。エラーが解消されない場合はファイルを分割してください。それでも解消されない場合は外部メモリーが本機の仕様に適していません。本機で[フォーマット]を実行してください。フォーマットできない場合は外部メモリーが壊れています。適応する外部メモリーを接続してください。	7-10
外部メモリーがフォーマットされていません。フォーマットします。よろしいですか？	外部メモリーを本機でフォーマットしましたか？	本機で[フォーマット]を実行してください。	7-10
外部メモリーの容量がいっぱいです。	—	ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。 外部メモリーの空き容量が足りません。不要なファイルを削除してください。	—
カセット1が故障しています。(1~3)	—	サービス担当者にご連絡ください。	—
カセット1でエラーが発生しました。	—	カセットを取り外してください。[次へ>]を選択してください。	—
カセット1に以下の用紙を補給してください。(1~3)	表示されている給紙元の用紙がなくなっていないですか？	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷をする場合は、[用紙選択]を選択してください。 選択した用紙で印刷する場合は、[継続]を選択してください。	3-20
カバーが開いています。	開いているカバーはありませんか？	画面に表示されているカバーを閉じてください。	—
	原稿送り装置のカバーが開いていませんか？	原稿送り装置のカバーを閉じてください。	—
紙づまりです。	—	紙づまりが発生すると、印刷が停止し、ガイダンスが画面に表示されます。電源を入れたまま、ガイダンスに従って取り除いてください。	11-26

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
起動エラーです。	—	電源スイッチを入れ直してください。 問題が解決しない場合は管理者に連絡してください。	2-9
原稿送り装置の原稿を取り除いてください。	原稿送り装置に原稿が残っていませんか？	原稿送り装置の原稿を取り除いてください。	11-33
原稿送り装置を確認してください。	原稿送り装置が開いていませんか？	原稿送り装置を閉じてください。原稿送り装置のカバーを閉じてください。	11-33
現像ユニットが抜けています。	—	現像ユニットをセットしてください。 交換方法は現像ユニットに同梱されたチラシをご覧ください。	—
高温環境です。室温調整してください。	—	機械設置場所の空調温度を調整してください。	—
故障が発生しました。	—	本機内部で異常が発生しています。画面に表示されているエラーコードを書きとめて、サービス担当者にご連絡ください。	—
このICカードはすでに他のユーザーが使用しているため、登録できません。	—	ご使用のIC カードは、すでに登録されています。別のIC カードと交換してください。	—
このジョブは実行できません。	—	ユーザー認可または部門管理で使用が禁止されているため、このジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
このユーザーはロックされています。	—	管理者に連絡してください。 ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—

さ行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
最大接続数を超えるため接続できません。	3台の携帯端末が同時に接続されていませんか？	使用していない携帯端末の接続を解除するか、または、本機の自動切断時間を設定して、携帯端末の接続を切断してください。	—
システムエラーです。	—	システムエラーが発生しています。画面に表示された手順に従って処理してください。	—
指定外のトナーです。	装着されたトナーは純正消耗品(指定トナー)ですか？	純正消耗品以外の消耗品(指定外トナー)が原因の故障については、責任を負いかねます。	10-4
指定外のトナーに起因する不具合は責任を負いかねます。	装着されたトナーは純正消耗品(指定トナー)ですか？	純正消耗品以外の消耗品(指定外トナー)が原因の故障については、責任を負いかねます。このまま使用される場合は[次へ]を選択してください。	10-4
指定された部数を印刷できません。	USBメモリーに保存されているデータを印刷しますか？	1部だけ印刷することができます。印刷する場合は[継続]を選択してください。ジョブを中止する場合は[中止]を選択してください。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。 ・一度に印刷する部数を減らす 上記で解決しない場合は、次の操作で実行できる場合があります。 ・[システムメニュー/カウンター]キー>[システム/ネットワーク]>「オプションメモリー使用量」で[コピー優先]を選択する  参考 「オプションメモリー使用量」の設定値を変更する場合は管理者にご相談ください。	8-52
	—	1部だけ印刷することができます。印刷する場合は[継続]を選択してください。ジョブを中止する場合は[中止]を選択してください。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。 ・プリンターのプロパティ設定の「デバイス設定」タブで[RAMディスク]のチェックを外す  参考 [RAMディスク]のチェックを外した場合、印刷が終了したら設定を元に戻してください。印刷速度が落ちる場合があります。	—
準備中です。	—	品質保持のため、機械が調整モードに入っています。しばらくお待ちください。	—
ジョブセパレータートレイが用紙オーバーです。	ジョブセパレータートレイに収納できる枚数を超えていませんか？	画面に表示されているガイダンスに従って、ジョブセパレータートレイから用紙を取り出してください。	—

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
ジョブ保留のデータを保存できませんでした。	—	ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。 ジョブボックスの空き容量が足りません。ジョブボックスの原稿を印刷または削除してから、再度操作してください。	—
スキャナーのメモリー不足です。	—	メモリー不足のため、処理できません。読み込んだページを1部だけ印刷することができます。[継続]を選択すると読み込みが終了しているページを印刷、送信、または保存します。[中止]を選択すると印刷、送信、または保存を中止します。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。 ・一度に読み込む原稿枚数を減らす 上記で解決しない場合は、次の操作で実行できる場合があります。 ・[システムメニュー/カウンター]キー>[システム/ネットワーク]>「オプションメモリー使用量」で[コピー優先]を選択する  参考 「オプションメモリー使用量」の設定値を変更する場合は管理者にご相談ください	8-52
全ての原稿を再セットし[継続]を押してください。	—	原稿送り装置から原稿を取り出し、元の順番に並べてセットしなおしてください。[継続]を選択すると、印刷が再開されます。ジョブを中止するときは、[中止]を選択してください。	—
スリットガラスが汚れています。	—	原稿送り装置付属の清掃用布でスリットガラスを清掃してください。	10-2
セキュリティ機能を実行中です。	—	セキュリティ機能を実行中です。しばらくお待ちください。	—
接続できません。	—	Wi-FiまたはWi-Fi Directの接続が完了しなかった場合に 표시됩니다。設定内容や電波の状態を確認してください。	—
送信エラーです。	—	送信中にエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。エラーコードとその詳細は送信エラーコード一覧を参照してください。	11-20
送信ジョブの予約制限数を超えました。	—	タイマー送信をセットできる件数を超えています。[終了]を選択してください。このジョブは中止されます。 タイマー送信が実行されるのを待つか、タイマー送信をキャンセルしてから、再度操作してください。	—

た行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
調整中です。	—	品質保持のため、機械が調整モードに入っています。しばらくお待ちください。	—
低温環境です。室温調整してください。	—	機械設置場所の空調温度を調整してください。	—
定着ユニットが抜けています。	—	定着ユニットをセットしてください。交換方法は定着ユニットに同梱されたチラシをご覧ください。	—
手差しから以下の設定で印刷します。	—	画面に表示されている用紙をセットして[継続]を押してください。	—
手差しトレイに以下の用紙を補給してください。	給紙元に設定している用紙サイズと実際に給紙した用紙サイズが異なっていませんか？	印刷する場合は[継続]を選択してください。 ジョブを中止する場合は[中止]を選択してください。	5-7
	表示されているカセットの用紙がなくなっていないですか？	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷をする場合は、[用紙選択]を選択してください。 選択した用紙で印刷する場合は、[継続]を選択してください。	3-20
トナーがありません。	—	トナーコンテナを交換してください。	10-4
トナーが少なくなっています(なくなったら交換)	—	トナーコンテナの交換時期が近づいています。トナーコンテナを準備してください。	10-4
トナーコンテナが正しく装着されていません。	トナーコンテナが正しく装着されていますか？	トナーコンテナを正しく装着してください。	10-4
トナーコンテナを確認してください。	—	本体前カバーを開け、トナーコンテナを取り出してください。トナーコンテナをよく振り再度セットしてください。	10-4
ドラムユニットが抜けています。	—	ドラムユニットをセットしてください。交換方法はドラムユニットに同梱されたチラシをご覧ください。	—
ドラムリフレッシュ実行中です。	—	品質保持のため、機械が調整モードに入っています。しばらくお待ちください。	11-23

な行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
内部トレイが用紙オーバーです。	—	内部トレイから用紙を取り出してください。	—
認識できません。	—	ご使用のIC カードが登録されているか確認してください。	9-27

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
認証サーバーに接続できません。	—	本機の時刻とサーバーの時刻を合わせてください。	2-12
		ドメイン名を確認してください。	9-3
		ホスト名を確認してください。	9-3
		サーバーとの接続状況を確認してください。	—

は行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
廃棄トナーボックスを確認してください。	廃棄トナーボックスがいっぱいになっていませんか？	廃棄トナーボックスを交換してください。	10-7
	—	廃棄トナーボックスが正しくセットされていません。廃棄トナーボックスを正しくセットしてください。	10-7
ファクスポーリング受信に使用できる宛先は1件のみです。宛先を再設定してください。	ポーリング受信の相手先を複数指定していませんか？	一度に指定できるポーリング受信の相手先は1件です。宛先を設定しなおしてください。	—
付属電話機の受話器がはずれています。	—	受話器を戻してください。	—
部門管理の制限を超えました。	部門管理で設定されている制限ページ数を超過していませんか？	部門管理で設定されている制限ページ数に達したため、これ以上印刷できません。 このジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
部門管理の設定に失敗しました。	—	外部からジョブを実行する際に、部門管理の設定に失敗しました。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
部門コードが違います。	—	外部からジョブを実行する際に、部門コードが間違っています。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
プリントオーバーランです。	—	プリンターのメモリー不足のため、ジョブを一時停止しました。ジョブを再開します。[継続]を選択してください。	—

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
文書情報を送信できませんでした。	本機およびスキャンした画像が送信されるパソコンはネットワークに接続されていますか？	ネットワークを確認してください。 - ネットワークケーブルの接続 - ハブの動作 - サーバーの状態 - ホスト名またはIP アドレス - ポート番号	2-6
	スキャンした画像が送信される共有フォルダーへアクセスするためのアカウント(ユーザーID、パスワード)情報が誤っていませんか？	スキャンした画像が送信されるパソコンの設定を確認してください。 - ホスト名 - パス - ログインユーザー名  参考 ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してください。 [ログインユーザー名]@[ドメイン名] 例)sa720XXXX@km - ログインパスワード - 送信先フォルダーのアクセス権	—
ボックスが見つかりません。	—	指定されたボックスが見つかりません。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
ボックスのパスワードが違います。	—	外部からジョブを実行する際に、ボックスのパスワードが間違っています。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
ボックスの容量制限を超えました。	画面に[終了]が表示されていませんか？	指定されたボックスがいっぱいのため保存できません。このジョブは中止されます。[終了]を選択してください。ボックスの原稿を印刷または削除してから、再度操作してください。	—
ボックスを使用する権限がありません。	—	指定されたボックスを使用する権限がありません。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—

ま行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
メモリーオーバーフローです。	スキャンした画像をパソコンに送信、または本機に保存しますか？	メモリー不足のため、処理できません。[終了]のみ表示されている場合は[終了]を選択してください。このジョブは中止されます。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。 ・[ファイル形式]の[画質]を下げる 上記で解決しない場合は、次の操作で実行できる場合があります。 ・[システムメニュー]の「オプションメモリー使用量」で[標準]を選択する 参考:「オプションメモリー使用量」の設定値を変更する場合は管理者にご相談ください。	8-52
	パソコンからデータを印刷しますか？	空きメモリーがなくなったため、これ以上ジョブを継続できません。読み込んだページを処理するときは[継続]を選択してください。一部処理されないページがあります。ジョブを中止するときは[中止]を選択してください。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。 ・[システムメニュー]の「RAMディスク設定」で[設定する]を選択し、RAMディスクサイズを小さくする ・[システムメニュー]の「オプションメモリー使用量」で[プリンター優先]を選択する 参考:「RAMディスクサイズ」や「オプションメモリー使用量」の設定値を変更する場合は管理者にご相談ください。	8-52
メモリーカードエラーです。	—	メモリーカードでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 04: メモリーカード上の空き容量が足りません。データを移動する、または不要なデータを削除してください。	—
メモリーが不足しています。	—	ジョブを開始できません。しばらくしてからやり直してください。	—

や行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
読み込み制限ページ数に達しました。	原稿読み込みページ数制限を超えていませんか？	読み込んだページを1部だけ印刷することができます。[半角か]を選択すると読み込みが終了しているページを印刷、送信、または保存します。[接続デバイスリスト]を選択すると印刷、送信、または保存を中止します。	—

ら行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
ログインユーザー名またはパスワードが違います。	—	外部からジョブを実行する際に、ログインユーザー名またはパスワードが間違っています。ジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—

送信エラーコード一覧

画面に表示される送信エラーコードは以下のとおりです。

エラーコード	表示	処理方法	参照ページ
1101	メール送信できませんでした。	Command Center RXでSMTP サーバーのホスト名を確認してください。	2-45
	FTP送信できませんでした。	FTPのホスト名を確認してください。	5-19
	SMB送信できませんでした。	SMBのホスト名を確認してください。	5-16
1102	SMB送信できませんでした。	SMBの設定を確認してください。 ログインユーザー名またはログインパスワード  参考 ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してください。 ホスト名 パス	5-16
	メール送信できませんでした。	Command Center RXの設定を確認してください。 - SMTPのログインユーザー名またはログインパスワード - POP3のログインユーザー名またはログインパスワード - メール送信のサイズ制限	2-45
	FTP送信できませんでした。	FTPの設定を確認してください。 - ログインユーザー名またはログインパスワード  参考 ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してください。 - パス - 送信先フォルダーのアクセス権	5-19
1103	SMB送信できませんでした。	SMBの設定を確認してください。 - ログインユーザー名またはログインパスワード  参考 ドメインユーザーの場合はドメイン名を指定してください。 - パス - 送信先フォルダーのアクセス権	5-16
	FTP送信できませんでした。	FTPの設定を確認してください。 - パス - 送信先フォルダーのアクセス権	5-19
1104	メール送信できませんでした。	メールアドレスを確認してください。  参考 ドメイン制限で拒否されている場合は送信できません。	5-15

エラーコード	表示	処理方法	参照ページ
1105	SMB送信できませんでした。	以下の設定を確認してください。 [システムメニュー/カウンター]キー> [システム/ネットワーク]>[ネットワーク]> [プロトコル設定]>[SMBクライアント(送信)]	5-16
	メール送信できませんでした。	Command Center RXでSMTPを[オン]にしてください。	2-45
	FTP送信できませんでした。	以下の設定を確認してください。 [システムメニュー/カウンター]キー> [システム/ネットワーク]>[ネットワーク]> [プロトコル設定]>[FTPクライアント(送信)]	5-19
1106	メール送信できませんでした。	Command Center RXでSMTPの差出人アドレスを確認してください。	2-45
1131	FTP送信できませんでした。	SSLを使用できるように設定してください。 [システムメニュー/カウンター]キー> [システム/ネットワーク]>[ネットワーク]> [セキュリティ設定]>[SSL]	5-19
1132	FTP送信できませんでした。	送信先のサーバーを確認してください。 ・ FTPSに対応していますか？ ・ 設定した暗号方式に対応していますか？	—
2101	SMB送信できませんでした。	ネットワークとSMBの設定を確認してください。 ・ ネットワークケーブルの接続 ・ ハブの動作 ・ サーバーの状態 ・ ホスト名またはIPアドレス ・ ポート番号	—
	FTP送信できませんでした。	ネットワークとFTPの設定を確認してください。 ・ ネットワークケーブルの接続 ・ ハブの動作 ・ サーバーの状態 ・ ホスト名またはIPアドレス ・ ポート番号	—
	メール送信できませんでした。	ネットワークとCommand Center RXの設定を確認してください。 ・ ネットワークケーブルの接続 ・ ハブの動作 ・ サーバーの状態 ・ POP3ユーザーのPOP3サーバー名 ・ SMTPサーバー名	2-45

エラーコード	表示	処理方法	参照ページ
2102 2103	FTP送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 - ネットワークケーブルの接続 - ハブの動作 - サーバーの状態	—
		送信先のサーバーを確認してください。 - FTPに対応していますか？ - サーバーの状態	—
	メール送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 - ネットワークケーブルの接続 - ハブの動作 - サーバーの状態	—
2201 2202 2203 2231	メール送信できませんでした。 FTP送信できませんでした。 SMB送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 - ネットワークケーブルの接続 - ハブの動作 - サーバーの状態	—
2204	メール送信できませんでした。	Command Center RXのSMTP設定でメール送信のサイズ制限を確認してください。	2-45
3101	メール送信できませんでした。	送信元および送信先の認証方法を確認してください。	—
	FTP送信できませんでした。	ネットワークを確認してください。 - ネットワークケーブルの接続 - ハブの動作 - サーバーの状態	—
3201	メール送信できませんでした。	送信先のSMTPユーザー認証方法を確認してください。	—
0007 4201 4701 5101 5102 5103 5104 7101 7102 7103 720f	—	電源スイッチを入れなおしてください。何度も発生するときは、タッチパネルに表示されているエラーコードを書きとめ、サービス担当者にご連絡ください。	2-10

調整/メンテナンスメニュー

調整/メンテナンスメニューについて

画面に調整メニューやメンテナンスメニューを実行するよう表示されたときや、画像に問題があったときは、システムメニューの調整/メンテナンスメニューを実行してください。

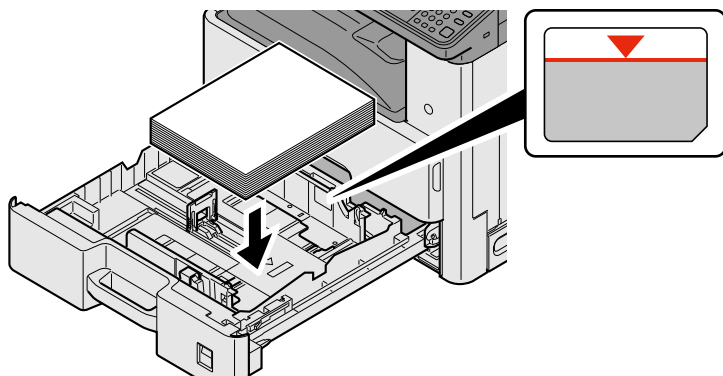
実行できるメニューは、次のとおりです。

メニュー	内容	参照ページ
階調調整	印刷された画像の濃淡を調整します。	11-23
ドラムリフレッシュ1	印刷された画像の流れたようにじみや白点を改善します。	11-24
ドラムリフレッシュ2	印刷された画像の白点を改善します。	11-24

階調調整を実行する

長期間の使用や、周辺の温度や湿度の影響で、印刷の濃淡にズレが生じる場合があります。原稿と印刷された画像の濃淡が異なる場合は、この機能を使って補正することができます。

1 用紙をセットする



☑ 重要

- 印刷する面を上にしてセットしてください。
- 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。
- ▶ [用紙の取り扱い上の注意 \(3-19\)](#)
- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
- 用紙の量は、収納上限を示すラベル(イラスト参照)の目盛り以下にしてください。
- 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わさずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

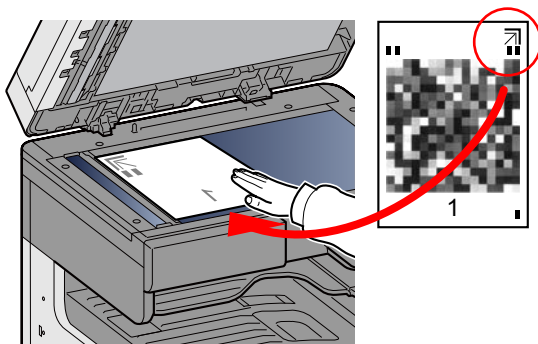
2 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [階調調整]

3 調整する

- 1 [実行]を選択します。
パターンが出力されます。パターンの下に番号の1が印刷されていることを確認します。

- イラストのように、矢印がある方を奥側に、印刷されている面を下向きにして原稿ガラスにセットしてください。



- [実行]を選択します。
パターンの読み込みを開始し、調整を実行します。
- 調整終了の確認画面で、[OK]を選択します。

ドラムリフレッシュ1を実行する

印刷された画像の流れたようにじみや白点を改善します。

参考

印刷中にドラムリフレッシュ1は実行できません。印刷が終了してから実行してください。

- 画面を表示する
[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [ドラムリフレッシュ1]
- 調整する
[実行]を選択します。ドラムリフレッシュ1が開始されます。

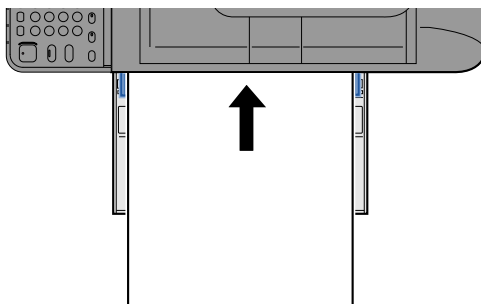
ドラムリフレッシュ2を実行する

印刷された画像の白点を改善します。

参考

印刷中にドラムリフレッシュ2は実行できません。印刷が終了してから実行してください。

- 用紙をセットする
手差しトレイにA3またはLedgerの用紙をセットします。



2 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [調整/メンテナンス] > [ドラムリフレッシュ2]

3 調整する

[実行]を選択します。ドラムリフレッシュ2が開始されます。



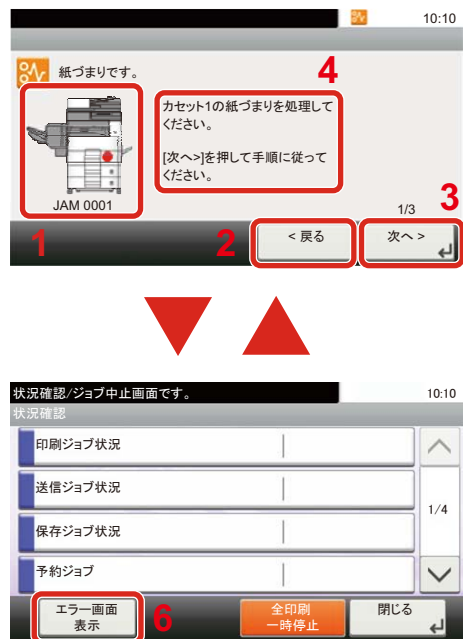
参考

ドラムリフレッシュ2を実行すると、本体より振動音がします。その後、約100秒後に用紙を排出してドラムリフレッシュを終了します。排出された用紙はトナーで汚れていますが、異常ではありません。

紙づまりの解除

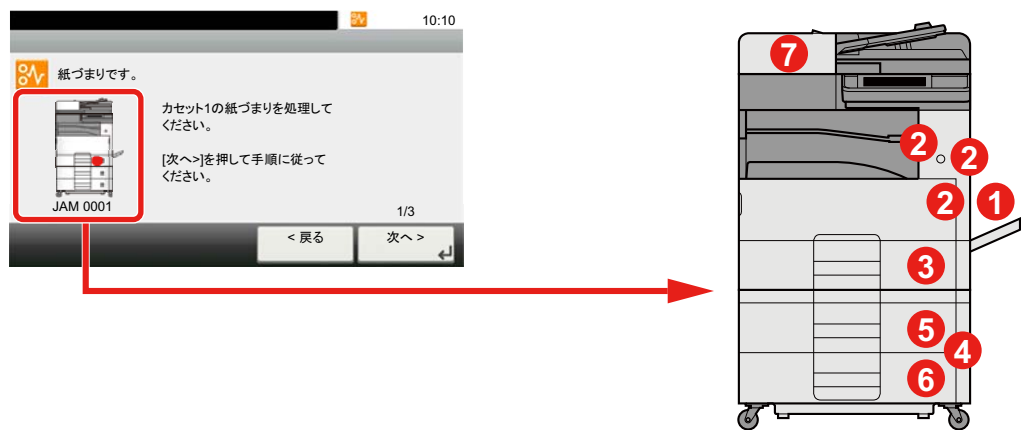
紙づまりが発生すると、印刷が停止し、タッチパネルに紙づまりの位置とともに次のメッセージが表示されます。
「紙づまりです。」
以降の手順を参照して、つまっている用紙を取り除いてください。

紙づまり表示の見かたと位置の確認



- 1 紙づまりの位置情報を表示します。
- 2 前の手順を表示します。
- 3 次の手順を表示します。
- 4 処理の手順を表示します。
- 5 [状況確認/ジョブ中止]キーを選択すると[保留]が選択されます。[保留]を選択するとステータス画面を表示し、ジョブの状況を確認できます。
- 6 [エラー画面表示]を選択すると、紙づまりガイダンスに戻ります。

紙づまりが発生すると、タッチパネルに紙づまり位置表示と処置方法が表示されます。



紙づまり位置表示	紙づまりの位置	参照ページ
1	手差しトレイ	11-27
2	右カバー1	11-28
3	カセット1	11-29
4	右カバー3	
5	カセット2	11-29

紙づまり位置表示	紙づまりの位置	参照ページ
6	カセット3	11-29
7	原稿送り装置	11-33

紙づまり処理が終了すると、ウォームアップが開始されます。エラーメッセージが消え、紙づまり前の状態にセットし直されます。

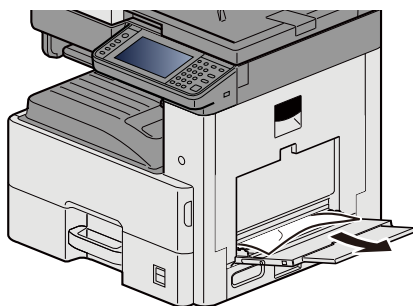
手差しトレイの紙づまりを除去する



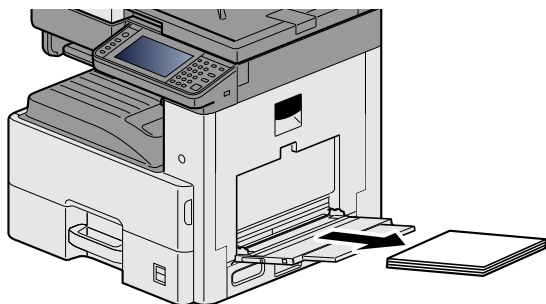
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

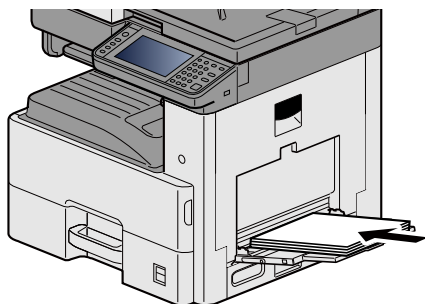
1 つまった用紙を取り出す



2 用紙をすべて取り出す



3 用紙をセットし直す



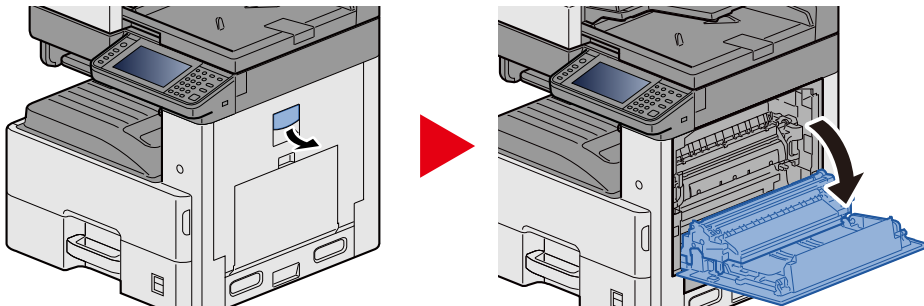
右カバー1の紙づまりを除去する



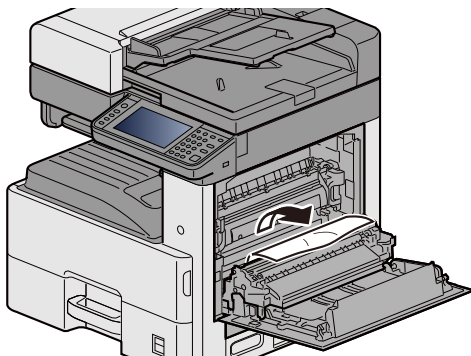
注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

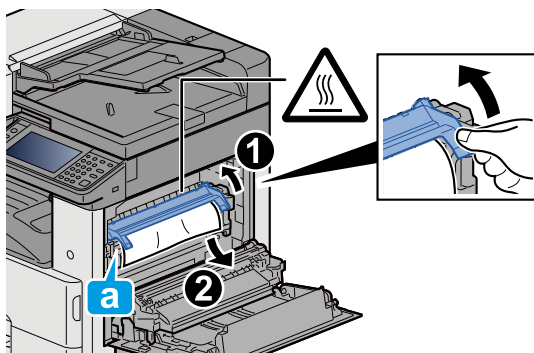
1 右カバー1を開ける



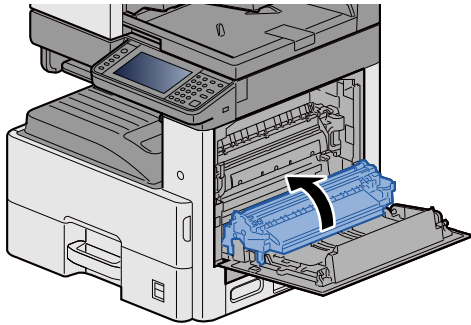
2 つまった用紙を取り出す



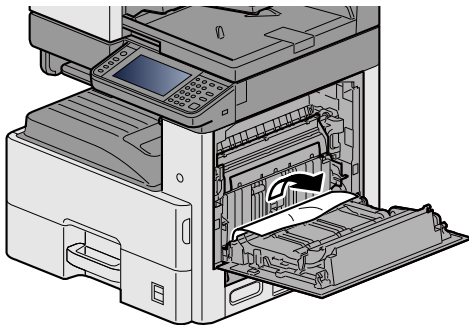
3 定着カバー(a)を開けて、つまった用紙を取り出す



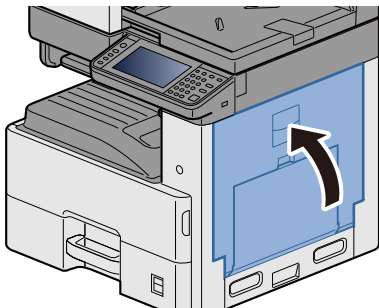
4 両面ユニットを開ける



5 つまった用紙を取り出す



6 右カバー1を元の位置に戻す



カセット1、2、3の紙づまりを除去する

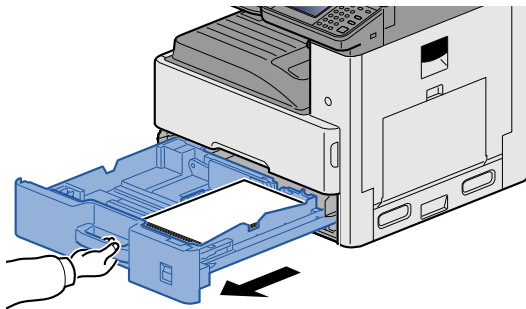
ここではカセット1を例に説明します。



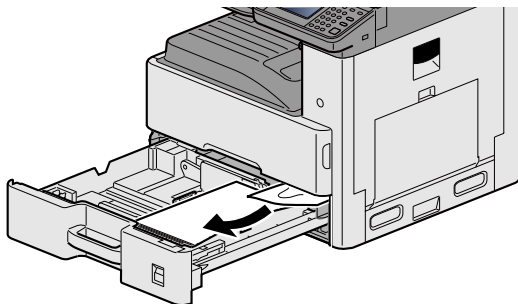
注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

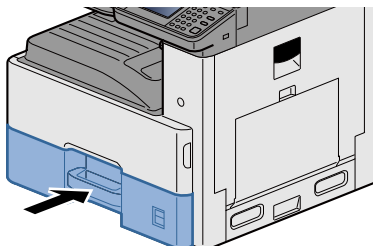
1 カセット1を引き出す



2 つまった用紙を取り出す



3 カセット1を元の位置に戻す



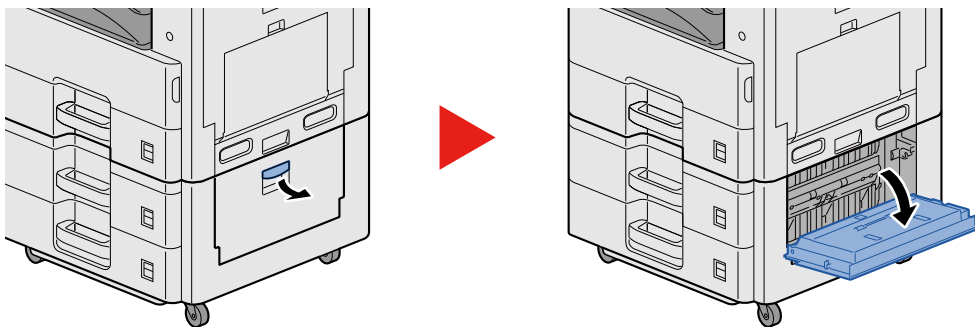
右カバー2、3の紙づまりを除去する



注意

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

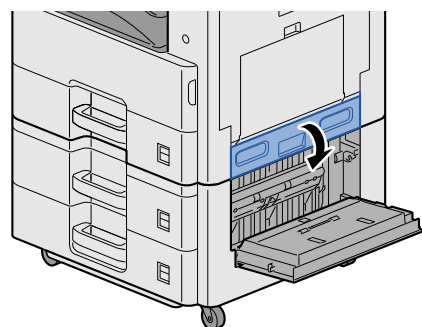
1 右カバー3を開ける



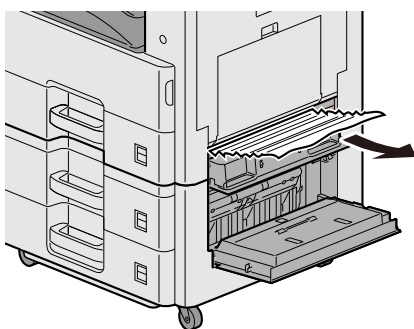
2 つまった用紙を取り出す



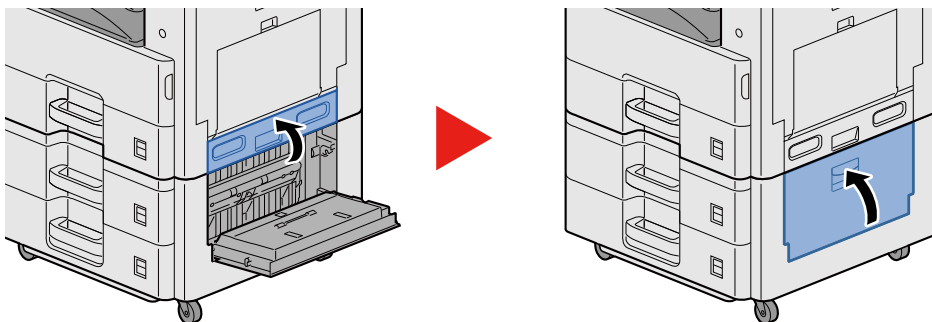
3 右カバー2を開ける



4 つまった用紙を取り出す



5 右カバー2,3を元の位置に戻す



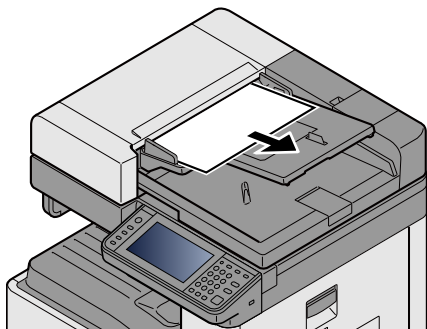
原稿送り装置の紙づまりを除去する



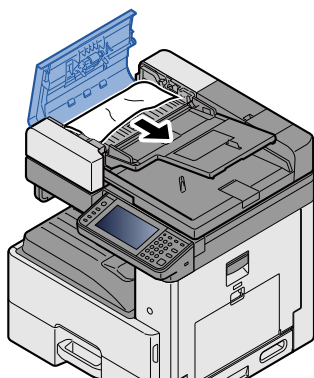
注意

原稿を取り出すときに、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。

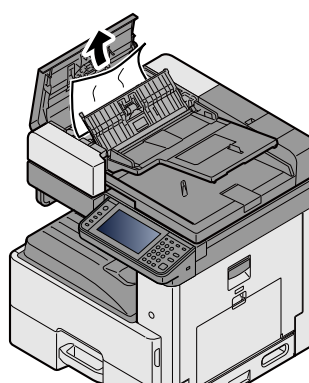
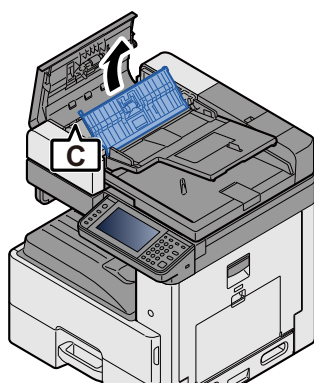
1 原稿トレイから原稿を取り出す



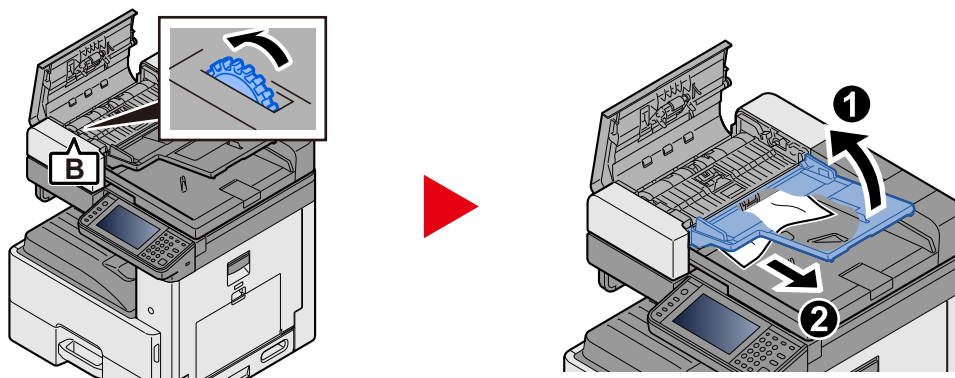
2 上カバーを開けて、つまった原稿を取り出す



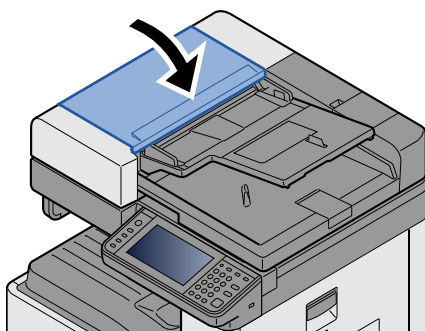
3 反転ユニットCを開けて、つまった原稿を取り出す



4 ダイヤルBを回して、つまった原稿を送り出してから取り出す



5 上カバーを元の位置に戻す



12 付録

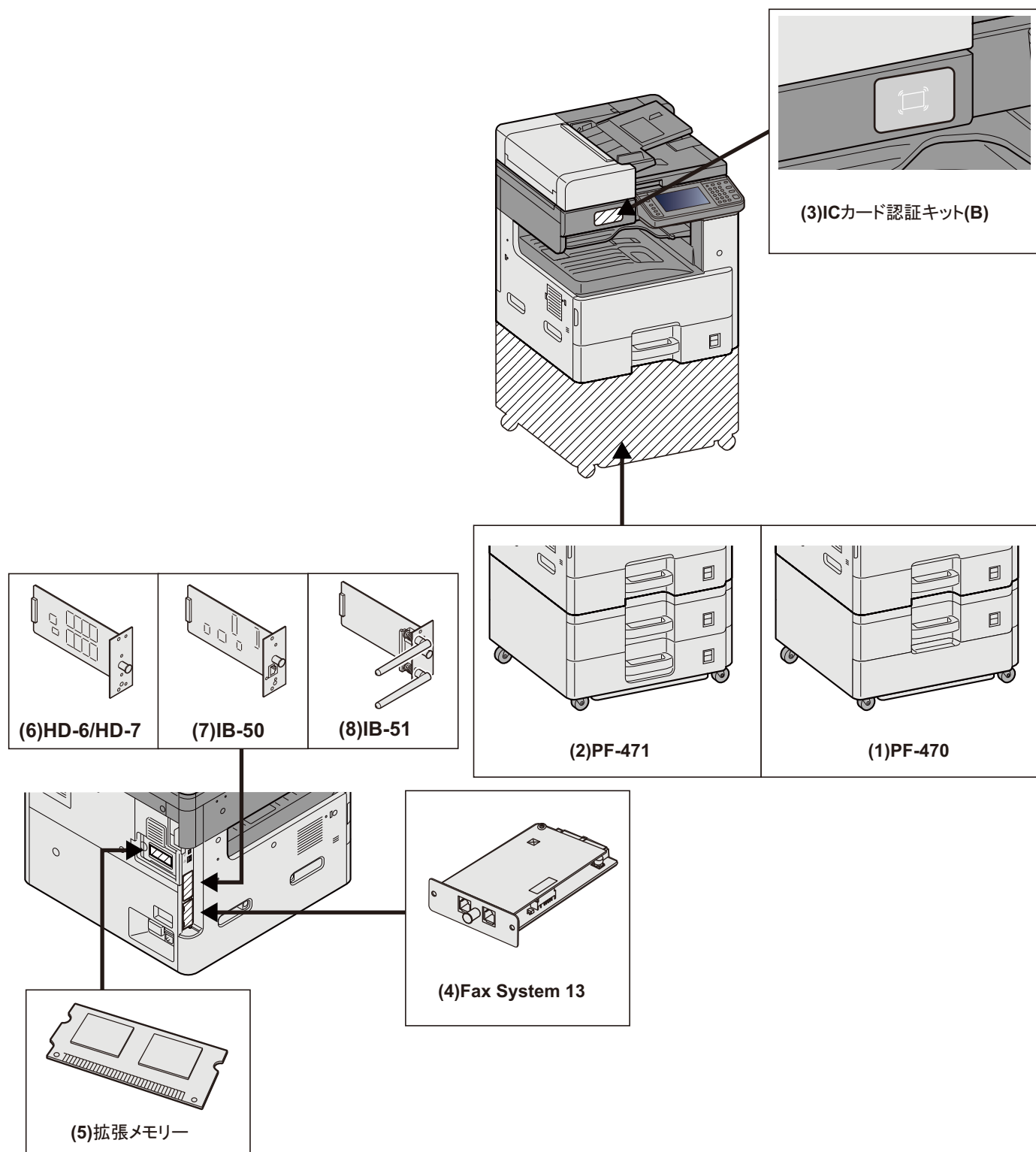
この章では、次の項目について説明します。

オプションについて	12-2
オプション構成	12-2
オプションのアプリケーションについて	12-9
アプリケーションの使用を開始する	12-10
アプリケーションの詳細を確認する	12-10
文字の入力	12-12
入力方式を選択する	12-12
入力文字を選択する	12-13
入力画面の見かた	12-14
かな入力とローマ字入力での文字変換	12-18
区点コードでの文字変換	12-21
用紙について	12-23
用紙の基本仕様	12-23
適正な用紙の選択	12-24
特殊な用紙	12-27
仕様	12-32
本体	12-33
コピー機能	12-34
プリンター機能	12-35
スキャナー機能	12-35
原稿送り装置	12-36
ペーパーフィーダー(550枚)	12-36
ペーパーフィーダー(550枚×2)	12-36
区点コード表	12-37
製品の保守サービスについて	12-43
補修用性能部品について	12-44
廃棄について	12-45
使用済み製品の廃棄	12-45
初期化について	12-45
トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄	12-45
用語集	12-46

オプションについて

オプション構成

本機では、次のオプションが使用できます。





PF-470またはPF-471を装着している場合は、転倒防止金具を装着する必要があります。

(1) PF-470<ペーパーフィーダー(550枚×1)>

本体のカセットと同じものを1段増設することができます。セットできる用紙の枚数およびセットのしかたは標準カセットと同じです。

➡ [カセット1\(～3\)に用紙をセットする \(3-20\)](#)

(2) PF-471<ペーパーフィーダー(550枚×2)>

本体のカセットと同じものを2段増設することができます。セットできる用紙の枚数およびセットのしかたは標準カセットと同じです。

➡ [カセット1\(～3\)に用紙をセットする \(3-20\)](#)

(3) ICカード認証キット(B)<ICカード認証キット>

ICカードでユーザー認証を行うことができます。ICカードで認証を行うには、事前に登録したローカルユーザーリストにICカード情報を登録する必要があります。登録方法は、次を参照してください。

➡ [ICカード認証キット\(B\)使用説明書](#)

(4) FAX System 13<ファクスキット>

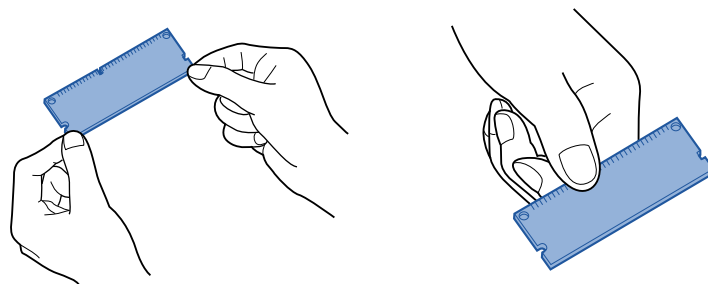
ファクスキットを装着すると、ファクスとして使用したり、パソコンで原稿を送受信できるネットワークファクスとして使用することができます。

➡ [ファクス使用説明書](#)

(5) 拡張メモリー

メモリーを増設することでより複雑な印刷が可能になり、印刷処理も高速化します。オプションの拡張メモリー2048MBを装着することで、最大3072MBまでメモリーを拡張できます

メモリー取り扱い上の注意



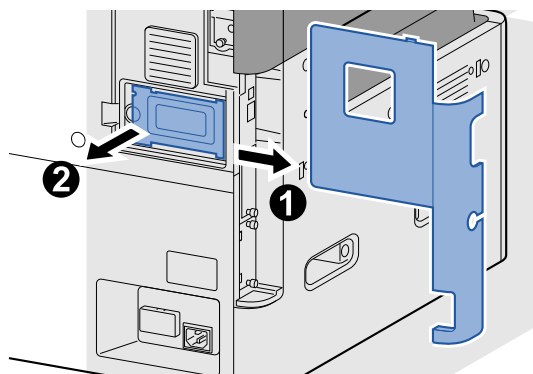
衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリーには大敵です。静電気による破壊からメモリーを保護するために、装着前に水道の蛇口や金属製のものに触って人体の静電気を除去してください。できれば、静電気対策用のリストバンドを手首にお付けください。

メモリーの取り付け取り替え

1 電源を切る

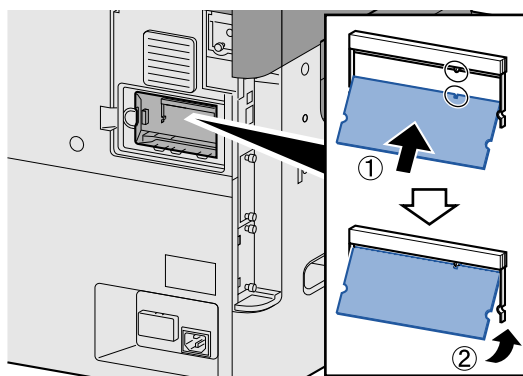
電源を切り、電源コードと本体に接続しているケーブルをすべて取り外します。

2 カバーを外す



3 取り付ける

- 1 オプションの拡張メモリーをパッケージから取り出します。
- 2 メモリーの端子部をソケット側にし、切り欠き部分をソケットの突起部分に合わせて、斜めにまっすぐ差し込みます。



☑ 重要

メモリーを差し込む前に、本体の主電源スイッチが切られているか確認してください。

- 3 差し込んだメモリーを、慎重に本体側に押し倒します。
- 4 取り外したカバーを本体に取り付けます。

拡張メモリーの取り外し

取り付けた拡張メモリーを取り外す場合は、本体右側のカバーを取り外し、ソケットにある2つのストッパを慎重に押すと、拡張メモリーはソケットから外れます。

拡張メモリーの確認

正しく装着されていない場合は、「故障が発生しています。」とメッセージが表示されます。再度取り付けし直してください。拡張メモリーが正しく装着されたかどうかは、ステータスページを印刷することによって確認できます。

➡ [\[レポート\] \(8-5\)](#)

(6) HD-6/7<大容量記憶装置:SSD>

SSDは印刷データの保存に使います。複数部印刷する時は、電子ソート機能で高速な印刷が可能になるなどのメリットがあります。また、SSDを装着することにより文書ボックス機能を使用することができます。

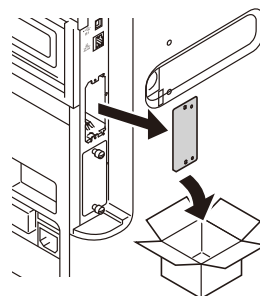
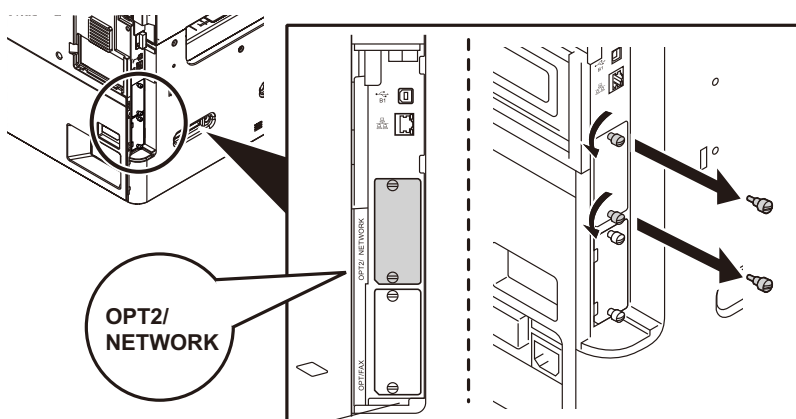
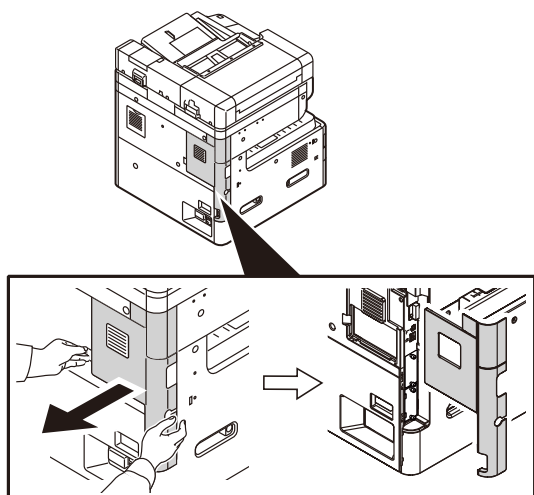
➡ [文書ボックスを使用するには \(3-53\)](#)

SSDの取り付け

1 電源をきる

電源を切り、電源コードと本体に接続しているケーブルをすべて取り外します。

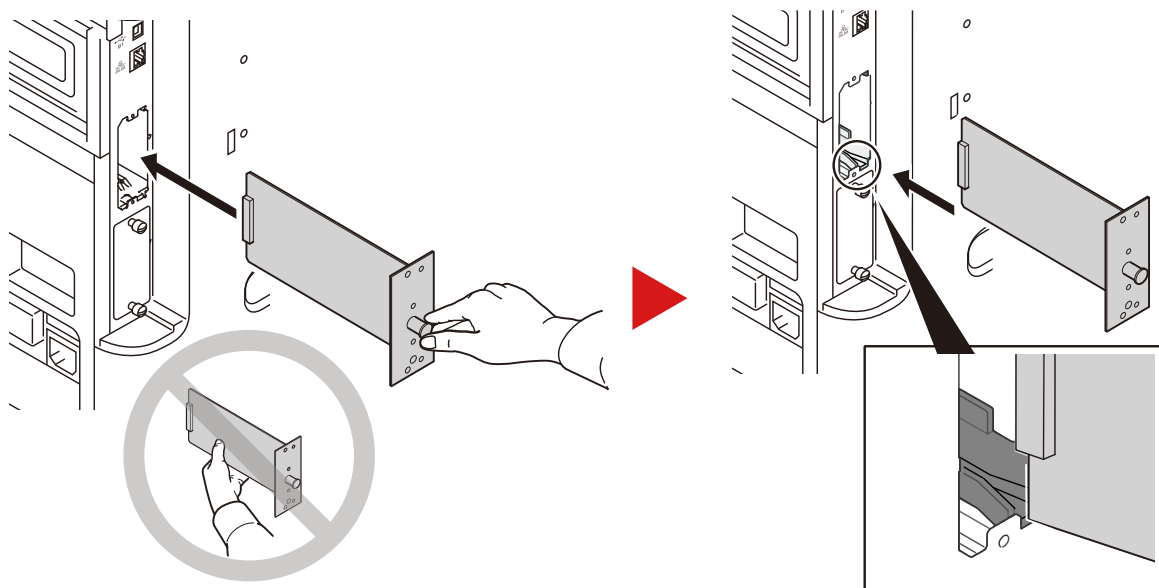
2 カバーを外す



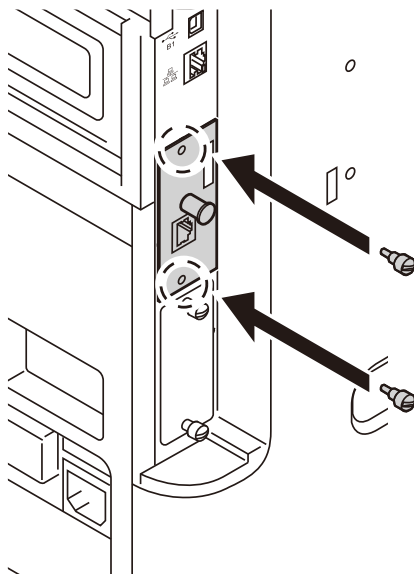
3 取り付ける

1 オプションのSSDをパッケージから取り外します。

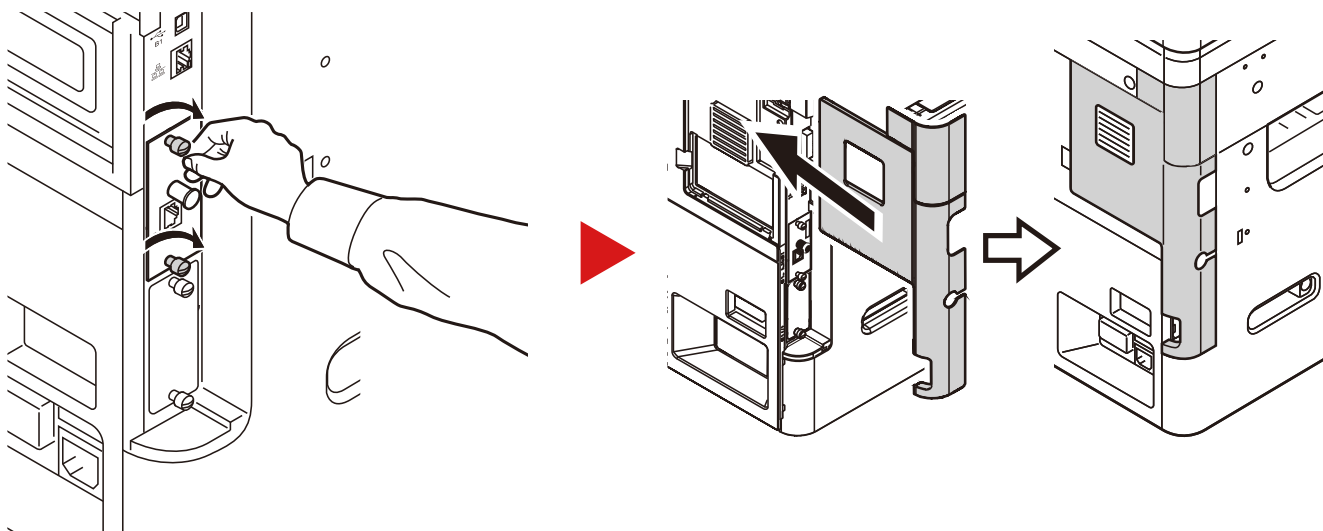
- 2 SSDをオプションのインターフェイススロットにまっすぐに差し込みます。



- 3 ネジ(2本)で固定します。



4 取り外したカバーを本体に取り付けます。



(7) SD/SDHCメモリーカード

SD/SDHCメモリーカードはオプションフロント、マクロ、フォームなどを書き込めるマイクロチップカードです。
SDHCメモリーカード(最大32 GB)およびSDメモリーカード(最大2 GB)は、メモリーカードスロットに差し込みます。

SD/SDHCメモリーカードの読み込み

本機の電源を入れるとSD/SDHCメモリーカードの内容が、本機に読み込まれます。

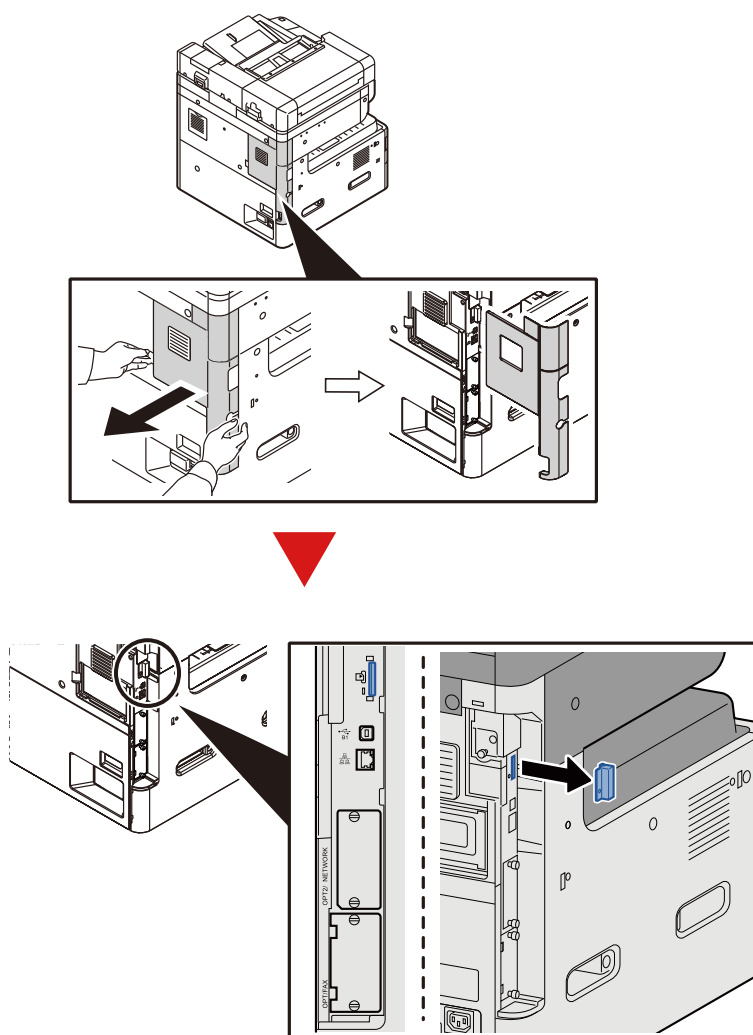
SD/SDHCメモリーカードの取り付けとフォーマット

未使用のSD/SDHCメモリーカードを使用するためには、最初に本機でSD/SDHCメモリーカードをフォーマットする必要があります。SD/SDHCメモリーカードのフォーマットについては、購入元または弊社のサービス担当者にご連絡ください。

1 電源を切る

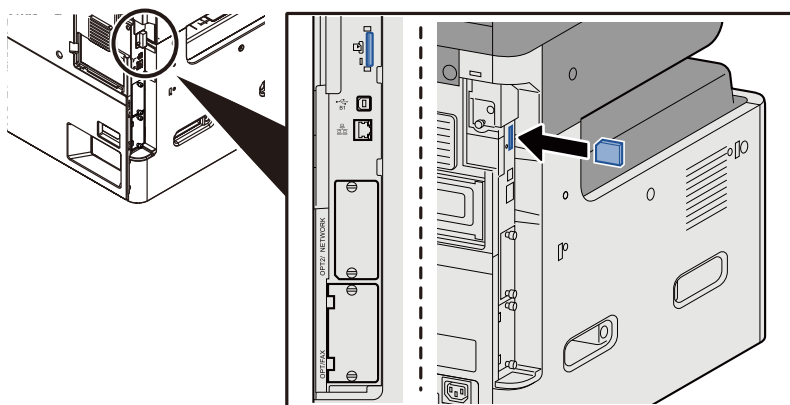
電源を切り、電源コードと本体に接続しているケーブルをすべて取り外します。

2 カバーを取り外す



3 取り付ける

- 1 SD/SDHC メモリーカードをメモリーカードスロットに差し込みます。



- 2 カバーを元どおり取り付けます。

3 電源コードをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れます。

(8) IB-50<ネットワークインターフェイスキット>

ネットワークインターフェイスキットは、通信速度が1ギガビット/秒に対応する高速のインターフェイスです。IB-50では、AppleTalkやNetwareのような伝統的なプロトコルをサポートしています。

標準ユーティリティーの最小限の機能のみ対応しています。

(9) IB-51<ワイヤレスインターフェイスキット>

無線LAN規格IEEE802.11n(MAX 300 Mbps)および11g/bに対応した無線LANネットワークインターフェイスカードです。IB-51では、Apple TalkやNetwareのような伝統的なプロトコルをサポートしています。

標準ユーティリティーの最小限の機能のみ対応しています。

IB-51セットアップユーティリティーはWindows OSとMac OS Xに対応しています。

(10) Data Security kit(E)<セキュリティーキット>

セキュリティーキットは不要になったデータに上書き処理を行い、データの記録領域をすべて書き換えて、復元できないようにします。また、データをSSDに保存するとき、暗号化して書き込みます。通常の出力や操作以外では復号(解読)できないため、万一の場合のセキュリティーが強化されます

(11) UG-33 <ThinPrint Option>

プリンタードライバーがなくても印刷データを直接印刷できるようになります。

(12) Scan extension Kit(A) <OCR拡張キット>

本機のアプリケーションでOCR機能を使用できるようにするオプションです。

この機能を使用するには、SSDまたはSD/SDHCメモリーカードの装着が必要です。

➡[HD-6/7<大容量記憶装置:SSD> \(12-4\)](#)

➡[SD/SDHCメモリーカード \(12-7\)](#)

この機能を使用するには、アプリケーションおよびOCR辞書のインストールが必要です。

➡[オプションのアプリケーションについて \(12-10\)](#)

➡[OCR辞書のインストール \(8-55\)](#)

オプションのアプリケーションについて

本機には、次のようなオプションのアプリケーションがあります。

アプリケーション
セキュリティーキット
ICカード認証キット*1
ThinPrint Option*1
OCR拡張キット*1

*1 一定の期間お試しとして使用することができます。



参考

- お試しの期間や使用できる回数などの制限は、アプリケーションによって異なります。
- 日付設定を変更すると、オプションのアプリケーションをお試しで使用するができなくなります。

アプリケーションの使用を開始する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター] キー > [システム/ネットワーク] > 「オプション機能」



参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

- ログインユーザー名
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500
- ログインパスワード
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

2 使用を開始するアプリケーションを選択 > [スキップ>>]

[

3 [正規] > [次へ] > ライセンスキーを入力 > [OK]

アプリケーションによっては、ライセンスキーを入力する必要がないものがあります。ライセンスキーの入力画面が表示されない場合は手順4に進んでください。

お試しで使用する場合は、ライセンスキーを入力せずに[試用]を選択します。

4 確認画面で[はい]を選択する



参考

- セキュリティーキットまたはThinPrint Optionを起動して、ライセンスキーを入力した場合は、電源のOFF/ONが必要です。
- 起動したアプリケーションのアイコンは、ホーム画面に表示されます。

アプリケーションの詳細を確認する

1 [システムメニュー/カウンター] キー > [システム/ネットワーク] > 「オプション機能」

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

- ログインユーザー名
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500
- ログインパスワード
TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

2 詳細を確認するアプリケーションの[]を選択します。

選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます。

参照できる項目は次のとおりです。

項目
機能名
ライセンス
残り試用回数
試用期限
動作状況

試用期限を延長するときは、[設定を変更して印刷する] > [はい]の順に選択してください。

文字の入力

名前などを入力するときに使用する、タッチパネル上のキーボードについて説明します。

漢字の入力は、かな入力とローマ字入力の両方で入力できます。また、漢字変換の際には文節変換が可能です。

文字を入力するときは、まず入力方式と入力文字をそれぞれ選択してください。

入力方式を選択する

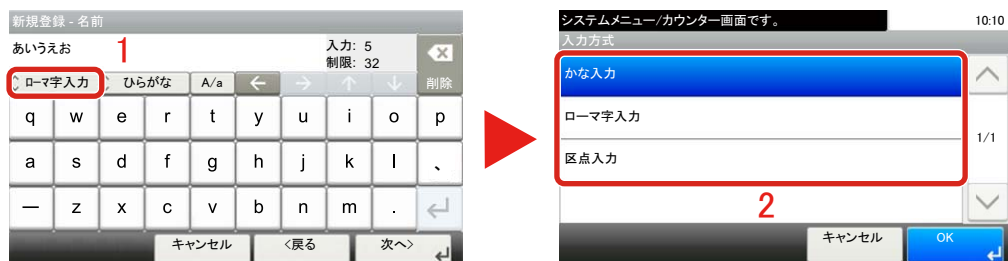
入力方式には次の3種類があります。

[起動]—かな入力で漢字などを入力するときに使用してください。

[停止]—ローマ字入力(例えば、「か」と入力するとき「K」「A」と入力する)で漢字などを入力するときに使用してください。

[中止]—4桁の区点コードを入力して漢字などを入力するときに使用してください。

1 入力方式を切り替える



2 入力方式を[起動]、[停止]または[中止]を選択する

[かな入力]入力画面



[ローマ字入力]入力画面



[区点入力]入力画面



参考

入力方式の初期値を[停止]に変更することができます。

➡ [\[キーボード入力方式\] \(8-20\)](#)

入力文字を選択する

入力文字には次の7種類があります。

[次の予約]－漢字変換できます。無変換のときは全角ひらがなになります。

[次の宛先]－全角カタカナを入力するときに使用してください。

[延長]－半角カタカナを入力するときに使用してください。

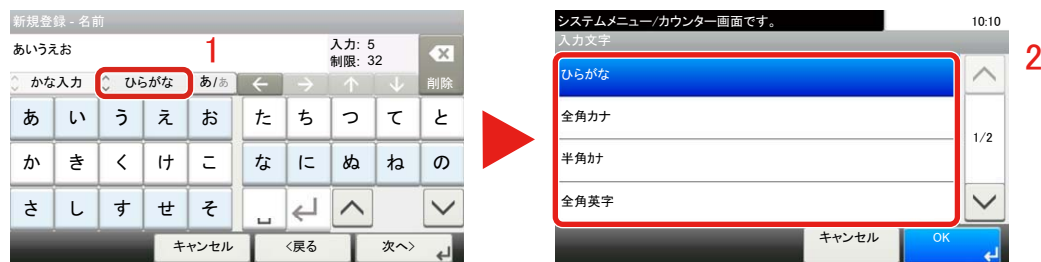
[かな入力]－無変換で全角アルファベットを入力するときに使用してください。数字はテンキーで入力できます。

[ローマ字入力]－無変換で半角アルファベットを入力するときに使用してください。数字はテンキーで入力できます。

[全角記号、数字]－無変換で全角記号、全角数字を入力するときに使用してください。

[半角記号、数字]－無変換で半角記号、半角数字を入力するときに使用してください。

1 入力文字を選択する



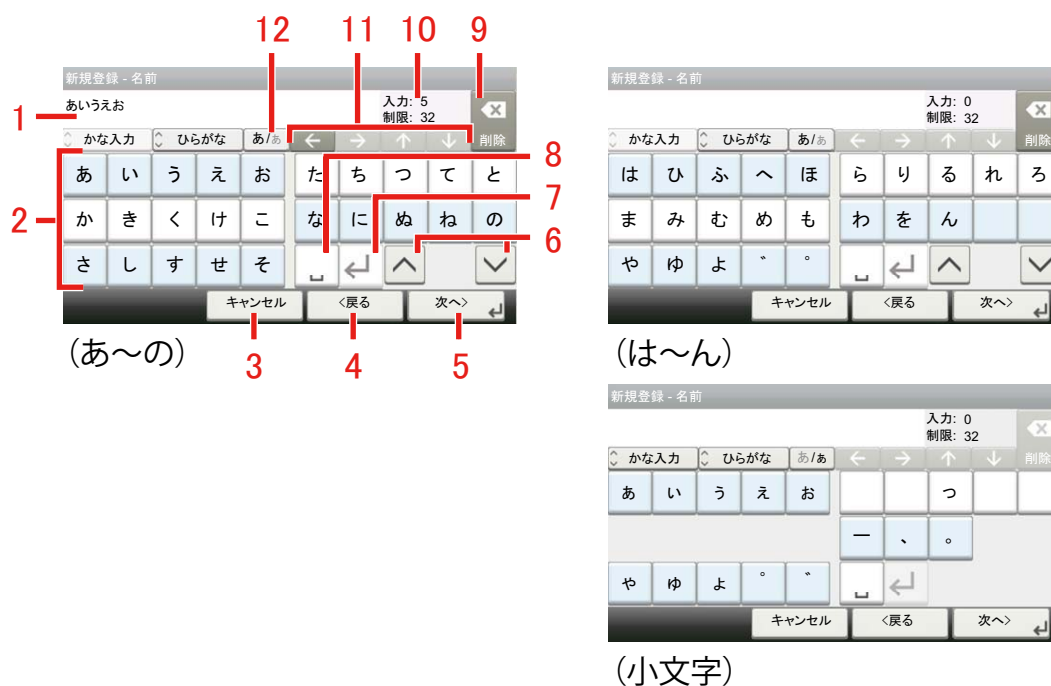
参考

入力方式として[中止]を選択したときは、入力文字は選択できません。

入力画面の見かた

かな入力の場合

次の画面は入力文字として[次の予約]を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	キーボード	入力する文字を選択してください。
3	[全角カナ]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
4	[<戻る]	前の画面に戻るときに選択してください。
5	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに選択してください。
6	[↑]、[↓]	入キーボード(あ～の)とキーボード(は～ん)を切り替えるときに選択してください。
7	改行/確定キー	入力した文字を改行または確定するときに選択してください。
8	スペースキー	スペースを入力するときに選択してください。
9	[半角英字]	カーソルの左の文字を削除するときに選択してください。
10	[入力]、[制限]	変換する文字が選択されていないときに表示されます。 文字数の制限と入力している文字数を表示します。
	[全角英字]	変換する文字が選択されているときに表示されます。 入力した文字を漢字などに変換するときに選択してください。
11	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに選択してください。
12	[あ/あ]	「あ、い、う、え、お、つ、や、ゆ、よ、一、(、)、(。)」を入力するときに選択してください。もう一度押すと、元の画面に戻ります。



参考

操作パネルの[更新]キーを押すと、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の場合は、未確定文字を削除します。

ローマ字入力

次の画面は入力文字として[次の予約]を選択した場合です。



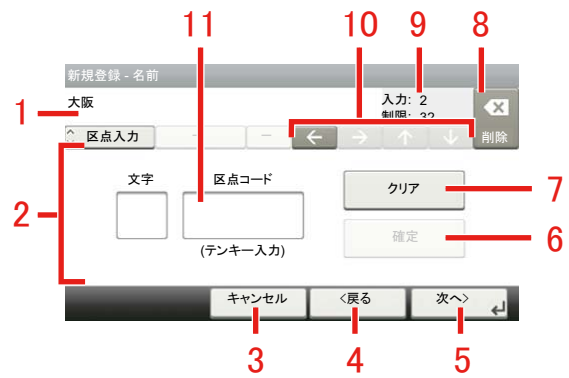
番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	キーボード	入力する文字を選択してください。
3	[全角カナ]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
4	[<戻る]	前の画面に戻るときに選択してください。
5	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに選択してください。
6	改行/確定キー	入力した文字を改行または確定するときに選択してください。
7	[半角英字]	カーソルの左の文字を削除するときに選択してください。
8	[入力]、[制限]	変換する文字が選択されていないときに表示されます。 文字数の制限と入力している文字数を表示します。
	[全角英字]	変換する文字が選択されているときに表示されます。 入力した文字を漢字などに変換するときに選択してください。
9	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに選択してください。
10	[A/a]	「キーボード(大文字)」と「キーボード(小文字)」を切り替えるときに選択してください。

 **参考**

操作パネルの[更新]キーを押すと、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の場合は、未確定文字を削除します。

区点入力の場合

次の画面は入力方式として[中止]を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	入力文字表示部	区点コードに対応した文字を表示します。
3	[全角カナ]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
4	[<戻る]	前の画面に戻るときに選択してください。
5	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに選択してください。
6	[半角カナ]	区点コードに対応した文字を確定するときに選択してください。
7	[更新]	入力した区点コードを消去するときに選択してください。
8	[半角英字]	カーソルの左の文字を削除するときに選択してください。
9	[入力]、[制限]	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
10	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに選択してください。
11	区点コード表示部	入力した区点コードを表示します。

 **参考**

各文字の区点コードは、次を参照してください。

➡ [区点コード表 \(12-37\)](#)

かな入力とローマ字入力での文字変換

かな入力、ローマ字入力のそれぞれの入力画面で変換前の文字を入力した後、[全角英字]を選択すると次のような文字変換画面が表示されます。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	変換候補リスト	選択中の文節に対する変換候補を表示します。
3	[取り消し]	[変換]を押す前に戻るときに選択してください。
4	[半角カナ]	未確定文字をすべて確定するときを選択してください。
5	[^][v]	表示されている以外に変換候補がある場合、変換候補をスクロールするときを選択してください。
6	[入力]、[制限]	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
7	[←][→]	変換対象の文節を移動させるときに選択してください。
8	[A/a][A/a]	変換対象文節の長さを変更するときを選択してください。

【入力例】「京都営業所」と入力するとき

入力は一文字ずつできますが、ここでは一度にひらがなを入力し文節に変換していく方法を説明します。

1 「きょうとえいぎょうしょ」と入力する



入力方式が[起動]の場合「きょうとえいぎょうしょ」と順にタッチパネル上で入力してください。

入力方式が[停止]の場合、「kyoutoeigyousho」と順にタッチパネル上で入力してください。文字表示部に「きょうとえいぎょうしょ」と表示されます。

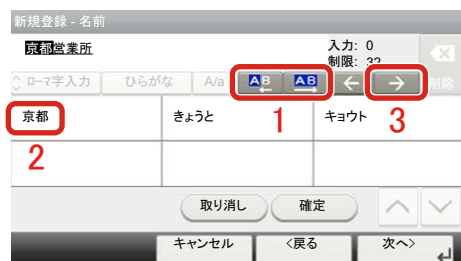
2 [全角英字]を選択する



文字変換画面を表示します。反転されている部分が変換する文字です。

3 文節を調整して変換する

- 1 [A/B]または[A/B]を選択して、変換する部分(この場合まず「きょうと」)を反転させてください。変換候補が表示されます。



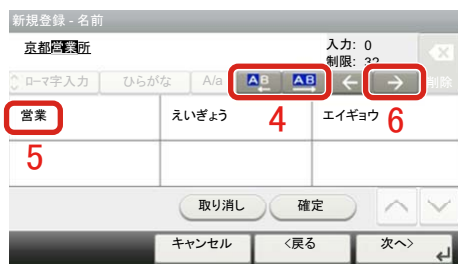
- 2 変換候補リストから、変換する文字(この場合[京都])を選択します。

参考

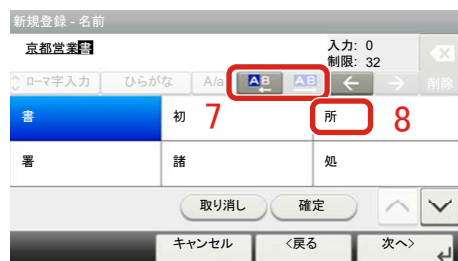
表示されている以外の変換候補がある場合、[へ]または[∨]を選択して画面をスクロールしてください。

- 3 [→]を選択します。
「京都」が決定します。

- 4 [A/B]または[A/B]を選択して、次の変換する部分(この場合「えいぎょう」)を反転させます。
変換候補が表示されます。



- 5 変換候補リストから、変換する文字(この場合[営業])を選択します。
- 6 [→]を選択します。
「営業」が決定します。
- 7 [A/B]または[A/B]を選択して、次の変換する部分(この場合「しょ」)を反転させます。
変換候補が表示されます。



- 8 変換候補リストから、変換する文字(この場合[所])を選択します。

4 変換を確定する



- 1 文字の変換が終了すれば、[半角カナ]を選択します。
- 2 入力画面に戻ります。

区点コードでの文字変換

【入力例】「大阪」と入力する場合

この例で入力する「大」の区点コードは「3471」、「阪」の区点コードは「2669」となります。



参考

入力できる文字は全角文字に限ります。半角文字は入力できません。
各文字の区点コードは、次を参照してください。

▶ [区点コード表\(12-37\)](#)

漢字を探すときは、音読みで探してください。

1 入力方式を[中止]にする

[かな入力]または[ローマ字入力]を選択して、[区点入力]を表示させてください。

2 「大」を入力する

テンキーを使って、「3」、「4」、「7」、「1」を入力すると、入力文字表示部に「大」が表示されます。[半角カナ]を選択すると「大」が入力されます。

3 「阪」を入力する

新規登録 - 名前

大 入力: 1 制限: 32

区点入力 1

文字 区点コード

阪 2669

(テンキー入力)

クリア 確定

キャンセル <戻る 次へ

新規登録 - 名前

大 入力: 2 制限: 32

区点入力

文字 区点コード

2

クリア 確定

(テンキー入力)

キャンセル <戻る 次へ

同様にして、区点コード「2669」を入力して[半角カナ]を選択すると、「阪」の文字が「大」の後に続いて入力されます。

4 入力した文字を登録する

新規登録 - 名前

大 入力: 2 制限: 32

区点入力

文字 区点コード

大 2669

(テンキー入力)

クリア 確定

キャンセル <戻る 次へ

[次へ>]を選択してください。入力した文字を登録します。

用紙について

各カセットに使用できる用紙について説明します。
各給紙元にセットできる用紙のサイズ、種類、枚数については、次を参照してください。

➡ [本体 \(12-33\)](#)

用紙の基本仕様

本機は、乾式複写機およびページプリンター用の用紙(普通紙)に出力できるよう設計されていますが、本章の制限の範囲内で、他のさまざまな用紙に印刷することができます。
本機に適さない用紙を使用すると、紙づまりが発生したり出力された用紙にシワができたりするため、用紙の選択は慎重に行ってください。

使用できる用紙

通常の乾式複写機またはページプリンター用のコピー用紙(普通紙)を使用してください。用紙の品質は、出力の品質に影響を与えます。低品質の用紙を使うと、満足のできる出力結果を得ることができません。

本機で使用できる用紙の基本仕様

本機で使用できる用紙の基本仕様です。詳細は次ページ以降で説明します。

項目	仕様
重さ	カセット: 52~163 g/m ²
	手差しトレイ: 45~256 g/m ²
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°
保水度	4~6%
パルプ含有率	80%以上



参考

再生紙の中には、保水度やパルプ含有率などの基本的な項目が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。再生紙を使用するときは、あらかじめ少量を購入してサンプル出力を行ってください。出力の結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

仕様に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

紙の状態

角の折れている用紙、全体が丸まっている用紙、汚れている用紙、破れている用紙は使用しないでください。繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙も使用しないでください。このような用紙は、印刷品質低下の原因になります。また、用紙の給送がうまくいかないために紙づまりを起こし、製品の寿命を縮める可能性があります。用紙は、表面が滑らかで均一なものを使用してください。ただし、コーティング加工などの表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めるため使用しないでください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。このような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、ドラムを傷めることがあります。

普通紙は、少なくとも80%以上のパルプを含むものを使用してください。コットンやその他の繊維が用紙成分の20%以下ものを使用してください。

滑らかさ

用紙の表面は、滑らかで均一であることが重要です。ただし、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が給紙され、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙を1 m²の大きさに換算したときの重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙の給送の失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、製品の消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定でないと、同時に複数枚を給紙したり、トナーの定着不良によって出力が不鮮明になるなど、出力品質の問題を引き起こすことがあります。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は、紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は、室内の湿度によって変わります。湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

用紙が波打ったり乾燥したりしていると、紙送りにズレが起きることがあります。用紙の保水度は4～6%の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- ・ 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- ・ 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない用紙は、もう一度密封してください。
- ・ 購入時の梱包紙や箱に、封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に、梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- ・ 長時間放置した用紙は、少なくとも48時間は正しいレベルの保水度を満たした上で使用してください。
- ・ 熱、日光、湿気にさらされる場所に放置しないでください。

その他の仕様

多孔性

紙の繊維の密度を表します。

硬さ

柔らかすぎる用紙は、本体内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール

ほとんどの用紙は、開封したまま放置すると自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。このため、カールを打ち消し合うように用紙をセットすると、仕上がりがより平らになります。

静電気

トナーを付着させるために、出力の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは、用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用するほうが、シャープで鮮明に印刷できます。

品質について

サイズの不ぞろい、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因で、本機が正しく機能しないことがあります。ご自分で裁断された用紙を使用する場合、特にご注意ください。

梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている用紙をお選びください。梱包紙は、内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

特殊処理

次のような処理を施した用紙は、基本仕様を満たしていても使用しないことをお勧めします。使用する場合は、あらかじめ少量を購入して、サンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

本機で利用できる用紙サイズ

本機に利用できる用紙サイズは次のとおりです。

寸法誤差の許容範囲は、縦横ともに ± 0.7 mmです。用紙四隅の角度は、 $90^\circ \pm 0.2^\circ$ のものを使用してください。

- A3 (297 × 420 mm)
- A4 (297 × 210 mm)
- A5 (210 × 148 mm)
- A6 (148 × 105 mm) ^{*1}
- B4 (257 × 364 mm)
- B5 (257 × 182 mm)
- B6 (182 × 128 mm) ^{*1}
- 216 × 340 mm
- Ledger
- Letter
- Legal
- Statement
- Executive (7-1/4 × 10-1/2") ^{*1}
- Oficio II
- Folio (210 × 330 mm)
- 8K (273 × 394 mm)
- 16K (273 × 197 mm)
- ISO B5 (176 × 250 mm) ^{*1}
- Envelope #10 (4-1/8 × 9-1/2") ^{*1}
- Envelope #9 (3-7/8 × 8-7/8") ^{*1}
- Envelope #6 3/4 (3-5/8 × 6-1/2") ^{*1}
- Envelope Monarch (3-7/8 × 7-1/2") ^{*1}
- Envelope DL (110 × 220 mm) ^{*1}
- Envelope C5 (162 × 229 mm) ^{*1}
- Envelope C4 (229 × 324 mm) ^{*1}
- はがき (100 × 148 mm) ^{*1}
- 往復はがき (148 × 200 mm) ^{*1}
- 洋形4号 (105 × 235 mm) ^{*1}
- 洋形2号 (114 × 162 mm) ^{*1}
- サイズ入力 (手差しトレイ: 98 × 148 ~ 297 × 432 mm) ^{*1}

^{*1} 手差しトレイのみで使用できます。

特殊な用紙

普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機に使用できる特殊な用紙

- OHPフィルム
- プレプリント
- ボンド紙
- 再生紙
- 薄紙
- レターヘッド
- カラー紙
- パンチ済み紙
- 封筒
- はがき
- 厚紙
- ラベル紙
- 上質紙

以上の用紙を使用するときは、コピー用またはページプリンター用として指定されているものをお使いください。また、OHPフィルム、ラベル紙、封筒、はがきは手差しトレイから給紙してください。

特殊な用紙の選択

特殊な用紙は、次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で 사용할 ことができます。ただしこれらの用紙は、構造および品質に大きなばらつきがあるために、普通紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙は、サンプルを本機で印刷してみて、満足のいく仕上がりであることを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意を次項より説明します。湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、印刷中に本機またはユーザーに被害が生じても、当社は一切の責任を負いかねます。

特殊用紙を使用する際は、カセットまたは手差しトレイに使用する用紙種類を選択してください。

OHPフィルム

OHPフィルムは、印刷中の定着熱に耐えられることが条件です。使用できるOHPフィルムの仕様は次のとおりです。

耐熱性	最低190℃までの熱に耐えること
厚さ	0.100～0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°

トラブルを避けるため、OHPフィルムは手差しトレイから給紙してください。その際、必ず縦方向に（用紙の長手方向を本機に向けて）補給してください。

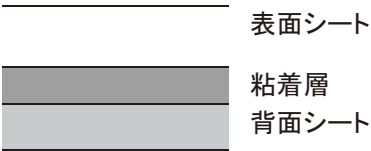
OHPフィルムが排紙部分で頻繁につまる場合は、排紙される際にOHPフィルムの先を少しだけ慎重に手で引いてみてください。

ラベル紙

ラベル紙は、必ず手差しトレイから給紙してください。

ラベル紙を選択する際は、糊が本機のどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラー類に糊が付着したり、はがれたラベルが本機内部に残ると故障の原因になります。

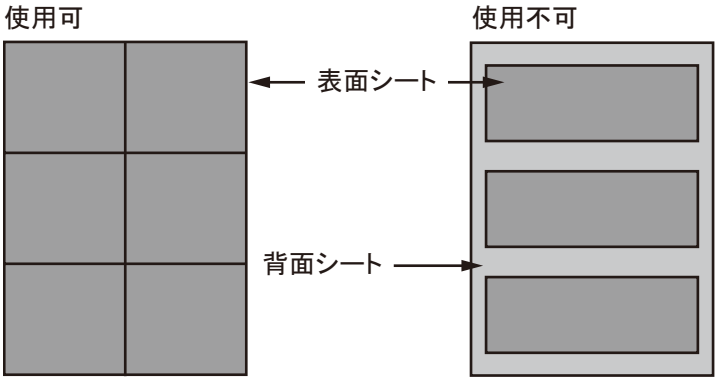
ラベル紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。



ラベル紙は、図のような3層からなる構造をしています。粘着層は本機内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

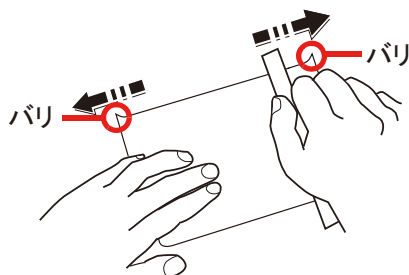
ラベル紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、出力が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



以下の仕様に合ったラベル紙を選んでください。

項目	仕様
表面シートの重さ	44～74 g/m ²
基本重量(用紙全体の重さ)	104～151 g/m ²
表面シートの厚さ	0.086～0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115～0.145 mm
保水度	4～6%(混合)

はがき



はがきは、さばいて端をそろえてから補給してください。はがきを手差しトレイから給紙する場合は印刷面を下にしてください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してから補給してください。反りがあるまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

往復はがきは、折られていないものを使用してください(郵便局などで入手できます)。また、裏面にバリ(紙を裁断した際にできる返り)がある場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く1~2回こするようにして、バリを取り除いてください。

封筒

封筒を手差しトレイから給紙する場合は印刷面を下にしてください。

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、本機を通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒で満足のいく印刷が得られるか、サンプル印刷で確認してください。

封筒は、開封したまま長時間放置するとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、以下の点に留意してください。

- 糊が露出している封筒は、どのような封筒でも使用できません。紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式もご使用になれません。糊をカバーしている紙が本機内部ではがれ落ちると、大きな故障の原因になります。
- 特殊加工されている封筒も使用できません。紐を巻きつける鳩目の打ってあるものや窓付きのもの、窓にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度に補給する封筒の枚数を減らしてみてください。

厚紙

厚紙は、さばいて端をそろえてから補給してください。裏面にバリ(紙を裁断した際にできる返り)がある場合は、用紙を平らなところに置き、はがきと同様に定規のようなもので軽く1~2回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

参考

バリを取り除いても給紙されない場合は、用紙の先端を数ミリ上にそらせてから補給してください。

カラー紙

カラー紙は、用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

➡ [本機で利用できる用紙の基本仕様 \(12-23\)](#)

さらに、用紙に含まれている色素は、出力中の熱(最高200℃)に耐えられる必要があります。

プレプリント

プレプリント用紙は、用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

➡ [本機で利用できる用紙の基本仕様 \(12-23\)](#)

着色に使われているインクは、印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる、表面加工を施してある用紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

➡ [本機で利用できる用紙の基本仕様 \(12-23\)](#)



参考

再生紙を購入する前に、仕上がりが満足いくことをサンプル印刷で確認してください。

仕様

重要

仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

参考

ファクス機能の仕様について詳しくは、次を参照してください。

▶ [ファクス使用説明書](#)

本体

項目		仕様
名称		TASKalfa 2510i/TASKalfa 2520i
型式		デスクトップ型
印刷方式		乾式静電転写方式(レーザー方式)
用紙の重さ	カセット	60～163 g/m ²
	手差しトレイ	45～256 g/m ²
用紙種類	カセット	普通紙、薄紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、上質紙、カスタム1～8(両面印刷時:薄紙を除く)
	手差しトレイ	普通紙、OHPフィルム、薄紙、ラベル紙、再生紙、プレプリント、ボンド紙、はがき、カラー紙、パンチ済み紙、レターヘッド、厚紙、封筒、上質紙、カスタム1～8
用紙サイズ	カセット1	A3、A4、A5、B4、B5、Ledger、Letter、Legal、Statement、Oficio II、216×340 mm、Folio、8K、16K
	手差しトレイ	A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6、216×340 mm、Ledger、Letter、Legal、Statement、Executive、Oficio II、Folio、8K、16K、ISO B5、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope Monarch、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、はがき、往復はがき、洋形4号、洋形2号、カスタム(98 × 148～297 × 432 mm)
印字画像欠け幅		先端4 mm、後端4 mm、左/右3 ± 2.5 mm
ウォームアップ時間 (23℃、60%)	電源ONから	TASKalfa 2510i 21秒以下 TASKalfa 2520i 21秒以下
	低電力モードから	TASKalfa 2510i 8秒以下 TASKalfa 2520i 8秒以下
	スリープから	TASKalfa 2510i 13.9秒以下 TASKalfa 2520i 13.9秒以下
用紙容量	カセット	550枚(64 g/m ²)*1 500枚(80 g/m ²)*1
	手差しトレイ	100枚(A4/Letter以下、80 g/m ²) 25枚(A4/Letterより大きいサイズ、80 g/m ²)
排紙トレイ容量	内部トレイ	250枚(80 g/m ²)
	ジョブセパレーター	50枚(80 g/m ²)
記録方式		半導体レーザー方式
メモリー		標準1024MB(1.0 GB)、最大3072MB(3.0GB)
インターフェイス	標準	Hi-Speed USB:1 ネットワークインターフェイス:1 (1000Base-T/100Base-Tx/10BASE-T(IPv6、IPv4、IPSec)、802.3az対応) USB-Host:2(USBフラッシュメモリースロット) 無線LAN対応
	オプション	eKUIO:2 ファクス:1 オプションインターフェイス:2 (IB-50/IB-51装着用)

項目		仕様
使用環境	温度	10～32.5℃
	湿度	10～80%
	標高	3,500 m以下
	照度	1,500 lux以下
本体寸法(幅×奥行き×高さ)		590× 590 × 688 mm
質量		TASKalfa 2510i 49 kg(トナーコンテナを除く) TASKalfa 2520i 52 kg(トナーコンテナを除く)
機械占有寸法(幅×奥行き)		873 × 590 mm(手差しトレイ使用時)
電源		AC100 V、50/60 Hz、11.8 A
エネルギー消費効率		53 kWh/年 区分:複合機c
オプション		➔ オプションについて (12-2)

*1 カセット内上限高さラインまで

コピー機能

項目		仕様		
コピー速度	TASKalfa 2510i TASKalfa 2520i		カセット給紙	手差し給紙
		A4/Letter	25枚/分	17枚/分
		A4-R/Letter-R	18枚/分	14枚/分
		A3/Ledger	12枚/分	11枚/分
		B4/Legal	12枚/分	11枚/分
		B5	25枚/分	17枚/分
		B5-R	16枚/分	14枚/分
		A5-R	12枚/分	12枚/分
		A6-R	-	12枚/分
ファーストコピー時間 (原稿ガラス、 本体カセットでA4)		TASKalfa 2510i 5.8秒以下 TASKalfa 2520i 5.8秒以下		
複写倍率		任意倍率:25～400%(1%単位) 固定倍率:400%、200%、141%、122%、115%、100%、86%、81%、70%、50%、 25%		
連続複写		1～999部		
解像度		600 × 600 dpi		
原稿の種類		シート、ブック、立体物(最大原稿サイズ:A3/Ledger)		
原稿台方式		固定		

プリンター機能

項目		仕様		
印刷速度	TASKalfa 2510i TASKalfa 2520i		カセット給紙	手差し給紙
		A4/Letter	25枚/分	17枚/分
		A4-R/Letter-R	18枚/分	14枚/分
		A3/Ledger	12枚/分	11枚/分
		B4/Legal	12枚/分	11枚/分
		B5	25枚/分	17枚/分
		B5-R	16枚/分	14枚/分
		A5-R	12枚/分	12枚/分
		A6-R	-	12枚/分
ファーストプリント時間（A4）		TASKalfa 2510i 5.8秒以下 TASKalfa 2520i 5.8秒以下		
解像度		600 × 600 dpi 、 Fine 1200		
対応OS		Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10、Windows Server 2008/R2、Windows Server 2012/R2、Windows Server 2016、Mac OS X 10.5以上		
インターフェイス	標準	Hi-Speed USB：1 ネットワークインターフェイス：1 （1000Base-T/100Base-Tx/10BASE-T（IPv6、IPv4、IPSec）、802.3az対応） 無線LAN対応		
	オプション	オプションインターフェイス：2（IB-50/IB-51装着用）		
ページ記述言語		PRESCRIBE		
エミュレーション		PCL6（PCL-XL、PCL5e）、KPDL3（PostScript3互換）、PDF、XPS、OpenXPS		

スキャナー機能

項目		仕様		
解像度		600 dpi × 600 dpi、400 dpi × 400 dpi、200 dpi × 400 dpi、300 dpi × 300 dpi、200 dpi × 200 dpi、200 dpi × 100 dpi		
ファイルフォーマット		TIFF、JPEG、XPS、OpenXPS、PDF (MMR/JPG圧縮/高圧縮PDF)、MS Office file ^{*1*} 2、サーチャブルPDF ^{*1}		
連続原稿読み取り速度 ^{*3} (A4 300 dpi、文字+写真モード)	TASKalfa 2460ci	片面白黒 50イメージ/分	カラー 50イメージ/分	
	TASKalfa 2470ci	両面白黒 16イメージ/分	カラー 16イメージ/分	
インターフェイス		イーサネット (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)		
送信方式		SMB、SMTP、FTP、FTP over SSL、TWAIN ^{*4} 、WIA ^{*4} 、WSD		

*1 オプションのOCR拡張キットを装着している場合

*2 Microsoft Office 2007以降

*3 原稿送り装置を使用 (TWAIN/WIAスキャン時を除く)

*4 対応OS: Windows Vista/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/
Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows 10/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2016

原稿送り装置

項目	仕様
原稿の送り方式	自動給紙方式
原稿の種類	シート原稿
原稿サイズ	最大: A3/Ledger (297 × 432 mm) (長尺: 297 × 1,900 mm)
	最小: A5-R/Statement-R (140 × 182 mm)
原稿の厚さ	片面: 45～160 g/m ² 両面: 50～120 g/m ²
原稿セット枚数	50枚以下 (50～80 g/m ²) *1

*1 原稿送り装置内上限高さラインまで

ペーパーフィーダー(550枚)

項目	仕様
給紙方式	フリクションリタード方式 (収納枚数550 枚 (64 g/m ²)×1段/500 枚 (80 g/m ²)×1段)
用紙サイズ	A3、A4、A5、B4、B5、216×340 mm、Ledger、Letter、Legal、Statement、Oficio II、Folio、8K、16K
使用用紙	紙厚: 60 ～ 163 g/m ² 用紙種類: 普通紙、再生紙、マテリアル
本体寸法(幅×奥行き×高さ)	590 × 589 × 352 mm
質量	約20.8 kg

ペーパーフィーダー(550枚×2)

項目	仕様
給紙方式	フリクションリタード方式 (収納枚数550 枚 (64 g/m ²)×2段/500 枚 (80 g/m ²)×2段)
用紙サイズ	A3、A4、A5、B4、B5、216×340 mm、Ledger、Letter、Legal、Statement、Oficio II、Folio、8K、16K
使用用紙	紙厚: 60 ～ 163 g/m ² 用紙種類: 普通紙、再生紙、マテリアル
本体寸法(幅×奥行き×高さ)	590 × 589 × 352 mm
質量	約21 kg

区点コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0100											0350	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z		0600	A	B	Г	Δ	E	Z	H	Θ	I	
0110	!	”	°	’	”	^	—	—	—	—	0360					a	b	c	d	e		0610	К	Λ	M	N	Ξ	O	Π	Ρ	Σ	T
0120	べ	ゞ	ゞ	//	全	々	メ	○	—	—	0370	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	0620	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
0130	-	/	\	~			...	...	..	..	0380	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	0630				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
0140	“	”	(	)	{	}	[	]	{	}	0390	z										0640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
0150	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	0400	あ	あ	い	い	う	う	え	え	お		0650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
0160	+	-	±	×	÷	=	≠	<	>	≤	0410	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	0660										
0170	≥	∞	∴	♂	♀	°	’	”	℃	¥	0420	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	0670										
0180	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	0430	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	0680										
0190	★	○	●	◎	◇						0440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ば	0690										
0200	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒		0450	ひ	び	び	ふ	ぶ	へ	べ	べ	ほ		0700	A	B	B	Г	Д	E	Ё	Ж	З	
0210	→	←	↑	↓	=						0460	ぼ	ぼ	ま	み	む	め	も	や	や	ゆ	0710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
0220										∈	∋	⊆	⊇								0720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	
0230	⊂	⊃	∪	∩							0480	ぬ	ゑ	を	ん							0730	Ь	Э	Ю	Я						
0240			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃		0490											0740										а
0250											0500	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ		0750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
0260	∠	⊥	∩	∅	∇	≡	≡	≡	≡	√	0510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	0760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
0270	∞	∞	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴		0520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	0770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
0280			Å	%	#	b	♪	†	‡	¶	0530	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ツ	ヅ	テ	デ		0780	ю	я								
0290										○	0540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	バ	0790										
0300											0550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	ブ	ヘ	ベ	ベ	ホ	0800										
0310										0	1	2	3									0810										
0320	4	5	6	7	8	9					0560	ボ	ボ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ		0820										
0330										A	B	C	D	E	F	G						0830										
0340	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	0570	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ	0840										
											0580	キ	エ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ														
											0590																					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1600	垂	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	力	1850	禍	禾	稼	箇	花	茄	荷	華	菓	キ	2100	機	婦	穀	氣	汽	畿	祈	季	稀
	1610	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	芦		1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄		2110	紀	微	規	記	貴	起	軌	輝	飢
	1620	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢		1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓		2120	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬
	1630	鮎	或	栗	裕	安	庵	按	暗	案		1880	介	会	解	回	塊	壞	迴	快	怪		2130	犧	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊
	1640	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	罔	夷		1890	恢	懷	戒	拐	改						2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍
イ	1650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	カ	1900	魁	晦	械	海	灰	界	皆	給	芥	ク	2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及
	1660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺		1910	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害		2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸
	1670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壺	溢		1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸		2170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去
	1680	稻	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因		1930	蟬	蛙	垣	柿	蚯	鈎	劃	嚇	各		2180	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸
	1690	引	飲	淫	胤	蔭						1940	拈	攪	核	格	殼	獲	確	穫	覺		2190	禦	魚	亨	享	京				
ウ	1700	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	キ	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	樂	ケ	2200	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	1710	迂	雨	卯	鵲	窺	丑	碓	臼	渦		1960	顎	掛	笠	榎	梶	鯁	漏	割	喝		2210	卿	叫	喬	境	峽	強	疆	怯	恐
	1720	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閨		1970	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	旦		2220	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅
	1730	云	運	雲	荏	餌	叡	宮	嬰	影		1980	叶	柁	樺	梲	株	兜	竈	蒲	釜		2230	蕎	鄉	鏡	響	響	驚	仰	凝	堯
	1740	曳	采	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎		1990	囁	鴨	栢	茅	萱						2240	業	局	曲	極	玉	桐	杆	僅	勤
エ	1750	衛	詠	銳	液	疫	益	駅	悅	謁	ク	2000	粥	刈	苴	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	ケ	2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋
	1760	閱	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延		2010	勘	勘	巷	喚	堪	姦	完	官	寬		2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀
	1770	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿		2020	幹	患	感	憾	換	敢	柑	桓	棺		2270	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	駟
	1780	艷	苑	蘭	遠	鉛	鴛	塹	於	汚		2030	款	飲	汗	漠	潤	淮	環	甘	監		2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	隅
	1790	凹	央	奧	往	応						2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	艦	莞	觀		2290	串	櫛	釧	屑	屈				
オ	1800	押	旺	橫	欧	殴	王	翁	襖	鶯	キ	2050	諫	貫	還	鑑	閑	閑	閑	閑	韓	ケ	2300	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	桑
	1810	鷗	黃	岡	冲	荻	億	屋	憶	臆		2060	館	丸	含	岸	巖	玩	癌	眼	岩		2310	栗	繰	桑	鋤	勲	君	薰	訓	群
	1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下		2070	鷹	雁	頑	頑	顔	企	伎	危	喜		2320	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓
	1830	仮	何	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏		2080	基	奇	嬉	崎	岐	希	幾	忌	揮		2330	珪	型	契	形	徑	患	慶	慧	憩
	1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火		2090	旗	既	期	棋	棄						2340	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ケ	2350	繫	野	荃	荊	蚩	計	詣	警	輕	コ	2600	此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	シ	2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借
	2360	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙		2610	昏	昆	根	棍	痕	紺	艮	魂	些		2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月		2620	佐	又	峻	嵯	左	差	查	沙	瑳		2870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	殊
	2380	俟	倦	健	兼	券	剣	喧	圈	堅		2630	詐	鎖	娑	坐	挫	債	催	再	最		2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授
	2390	建	憲	懸	拳	捲						2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	歲		2890	綬	需	囚	収	周				
コ	2400	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	梟	サ	2650	災	采	犀	碎	皆	祭	齋	細	菜	シ	2900	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕		2660	載	際	劑	在	材	罪	財	冴	坂		2910	終	繡	習	臭	舟	菟	衆	襲	讎
	2420	齷	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄		2670	堺	柙	肴	咲	崎	崎	崎	鷲	作		2920	輯	遇	酋	酬	集	醜	什	住	充
	2430	絃	絃	言	諺	限	乎	個	古	呼		2680	咋	搾	昨	朔	柵	柵	策	索	錯		2930	從	戎	柔	汁	洩	獸	縱	重	銃
	2440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖		2690	鮭	笹	匙	冊	刷						2940	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出
ク	2450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鋤	シ	2700	察	撈	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	シ	2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准
	2460	顧	鼓	五	互	伍	午	吳	吾	娛		2710	鯖	捌	鑄	絞	皿	晒	三	傘	參		2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡
	2470	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護		2720	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂		2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公		2730	讚	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔		2980	署	書	誓	諸	諸	助	叙	女	序
	2490	効	勾	厚	口	向						2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉		2990	恕	鋤	除	傷	償				
カ	2500	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	シ	2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	シ	3000	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎
	2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌		2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私		3010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床
	2520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗		2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試		3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭
	2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿		2780	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍		3030	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒
	2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔		2790	字	寺	慈	持	時						3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑
キ	2550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	シ	2800	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	シ	3050	紹	肖	莒	蔣	蕉	衝	裳	訟	証
	2560	砧	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛		2810	耳	自	時	辞	夕	鹿	士	識	嶋		3060	詳	象	賞	醬	鉦	鍾	鐘	障	鞘
	2570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克		2820	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室		3070	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	嬢
	2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰		2830	湿	漆	疾	質	実	部	篠	偲	柴		3080	情	擾	条	杖	淨	状	置	穰	蒸
	2590	忽	惚	骨	迫	込						2840	屢	蕊	縞	舍	写	射	捨	赦	斜		3090	釅	錠	囁	埴	飾				

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
シ	3100	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食		ソ	3350	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	惣	想		チ	3600	帖	帳	庁	弔	張	彫	微	懲	挑	
	3110	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寢	審		3360	搜	掃	挿	搔	操	早	曹	巢	槍	槽			3610	暢	朝	潮	牒	町	眺	脹	腸	蝶	
	3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申		3370	漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	総	綜	聡			3620	調	謀	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄
	3130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診		3380	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎬			3630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎
	3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬		3390	霜	騷	像	増	憎								3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	搦	槻	佃
	3150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	韌	筒	諏		3400	臧	蔵	贈	造	促	側	則	即	息		ツ		3650	漬	柘	辻	薦	綴	鍔	椿	漬	坪	壺
ス	3160	須	酢	囟	厨	逗	吹	垂	帥	推	水		3410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	統		3660	孀	紬	爪	吊	釣	錫	亭	低	停	偵	
	3170	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	鍾	随		3420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜		3670	剝	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	
	3180	瑞	髓	崇	高	数	枢	趨	難	据	杉		3430	他	多	太	汰	訖	唾	墮	妥	惰	打		3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	
	3190	桴	菅	頗	雀	裾							3440	柁	舵	柁	陀	駄	駢	体	堆	対	耐		3690	艇	訂	諦	蹄	通						
セ	3200	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制		タ	3450	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎		テ	3700	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	
	3210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲		3460	腿	苔	貸	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代			3710	的	笛	適	鎬	溺	哲	徹	撒	轍	迭
	3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製		3470	台	大	第	醒	鷹	淹	瀧	卓	啄		3720		鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	
	3230	西	誠	誓	請	近	醒	青	静	斉	税		3480	宅	托	挾	沢	濯	琢	託	鐸	濁		3730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐		
	3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積		3490	諾	茸	夙	蛸	只						3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟		
	3250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙		3500	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎	迓		3750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴		
	3260	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌		3510	棚	谷	狸	樽	誰	丹	单	嘆	坦		3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套		
	3270	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰		3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	筆		3770	宕	島	嶋	悼	投	搭	束	桃	栲	棟	
	3280	扇	撰	栓	柄	泉	浅	洗	染	潜	煎		3530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	彈	断		3780	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	痔	等	
	3290	煽	旋	穿	箭	線							3540	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥		3790	答	筒	糖	統	到						
	3300	織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐			チ	3550	智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	馳	築		ト	3800	董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透
	3310	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	3560		畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着		3810		鎧	陶	頭	騰	鬪	働	動	同	堂	導
	3320	全	禪	繕	膳	糲	噌	塑	岨	措	曾	3570		中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷		3820		懂	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠
	3330	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	3580		註	酎	鑄	駐	樗	猪	猪	芋	著	貯		3830		鴛	匿	得	德	洸	特	督	禿	篤	毒
	ソ	3340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢		3590	丁	兆	凋	喋	龍							3840	独	読	析	椽	凸	突	椴	屈	茂	苺

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ト	3850	寅	酉	滄	嶺	屯	惇	敦	沌	豚	遁	ヒ	4100	鼻	柅	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	ホ	4350	牧	睦	穆	鉦	勃	沒	殆	堀	幌	奔	
	3860	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	夙	雍		4110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛		紐	4360	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹
ナ	3870	謎	灘	捺	鍋	檣	馴	縄	暇	南	楠	マ	4120	百	謬	佞	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	マ	4370	昧	枚	毎	哩	模	幕	膜	枕	鮪	枉
	3880	軟	難	汝	二	尼	弑	迓	勾	販	肉		4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋌	蒜		4380	鱒	桡	亦	俟	又	抹	末	沫	迄	伺
ニ	3890	虹	廿	日	乳	入							4140	蛭	鱒	品	彬	斌	浜	貧	寶	頻		ミ	4390	繭	磨	万	慢	満					
ヌ	3900	如	尿	荏	任	妊	忍	認	濡	襦	襦	フ	4150	敏	瓶	不	付	埒	夫	婦	富	富	布		4400	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	
ネ	3910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃		フ	4160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	ム	4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民	眠
	3920	粘	乃	迺	之	埜	囊	悩	濃	納	能	4170		膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	4420		夢	無	牟	矛	霧	鷓	棕	婿	娘	冥
ノ	3930	腦	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	フ	4180	武	舞	葡	無	部	封	楓	風	葦	蔀	メ	4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
ハ	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃		4190	伏	副	復	幅	服								4440	免	棉	綿	緬	面	麵	摸	模	茂
	3950	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	4200	福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏		モ	4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	
	3960	倍	培	媒	梅	煤	煤	狼	買	売	賠	4210	物	鮑	分	吻	墳	憤	扮	焚	奮	4460		目	李	勿	餅	尤	戾	刎	貰	問	悶		
	3970	陪	這	蠅	秤	矧	荻	伯	剥	博	拍	4220	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	摒	4470	紋	門	匆	也	冶	夜	爺	耶	野	弥		
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	ヘ	4230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	ヤ	4480	矢	厄	役	約	藥	訳	躍	靖	柳	藪
	3990	爆	縛	莫	駁	麦							4240	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	篋	偏	變		4490	鑊	愉	愈	油	癒					
	4000	函	箱	裕	箸	肇	箸	櫨	幡	肌		ヘ	4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	コ	4500	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	
	4010	畑	畠	八	鉢	滌	尧	醜	髮	伐	罰		4260	鞭	保	鋪	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔		4510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4020	拔	筏	閥	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判	ヘ	4270	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	ヨ	4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予
	4030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版		4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖		4530	余	与	譽	輿	預	備	幼	妖	容	庸
	4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	煩	4290	抱	捧	放	方	朋							ヨ	4540	揚	揺	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
4050	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛭	匪	ホ	4300	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	ヲ	4550		窠	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽	
ヒ	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披		斐	4310	蜂	褒	訪	豐	邦	飽	鳳	鵬		乏	4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅	
	4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥		被	4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	ヲ	4570	螺	裸	来	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	篋	備	尾	微	4330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	4580		乱	卵	嵐	欄	濫	監	蘭	覽	利	吏	
	4090	枇	毘	琵	眉	美						4340	銚	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴	リ	4590	履	李	梨	理	璃						

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
リ	4600	痢裏裡里離陸律率立																																		
	4610	律掠略劉流溜琉留硫粒																																		
	4620	隆竜龍侶慮旅虜了亮僚																																		
	4630	両凌寮料梁涼獺療瞭稜																																		
	4640	糧良諒遼量陵領力緑倫																																		
	4650	厘林淋隣琳臨輪隣隣隣																																		
ル	4660	瑠瑠涙累類令伶例冷勵																																		
レ	4670	嶺伶玲礼苓鈴隸零靈麗																																		
	4680	齡曆歴列劣烈裂廉恋隣																																		
	4690	漣煉簾練聯																																		
	4700	蓮連鍊呂魯櫓炉賂路																																		
ロ	4710	露勞婁廊弄朗樓榔浪漏																																		
	4720	牢狼籠老蠶蠟郎六麓祿																																		
	4730	肋録論倭和話歪賄脇惑																																		
ワ	4740	杵鷺互亘鰐詫藁蕨椀湾																																		
	4750	碗腕																																		
	4760																																			
	4770																																			
	4780																																			
	4790																																			

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4800	弌𠂇丕个𠂇、井ノ又										5050	廠厶參纂雙叟曼變叮叨											5300	奸妁妝佞佞妣妣姆姨										
4810	乖乘亂丿豫爭舒式于亞										5060	叭叭吁吡呀听吭吼吮呐											5310	姜妍姘姚娥娟娑娜娉娉										
4820	亟一亢京毫亶从仍仄仆										5070	吩吝呖咏呵咎咍呱呷皆											5320	婀姪婉娠娶婢婪媚媼媼										
4830	仂仗仞仞仞价伉佚估佛										5080	咒呻咀呶咄咄咄哇骂咸											5330	嫋嫂媽媽嫗嫗嫗嫗嫗嫗										
4840	佻佻佻佻佻佻佻佻佻佻										5090	啞咬哄哈咨											5340	嬌嬋嬋嬋嬋嬋嬋嬋嬋嬋										
4850	侑佻來侑儂佻佻佻佻佻										5100	𠂇晒咤咤咤咤咤哥哦唏											5350	孀孀孀孀孀孀孀孀孀孀										
4860	俑佻佻佻佻佻佻佻佻佻										5110	唔哽啞哭哺啞啞啞啞啞											5360	學孖孖一它宦宸冤寇寇										
4870	倅倅倅倅倅倅倅倅倅倅										5120	售啞啞啞啞啞啞啞啞啞											5370	寔寔寔寔寔寔寔寔寔寔										
4880	偃偃偃偃偃偃偃偃偃偃										5130	咯喊啞啞啞啞啞啞啞啞											5380	寔尅將專對尔尅尅尅尅										
4890	僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂										5140	喙喇啞啞啞啞啞啞啞啞											5390	尹屁屈屎屎屎屎屎屎屎										
4900	僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂										5150	嘔噉噉噉噉噉噉噉噉噉											5400	屐屐屐屐屐屐屐屐屐屐										
4910	僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂										5160	嘴嘶嘶嘶嘶嘶嘶嘶嘶嘶											5410	岑岔岌岌岌岌岌岌岌岌										
4920	僂僂僂僂僂僂僂僂僂僂										5170	啞啞啞啞啞啞啞啞啞啞											5420	峇峙峇峇峇峇峇峇峇峇										
4930	兢競兩僂今冀門回册冉										5180	噉噉噉噉噉噉噉噉噉噉											5430	崗寄峇峇峇峇峇峇峇峇										
4940	冏冏冏冏冏冏冏冏冏冏										5190	囧囧囧囧囧囧囧囧囧囧											5440	嵌岳岷岷岷岷岷岷岷岷										
4950	冏冏冏冏冏冏冏冏冏冏										5200	圈國團團團團團團團											5450	嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢嶢										
4960	几處夙凭鳳口函又刊刌										5210	坏圪圪圪圪圪圪圪圪圪											5460	巔巔巔巔巔巔巔巔巔巔										
4970	刌刌刌刌刌刌刌刌刌刌										5220	圪圪圪圪圪圪圪圪圪圪											5470	帑帑帑帑帑帑帑帑帑帑										
4980	刌刌刌刌刌刌刌刌刌刌										5230	圪圪圪圪圪圪圪圪圪圪											5480	幟幟幟幟幟幟幟幟幟										
4990	劒劒劒劒劒劒劒劒劒劒										5240	堡塢塢塢塢塢塢塢塢											5490	廁廁廁廁廁廁廁廁廁廁										
5000	勛勛勛勛勛勛勛勛勛勛										5250	墟塢塢塢塢塢塢塢塢											5500	廖廣斯廚廛廛廛廛廛廛										
5010	勛勛勛勛勛勛勛勛勛勛										5260	墟塢塢塢塢塢塢塢塢											5510	廬廬廬廬廬廬廬廬廬廬										
5020	甸甸甸甸甸甸甸甸甸甸										5270	壻壻壻壻壻壻壻壻壻壻											5520	彝弋弋弋弋弋弋弋弋弋										
5030	匚匚匚匚匚匚匚匚匚匚										5280	天本夸夾奇奕奕奕奕											5530	彎彎彎彎彎彎彎彎彎彎										
5040	厄厄厄厄厄厄厄厄厄厄										5290	奢奠奧獎奩奩奩奩											5540	徃徃徃徃徃徃徃徃徃徃										

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5550	徠	徇	徇	徇	忤	忤	忤	忤	忤	忤	5800	據	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	6050	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	樂
5560	惠	忿	怡	恠	怙	恠	恠	恠	恠	恠	5810	舉	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	6060	穆	權	權	權	權	權	權	權	權	槓
5570	怕	怩	怩	怩	怩	恠	恠	恠	恠	恠	5820	擺	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	6070	模	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	槓
5580	協	恆	恍	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5830	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	6080	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	槓
5590	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	5840	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	敝	6090	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	槓
5600	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	5850	斷	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	6100	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	槓
5610	惠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5860	无	早	早	早	早	早	早	早	早	早	6110	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	槓
5620	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5870	易	晏	晏	晏	晏	晏	晏	晏	晏	晏	6120	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	槓
5630	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5880	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷	6130	歎	歐	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	槓
5640	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5890	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷	6140	歎	歐	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	槓
5650	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5900	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷	晷	6150	歎	歐	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	槓
5660	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5910	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳	曳	6160	氍	毫	毫	毫	毫	毫	毫	毫	毫	槓
5670	應	懷	懷	懷	懷	懷	懷	懷	懷	懷	5920	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	6170	氣	永	永	永	永	永	永	永	永	槓
5680	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5930	枉	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	6180	汾	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	槓
5690	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	5940	枷	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	6190	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	槓
5700	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	5950	柁	柁	柁	柁	柁	柁	柁	柁	柁	柁	6200	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	槓
5710	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	5960	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	6210	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	槓
5720	抓	抖	抖	抖	抖	抖	抖	抖	抖	抖	5970	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	6220	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	槓
5730	拆	擔	擔	擔	擔	擔	擔	擔	擔	擔	5980	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	6230	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	槓
5740	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	5990	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	6240	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	槓
5750	捍	捍	捍	捍	捍	捍	捍	捍	捍	捍	6000	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	6250	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	槓
5760	掉	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟	掟	6010	棹	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	6260	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	槓
5770	揉	插	插	插	插	插	插	插	插	插	6020	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	楷	6270	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	槓
5780	攝	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	6030	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	6280	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	槓
5790	撓	撓	撓	撓	撓	撓	撓	撓	撓	撓	6040	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	6290	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	槓

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6300	漾	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	6550	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	6800	筐	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6310	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	6560	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	6810	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6320	澳	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	6570	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	6820	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6330	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	6580	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	6830	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6340	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	6590	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	6840	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6350	激	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	6600	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	6850	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6360	炮	烟	烟	烟	烟	烟	烟	烟	烟	烟	6610	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖	皖	6860	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6370	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	6620	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	6870	籒	籒	籒	籒	籒	籒	籒	籒	籒	籒
6380	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	6630	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	6880	籒	籒	籒	籒	籒	籒	籒	籒	籒	籒
6390	煥	煥	煥	煥	煥	煥	煥	煥	煥	煥	6640	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸	6890	籒	籒	籒	籒	籒	籒	籒	籒	籒	籒
6400	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	6650	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	6900	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
6410	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	爲	6660	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	瞞	6910	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
6420	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	6670	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	6920	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經
6430	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	6680	硃	硃	硃	硃	硃	硃	硃	硃	硃	硃	6930	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6440	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	6690	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	6940	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6450	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	6700	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	6950	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6460	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	6710	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	6960	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6470	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	6720	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	6970	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6480	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	6730	批	批	批	批	批	批	批	批	批	批	6980	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6490	壁	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	6740	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	6990	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6500	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	6750	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	穰	7000	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
6510	瓷	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	瓏	6760	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	7010	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
6520	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	6770	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	7020	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
6530	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	6780	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	7030	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
6540	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	6790	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	7040	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7050	耙	耜	耨	耨	耨	耨	耨	耨	耨	耨	7300	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	7550	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
7060	聚	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	7310	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	7560	詵	詵	詵	詵	詵	詵	詵	詵	詵	詵
7070	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	7320	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	7570	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
7080	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	聾	7330	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	藟	7580	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
7090	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	7340	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	7590	證	證	證	證	證	證	證	證	證	證
7100	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	7350	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	7600	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤	誤
7110	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	腦	7360	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	7610	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓
7120	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	7370	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	蜀	7620	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐	豐
7130	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	脰	7380	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	7630	狸	狸	狸	狸	狸	狸	狸	狸	狸	狸
7140	攣	攣	攣	攣	攣	攣	攣	攣	攣	攣	7390	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	7640	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳
7150	舍	舐	鋪	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	7400	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	蜩	7650	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄
7160	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	7410	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨	蝨	7660	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄
7170	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	7420	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	7670	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾
7180	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	7430	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	7680	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
7190	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	7440	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	7690	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂
7200	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	7450	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	7700	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7210	伏	茫	茫	茫	茫	茫	茫	茫	茫	茫	7460	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	7710	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7220	莫	莎	莎	莎	莎	莎	莎	莎	莎	莎	7470	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	7720	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7230	莨	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	菴	7480	袪	袪	袪	袪	袪	袪	袪	袪	袪	袪	7730	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲
7240	蒂	莨	莨	莨	莨	莨	莨	莨	莨	莨	7490	樓	樓	樓	樓	樓	樓	樓	樓	樓	樓	7740	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
7250	林	葭	葭	葭	葭	葭	葭	葭	葭	葭	7500	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	7750	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
7260	蒂	葩	葩	葩	葩	葩	葩	葩	葩	葩	7510	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	7760	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
7270	蒿	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	7520	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	7770	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭
7280	勞	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	蔡	7530	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	7780	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅	逅
7290	蓼	藜	藜	藜	藜	藜	藜	藜	藜	藜	7540	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	7790	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨	迨

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7800	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	8050	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	8300	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7810	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	遞	8060	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	8310	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7820	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	邊	8070	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	鞅	8320	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7830	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	鄂	8080	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	8330	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7840	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	酥	8090	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	8340	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7850	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	醪	8100	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	8350	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7860	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	8110	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	飢	8360	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點
7870	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	8120	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	8370	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7880	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	8130	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	8380	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7890	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	8140	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	8390	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7900	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	8150	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	8400	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯
7910	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	8160	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅											
7920	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	8170	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢											
7930	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	8180	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢											
7940	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	8190	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻											
7950	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	8200	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻											
7960	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	8210	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤											
7970	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	8220	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴											
7980	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	8230	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴											
7990	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	8240	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴											
8000	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	8250	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴											
8010	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	8260	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴											
8020	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	8270	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴											
8030	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	8280	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴											
8040	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	8290	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠											

製品の保守サービスについて

このたびは、本製品をご購入いただきありがとうございます。本製品の保守サービスにつきましては、販売担当者または購入元にお問い合わせください。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。

弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の保有期間は、製造終了後、7年間です。

廃棄について

使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、購入元または弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品（トナーコンテナを含む）は、素材ごとに分解し、再利用可能な部品は、再利用（リユース）し、不可能なものは、マテリアルリサイクル等、環境に配慮した適正処理を行っています。

初期化について

お客様の大切な情報の漏洩防止のため、機械を廃棄または、入れ替える際には使用済みの機械について、下記の項目のデータを消去することをお勧めします。

削除する対象

- アドレス帳（ワンタッチ含む）
- ネットワーク設定
- ボックス内データ

➡[セキュリティデータの完全消去（8-54）](#)

- FAXデータ（自局名/自局番号/通信履歴）

➡FAXデータの消去（ファクス使用説明書参照）

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄

使用后、不要になったトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、購入元または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

用語集

Active Directory

Active Directory(アクティブディレクトリー)とはマイクロソフトによって開発されたディレクトリー・サービス・システムであり、Windows 2000 Serverから導入された、ユーザーおよびパソコン管理を実行するコンポーネント群の総称です。

AppleTalk

Macintoshとプリンターでデータを転送するプロトコルです。Macintoshを複数台接続したり、プリンターを共有する際に使われます。

Auto-IP

TCP/IPネットワーク上で自動的にIPアドレスを割り当てるプロトコルのことです。DHCPサーバーがないネットワークで、他の機器と重複しないようにIPアドレスを割り当てることができます。割り振られるIPアドレスは、Auto-IP用に予約されている169.254.0.0 ~ 169.254.255.255の範囲です。

Bonjour

Bonjour は、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれています。IP ネットワーク上のパソコン、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。

Bonjour は、業界標準の IP プロトコルが使用されているので、IP アドレスを入力したりDNS サーバーを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjour は、UDP ポート 5353 上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjour が正しく動作するように UDP ポート 5353が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjour パケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjour の動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjour が例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。Bonjour を Windows Vista 以降にインストールする場合、Windows ファイアウォールは Bonjour によって適切に設定されます。

bpp (bits per pixel)

色深度を表す単位です。1ピクセル当たりのビット数を表します。4 bppの場合は16階調になります。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

TCP/IPネットワーク上で、IPアドレスやサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを自動的に解決するプロトコルです。DHCPを利用すると、クライアント数の多いネットワーク環境で、プリンターを含めて個々のクライアントにIPアドレスを個別に割り当てる必要がなくなるため、ネットワーク管理の負担を軽減できます。

DHCP (IPv6)

DHCP (IPv6)は、次世代のインターネットプロトコルであるIPv6をサポートする動的ホスト構成プロトコルのことで、構成情報をネットワーク上のホストに渡すためのプロトコルを定義しているBOOTPを拡張します。

DHCP(IPv6)を使うと、DHCPサーバーは拡張機能を使ってIPv6ノードに構成パラメータを送信できるようになります。再利用可能なネットワークアドレスが自動的に割り当てられるため、管理者がIPアドレスの割り当てを細かく制御する必要がある環境では、IPv6ノードの管理が低減されます。

dpi (dots per inch)

解像度を表す単位です。1インチ(25.4 mm)当たりのドット数を表します。

Enhanced WSD

弊社が独自に提供するWebサービスです。

FTP (File Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークで、ファイルを転送するときに使われるプロトコルです。現在のインターネットでHTTPやSMTP/POPと並んで頻繁に利用されています。

IPアドレス

ネットワークに接続されたパソコンや周辺機器1台ずつに割り振られる識別番号です。「192.168.110.171」などのように、0から255までの数字を4つ並べて表現します。

IPP

IPP (Internet Printing Protocol、インターネット プリンティング プロトコル)は、インターネット網に代表されるTCP/IPネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンターとパソコンの間で印刷データなどのやり取りを行うための規格です。

Web ページの閲覧に使われるHTTP を拡張した規格であり、ルータによって隔てられた遠隔地のプリンターに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTPの認証機構や、SSLによるサーバー認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。

KPDL (Kyocera Page Description Language)

Adobe PostScript Level 3互換の京セラのページ記述言語です。

KYOCERA Net Direct Printing

Adobe Acrobat/Adobe Readerを起動せずに、PDFファイルを印刷できるユーティリティーです。付属のDVD-ROMに収録されています。

KYOCERA Net Viewer

ネットワーク上のプリンターの状態を確認できるネットワークマネジメントツールです。付属のDVD-ROMに収録されています。

NetBEUI (NetBIOS Extended User Interface) 設定

1985年にIBM社が開発したネットワークプロトコルです。NetBIOSをベースに拡張したもので、小規模なネットワークではTCP/IPなどの他のプロトコルよりも高い性能を発揮できます。ただし、複数の経路の中から最適な経路を選択するルーティング機能は持っていないため、大規模なネットワーク構築には向いていません。IBM社のOS/2やMicrosoft社のWindowsシリーズの標準プロトコルになっており、NetBEUIを利用したファイル共有サービスやプリントサービスなどが提供されています。

PCL

ページ記述言語のひとつです。TrueTypeフォントをプリンターで扱える機能などがあります。本機はPCL6エミュレーションモードを搭載しています。

PDF/A

ISO 19005-1. Document management - Electronic document file format for long-term preservation - Part 1: Use of PDF (PDF/A) のことで、PDF1.4を元に策定されたファイル形式です。ISO19005-1として標準規格化されています。主に印刷目的として利用されていたPDFを、長期保存用に特化させたものです。現在、ISO19005-2 (PDF/A-2) という新しいパートも策定中です。

POP3(Post Office Protocol 3)

インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するための標準的なプロトコルです。

PostScript

Adobe Systems社が開発したページ記述言語です。柔軟なフォント機能および高性能のグラフィックスを提供し、高品質な印刷ができます。現在Level 1と呼ばれている最初のバージョンは1985年に登場しました。1990年にはカラー印刷や日本語などの2バイト言語に対応したLevel 2が、1996年にはインターネットへの対応や実装水準の段階化、PDF形式への対応などを追加したLevel 3が発表されています。

PPM(prints per minute)

A4用紙を1分間に印刷できる枚数を示します。

RA(Stateless)

IPv6 ルータは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報をICMPv6 で知らせます。この情報がRouter Advertisement(RA)です。

また、ICMPv6 はインターネット制御メッセージ プロトコルのことで、RFC 2463「Internet Control Message Protocol (ICMPv6) for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification」で定義されている IPv6 標準です。

RAMディスク

本機のメモリーの一部を利用した仮想ディスクで、本機の総メモリーの中から、任意のメモリーサイズをRAMディスクとして設定することによって、ジョブボックスの試し刷り後、保留モードとプライベートプリントモードが使えるようになります。

SMTP(Simple Mail Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールをやり取りしたり、クライアントがサーバーにメールを送信する際に用いられます。

TCP/IP(Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

パソコン同士やその他のデバイスとの間で、データ通信の規約を定めたネットワークプロトコルのひとつです。

TCP/IP(IPv6)

TCP/IP(IPv6)は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコルTCP/IP(IPv4)をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティー機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルを示します。

TWAIN(Technology Without Any Interested Name)

スキャナーやデジタルカメラなどの画像入力機器とパソコンを接続するための技術仕様のひとつです。機器がTWAINに対応していれば、TWAINに対応したあらゆるアプリケーションソフトで画像の入力ができます。TWAINは、Adobe PhotoshopをはじめとするグラフィックソフトやOCRソフトで多く採用されています。

USB(Universal Serial Bus)2.0

Hi-Speed USB 2.0 に準拠したUSB インターフェイスです。最大通信速度は480 Mbpsで、高速なデータ転送ができます。本機はこのUSB 2.0インターフェイスを装備しています。

WIA (Windows Imaging Acquisition)

Windows Me/XP以降でサポートされた、画像をデジタルカメラ等の周辺機器から取り込む機能です。従来TWAINが行っていた機能を置き換えるもので、Windows自身の機能として提供することによって、アプリケーションソフトを使わずともマイ コンピューターから直接取り込みが行えるなど、操作性や利便性が向上しています。

WPS (Wi-Fi Protected Setup)

WPSは、無線LAN機器同士の接続や暗号化設定を簡単に行えるようにするため、Wi-Fiアライアンスによって策定された規格です。WPSに対応した機器同士は、プッシュボタンを押したり、パスワードを入力したりするだけで無線LANアクセスポイントに接続できます。

アウトラインフォント

フォントの輪郭を数式によって記録しており、拡大しても輪郭のなめらかな美しい印刷が行えます。フォントサイズは0.25ポイント単位で最大999.75ポイントまで設定できます。

エコプリント

トナーを節約するための印刷方法です。通常での印刷よりも薄くなります。

エミュレーション

他のプリンターのページ言語を解釈し、実行する機能です。PCL6、KPDL3(PostScript3互換)のエミュレーションを備えています。

オートスリープ

本体の操作やデータの送/受信が一定の時間行われないと、自動でスリープに移行する機能です。スリープ時は、電力消費が最小限に抑えられます。

グレースケール

パソコン上での色の表現方法のひとつです。画像を白から黒までの明暗だけで表現し、色の情報は含まない「モノクロ」のことです。灰色を何階調で表現するかをビット数によって表し、1ビットなら白と黒のみで中間色がない状態、8ビットなら(白と黒を含めて)256階調、16ビットなら65536階調の灰色で表現されます。

サブネットマスク

サブネットマスクは、IPアドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。

サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて1として表現し、ホスト・アドレス部をすべて0として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス(Prefix)とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IPアドレスの「先頭部分」を指します。IPアドレスを表記するときに、ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、「133.201.2.0/24」のように“/”(スラッシュ)の後にプレフィックス長(この場合は「24」)を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長(つまりネットワーク部)が24ビットの「133.201.2.0」というIPアドレスということになります。サブネット・マスクによって新しく増えたネットワーク・アドレス部(本来のホスト・アドレス部の一部分)をサブネット・アドレスと呼びます。サブネットマスクを入力するときは、DHCPの設定をオフにしてください。

自動改ページ待ち時間

本機へのデータ送信中に、待ち時間が発生することがあります。このとき本機は、次のデータが届くまで一定時間待機します。自動改ページ待ち時間とは、この待機時間のことです。待機時間が、登録された待ち時間に達すると、本機は自動で排紙します。ただし、最終ページに印刷データがない場合は排紙しません。

自動用紙選択機能

印刷時に、原稿サイズと同じサイズ of 用紙を自動的に選択する機能です。

ジョブボックス

印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

ステータスページ

搭載メモリー容量、印刷や送信の総枚数、給紙元の選択など本機に関するさまざまな情報を確認するために印刷するページです。

手差しトレイ

本体前側にある給紙トレイです。はがき、OHPフィルム、ラベル用紙などを使用するときは、カセットでなく手差しトレイに補給してください。

デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外にあるパソコンにアクセスする際に使用する、パソコンやルータなどの出入り口の代表となるアドレスです。アクセス先のIPアドレスについて特定のゲートウェイを指定していない場合は、デフォルトゲートウェイに指定されているホストにデータが送信されます。

プリスクライブ(PRESCRIBE)コマンド

京セラドキュメントソリューションズプリンターに搭載されている独自のプリンター制御言語で、プリンターに必要な様々な設定を行うことができます。また、ニーモニックで記述されたわかりやすいコマンドであるため、プログラミングを容易にします。

プリンタードライバー

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。プリンタードライバーは、付属のDVDに収録されています。本機に接続したパソコンにインストールしてください。

ヘルプ

本機のタッチパネルには[?](ヘルプ)があります。操作方法が分からなかったり、機能の内容を知りたいときや、うまく動作しないで困ったときなど、[?]を選択すると、タッチパネルに詳しい内容が表示されます。

メール送信

本機で読み込んだ画像を、E-Mailの添付ファイルとして送信する機能です。E-Mailアドレスは、あらかじめ登録されたものと、そのつど入力するものが使用できます。

ユーザーボックス

ユーザーごとの印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

ユニバーサル(Universal Design)

ユニバーサルデザインとは、高齢者や障害者を含むできるだけ多くの人に使いやすいデザインのことで、本機では、タッチパネルの角度を2段階に変えることができます。

ラスターライズ

文字や画像の印刷データを、プリンターで印刷するためにビットマップデータとして表現することです。

索引

A

Active Directory [12-46](#)
AirPrint [5-48](#)
Apacheライセンス (Version 2.0) [1-9](#)
AppleTalk [12-46](#)
Auto-IP [12-46](#)
 設定 [8-35](#), [8-38](#)

B

Bonjour [12-46](#)
 設定 [8-40](#)
bpp (bits per pixel) [12-46](#)

C

Command Center RX [2-41](#)

D

DHCP [12-46](#)
 設定 [8-35](#), [8-38](#)
DHCP (IPv6) [12-46](#)
DHCP (IPv6)
 設定 [8-36](#), [8-39](#)
dpi [12-46](#)
DSMスキャン [5-23](#)
 プロトコル設定 [8-42](#)

E

Enhanced WSD [12-47](#)
 プロトコル設定 [8-46](#)
Enhanced WSD over SSL
 プロトコル設定 [8-46](#)
eSCL
 プロトコル設定 [8-46](#)
eSCL over SSL
 プロトコル設定 [8-47](#)

F

File Management Utility [5-24](#), [5-26](#)
FMU Connection [5-24](#)
FTP [12-47](#)
FTP暗号送信 [6-38](#)
 初期値 [8-17](#)
FTPクライアント (送信)
 プロトコル設定 [8-41](#)
FTPサーバー (受信)
 プロトコル設定 [8-41](#)
FTP送信 [5-19](#)
FTPのフォルダーに送信 [5-19](#)

G

Google Cloud Print [5-48](#)
GPL/LGPL [1-7](#)

H

HTTP
 プロトコル設定 [8-43](#)
HTTPS
 プロトコル設定 [8-43](#)

I

IDカードコピー [6-3](#)
IPP [12-47](#)
 プロトコル設定 [8-43](#)
IPP over SSL
 プロトコル設定 [8-44](#)
IPSec [8-40](#)
IPアドレス [12-47](#)
 設定 [8-35](#), [8-38](#)

J

JPEG/TIFF印刷方法 [6-42](#)

K

Knopflerfish ライセンス [1-9](#)
KPD L [12-47](#)
KYOCERA Net Direct Printing [12-47](#)
KYOCERA Net Viewer [12-47](#)

L

LDAP
 プロトコル設定 [8-42](#)
LPD
 プロトコル設定 [8-41](#)

M

Monotype Imagingライセンス契約 [1-8](#)
Mopria [5-48](#)

N

NetBEUI [12-47](#)
 プロトコル設定 [8-41](#)
NetWare
 設定 [8-49](#)
NFC
 印刷 [5-49](#)
 設定 [2-20](#), [8-56](#)

O

OCR辞書のインストール [8-55](#)
OCR出力形式 [6-33](#)
OCR文字認識 [6-33](#), [6-36](#)
OCR文字認識動作 [xxviii](#)
OCR出力形式
 初期値 [8-18](#)
OCRの言語
 初期値 [8-18](#)
OCR文字認識
 初期値 [8-18](#)
OHPフィルム [12-28](#)
OpenSSLライセンス [1-7](#)

P

PCL 12-47
PDF/A 12-47
Ping 8-48
PINコード認証 9-28
POP3 12-48
POP3(メール受信)
 プロトコル設定 8-41
PostScript 12-48
PPM 12-48
PRESCRIBE 12-50
Product Library xlv

R

RA(Stateless) 12-48
 設定 8-36, 8-39
RAMディスク 12-48
Raw Port
 プロトコル設定 8-44

S

SMBクライアント(送信)
 プロトコル設定 8-41
SMB送信 5-16
SMTP 12-48
SMTP(メール送信)
 プロトコル設定 8-41
SNMP
 プロトコル設定 8-42
SNMPv3
 プロトコル設定 8-42
SSDの初期化 8-54
SSL
 セキュリティ設定 8-47

T

TCP/IP 12-48
TCP/IP(IPv4)
 設定 2-13, 8-35, 8-38
TCP/IP(IPv6) 12-48
Thin Print over SSL
 プロトコル設定 8-45
ThinPrint
 プロトコル設定 8-45
TWAIN 12-48
 TWAINドライバーの設定 2-36
 読み込み 5-21

U

USB 12-48
USB メモリスロット 2-2
USBインターフェイス 2-7
USBインターフェイスコネクター 2-4
USBケーブル
 接続 2-9

USBメモリー
 印刷 5-50
 情報確認 5-51
 取り外しかた 5-52
 保存 5-50
USBメモリーからの印刷 5-50
USBメモリーへの保存 5-50

W

WIA 12-49
 WIAドライバーの設定 2-38
 読み込み 5-21
Wi-Fi Direct
 印刷 5-48
 設定 2-19, 8-32
WPS(Wi-Fi Protected Setup) 12-49
WSD印刷
 プロトコル設定 8-42
WSDスキャン 5-23
 プロトコル設定 8-42

X

XPS印刷サイズ調整 6-42
 初期値 8-17

あ

アウトラインフォント 12-49
厚紙 12-30
宛先
 宛先確認画面 5-32
 アドレス帳 5-29, 5-31
 アドレス帳から選択 5-29, 5-31
 アドレス帳の種類 8-27
 確認/変更 5-32
 検索 5-30
 再宛先 5-33
 種類の異なる相手への送信(複合送信) 5-25
 新規登録 3-36
 送信前の宛先確認 5-32
 短縮番号指定 5-31
 表示順 8-27
 ワンタッチキー 3-42
 ワンタッチキーから選択 5-31
宛先の確認または変更 5-32
宛先編集
 アドレス帳 3-36
 アドレス帳初期設定 8-27
 グループ 3-39
 個人 3-36
 編集制限 8-27
 ワンタッチキー 3-42
アドレス帳 3-36
 グループ 3-39
 個人 3-36
 削除 3-41
 登録 3-36
 変更/削除 3-40
アプリケーション 2-54, 8-26
暗号化PDFパスワード 6-41

い

- 一般的なトラブル
 - 画像のトラブル 11-6
 - 機械動作のトラブル 11-3
- 一般的な問題について 11-2
- 印刷ジョブのキャンセル 5-13
- 印刷する
 - 定形サイズ用紙 4-5
 - 不定形サイズ用紙 4-7
- 印刷設定 5-48
- 印刷速度 12-35
- 印刷の中止 4-9
- 印刷用紙 1-12
- インストール
 - Macintosh 2-34
 - Windows 2-27
 - ソフトウェア 2-26
- インターネット 8-26
- インターフェイスブロック設定 8-51

う

- うら写り防止 6-18
- 初期値 8-16

え

- エコプリント 6-14, 12-49
 - プリンター 8-29
- 絵表示 1-2
- エミュレーション 12-49
- エラー後自動継続時間 8-58
- エラー処理設定 8-19
 - 用紙ミスマッチエラー 8-19
- エラーメッセージ一覧 11-9
- エンターキー 3-14

お

- オートスリープ 2-23, 12-49
- オートパネルリセット 8-57
- お気に入り
 - ウィザード形式で実行する 3-49
 - 削除 3-50
 - 登録 3-48
 - プログラム形式で実行する 3-49
 - 編集 3-50
- 音設定 8-11
- オプション
 - オプション構成 12-2
 - ドキュメントフィニッシャー 12-3
- オプションインターフェイススロット 2-4
- オプション機能 8-55, 8-56
- オプションネットワーク
 - 基本設定 8-49
 - ワイヤレスネットワーク 8-50
- オリジナルSSLeayライセンス 1-7

か

- 解像度 12-34, 12-35
- カウンターの確認 3-18
- 各部の名称 2-12

カセット

- 用紙サイズと用紙種類 8-9
- 用紙のセット 3-20
- カセット/手差しトレイ設定 8-9
- カセット 1 2-2
- 紙づまりが発生したら
 - 紙づまり位置表示 11-26
 - 原稿送り装置(自動両面) 11-33
 - 手差しトレイ 11-27
 - 右カバー1 11-28
 - 右カバー2,3 11-30

カラー

- 地色調整 6-17, 8-59
- カラー選択 6-15
- 簡単セットアップ 2-24
- 簡単ログイン 3-17
- 簡単ログイン設定
 - 簡単ログイン 9-24
- 管理 9-3

き

- キーボード入力方式 8-20
- 機器情報の表示 3-11
- 機能キー登録 3-4, 8-20
- 機能キーの表示 3-12
- 基本的な送信 5-14
- 給紙指定動作 8-30
- 共通設定 8-11
 - エラー処理設定 8-19
 - 音設定 8-11
 - キーボード入力方式 8-20
 - 機能キー登録 8-20
 - 機能初期値 8-16
 - 原稿設定 8-12
 - 状況/履歴の表示 8-20
 - 初期画面 8-11
 - ジョブごとの文書仕上げ 8-20
 - 電源オフ時確認 8-21
 - トナー残量少の通知レベル 8-19
 - 入力長さ単位 8-19
 - 排紙先 8-19
 - 部数制限 8-18
 - 用紙設定 8-13

く

- 区点コード表 12-45
- グループ認可設定 9-17
 - グループ認可 9-17
 - グループリスト 9-17
- グレースケール 12-49

け

- ケーブル 2-7
- ゲスト認可設定 9-19
 - ゲスト認可 9-19
 - ゲストプロパティ 9-20
- 原稿
 - カスタム 8-12
 - セット 5-3

原稿送り装置 2-2

原稿のセット 5-5

原稿のセット方法 5-5

使用できる原稿 5-5

原稿サイズ 6-4

原稿サイズ混載 6-6

組み合わせ 6-8

原稿ストッパー 5-6

原稿/用紙設定 8-12

原稿セット 5-14

原稿送り装置 5-5

原稿ガラス 5-3

原稿セット向き 6-9

原稿の画質 6-13

原稿のプレビュー 3-14

原稿幅ガイド 2-3

こ

国際エネルギースタープログラム 1-13

コピー 5-14

コピー/スキャン禁止事項 1-5

コピー速度 12-34

コントラスト 6-16

こんな表示が出たら 11-9

さ

再生紙 12-31

サブネットマスク 12-49

設定 8-35, 8-38

し

地色調整 6-17, 8-59

時差 8-57

システム/ネットワーク 8-32

Bluetooth設定 8-52

NFC 8-56

インターフェイスブロック設定 8-51

オプション機能 8-55, 8-56

オプションネットワーク 8-48

セキュリティレベル 8-52

データセキュリティ 8-54

デバイスの再起動 8-52

ネットワーク 8-32

優先ネットワーク(クライアント) 8-51

システムメニュー

宛先編集 8-27

アプリケーション 8-26

インターネット 8-26

カウンター 8-8

カセット/手差しトレイ設定 8-9

簡単セットアップウィザード 2-24

共通設定 8-11

コピー 8-23

システム/ネットワーク 8-32

操作方法 8-2

送信 8-29

調整/メンテナンス 8-59

日付/タイマー/節電 8-57

ファクス 8-26

プリンター 8-29

文書ボックス 8-29

ホーム 8-22

ユーザー/部門管理 8-27

ユーザー情報 9-10

レポート 8-5

自動改ページ待ち時間 12-49

自動画像回転 6-26

自動用紙選択機能 12-50

自動両面機能について 1-12

シャープネス 6-16

終了通知設定 8-6

縮小/拡大 6-18

手動設定(IPv6) 8-36, 8-39

ショートカット 3-51, 5-14

削除 3-52

登録 3-51

編集 3-51

仕様

原稿送り装置 12-36

コピー機能 12-34

スキャナー機能 12-35

プリンター機能 12-35

ペーパーフィーダー(550枚×1) 12-36

ペーパーフィーダー(550枚×2) 12-36

本体 12-33

状況/履歴の表示 8-20

商標について 1-6

使用枚数の集計

カウンター 3-18

全部門集計 9-44

不明ユーザー設定 9-48

部門管理レポート印刷 9-45

部門別集計 9-44

用紙サイズ別 9-42

消耗品

残量確認 7-12

消耗品の交換と補充

ステープル針の補充(ドキュメントフィニッ
シャー) 10-9

トナーコンテナの交換 10-4

廃棄トナーボックスの交換 10-7

用紙の補給 10-9

初期画面 8-11

初期値

- XPS印刷サイズ調整 8-17
- うら写り防止(コピー) 8-16
- 原稿セット向き(コピー) 8-16
- 地色調整(送信/保存) 8-16
- ソート/仕分け 8-16
- とじしろ 8-17
- 白紙ページスキップ(保存/送信) 8-16
- ファイル形式 8-16
- ファイル分割 8-16
- ファクス送信解像度 8-16
- 文書名入力 8-17
- 読み込み解像度 8-16
- 連続読み込み(送信/保存) 8-17
- 連続読み込み(ファクス以外) 8-17

ジョブ

- 一時停止と再開 7-9
- 確認画面の表示 7-2
- キャンセル 7-9
- 状況確認 7-2
- 状況の種類 7-2
- 詳細情報 7-6
- 履歴確認 7-10
- 履歴画面の表示 7-8
- 履歴送信 7-8, 8-7
- 履歴の詳細 7-8

ジョブごとの文書仕上げ 8-20

ジョブ終了通知 6-26

ジョブボックス 12-50

- クイックコピー 5-45
- クイックコピージョブ保持数 8-25
- 試し刷り後保留 5-46
- パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する 4-10
- プライベートプリント 5-43

す

スキャンをキャンセルする 5-28

スキャン禁止事項 1-5

ステータスページ 12-50

ステータスマニター

- 起動 4-17
- 終了 4-14
- 通知機能の設定 4-17

ステーブル針の補充

- ドキュメントフィニッシャー 10-9

スリープ 2-23

スリープレベル 8-57

- 節電優先 2-23
- 復帰優先 2-23

スリットガラス 2-2

せ

清掃

- 原稿ガラス 10-2
- スリットガラス 10-2

セキュリティデータの完全消去 8-54

接続

- USBケーブル 2-9
- 電源コード 2-9
- ネットワークケーブル 2-8

接続方法 2-12

設置環境について 1-3

設定画面の表示 3-12

節電復帰レベル 2-22

そ

ソート/仕分け 6-10

初期値 8-16

操作パネル 2-2

送信

- ファクスサーバーをつかってそうしんする 5-26

送信結果レポート 8-6

送信サイズ 6-31

送信する 5-14

送信設定 8-29

再宛先 8-24

送信前確認 5-32

た

タッチパネル 3-6

短縮キー 3-14

ち

注意表示 1-2

長尺原稿 6-41

調整/メンテナンス 8-59

階調調整 8-60

自動カラー判別基準 8-59

シャープネス調整調整 8-59

ドラムリフレッシュ1 8-60, 11-24

ドラムリフレッシュ2 8-60, 11-24

調整/メンテナンスメニューについて 11-23

て

低電力モード 2-22

低電力モード時間 8-57

手差しトレイ 2-3, 12-50

はがき、封筒のセット 5-9

用紙サイズと用紙種類 8-10

用紙のセット 5-7

デバイスの状態確認 7-10

デフォルトゲートウェイ 12-50

電源オフ時確認 8-21

電源コード

接続 2-9

電源スイッチ 2-2

電源を入れる 2-10

電源を切る 2-10

電波の種類と干渉距離 1-14

電力管理 1-12

と

とじしろ

初期値 8-17

トナーコンテナ 2-3

トナーコンテナの交換 10-4
トナー残量少の通知レベル 8-19
トナーの残量確認 7-12
ドラムリフレッシュ1 8-60
ドラムリフレッシュ2 8-60
トレイ1~5 2-5

に

日常のお手入れ 10-2
入力
 件名 6-38
 文書名 6-28
入力長さ単位 8-19

ね

ネットワーク
 準備 2-13
ネットワークインターフェイス 2-7
ネットワークインターフェイスコネクタ 2-4
ネットワークケーブル 2-7
 接続 2-8
ネットワーク設定
 NFCの設定 2-20
 Wi-Fi Directの設定 2-19
 有線の設定 2-13
 ワイヤレスネットワークの設定 2-15

の

濃度 6-12
濃度調整 8-59

は

廃棄 12-45
廃棄トナーボックス 2-3
廃棄トナーボックスの交換 10-7
排紙先 6-11, 8-19
排紙ストッパー 3-24
はがき 12-30
白紙ページスキップ 6-28
パソコンから印刷 5-48
パソコンの共有フォルダーに送信 5-16
パソコンの共有フォルダーに文書を送信するための準備 3-26
パネルリセット時間 8-57

ひ

日付/時刻 8-57
日付/タイマー/節電 8-57
 Pingタイムアウト時間 8-58
 エラー後自動継続時間 8-58
 使用禁止時間 8-58
 スリープレベル 8-57
 パネルリセット時間 8-57
日付と時刻の設定 2-12

ふ

ファーストコピー時間 12-34
ファーストプリント時間 12-35

ファイル
 PDF 6-34
 形式 6-32
 分割 6-37
ファイル分割
 初期値 8-16
ファクス設定 8-26
封筒 12-30
封筒ガイド 3-25
フォルダー(FTP)送信 5-14
フォルダー(SMB)送信 5-14
複合送信 5-25
付属マニュアルの紹介 -xlv
部門管理 9-30
 TWAIN 9-38
 WIA 9-39
 印刷 9-36
 削除 9-36
 使用制限 9-33
 使用枚数の集計 9-43
 初期設定 9-41
 新規登録 9-32
 ファクス 9-40
 部門管理について 9-30
 部門管理方式 9-31
 部門管理レポート 9-45
 編集 9-35
 ログアウト 9-47
部門管理設定
 コピー/プリンターカウント方法 9-47
 制限超過時設定 9-34
プリスクライブコマンド 12-50
プリンター
 A4/Letterの共通使用 8-29
 印刷設定 5-48
 印刷範囲補正 8-30
 エコプリント 8-29
 自動カセット切り替え 8-30
 手差しトレイ優先 8-30
 部数 8-29
 両面印刷 8-29
プリンター設定 8-29
プリンタードライバー 12-50
 印刷設定 4-2
 初期値設定値の変更 3-53
 ヘルプ 4-4
プレプリント 12-31
プロキシー 8-48
文書ボックス
 外部メモリーボックス 3-54
 ジョブボックス 3-53
 ユーザーボックス 3-53
文書ボックス/外部メモリー
 ポーリングボックス 8-25
 ユーザーボックス 8-25
文書ボックス設定 8-29
文書名入力 6-28
 初期値 8-17

へ

ページ集約 6-20
ヘルプ 12-50
便利な送信 5-22

ほ

ホーム 8-22
 タスクバーの設定 3-8
ホーム画面 3-6
法律上のご注意 1-6
補修用性能部品 12-45
保守サービス 12-45
ホスト名 8-32
保存サイズ 6-40
本書の読みかた xlviii
本製品の省エネ制御機能について 1-12

め

メール件名/本文
 初期値 8-17
メール設定 2-45
メール送信 5-15

も

文字の入力
 入力画面 12-14
 文字変換 12-18, 12-21

ゆ

ユーザー/部門管理
 ID不明ジョブ処理 9-48
 不明ユーザー設定 9-48
ユーザー管理 9-2
 ICカード設定 9-27
 PINコード認証 9-28
 TWAIN 9-13
 WIA 9-14
 印刷 9-12
 簡単ログイン設定 9-24
 グループ認可設定 9-17
 ゲスト認可設定 9-19
 新規登録 9-5
 ネットワークユーザー情報の取得 9-22
 ファクス 9-15
 ユーザーアカウントロックアウト設定 9-4
 ユーザー管理とは 9-3, 9-2
 ユーザー情報の変更 9-9
 有効 9-3
 ローカルユーザー認可 9-16
 ログアウト 3-17
 ログイン 3-16
ユーザー情報 9-10
ユーザーボックス 12-50
 印刷 5-47
 送信 5-40
 文書の削除 5-40
 文書保存 5-36
 ボックスの削除 3-57
 ボックスの作成 3-54

ユニバーサル 12-50

よ

用紙
 カセット 8-9
 カセットへのセット 3-20
 給紙段の選択 3-20
 サイズと種類 12-23
 仕様 12-23
 適正な用紙 12-24
 手差しトレイ 8-10
 手差しトレイへのセット 5-14
 特殊な用紙 12-27
 取り扱い上の注意 3-4, 3-19
 はがきのセット 5-9
 封筒のセット 5-9
 用紙の残量確認 7-12
用紙設定 8-13
用紙選択 6-6
用紙長さガイド 3-21
用紙の補給 10-9
用紙幅ガイド 3-21
読み込み解像度
 初期値 8-16

ら

ラスタライズ 12-50
ラベル紙 12-29

り

両面/分割 6-23

れ

レーザースキャナークリーニング 11-25

ろ

ローカルユーザー認可 9-16
ログアウト 3-17
ログイン 3-16

わ

ワイヤレスネットワーク
 設定 2-15
ワンタッチキー
 登録 3-42
 変更 3-43
 削除 3-43

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品
質管理および最終検査
に合格しました。



お客様相談窓口のご案内

弊社製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラドキュメントソリューションズ株式会社 京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社

〒540-0004 大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番地37号

<https://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp>

お客様
相談窓口



0570-046562

受付時間

● 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
(土曜、日曜、祝日および当社指定休日は除く)

市内通話料でOK
ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます。